

平成30年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査  
(平成30年度調査)

(5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業  
報 告 書 (案)



## <目 次>

序 事業の概要 .....	1
1. 目的 .....	1
2. 調査の実施要領 .....	1
I 調査の結果 .....	7
1. 調査の実施と回収状況 .....	7
2. 施設の概要 .....	8
(1) 開設主体 .....	8
(2) 定員数、届出病床数 .....	9
(3) 入院の状況 .....	10
(4) 雇用配置 .....	13
(5) 設備構造の状況 .....	17
(6) 同法人・関連法人での介護保険サービス、併設する医療機関の状況 .....	20
3. 患者・利用者の概要 .....	21
(1) 患者・利用者の基本情報 .....	21
(2) 医療区分 .....	22
(3) ADL区分 .....	23
(4) 要介護度 .....	24
(5) 障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） .....	25
(6) 認知症高齢者の日常生活自立度 .....	26
(7) 重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者の状況 .....	27
(8) 患者・利用者の傷病の状況 .....	29
(9) 患者・利用者の生活状況 .....	30
4. サービスの提供実態の概要 .....	32
(1) 医療処置の状況 .....	32
(2) リハビリテーションの状況 .....	33
(3) アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の実施状況 .....	37
(4) ターミナルケアの実施状況 .....	40
(5) 地域に貢献する活動・地域と交流する活動等 .....	42
5. 開設した介護医療院の概要 .....	43
(1) 開設時期 .....	43
(2) 開設理由 .....	44
(3) 開設に当たっての情報 .....	45
(4) 介護医療院の理念の共有の状況 .....	48
(5) 移行定着支援加算の取得状況 .....	50
(6) 生活施設としての環境を整える取組・工夫等 .....	52
(7) 転院（転棟）する必要のあった利用者の状況 .....	57
(8) 介護医療院開設に当たっての課題 .....	58
(9) 介護医療院開設にあたって必要な支援策 .....	59
6. 介護医療院への移行についての概要 .....	60
(1) 介護医療院に関する情報 .....	60
(2) 移行予定有無別の状況 .....	63
(3) 介護医療院等への移行予定 .....	66
(4) 介護医療院に移行すると仮定した場合の課題 .....	80
(5) 介護医療院に移行すると仮定した場合、必要と考えられる支援策 .....	86

---

参 考 資 料 .....	87
1. アンケート調査の詳細な調査結果 .....	88
2. アンケート調査票 .....	122
調査の結果概要 .....	146

# 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業の 調査検討組織 設置要綱

## 1. 設置目的

みずほ情報総研株式会社は介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業の調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計、分析、検証、報告書の作成等の検討を行うため、以下のとおり介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業の調査検討組織（以下、「調査検討組織」という。）を設置する。

## 2. 実施体制

- (1) 本調査検討組織は、奈良県立医科大学今村知明教授を委員長とし、その他の委員は以下のとおりとする。
- (2) 委員長が必要があると認めるときは、本調査検討組織において、関係者から意見を聴くことができる。

## 3. 調査検討組織の運営

- (1) 調査検討組織の運営はみずほ情報総研株式会社が行う。
- (2) 前号に定めるもののほか、本調査検討組織の運営に関する事項その他必要な事項については、本調査検討組織が定める。

### 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業の調査検討組織 委員等

委員長	今村 知明（奈良県立医科大学 公衆衛生学講座 教授）
副委員長	井上 由起子（日本社会事業大学 専門職大学院 教授）
委員	今村 英仁（全国老人保健施設協会 副会長）
委員	江澤 和彦（日本医師会 常任理事）
委員	小山 秀夫（兵庫県立大学 経営研究科 名誉教授・特命教授）
委員	進藤 晃（日本慢性期医療協会 常任理事）
委員	鈴木 龍太（日本介護医療院協会 会長）
委員	田中 滋（埼玉県立大学 理事長）
委員	土屋 繁之（全日本病院協会 常任理事）
委員	馬場 武彦（日本医療法人協会 副会長）
委員	松本 隆利（日本病院会 理事）
委員	見元 伊津子（日本精神科病院協会 理事）

（敬称略、50音順）

### 【オブザーバー】

- 厚生労働省 老健局 老人保健課 介護保険データ分析室長 木内 哲平
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 薬事サービス専門官 南 亮介
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 介護老人保健施設係長 長江 翔平
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 係員 豊田 直史

## (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

### 調査概要

#### 1. 調査名

- 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

#### 2. 調査目的

- 平成30年度介護報酬改定の審議報告における今後の課題において、新たに創設された介護医療院については、サービス提供の実態や介護療養型医療施設、医療療養病床からの移行状況を把握した上で、円滑な移行の促進と介護保険財政に与える影響の両面から、どのような対応を図ることが適当なのかを検討するべきとされており、検討のための基礎資料を作成することを目的とする。

#### 3. 検証のポイント

- 平成30年度介護報酬改定において介護医療院が新設されたことを踏まえ、当該施設の入所者へのサービス提供が適切に提供されているか把握するとともに、介護療養型医療施設及び医療療養病床等から介護医療院に移行した場合における移行前後でのサービス提供等の変化について調査を行い、改定の効果検証を行う。

#### 4. 調査対象

- 介護医療院【施設調査】(悉皆)  
介護療養型医療施設【施設調査】(悉皆)  
医療療養病床【施設調査】(悉皆)  
介護療養型老人保健施設【施設調査】(悉皆)  
※ 利用者調査は、それぞれ対象施設の入所者・患者から抽出で行う。

#### 5. 調査項目

- ・ 施設の基本情報、施設サービスの実施状況
- ・ 施設の各種サービス費・加算等の算定状況
- ・ 利用者の医療ニーズ、実施されたサービス状況
- ・ 利用者の算定した各種サービス費・加算等の状況(医療保険を含む)
- ・ 移行施設における移行前後でのサービス提供状況等の変化

# 序 事業の概要

## 1. 目的

平成30年度介護報酬改定の審議報告における今後の課題において、新たに創設された介護医療院については、サービス提供の実態や介護療養型医療施設、医療療養病床からの転換状況を把握した上で、円滑な転換の促進と介護保険財政に与える影響の両面から、どのような対応を図ることが適当なのかを検討するべきとされており、検討のための基礎資料を作成することを目的とし、調査検証を行った。

本事業では、介護医療院、介護療養型医療施設、医療療養病床、介護療養型老人保健施設に対するアンケート調査を行い、以下の3点を明らかにすることを目的とした。

- ①介護医療院におけるサービス提供の実態の把握
- ②介護療養型医療施設等からの円滑な転換の促進に向けた課題の把握
- ③介護療養型医療施設等からの転換が介護保険財政に与える影響の検討に必要な情報の把握

## 2. 調査の実施要領

本調査では介護医療院、介護療養型医療施設、医療療養病床、介護療養型老人保健施設を対象とする施設調査（施設票、主に施設管理者が回答）と、当該施設に在院又は在所している患者・利用者に対する個票調査（患者・利用者票、主に担当看護師が回答）を平成30年11月に実施した。

調査対象施設は厚生労働省より提供を受けた9月末時点の全国の事業所・施設名簿をもとに抽出した。

調査票は、介護医療院を対象とした「介護医療院票」、医療療養病床及び介護療養型医療施設を有する病院・診療所を対象とした「病院・診療所 共通票」、医療療養病床を対象とした「医療療養病床票」、介護療養型医療施設を対象とした「介護療養型医療施設票」、介護療養型老人保健施設を対象とした「介護療養型老人保健施設票」、介護医療院、医療療養病床、介護療養型医療施設、介護療養型老人保健施設を利用している患者・利用者を対象とした「患者・利用者票」の6種類とした。

調査名簿は、調査対象施設は厚生労働省より提供を受けた平成30年9月末時点の全国の事業所・施設名簿をもとに抽出した。

各調査票における調査項目は以下の通りであった。

図表 1 主な調査項目

介護医療院票	
問 1	施設の概要
問 2	職員配置（医師、薬剤師、看護師、准看護師、介護福祉士、介護福祉士以外の介護職員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、栄養士、介護支援専門員、診療放射線技師）
問 3	構造設備（療養室の部屋数・延べ床面積、廊下幅）
問 4	開設を決めた理由
問 5	開設にあたっての情報
問 6	介護医療院の理念の共有について
問 7	移行定着支援加算について
問 8	地域に貢献する活動・地域と交流する活動等
問 9	生活施設としての環境を整える取組・工夫等
問 10	転院（転棟）する必要のあった利用者の有無・人数
問 11	介護医療院開設にあたっての課題
問 12	介護医療院開設にあたって必要な支援策
問 13	入所者数、延べ入所者数
問 14	新規入所者数、退所者数
問 15	利用者の状態像（医療区分・ADL 区分・要介護度・障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）・認知症高齢者の日常生活支援度）について
問 16	重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者について、各状態にあてはまる入所者数
問 17	1 か月間における医療処置について
問 18	1 か月間におけるリハビリテーションの実施状況
問 19	アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関する取組について
問 20	ターミナルケアに関する取組について
問 21	アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を実施した入所者数



病院・診療所 共通票	
問 1	開設者
問 2	届出病床数
問 3	病棟構造
問 4	介護保険サービス運営の有無
問 5	地域に貢献する活動・地域と交流する活動等
問 6	介護医療院について
問 7	療養病床を介護医療院に移行すると仮定した場合、必要と考える支援策

介護療養型医療施設票	
問 1	介護療養型医療施設の区分（施設サービス費の算定区分、療養機能強化型の届出について）
問 2	施設の定員、構造設備
問 3	職員配置（看護師、准看護師、介護福祉士、介護福祉士以外の看護補助者・介護職員）
問 4	入院患者数、延べ入院日数
問 5	患者の状態像（医療区分・ADL 区分・要介護度・障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）・認知症高齢者の日常生活支援度）について
問 6	リハビリテーションの実施状況
問 7	重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者について、各状態にあてはまる入院患者数
問 8	アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関する取組について
問 9	ターミナルケアに関する取組について
問 10	アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を実施した入院患者数
問 11	介護療養型医療施設に係る届出病床数、2018 年度末、2019 年度末、2020 年度末、2023 年度末時点で想定される予定病床数
問 12	《2023 年度末の予定病床数で「介護療養型医療施設」に回答した場合のみ》 介護療養型医療施設を移行しない理由
問 13	《2023 年度末の予定病床数で「未定」に回答した場合のみ》 現在の検討状況
問 14	介護療養型医療施設を介護医療院に移行すると仮定した場合の課題

医療療養病床票（病院・診療所）	
問 1	医療療養病床の区分
問 2	医療療養病床の届出病床数、構造設備
問 3	職員配置（看護師、准看護師、介護福祉士、介護福祉士以外の看護補助者・介護職員）
問 4	入院患者数、延べ入院日数
問 5	患者の状態像（医療区分・ADL 区分・要介護度・障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）・認知症高齢者の日常生活支援度）について
問 6	リハビリテーションの実施状況
問 7	重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者について、各状態にあてはまる入院患者数
問 8	アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関する取組について
問 9	ターミナルケアに関する取組について
問 10	アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を実施した入院患者数
問 11	医療療養病床に係る届出病床数、2018 年度末、2019 年度末、2020 年度末、2023 年度末時点で想定される予定病床数
問 12	《2023 年度末の予定病床数で「医療療養病床」に回答した場合のみ》 医療療養病床を移行しない理由
問 13	《2023 年度末の予定病床数で「未定」に回答した場合のみ》 現在の検討状況について
問 14	医療療養病床を介護医療院に移行すると仮定した場合の課題

介護療養型老人保健施設票	
問 1	施設の概要（開設者、定員、施設サービス費、併設する医療機関、医療機関の有する病床）
問 2	職員配置（医師、薬剤師、看護師、准看護師、介護福祉士、介護福祉士以外の介護職員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、栄養士、介護支援専門員、支援相談員、診療放射線技師）
問 3	構造設備（療養室の部屋数・延べ床面積、廊下幅）
問 4	入所者数、延べ入所日数
問 5	入所者の状態像（医療区分・ADL 区分・要介護度・障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）・認知症高齢者の日常生活支援度）
問 6	1 か月間におけるリハビリテーションの実施状況
問 7	重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者について、各状態にあてはまる入所者数
問 8	アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関する取組について
問 9	ターミナルケアに関する取組について
問 10	アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を実施した入所者数
問 11	地域に貢献する活動・地域と交流する活動について
問 12	介護医療院について
問 13	介護医療院に移行すると仮定した場合、必要と考える支援策
問 14	平成 30 年 9 月 30 日時点の定員数、2018 年度末、2019 年度末、2020 年度末、2023 年度末時点で想定される予定定員数
問 15	《2023 年度末の予定定員数で「介護老人保健施設」に回答した場合のみ》 施設を移行しない理由
問 16	《2023 年度末の予定定員数で「未定」に回答した場合のみ》 現在の検討状況について
問 17	介護医療院に移行すると仮定した場合の課題

患者・利用者票	
1)	患者・利用者 I D
2)	入院・入所している場所
3)	年齢
4)	性別
5)	現在入院・入所中の場所へ入院・入所（または転棟）した日
6)	要介護度（直近）
7)	医療区分
8)	障害高齢者の日常生活自立度
9)	認知症高齢者の日常生活自立度
10)	傷病
11)	身体機能・起居動作
12)	生活機能
13)	主な日中の生活場所の状況
14)	食事の場所
15)	食事の時間
16)	入浴の回数
17)	レクリエーションへの参加
18)	アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関する取組の有無
19)	ターミナルケアの実施の有無
20)	《19) で「1はい」に○がついた場合のみ》 ターミナルケアの具体的な内容
21)	《介護保険適用の場合のみ》 算定した加算
22)	《介護保険適用の場合のみ》 算定した特定（特別）診療費
23)	医療保険適用の場合算定した加算
24)	《21) 22) または 23) で1つ以上○がついた場合のみ》 リハビリテーションの具体的な内容
25)	《21) 22) または 23) で1つも○がつかなかった場合のみ》 リハビリテーションを実施しなかった理由

# I 調査の結果

## 1. 調査の実施と回収状況

調査期間は平成30年10月30日～平成30年11月27日であった。

各調査票の有効回収率は、介護医療院（施設票）が63.5%、病院・診療所（共通票）が30.0%、介護療養型医療施設（施設票）が41.8%、医療療養病床（病院・診療所票）が30.1%、介護療養型老人保健施設（施設票）が34.3%であった。

また、患者・利用者票の有効回収率は33.0%であった。内訳の有効回収数をみると、介護医療院で1,230件、介護療養型医療施設で596件、医療療養病床で1,669件、介護療養型老人保健施設で315件であった。

図表2 施設票の回収状況

調査票名	母集団	発出数	回収数	回収率	有効回収率
介護医療院（施設票）	63	63	40	63.5%	63.5%
病院・診療所（共通票）	4,065	3,412	1,045	30.6%	30.0%
介護療養型医療施設（施設票）	1,051	898	377	42.0%	41.8%
医療療養病床（病院・診療所票）	3,818	3,197	961	30.1%	30.1%
介護療養型老人保健施設（施設票）	176	137	46	34.3%	34.3%
患者・利用者票	-	-	3,967	33.1%	33.0%

※患者・利用者票の回収率、有効回収率は介護医療院（施設票）、介護療養型医療施設（施設票）、医療療養病床（病院・診療所票）、介護療養型老人保健施設（施設票）の発出数と回収数の合計をもとに算出したもの。

図表3 患者・利用者票の回収状況

調査対象	病床数又は定員数 (当該施設票より算定)	有効回収数 (利用者票)	有効抽出率 ※括弧内は想定抽出率
介護医療院（患者の1/2抽出）	2,841	1,230	43.2% (50.0%)
介護療養型医療施設（患者の1/30抽出）	16,357	596	3.6% (3.3%)
医療療養病床（患者の1/30抽出）	54,445	1,669	3.1% (3.3%)
介護療養型老人保健施設 (利用者の1/5抽出)	2,374	315	13.2% (20.0%)

## 2. 施設の概要

以下に具体的なアンケート調査の結果を示す。

なお、構成割合（％）は四捨五入しているため、内訳の合計が100%に合わない場合がある。

### (1) 開設主体

開設主体について、「医療法人（医療法人社団・医療法人財団・社会医療法人）」、「社団・財団法人（医療法人以外）」、「国公立」、「個人」、「その他」に分類して回答を求めた。その結果、いずれの医療施設も「医療法人」の構成割合が最も高く、76.7%以上と多数を占めた。

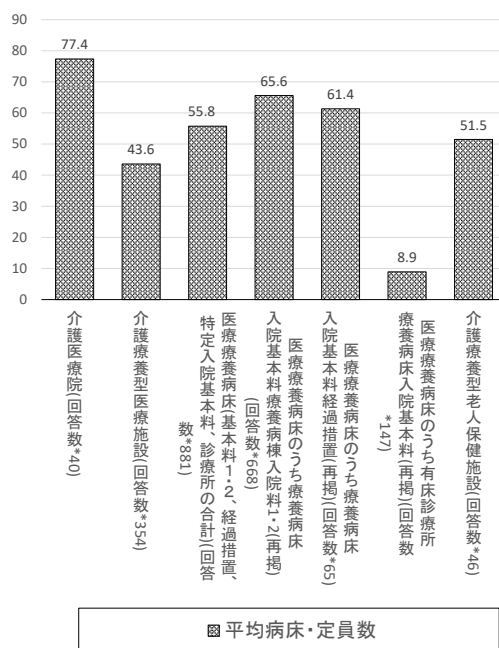
図表4 施設の概要（開設者）

	合計	医療法人 (医療法人社団・ 医療法人財団・社会医療法人)	社団・財 団法人 (医療法人以外)	国公立	個人	その他	無回答
介護医療院 (%)	40 100.0	37 92.5	0 0.0	0 0.0	1 2.5	2 5.0	0 0.0
病院 (%)	807 100.0	643 79.7	29 3.6	54 6.7	19 2.4	49 6.1	13 1.6
診療所 (%)	219 100.0	168 76.7	1 0.5	1 0.5	36 16.4	6 2.7	7 3.2
介護療養型老人保健施設 (%)	46 100.0	40 87.0	1 2.2	1 2.2	1 2.2	3 6.5	0 0.0

## (2) 定員数、届出病床数

施設類型ごとの定員数及び届出病床数を施設あたりの平均でみると、介護医療院が77.4床（うちⅠ型が78.7床、Ⅱ型が61.4床）、介護療養型医療施設が43.6床（うち病院が54.2床、診療所が9.3床）、医療療養病床が55.8床（うち基本料1が68.9床、基本料2が52.2床、経過措置1が63.2床、経過措置2が32.5床、特定入院基本料が11.0床、診療所が8.9床）、介護療養型老人保健施設が51.5床であった。

図表5 施設類型別の病床数



\*回答数は施設票の施設数

図表6 施設類型別の病床数

施設類型	施設数	病床・定員数	平均病床・定員数
Ⅰ型介護医療院	21	1652	78.7
Ⅱ型介護医療院	17	1044	61.4
Ⅰ型・Ⅱ型混合介護医療院	2	399	199.5
介護療養型医療施設（病院）	270	14645	54.2
うち療養機能強化型A	131	8846	67.5
うち療養機能強化型B	23	1480	64.3
うちその他	110	3992	36.3
介護療養型医療施設（診療所）	84	782	9.3
うち療養機能強化型A	5	57	11.4
うち療養機能強化型B	2	19	9.5
うちその他	76	700	9.2
医療療養病床入院基本料 療養病床入院料1	536	36940	68.9
医療療養病床入院基本料 療養病床入院料2	132	6894	52.2
医療療養病床入院基本料 経過措置1	61	3858	63.2
医療療養病床入院基本料 経過措置2	4	130	32.5
医療療養病床入院基本料 特別入院基本料	1	11	11.0
有床診療所療養病床入院基本料	147	1308	8.9
介護療養型老人保健施設	46	2368	51.5

### (3) 入院の状況

施設類型別における入院患者数・入所者数（平成30年9月30日24時時点）の100床あたり人数を算出したところ、Ⅰ型介護医療院が92.9人、Ⅱ型介護医療院が93.8人、介護療養型医療施設（病院）が90.9人、介護療養型医療施設（診療所）が78.8人、医療療養病棟入院基本料1が88.9人、医療療養病棟入院基本料2が80.9人、有床診療所療養病床入院基本料が60.6人、介護療養型老人保健施設が92.9人であった。

図表7 入院患者数・入所者数（平成30年9月30日24時時点）

	施設数	入院患者数・入所者数	平均人数	あたり100床人数
Ⅰ型介護医療院	21	1434	68.3	92.9
Ⅱ型介護医療院	17	983	57.8	93.8
Ⅰ型・Ⅱ型混合介護医療院	2	343	171.5	41.6
介護療養型医療施設（病院）	271	13609	50.2	90.9
うち療養機能強化型A	132	8512	64.5	93.2
うち療養機能強化型B	23	1355	58.9	91.6
うちその他	110	3401	30.9	86.2
介護療養型医療施設（診療所）	84	617	7.3	78.8
うち療養機能強化型A	5	40	8.0	70.2
うち療養機能強化型B	2	17	8.5	89.5
うちその他	76	554	7.3	79.0
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1	544	34163	62.8	88.9
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2	134	6127	45.7	80.9
医療療養病棟入院基本料 経過措置1	63	3365	53.4	81.8
医療療養病棟入院基本料 経過措置2	4	109	27.3	83.8
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料	1	10	10.0	90.9
有床診療所療養病床入院基本料	145	744	5.1	60.6
介護療養型老人保健施設	46	2205	47.9	92.9



また、平成 30 年 7 月 1 日～9 月 30 日の 3 ヶ月間における平均病床稼働率を算出したところ、I 型介護医療院が 72.6%、II 型介護医療院が 71.8%、介護療養型医療施設（病院）が 89.1%、介護療養型医療施設（診療所）が 67.3%、医療療養病棟入院基本料 1 が 88.5%、医療療養病棟入院基本料 2 が 86.5%、有床診療所療養病床入院基本料が 51.5%、介護療養型老人保健施設が 94.6%であった。

図表 8 延べ入院患者・入所者数（平成 30 年 7 月 1 日～9 月 30 日の 3 ヶ月間）

	施設数	入院患者延べ 3ヶ月間の 数	平均病床 稼働率
I 型介護医療院	20	110323	72.6
II 型介護医療院	17	68959	71.8
I 型・II 型混合介護医療院	2	10468	28.5
介護療養型医療施設（病院）	268	1200786	89.1
うち療養機能強化型A	131	749874	92.1
うち療養機能強化型B	23	123046	90.4
うちその他	108	297830	81.1
介護療養型医療施設（診療所）	84	48401	67.3
うち療養機能強化型A	5	3744	71.4
うち療養機能強化型B	2	1604	91.8
うちその他	76	42501	66.0
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料 1	535	3006060	88.5
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料 2	131	548675	86.5
医療療養病棟入院基本料 経過措置 1	61	299856	84.5
医療療養病棟入院基本料 経過措置 2	4	9968	83.3
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料	1	905	89.4
有床診療所療養病床入院基本料	141	61999	51.5
介護療養型老人保健施設	46	206068	94.6

※平成 30 年 7 月 2 日～9 月 30 日の間に介護医療院へ移行した施設は介護医療院へ移行したあとのみの状況を尋ねた。

住民税非課税所得世帯の段階ごとの入所者数・入院患者数（平成30年9月30日24時時点）の100床あたり人数を算出したところ、Ⅰ型介護医療院では、全体の92.9人のうち、第一段階で8.8人、第二段階で17.7人、第三段階で39.7人であった。Ⅱ型介護医療院では、全体の93.8人のうち、第一段階で6.8人、第二段階で15.8人、第三段階で31.4人であった。介護療養型医療施設（病院）では、全体の90.9人のうち、第一段階で6.2人、第二段階で14.1人、第三段階で25.3人であった。介護療養型医療施設（診療所）では、全体の78.8人、第一段階で4.5人、第二段階で17.2人、第三段階で18.5人であった。介護療養型老人保健施設では、全体の92.9人のうち、第一段階で2.8人、第二段階で16.1人、第三段階で29.2人であった。

図表9 住民税非課税所得世帯別の入所者数・入院患者数（平成30年9月30日24時時点）

	施設数	入所者数・入院患者数	100床あたり						
			うち、住民税非課税所得世帯（第一段階）の入院患者	うち、住民税非課税所得世帯（第二段階）の入院患者	うち、住民税非課税所得世帯（第三段階）の入院患者	入所者数・入院患者数	うち、住民税非課税所得世帯（第一段階）の入院患者	うち、住民税非課税所得世帯（第二段階）の入院患者	うち、住民税非課税所得世帯（第三段階）の入院患者
Ⅰ型介護医療院	21	1434	131	263	592	92.9	8.8	17.7	39.7
Ⅱ型介護医療院	17	983	71	166	329	93.8	6.8	15.8	31.4
Ⅰ型・Ⅱ型混合介護医療院	2	343	13	50	112	41.6	1.6	6.1	13.6
介護療養型医療施設（病院）	271	13609	897	2042	3672	90.9	6.2	14.1	25.3
うち療養機能強化型A	132	8512	479	1186	2320	93.2	5.4	13.5	26.4
うち療養機能強化型B	23	1355	127	198	367	91.6	8.6	13.4	24.8
うちその他	110	3401	285	623	925	86.2	7.5	16.4	24.3
介護療養型医療施設（診療所）	84	617	34	131	141	78.8	4.5	17.2	18.5
うち療養機能強化型A	5	40	0	8	8	70.2	0.0	14.0	14.0
うち療養機能強化型B	2	17	1	3	6	89.5	5.3	15.8	31.6
うちその他	76	554	33	120	127	79.0	4.9	17.7	18.7
介護療養型老人保健施設	46	2205	66	383	694	92.9	2.8	16.1	29.2

#### (4) 雇用配置

介護施設の施設類型別に、医師、薬剤師、看護師、准看護師、介護福祉士、介護福祉士以外の介護職員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、栄養士、介護支援専門員、診療放射線技師の雇用配置について回答を求めた。

介護施設の施設類型における 100 床あたり常勤換算職員数（うち専従職員数）を算出したところ、I 型介護医療院は、医師が 3.9 人（専従 1.1 人）、薬剤師が 1.8 人（専従 0.5 人）、看護師が 14.4 人（専従 14.0 人）、准看護師が 8.1 人（専従 7.7 人）、介護福祉士が 17.8 人（専従 17.2 人）、介護福祉士以外の介護職員が 9.9 人（専従 9.7 人）、理学療法士が 2.7 人（専従 1.2 人）、作業療法士が 2.0 人（専従 0.9 人）、言語聴覚士が 0.9 人（専従 0.3 人）、管理栄養士が 2.1 人（専従 0.5 人）、栄養士が 0.8 人（専従 0.0 人）、介護支援専門員が 2.3 人（専従 1.3 人）、診療放射線技師が 0.9 人（専従 0.1 人）であった。

II 型介護医療院は、医師が 2.4 人（専従 0.8 人）、薬剤師が 0.8 人（専従 0.2 人）、看護師が 10.7 人（専従 10.6 人）、准看護師が 8.5 人（専従 8.3 人）、介護福祉士が 17.5 人（専従 17.5 人）、介護福祉士以外の介護職員が 10.0 人（専従 10.0 人）、理学療法士が 2.4 人（専従 1.9 人）、作業療法士が 1.2 人（専従 1.0 人）、言語聴覚士が 0.6 人（専従 0.4 人）、管理栄養士が 1.6 人（専従 1.3 人）、栄養士が 0.0 人（専従 0.0 人）、介護支援専門員が 2.6 人（専従 2.3 人）、診療放射線技師が 0.6 人（専従 0.0 人）であった。

介護療養型老人保健施設は、医師が 1.8 人（専従 1.0 人）、薬剤師が 0.7 人（専従 0.4 人）、看護師が 9.5 人（専従 9.0 人）、准看護師が 10.0 人（専従 9.0 人）、介護福祉士が 16.6 人（専従 16.2 人）、介護福祉士以外の介護職員が 10.5 人（専従 9.9 人）、理学療法士が 2.2 人（専従 1.6 人）、作業療法士が 0.8 人（専従 0.7 人）、言語聴覚士が 0.4 人（専従 0.3 人）、管理栄養士が 1.4 人（専従 1.2 人）、栄養士が 0.4 人（専従 0.3 人）、介護支援専門員が 3.9 人（専従 1.6 人）、診療放射線技師が 0.2 人（専従 0.1 人）であった。

図表 10 介護施設の平成 30 年 9 月 30 日時点の職員配置（常勤換算）

	施設数	100床あたり常勤換算職員数													
		医師	薬剤師	看護師	准看護師	介護福祉士	介護福祉士以外の職員	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	管理栄養士	栄養士	介護支援専門員	診療放射線技師	
I 型介護医療院	21	3.9	1.8	14.4	8.1	17.8	9.9	2.7	2.0	0.9	2.1	0.8	2.3	0.9	
II 型介護医療院	17	2.4	0.8	10.7	8.5	17.5	10.0	2.4	1.2	0.6	1.6	0.0	2.6	0.6	
I 型・II 型混合介護医療院	2	1.1	0.5	3.6	5.6	4.7	5.4	0.8	0.7	0.6	0.3	0.4	0.6	0.4	
介護療養型老人保健施設	46	1.8	0.7	9.5	10.0	16.6	10.5	2.2	0.8	0.4	1.4	0.4	3.9	0.2	

図表 11 介護施設の平成 30 年 9 月 30 日時点の職員配置（常勤換算のうち専従）

	施設数	100床あたり常勤換算職員数（うち専従）													
		医師	薬剤師	看護師	准看護師	介護福祉士	介護福祉士以外の職員	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	管理栄養士	栄養士	介護支援専門員	診療放射線技師	
I 型介護医療院	21	1.1	0.5	14.0	7.7	17.2	9.7	1.2	0.9	0.3	0.5	0.0	1.3	0.1	
II 型介護医療院	17	0.8	0.2	10.6	8.3	17.5	10.0	1.9	1.0	0.4	1.3	0.0	2.3	0.0	
I 型・II 型混合介護医療院	2	0.0	0.0	3.5	5.6	4.7	5.4	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	
介護療養型老人保健施設	46	1.0	0.4	9.0	9.0	16.2	9.9	1.6	0.7	0.3	1.2	0.3	1.6	0.1	

医療施設の施設類型別に、看護師、准看護師、介護福祉士、介護福祉士以外の介護職員、の雇用配置について回答を求めた。

医療施設の施設類型における 100 床あたり常勤換算職員数（専従職員数）を算出したところ、介護療養型医療施設（病院）は、看護師が 16.0 人（専従 14.5 人）、准看護師が 11.2 人（専従 10.1 人）、介護福祉士が 14.1 人（13.4 人）、介護福祉士以外の介護職員が 14.2 人（13.0 人）であった。介護療養型医療施設（診療所）は、看護師が 15.5 人（専従 5.3 人）、准看護師が 35.9 人（専従 15.2 人）、介護福祉士が 11.0 人（専従 6.7 人）、介護福祉士以外の介護職員が 23.1 人（専従 13.5 人）であった。医療療養病棟入院基本料 1 は、看護師が 25.9 人（専従 25.5 人）、准看護師が 10.7 人（専従 10.5 人）、介護福祉士が 9.7 人（専従 9.5 人）、介護福祉士以外の介護職員が 14.7 人（専従 14.4 人）であった。医療療養病棟入院基本料 2 は、看護師が 19.8 人（専従 18.8 人）、准看護師が 12.8 人（専従 12.1 人）、介護福祉士が 8.0 人（専従 7.7 人）、介護福祉士以外の介護職員が 15.3 人（専従 14.6 人）であった。有床診療所療養病床入院基本料は、看護師が 24.6 人（専従 10.0 人）、准看護師が 36.1 人（専従 20.8 人）、介護福祉士が 7.2 人（専従 6.5 人）、介護福祉士以外の介護職員が 21.5 人（専従 16.4 人）であった。

図表 12 医療施設の平成 30 年 9 月 30 日時点の職員配置（常勤換算）

	施設数	100床あたり常勤換算職員数				1病棟あたり夜勤配置	
		看護師	准看護師	介護福祉士	介護福祉士以外の介護職員	看護師・准看護師	介護福祉士・その他の介護職員
介護療養型医療施設（病院）	271	16.0	11.2	14.1	14.2	1.6	1.7
うち療養機能強化型A	132	15.1	9.6	16.0	12.0	1.6	2.0
うち療養機能強化型B	23	17.5	10.2	11.5	17.1	1.7	2.0
うちその他	110	17.1	15.3	11.5	18.7	1.4	1.3
介護療養型医療施設（診療所）	84	15.5	35.9	11.0	23.1	1.1	0.2
うち療養機能強化型A	5	24.4	36.0	27.9	19.5	1.9	0.4
うち療養機能強化型B	2	4.2	25.8	5.3	14.2	0.5	0.0
うちその他	76	15.3	36.0	9.9	23.5	1.1	0.2
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料 1	546	25.9	10.7	9.7	14.7	2.0	1.6
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料 2	134	19.8	12.8	8.0	15.3	1.7	1.2
医療療養病棟入院基本料 経過措置 1	63	15.1	12.1	5.9	17.8	1.9	1.4
医療療養病棟入院基本料 経過措置 2	4	19.8	14.2	11.8	24.0	1.3	1.5
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料	1	0.0	19.1	0.0	38.2	1.0	0.0
有床診療所療養病床入院基本料	148	24.6	36.1	7.2	21.5	1.1	0.2

図表 13 医療施設の平成 30 年 9 月 30 日時点の職員配置（常勤換算のうち専従）

	施設数	100床あたり常勤換算職員数 (うち専従)			
		看護師	准看護師	介護福祉士	介護福祉士以外の介護職員
介護療養型医療施設（病院）	271	14.5	10.1	13.4	13.0
うち療養機能強化型A	132	14.0	9.1	15.2	11.3
うち療養機能強化型B	23	15.7	9.1	10.6	16.5
うちその他	110	14.6	12.9	10.7	16.1
介護療養型医療施設（診療所）	84	5.3	15.2	6.7	13.5
うち療養機能強化型A	5	5.3	15.8	12.3	12.5
うち療養機能強化型B	2	4.2	25.8	5.3	14.2
うちその他	76	5.3	15.0	6.4	13.7
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料 1	546	25.5	10.5	9.5	14.4
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料 2	134	18.8	12.1	7.7	14.6
医療療養病棟入院基本料 経過措置 1	63	15.0	11.9	5.9	17.5
医療療養病棟入院基本料 経過措置 2	4	19.8	13.4	11.8	23.8
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料	1	0.0	19.1	0.0	29.1
有床診療所療養病床入院基本料	148	10.0	20.8	6.5	16.4

次に、看護職員及び介護職員の雇用配置数別の施設数を算出したところ、介護療養型医療施設（病院）は、「看護配置 3:1 以上、介護配置 3:1 以上」の雇用配置をとっている施設が 25.1%と最も多く、次いで「看護配置 5:1 以上、介護配置 4:1 以上」の施設が 17.1%であった。介護療養型医療施設（診療所）は、「看護配置 3:1 以上、介護配置 3:1 以上」の施設が 41.8%で最も多かった。医療療養病棟入院基本料 1 は、「看護配置 4:1 以上、介護配置 4:1 以上」が 15.8%で最も多く、次いで「看護配置 4:1 以上、介護配置 5:1 以上」が 15.3%であった。医療療養病棟入院基本料 2 は、「看護配置 3:1 以上、介護配置 3:1 以上」が 19.2%で最も多かった。有床診療所療養病床入院基本料は、「看護配置 3:1 以上、介護配置 3:1 以上」が 43.5%で最も多かった。

図表 14 医療施設の看護職員及び介護職員の配置状況

	施設数	看護配置3：1以上				看護配置4：1以上			
		介護配置3：1以上	介護配置4：1以上	介護配置5：1以上	介護配置6：1以上	介護配置3：1以上	介護配置4：1以上	介護配置5：1以上	介護配置6：1以上
介護療養型医療施設（病院） （%）	263	66 25.1	9 3.4	4 1.5	5 1.9	7 2.7	33 12.5	9 3.4	7 2.7
うち療養機能強化型A （%）	131	20 15.3	2 1.5	2 1.5	1 0.8	4 3.1	13 9.9	7 5.3	6 4.6
うち療養機能強化型B （%）	22	5 22.7	0 0.0	0 0.0	1 4.5	0 0.0	3 13.6	1 4.5	0 0.0
うちその他 （%）	105	37 35.2	7 6.7	2 1.9	3 2.9	3 2.9	16 15.2	1 1.0	1 1.0
介護療養型医療施設（診療所） （%）	79	33 41.8	9 11.4	3 3.8	5 6.3	4 5.1	3 3.8	4 5.1	0 0.0
うち療養機能強化型A （%）	5	3 60.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
うち療養機能強化型B （%）	2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
うちその他 （%）	71	29 40.8	8 11.3	3 4.2	4 5.6	3 4.2	3 4.2	3 4.2	0 0.0
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1 （%）	531	59 11.1	67 12.6	61 11.5	20 3.8	20 3.8	84 15.8	81 15.3	24 4.5
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2 （%）	125	24 19.2	6 4.8	12 9.6	7 5.6	1 0.8	18 14.4	14 11.2	8 6.4
医療療養病棟入院基本料 経過措置1 （%）	61	9 14.8	1 1.6	1 1.6	2 3.3	2 3.3	7 11.5	2 3.3	3 4.9
医療療養病棟入院基本料 経過措置2 （%）	4	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料 （%）	1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
有床診療所療養病床入院基本料 （%）	115	50 43.5	9 7.8	4 3.5	10 8.7	5 4.3	6 5.2	1 0.9	0 0.0

	看護配置5：1以上				看護配置6：1以上				その他
	介護配置3：1以上	介護配置4：1以上	介護配置5：1以上	介護配置6：1以上	介護配置3：1以上	介護配置4：1以上	介護配置5：1以上	介護配置6：1以上	
介護療養型医療施設（病院） （%）	6 2.3	45 17.1	22 8.4	2 0.8	0 0.0	23 8.7	3 1.1	2 0.8	20 7.6
うち療養機能強化型A （%）	2 1.5	34 26.0	14 10.7	1 0.8	0 0.0	16 12.2	2 1.5	0 0.0	7 5.3
うち療養機能強化型B （%）	2 9.1	5 22.7	1 4.5	0 0.0	0 0.0	1 4.5	1 4.5	0 0.0	2 9.1
うちその他 （%）	2 1.9	6 5.7	7 6.7	1 1.0	0 0.0	6 5.7	0 0.0	2 1.9	11 10.5
介護療養型医療施設（診療所） （%）	0 0.0	2 2.5	4 5.1	0 0.0	1 1.3	0 0.0	1 1.3	3 3.8	7 8.9
うち療養機能強化型A （%）	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
うち療養機能強化型B （%）	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
うちその他 （%）	0 0.0	2 2.8	4 5.6	0 0.0	1 1.4	0 0.0	1 1.4	3 4.2	7 9.9
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1 （%）	0 0.0	9 1.7	23 4.3	8 1.5	0 0.0	0 0.0	3 0.6	2 0.4	70 13.2
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2 （%）	2 1.6	4 3.2	10 8.0	2 1.6	0 0.0	1 0.8	1 0.8	2 1.6	13 10.4
医療療養病棟入院基本料 経過措置1 （%）	1 1.6	6 9.8	7 11.5	3 4.9	0 0.0	0 0.0	1 1.6	1 1.6	15 24.6
医療療養病棟入院基本料 経過措置2 （%）	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料 （%）	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
有床診療所療養病床入院基本料 （%）	1 0.9	1 0.9	1 0.9	0 0.0	1 0.9	1 0.9	1 0.9	7 6.1	17 14.8

※その他は、看護配置6：1未満かつ介護配置6：1未満の場合を示す。

## (5) 設備構造の状況

施設類型別に、療養室の床数割合を算出したところ、4人室の割合は、I型介護医療院で69.2%、II型介護医療院で56.3%、介護療養型医療施設（病院）で70.4%、介護療養型医療施設（診療所）で43.5%、医療療養病棟入院基本料1で73.2%、医療療養病棟入院基本料2で69.2%、有床診療所療養病床入院基本料29.1%、介護療養型老人保健施設で58.3%であった。

図表 15 部屋ごとの病床数

		合計	4人室	3人室	2人室	個室	ユニット 室 個
I型介護医療院	施設数	21	17	7	14	15	0
	床数	1652	1144	270	110	128	0
	割合	100.0	69.2	16.3	6.7	7.7	0.0
II型介護医療院	施設数	17	12	5	13	9	2
	床数	1044	588	33	160	52	211
	割合	100.0	56.3	3.2	15.3	5.0	20.2
I型・II型混合介護医療院	施設数	2	2	0	1	2	0
	床数	399	352	0	8	39	0
	割合	100.0	88.2	0.0	2.0	9.8	0.0
介護療養型医療施設（病院）	施設数	270	251	111	177	146	1
	床数	14645	10316	1662	1622	1017	28
	割合	100.0	70.4	11.3	11.1	6.9	0.2
うち療養機能強化型A	施設数	131	128	58	93	82	0
	床数	8846	6140	1029	1012	665	0
	割合	100.0	69.4	11.6	11.4	7.5	0.0
うち療養機能強化型B	施設数	23	22	6	15	12	0
	床数	1480	1108	48	208	116	0
	割合	100.0	74.9	3.2	14.1	7.8	0.0
うちその他	施設数	110	96	45	65	50	0
	床数	3992	2836	558	388	210	0
	割合	100.0	71.0	14.0	9.7	5.3	0.0
介護療養型医療施設（診療所）	施設数	84	44	25	52	37	0
	床数	782	340	129	214	99	0
	割合	100.0	43.5	16.5	27.4	12.7	0.0
うち療養機能強化型A	施設数	5	2	3	1	1	0
	床数	57	24	21	4	8	0
	割合	100.0	42.1	36.8	7.0	14.0	0.0
うち療養機能強化型B	施設数	2	2	1	2	2	0
	床数	19	8	3	6	2	0
	割合	100.0	42.1	15.8	31.6	10.5	0.0
うちその他	施設数	76	39	21	48	34	0
	床数	700	304	105	202	89	0
	割合	100.0	43.4	15.0	28.9	12.7	0.0
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1	施設数	536	519	219	384	457	11
	床数	36940	27032	2853	3772	3246	37
	割合	100.0	73.2	7.7	10.2	8.8	0.1
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2	施設数	132	118	53	80	116	2
	床数	6894	4772	618	748	750	6
	割合	100.0	69.2	9.0	10.9	10.9	0.1
医療療養病棟入院基本料 経過措置1	施設数	61	57	17	46	45	1
	床数	3858	2688	267	574	317	12
	割合	100.0	69.7	6.9	14.9	8.2	0.3
医療療養病棟入院基本料 経過措置2	施設数	4	4	2	3	3	1
	床数	130	72	9	30	18	1
	割合	100.0	55.4	6.9	23.1	13.8	0.8
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料	施設数	1	0	1	1	0	0
	床数	11	0	9	2	0	0
	割合	100.0	0.0	81.8	18.2	0.0	0.0
有床診療所療養病床入院基本料	施設数	147	58	45	80	83	2
	床数	1308	380	243	386	297	2
	割合	100.0	29.1	18.6	29.5	22.7	0.2
介護療養型老人保健施設	施設数	46	39	21	26	40	1
	床数	2368	1380	282	290	387	29
	割合	100.0	58.3	11.9	12.2	16.3	1.2

※無回答は集計の対象外とした。

※1施設で複数の部屋構成を有する場合があるため、各部屋をもつ施設数を積上げた値は、「合計」欄の施設数と一致しないことがある。

患者1人当たり床面積ごとの病床数割合は、「8.0 m<sup>2</sup>/人以上」の場合で、I型介護医療院が85.6%、II型介護医療院で73.7%、介護療養型医療施設（病院）で49.9%、介護療養型医療施設（診療所）で41.9%、医療療養病棟入院基本料1で60.2%、医療療養病棟入院基本料2で56.1%、有床診療所療養病床入院基本料56.5%、介護療養型老人保健施設で70.1%であった。

図表 16 患者1人当たり床面積ごとの病床数

		合計	8 ・ 未0 満m <sup>2</sup> /人	8 ・ 以0 上m <sup>2</sup> /人
I型介護医療院	施設数	21	4	17
	床数	1652	238	1414
(%)	割合	100.0	14.4	85.6
II型介護医療院	施設数	16	3	13
	床数	964	254	710
(%)	割合	100.0	26.3	73.7
I型・II型混合介護医療院	施設数	2	1	1
	床数	399	249	150
(%)	割合	100.0	62.4	37.6
介護療養型医療施設（病院）	施設数	264	137	127
	床数	14386	7210	7176
(%)	割合	100.0	50.1	49.9
うち療養機能強化型A	施設数	130	66	64
	床数	8793	4209	4584
(%)	割合	100.0	47.9	52.1
うち療養機能強化型B	施設数	21	8	13
	床数	1411	421	990
(%)	割合	100.0	29.8	70.2
うちその他	施設数	108	60	48
	床数	3884	2520	1364
(%)	割合	100.0	64.9	35.1
介護療養型医療施設（診療所）	施設数	79	46	33
	床数	723	420	303
(%)	割合	100.0	58.1	41.9
うち療養機能強化型A	施設数	5	3	2
	床数	57	35	22
(%)	割合	100.0	61.4	38.6
うち療養機能強化型B	施設数	2	2	0
	床数	19	19	0
(%)	割合	100.0	100.0	0.0
うちその他	施設数	71	40	31
	床数	641	360	281
(%)	割合	100.0	56.2	43.8
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1	施設数	510	211	299
	床数	35527	14122	21405
(%)	割合	100.0	39.8	60.2
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2	施設数	122	49	73
	床数	6562	2882	3680
(%)	割合	100.0	43.9	56.1
医療療養病棟入院基本料 経過措置1	施設数	59	27	32
	床数	3769	1642	2127
(%)	割合	100.0	43.6	56.4
医療療養病棟入院基本料 経過措置2	施設数	4	2	2
	床数	130	64	66
(%)	割合	100.0	49.2	50.8
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料	施設数	1	1	0
	床数	11	11	0
(%)	割合	100.0	100.0	0.0
有床診療所療養病床入院基本料	施設数	134	58	76
	床数	1161	505	656
(%)	割合	100.0	43.5	56.5
介護療養型老人保健施設	施設数	45	18	27
	床数	2268	678	1590
(%)	割合	100.0	29.9	70.1

※無回答は集計の対象外とした。



中廊下の最低幅別の廊下の最低幅区分別の施設数割合をみると、Ⅰ型介護医療院では、「中廊下幅 2.7m 以上、廊下幅 1.8m 以上」が 65%で最も多く、次いで「中廊下幅 2.7m 未満、廊下幅 1.8m 以上」が 15.0%であった。Ⅱ型介護医療院では、「中廊下幅 2.7m 以上、廊下幅 1.8m 以上」が 40.0%で最も多く、次いで「中廊下なし、廊下幅 1.8m 以上」が 33.3%であった。介護療養型医療施設（病院）では、「中廊下幅 2.7m 以上、廊下幅 1.8m 以上」が 41.4%で最も多く、次いで「中廊下なし、廊下幅 1.8m 以上」が 25.3%であった。介護療養型医療施設（診療所）では、「中廊下なし、廊下幅 1.8m 以上」が 36.2%で最も多かった。医療療養病棟入院基本料 1 では、「中廊下幅 2.7m 以上、廊下幅 1.8m 以上」が 37.2%で最も多く、次いで「中廊下なし、廊下幅 1.8m 以上」が 33.9%であった。医療療養病棟入院基本料 2 では、「中廊下幅 2.7m 以上、廊下幅 1.8m 以上」が 37.0%で最も多く、次いで「中廊下なし、廊下幅 1.8m 以上」が 28.6%であった。有床診療所療養病床入院基本料では、「中廊下なし、廊下幅 1.8m 以上」が 43.7%で最も多かった。介護療養型老人保健施設では、「中廊下幅 2.7m 以上、廊下幅 1.8m 以上」が 51.3%で最も多く、次いで「中廊下幅 2.7m 未満、廊下幅 1.8m 以上」が 20.5%であった。

図表 17 廊下の最低幅

	施設数 割合	合計	廊下の最低幅					
			中廊下なし		中廊下幅2.7m未満		中廊下幅2.7m以上	
			廊下幅1.8m未満	廊下幅1.8m以上	廊下幅1.8m未満	廊下幅1.8m以上	廊下幅1.8m未満	廊下幅1.8m以上
Ⅰ型介護医療院 (%)	施設数 割合	20 100.0	1 5.0	2 10.0	1 5.0	3 15.0	0 0.0	13 65.0
Ⅱ型介護医療院 (%)	施設数 割合	15 100.0	0 0.0	5 33.3	0 0.0	4 26.7	0 0.0	6 40.0
Ⅰ型・Ⅱ型混合介護医療院 (%)	施設数 割合	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
介護療養型医療施設（病院） (%)	施設数 割合	237 100.0	6 2.5	60 25.3	24 10.1	48 20.3	1 0.4	98 41.4
うち療養機能強化型A (%)	施設数 割合	117 100.0	2 1.7	28 23.9	16 13.7	24 20.5	0 0.0	47 40.2
うち療養機能強化型B (%)	施設数 割合	21 100.0	1 4.8	6 28.6	1 4.8	1 4.8	0 0.0	12 57.1
うちその他 (%)	施設数 割合	95 100.0	3 3.2	26 27.4	6 6.3	22 23.2	1 1.1	37 38.9
介護療養型医療施設（診療所） (%)	施設数 割合	69 100.0	9 13.0	25 36.2	10 14.5	12 17.4	1 1.4	12 17.4
うち療養機能強化型A (%)	施設数 割合	5 100.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0
うち療養機能強化型B (%)	施設数 割合	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
うちその他 (%)	施設数 割合	61 100.0	7 11.5	22 36.1	10 16.4	9 14.8	1 1.6	12 19.7
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料 1 (%)	施設数 割合	492 100.0	8 1.6	167 33.9	33 6.7	97 19.7	4 0.8	183 37.2
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料 2 (%)	施設数 割合	119 100.0	3 2.5	34 28.6	13 10.9	25 21.0	0 0.0	44 37.0
医療療養病棟入院基本料 経過措置 1 (%)	施設数 割合	55 100.0	1 1.8	17 30.9	1 1.8	10 18.2	3 5.5	23 41.8
医療療養病棟入院基本料 経過措置 2 (%)	施設数 割合	4 100.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料 (%)	施設数 割合	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
有床診療所療養病床入院基本料 (%)	施設数 割合	119 100.0	24 20.2	52 43.7	11 9.2	16 13.4	1 0.8	15 12.6
介護療養型老人保健施設 (%)	施設数 割合	39 100.0	0 0.0	6 15.4	4 10.3	8 20.5	1 2.6	20 51.3

※無回答は集計の対象外とした。

(6) 同法人・関連法人での介護保険サービス、併設する医療機関の状況

同一法人・関連法人が運営している他の介護保険サービス等の状況を見ると、I型介護医療院では、介護老人保健施設が61.9%で最も多く、次いで認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）が57.1%であった。II型介護医療院では、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）が76.5%で最も多く、次いで介護老人保健施設が70.6%であった。介護療養型医療施設では、介護療養型医療施設が73.0%で最も多く、次いでその他の介護保険サービスが48.5%であった。医療療養病床では、その他の介護保険サービスが49.4%で最も多く、次いで介護老人保健施設が32.5%であった。

図表 18 同一法人・関連法人が運営している他の介護保険サービス等（複数回答）

	合計	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅(特定施設入居者生活介護)	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅(特定施設入居者生活介護なし)	養護老人ホーム	軽費老人ホーム	認知症対応型共同生活介護(認知症グループホーム)	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	その他の介護保険サービス	他の介護保険サービスは運営していない	無回答	累計(n) (%)
I型介護医療院 (%)	21 100.0	4 19.0	13 61.9	4 19.0	1 4.8	2 9.5	2 9.5	4 19.0	12 57.1	1 4.8	0 0.0	11 52.4	2 9.5	0 0.0	56 266.7
II型介護医療院 (%)	17 100.0	13 76.5	12 70.6	5 5.9	1 29.4	5 29.4	3 17.6	2 11.8	9 52.9	7 41.2	0 0.0	8 47.1	0 0.0	0 0.0	65 382.4
I型・II型混合介護医療院 (%)	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 200.0
介護療養病床 (%)	355 100.0	39 11.0	96 27.0	259 73.0	19 5.4	22 6.2	6 1.7	12 3.4	89 25.1	29 8.2	0 0.0	172 48.5	26 7.3	2 2.5	778 219.2
医療療養病床 (%)	925 100.0	133 14.4	301 32.5	212 22.9	75 8.1	86 9.3	17 1.8	35 3.8	177 19.1	92 9.9	12 1.3	457 49.4	197 21.3	43 4.6	1837 198.6
うち療養病棟入院料1・2 (%)	690 100.0	113 16.4	262 38.0	161 23.3	58 8.4	67 9.7	17 2.5	31 4.5	147 21.3	78 11.3	11 1.6	371 53.8	121 17.5	25 3.6	1462 211.9
うち経過措置 (%)	81 100.0	14 17.3	26 32.1	20 24.7	10 12.3	6 7.4	2 2.5	2 2.5	13 16.0	8 9.9	0 0.0	37 45.7	17 21.0	2 2.5	157 193.8
うち有床診療所療養病床入院基本料 (%)	165 100.0	12 7.3	16 9.7	33 20.0	8 4.8	15 9.1	0 0.0	3 1.8	20 12.1	9 5.5	0 0.0	56 33.9	61 37.0	16 9.7	249 150.9

介護施設における併設する医療機関の有する病床をみると、I型介護医療院では、療養病床（療養病棟入院基本料1・2（20:1））が80.0%で最も多かった。II型介護医療院でも、療養病床（療養病棟入院基本料1・2（20:1））が50.0%で最も多かった。介護療養型老人保健施設では、病床なし（無床診療所）が45.2%で最も多かった。

図表 19 併設する医療機関の有する病床

	合計	一般病床 (一般病棟入院基本料)	一般病床 (地域包括ケア施設等入院料を含む)	一般病床 (障害者施設等入院基本料)	一般病床 (有床診療所入院基本料)	一般病床 (その他)	療養病床 (療養病棟入院基本料)	療養病床 (療養病棟入院基本料)経過措置1 (25:1)	療養病床 (療養病棟入院基本料)経過措置2 (30:1)	療養病床 (療養病棟入院基本料)特別入院基本料	療養病床 (地域包括ケア病棟入院料を含む)	療養病床 (回復期リハビリテーション病棟入院料)	療養病床 (介護療養型病棟入院基本料)	療養病床 (有床診療所療養病棟入院基本料)	療養病床 (介護療養型病棟診療所)	その他の病床	病床なし (無床診療所)	累計(n) (%)
I型介護医療院 (%)	20 100.0	5 25.0	3 15.0	2 10.0	0 0.0	2 10.0	16 80.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	5 25.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0	3 15.0	0 0.0	39 195.0
II型介護医療院 (%)	16 100.0	3 18.8	3 18.8	0 0.0	3 18.8	12 75.0	5 31.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 37.5	2 12.5	1 6.3	1 6.3	0 0.0	3 18.8	4 25.0	31 193.8
I型・II型混合介護医療院 (%)	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 150.0
介護療養型老人保健施設 (%)	42 100.0	6 14.3	1 2.4	2 4.8	6 14.3	0 0.0	14 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	19 45.2	2 4.8

### 3. 患者・利用者の概要

患者・利用者の概要結果は以下の通りであった。

#### (1) 患者・利用者の基本情報

施設類型別の患者・利用者の年齢構成をみると、いずれの施設においても85～89歳、又は90～94歳が最も多い構成比となっていた。また、性別では、いずれの施設においても女性が60%以上を占めていた。

図表 20 患者・利用者の年齢

	合計	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	無回答
合計 (%)	3965 100.0	146 3.7	124 3.1	242 6.1	357 9.0	685 17.3	981 24.7	899 22.7	427 10.8	98 2.5	6 0.2
介護医療院 (%)	1230 100.0	19 1.5	40 3.3	58 4.7	105 8.5	212 17.2	336 27.3	295 24.0	129 10.5	35 2.8	1 0.1
介護療養型医療施設 (%)	596 100.0	9 1.5	13 2.2	20 3.4	40 6.7	95 15.9	154 25.8	170 28.5	79 13.3	15 2.5	1 0.2
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床 (%)	1505 100.0	92 6.1	57 3.8	125 8.3	159 10.6	279 18.5	338 22.5	289 19.2	140 9.3	25 1.7	1 0.1
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床 (%)	164 100.0	8 4.9	5 3.0	10 6.1	15 9.1	25 15.2	28 17.1	41 25.0	23 14.0	9 5.5	0 0.0
介護療養型老人保健施設 (%)	315 100.0	11 3.5	4 1.3	21 6.7	23 7.3	50 15.9	82 26.0	72 22.9	39 12.4	12 3.8	1 0.3
無回答 (%)	155 100.0	7 4.5	5 3.2	8 5.2	15 9.7	24 15.5	43 27.7	32 20.6	17 11.0	2 1.3	2 1.3

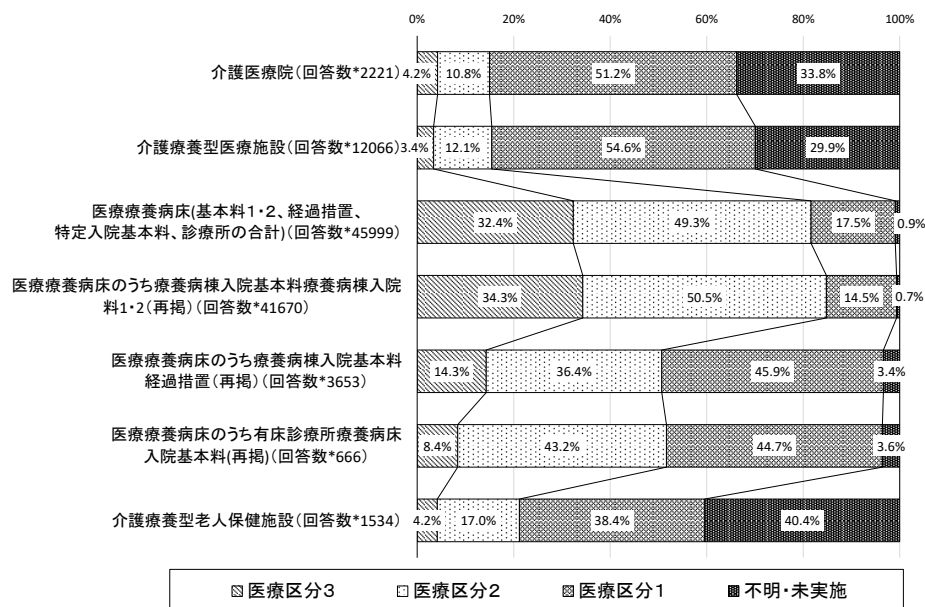
図表 21 患者・利用者の性別

	合計	男	女	無回答
合計 (%)	3965 100.0	1208 30.5	2750 69.4	7 0.2
介護医療院 (%)	1230 100.0	353 28.7	876 71.2	1 0.1
介護療養型医療施設 (%)	596 100.0	135 22.7	459 77.0	2 0.3
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床 (%)	1505 100.0	543 36.1	960 63.8	2 0.1
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床 (%)	164 100.0	44 26.8	120 73.2	0 0.0
介護療養型老人保健施設 (%)	315 100.0	78 24.8	237 75.2	0 0.0
無回答 (%)	155 100.0	55 35.5	98 63.2	2 1.3

## (2) 医療区分

患者・利用者の医療区分の構成のうち、医療区分3の構成比を施設類型別にみると、医療療養病床（基本料1・2、経過措置、特定入院基本料、診療所の合計）が32.4%で最も多かった。介護医療院では4.2%、介護療養型医療施設では3.4%、介護療養型老人保健施設では4.2%であった。

図表 22 利用者の状態像（医療区分）（平成30年9月30日24時時点）（施設票）



\*回答数は施設票の患者・利用者数

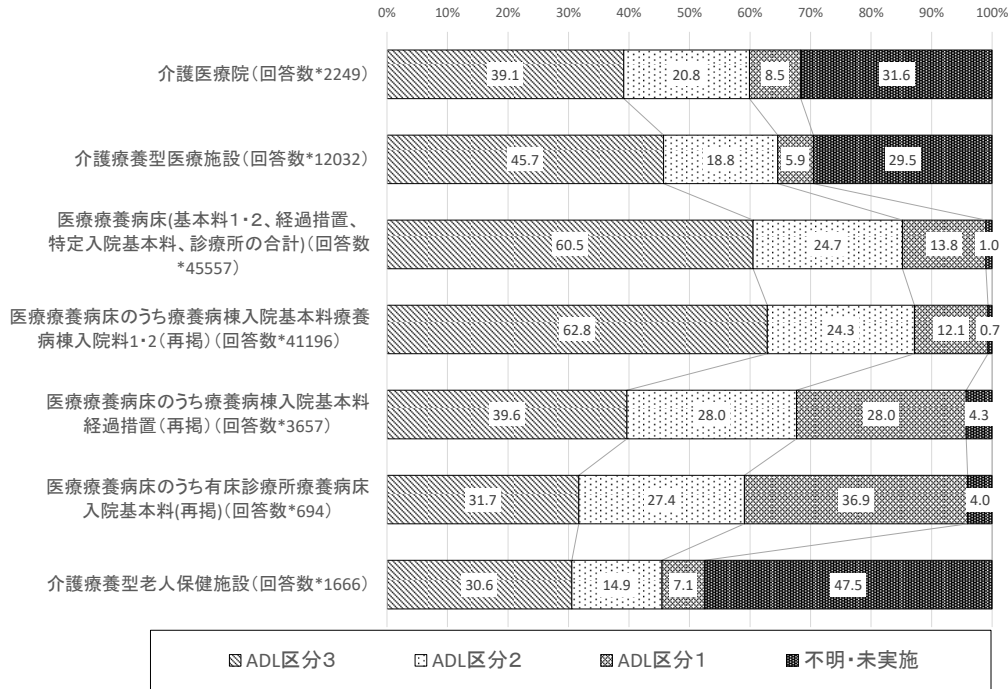
図表 23 利用者の状態像（医療区分）（平成30年9月30日24時時点）（施設票）

	施設数	合計人数	医療区分1	医療区分2	医療区分3	不明・未実施
I型介護医療院	18	1244	519	144	67	514
(%)	-	100.0	41.7	11.6	5.4	41.3
II型介護医療院	13	634	443	82	10	99
(%)	-	100.0	69.9	12.9	1.6	15.6
I型・II型混合介護医療院	2	343	175	13	17	138
(%)	-	100.0	51.0	3.8	5.0	40.2
介護療養型医療施設(病院)	250	11539	6269	1341	381	3548
(%)	-	100.0	54.3	11.6	3.3	30.7
うち療養機能強化型A	122	7579	3934	913	242	2490
(%)	-	100.0	51.9	12.0	3.2	32.9
うち療養機能強化型B	21	868	202	47	23	596
(%)	-	100.0	23.3	5.4	2.6	68.7
うちその他	102	2959	2041	346	110	462
(%)	-	100.0	69.0	11.7	3.7	15.6
介護療養型医療施設(診療所)	75	527	322	113	30	62
(%)	-	100.0	61.1	21.4	5.7	11.8
うち療養機能強化型A	4	50	36	14	0	0
(%)	-	100.0	72.0	28.0	0.0	0.0
うち療養機能強化型B	2	17	10	7	0	0
(%)	-	100.0	58.8	41.2	0.0	0.0
うちその他	68	454	276	92	30	56
(%)	-	100.0	60.8	20.3	6.6	12.3
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1	540	35721	4104	18430	12944	243
(%)	-	100.0	11.5	51.6	36.2	0.7
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2	134	5949	1953	2610	1355	31
(%)	-	100.0	32.8	43.9	22.8	0.5
医療療養病棟入院基本料 経過措置1	63	3544	1596	1305	519	124
(%)	-	100.0	45.0	36.8	14.6	3.5
医療療養病棟入院基本料 経過措置2	4	109	81	24	4	0
(%)	-	100.0	74.3	22.0	3.7	0.0
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料	1	10	2	3	5	0
(%)	-	100.0	20.0	30.0	50.0	0.0
有床診療所療養病棟入院基本料	142	666	298	288	56	24
(%)	-	100.0	44.7	43.2	8.4	3.6
介護療養型老人保健施設	37	1534	589	261	64	620
(%)	-	100.0	38.4	17.0	4.2	40.4

### (3) ADL区分

患者・利用者のADL区分の構成のうち、ADL区分3の構成比を施設類型別にみると、医療療養病床（基本料1・2、経過措置、特定入院基本料、診療所の合計）が60.5%で最も多かった。介護医療院では39.1%、介護療養型医療施設では45.7%、介護療養型老人保健施設では30.6%であった。

図表 24 利用者の状態像（ADL区分）（平成30年9月30日24時時点）（施設票）



\*回答数は施設票の患者・利用者数

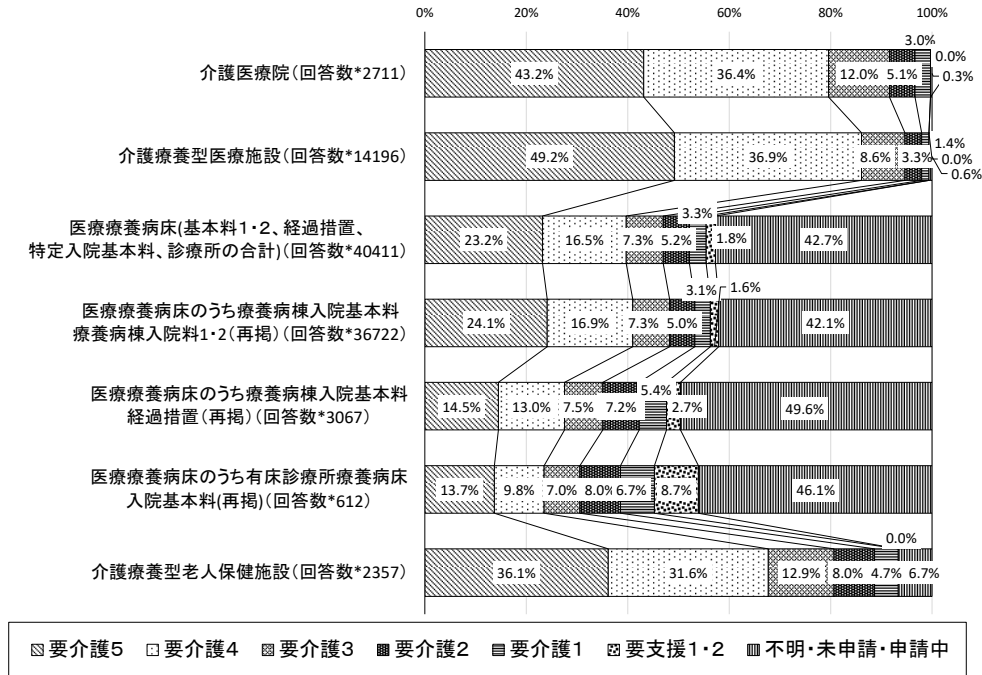
図表 25 利用者の状態像（ADL区分）（平成30年9月30日24時時点）（施設票）

	施設数	合計人数	ADL区分1 (%)	ADL区分2 (%)	ADL区分3 (%)	不明・未実施 (%)
I型介護医療院 (%)	18	1272	62.4	14.7	43.2	37.3
II型介護医療院 (%)	13	634	125.0	189.0	221.0	99.0
I型・II型混合介護医療院 (%)	2	343	4.0	91.0	110.0	138.0
介護療養型医療施設(病院) (%)	251	11513	620.0	2132.0	5268.0	3493.0
うち療養機能強化型A (%)	122	7617	323.0	1307.0	3521.0	2466.0
うち療養機能強化型B (%)	21	814	13.0	57.0	148.0	596.0
うちその他 (%)	103	2949	271.0	735.0	1512.0	431.0
介護療養型医療施設(診療所) (%)	74	519	89.0	135.0	233.0	62.0
うち療養機能強化型A (%)	4	50	0.0	16.0	34.0	0.0
うち療養機能強化型B (%)	2	17	6.0	6.0	5.0	0.0
うちその他 (%)	67	446	83.0	113.0	194.0	56.0
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1 (%)	538	35280	3980.0	8498.0	22604.0	198.0
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2 (%)	133	5916	1023.0	1523.0	3287.0	81.0
医療療養病棟入院基本料 経過措置1 (%)	63	3548	1001.0	974.0	1416.0	157.0
医療療養病棟入院基本料 経過措置2 (%)	4	109	24.0	51.0	34.0	0.0
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料 (%)	1	10	2.0	3.0	5.0	0.0
有床診療所療養病床入院基本料 (%)	142	694	256.0	190.0	220.0	28.0
介護療養型老人保健施設 (%)	36	1666	118.0	248.0	509.0	791.0

#### (4) 要介護度

患者・利用者の要介護度別の構成のうち、要介護5の構成比を施設類型別にみると、介護療養型医療施設が49.2%で最も多かった。介護医療院では43.2%、医療療養病床（基本料1・2、経過措置、特定入院基本料、診療所の合計）では23.2%、介護療養型老人保健施設では36.1%であった。

図表 26 利用者の状態像（要介護度）（平成30年9月30日24時時点）（施設票）



\*回答数は施設票の患者・利用者数

図表 27 利用者の状態像（要介護度）（平成30年9月30日24時時点）（施設票）

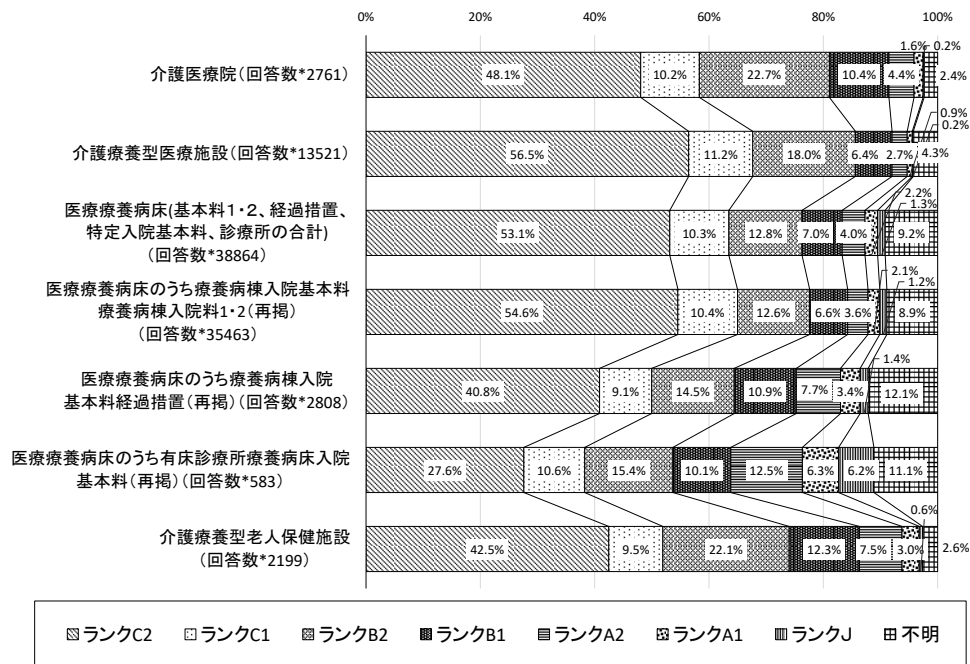
施設	施設数	合計人数	1 ・ 2 支 援	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5	申 請 中	不 申 請 ・ 未
I型介護医療院 (%)	20	1386	1.9	26	32	142	523	661	2	
II型介護医療院 (%)	17	982	5.3	52	88	133	335	373	1	
I型・II型混合介護医療院 (%)	2	343	1.2	4	17	50	130	136	6	
介護療養型医療施設(病院) (%)	269	13567	1.3	177	413	1141	5014	6734	88	
うち療養機能強化型A (%)	130	8470	0.9	78	184	585	3177	4370	76	
うち療養機能強化型B (%)	23	1370	2.3	31	48	117	512	662	0	
うちその他 (%)	110	3386	1.8	60	169	395	1225	1527	10	
介護療養型医療施設(診療所) (%)	83	629	4.1	26	53	73	225	250	2	
うち療養機能強化型A (%)	5	56	0.0	0	0	1	21	34	0	
うち療養機能強化型B (%)	2	17	0.0	0	2	3	5	7	0	
うちその他 (%)	75	550	4.7	26	51	69	196	206	2	
医療療養病床入院基本料 療養病床入院料1 (%)	503	31393	1.6	493	965	1501	5292	7758	661	12492
医療療養病床入院基本料 療養病床入院料2 (%)	125	5329	2.0	108	159	321	444	899	1098	93
医療療養病床入院基本料 経過措置1 (%)	58	2958	2.6	78	159	205	218	377	427	54
医療療養病床入院基本料 経過措置2 (%)	4	109	5.5	6	6	15	13	23	18	1
医療療養病床入院基本料 特別入院基本料 (%)	1	10	0.0	0	2	2	1	5	0	0
有床診療所療養病床入院基本料 (%)	136	612	8.7	53	41	49	43	60	84	7
介護療養型老人保健施設 (%)	46	2357	4.7	110	189	305	744	852	157	



(5) 障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）

患者・利用者の障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）の構成のうち、ランク C2 の構成比を施設類型別にみると、介護療養型医療施設が 56.5% で最も多かった。介護医療院では 48.1%、医療療養病床（基本料 1・2、経過措置、特定入院基本料、診療所の合計）では 53.1%、介護療養型老人保健施設では 42.5% であった。

図表 28 利用者の状態像（障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度））  
（平成 30 年 9 月 30 日 24 時時点）（施設票）



\*回答数は施設票の患者・利用者数

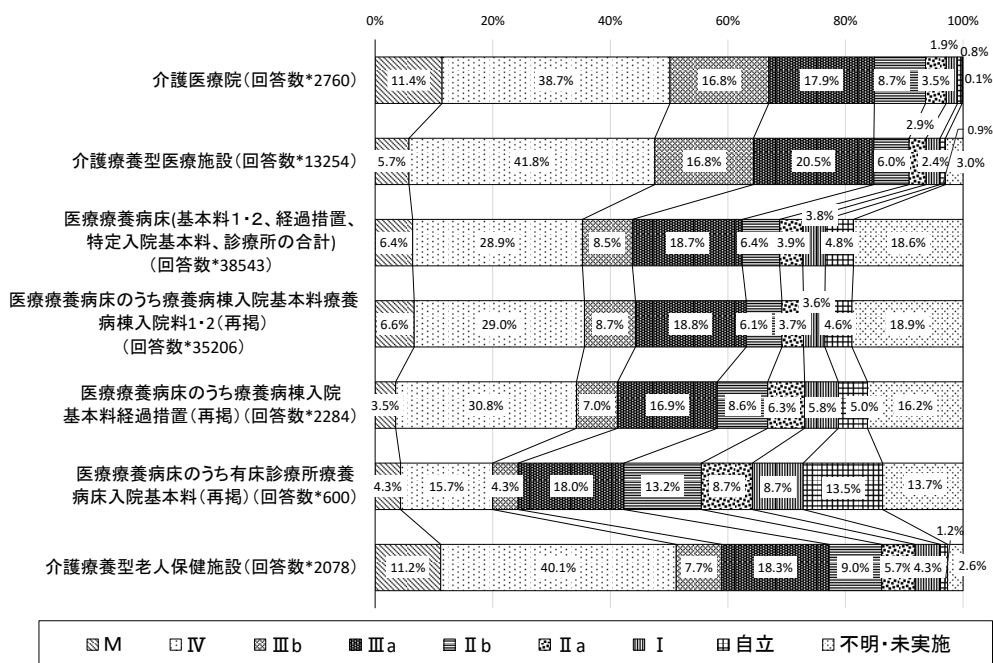
図表 29 利用者の状態像（障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度））  
（平成 30 年 9 月 30 日 24 時時点）（施設票）

施設	施設数	合計人数	ランクJ	ランクA1	ランクA2	ランクB1	ランクB2	ランクC1	ランクC2	不明
I型介護医療院	21	1436	5	4	39	114	319	163	731	61
II型介護医療院	17	982	0	35	73	158	217	100	398	1
I型・II型混合介護医療院	2	343	0	5	9	16	92	20	198	3
介護療養型医療施設(病院)	260	12916	20	100	299	810	2333	1435	7358	561
うち療養機能強化型A	126	8215	7	30	118	388	1465	807	4963	437
うち療養機能強化型B	23	1245	1	6	46	118	205	146	664	59
うちその他	106	3321	10	63	127	296	650	453	1657	65
介護療養型医療施設(診療所)	80	605	2	20	61	56	95	80	275	16
うち療養機能強化型A	5	56	0	0	0	0	9	4	43	0
うち療養機能強化型B	2	16	0	0	5	2	3	6	6	0
うちその他	72	527	2	20	56	56	84	72	221	16
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1	493	30470	328	579	1003	1933	3817	3172	16892	2746
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2	126	4993	109	151	260	420	665	524	2456	408
医療療養病棟入院基本料 経過措置1	54	2699	37	87	210	288	379	244	1120	334
医療療養病棟入院基本料 経過措置2	4	109	3	9	7	17	27	12	27	7
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料	1	10	0	2	0	5	0	3	0	0
有床診療所療養病棟入院基本料	132	583	36	37	73	59	90	62	161	65
介護療養型老人保健施設	45	2199	13	66	164	270	486	208	934	58

## (6) 認知症高齢者の日常生活自立度

患者・利用者の認知症高齢者の日常生活自立度の構成のうち、Ⅲb・Ⅳ・Mを合わせた構成比を施設類型別にみると、介護医療院が66.9%で最も多かった。介護療養型医療施設では64.3%、医療療養病床（基本料1・2、経過措置、特定入院基本料、診療所の合計）では43.8%、介護療養型老人保健施設では59.0%であった。

図表 30 利用者の状態像（認知症高齢者の日常生活自立度）  
（平成30年9月30日24時時点）（施設票）



\*回答数は施設票の患者・利用者数

図表 31 利用者の状態像（認知症高齢者の日常生活自立度）  
（平成30年9月30日24時時点）（施設票）

施設	施設数	合計人数	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明・未
I型介護医療院 (%)	21	1438	10.0	24.0	34.0	105.0	175.0	292.0	634.0	164.0	0.0
II型介護医療院 (%)	17	983	0.7	1.7	2.4	7.3	12.2	20.3	44.1	11.4	0.0
I型・II型混合介護医療院 (%)	2	343	0.5	2.2	6.0	12.7	20.8	14.4	29.7	13.2	0.4
介護療養型医療施設(病院) (%)	262	13045	2.0	2.0	1.2	3.2	34.1	9.0	42.3	6.1	0.0
うち療養機能強化型A (%)	128	8306	0.9	2.4	2.8	5.8	20.5	17.0	42.1	5.6	2.9
うち療養機能強化型B (%)	23	1341	0.7	1.6	2.6	4.9	18.4	18.9	43.8	6.0	3.0
うちその他 (%)	106	3264	0.5	2.7	2.1	4.0	12.8	15.0	55.3	5.4	2.2
介護療養型医療施設(診療所) (%)	80	619	1.5	3.8	3.2	9.0	29.0	13.1	32.5	5.0	3.0
うち療養機能強化型A (%)	5	56	0.8	2.9	5.2	9.7	20.4	12.0	35.4	8.6	5.2
うち療養機能強化型B (%)	2	17	0.0	0.0	0.0	0.0	8.9	21.4	64.3	5.4	0.0
うちその他 (%)	72	540	2.0	2.0	0.0	1.0	4.0	1.0	4.0	3.0	0.0
医療療養病床入院基本料 療養病棟入院料1 (%)	492	30188	11.8	11.8	0.0	5.9	23.5	5.9	23.5	17.6	0.0
医療療養病床入院基本料 療養病棟入院料2 (%)	126	5018	0.6	3.0	5.7	10.2	21.7	11.3	33.0	8.7	5.9
医療療養病床入院基本料 経過措置1 (%)	56	2618	4.2	3.4	3.3	5.6	19.1	8.8	29.7	6.6	19.4
医療療養病床入院基本料 経過措置2 (%)	4	109	7.3	5.1	5.8	8.8	17.5	7.8	24.5	7.1	15.9
医療療養病床入院基本料 特別入院基本料 (%)	1	10	5.0	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
有床診療所療養病床入院基本料 (%)	130	600	3.0	16.0	31.0	55.0	117.0	61.0	178.0	47.0	32.0
介護療養型老人保健施設 (%)	44	2134	13.5	8.7	8.7	13.2	18.0	4.3	15.7	4.3	13.7



## (7) 重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者の状況

重篤な身体疾患を有する者を 100 床あたりの患者数で見ると、I 型介護医療院では、① NYHA 分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態が 3.2 人で最も多く、次いで⑤連続する 3 日以上 JCS100 以上の意識障害が継続している状態が 1.2 人であった。II 型介護医療院では、⑤連続する 3 日以上 JCS100 以上の意識障害が継続している状態が 0.9 人で最も多かった。介護療養型医療施設（病院）では、① NYHA 分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態が 3.6 人で最も多く、次いで⑤連続する 3 日以上 JCS100 以上の意識障害が継続している状態が 1.9 人であった。介護療養型医療施設（診療所）では、① NYHA 分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態が 3.5 人で最も多く、次いで⑤連続する 3 日以上 JCS100 以上の意識障害が継続している状態が 2.0 人であった。医療療養病棟入院基本料 1 では、① NYHA 分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態が 5.8 人で最も多く、次いで⑤連続する 3 日以上 JCS100 以上の意識障害が継続している状態が 5.4 人であった。医療療養病棟入院基本料 2 では、⑤連続する 3 日以上 JCS100 以上の意識障害が継続している状態が 2.5 人で最も多く、次いで① NYHA 分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態が 2.3 人であった。有床診療所療養病床入院基本料では、① NYHA 分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態が 2.5 人で最も多く、次いで⑤連続する 3 日以上 JCS100 以上の意識障害が継続している状態が 2.1 人であった。介護療養型老人保健施設では、① NYHA 分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態が 0.7 人で最も多かった。

身体合併症を有する認知症高齢者を 100 床あたりの患者数で見ると、いずれも③認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又は M に該当する者が最も多く、I 型介護医療院では 68.1 人、II 型介護医療院では 42.1 人、介護療養型医療施設（病院）では 56.7 人、介護療養型医療施設（診療所）では 37.9 人、医療療養病棟入院基本料 1 では 34.7 人、①医療療養病棟入院基本料 2 では 26.4 人、有床診療所療養病床入院基本料では 13.7 人、介護療養型老人保健施設では、40.1 人であった。

図表 32 重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者の状況  
(平成 30 年 9 月 30 日 24 時時点) (施設票)

	施設数	100床あたり患者数 (重複あり)										
		重篤な身体疾患を有する者										⑥単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態
		①N Y H A 分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	②H u g h - J o n e s 分類Ⅳ以上の呼吸器を困難の状態として連続している状態	③各週2日以上的人工腎臓の実施が必要である者				④C h i l d - P u g h 分類C以上の肝臓機能障害の状態	⑤連続する3日以上、J C S 1 0 0 以上の意識障害が継続している状態			
下常時低血圧(収縮時血圧が90mmHg以下)	障害を呈するもの	透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を有するもの	骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	出血性消化器病変を有するもの	害の状態	害が継続している状態	⑦現に経口により食事を摂取している者であつて、視鏡検査により誤嚥が認められる状態					
I型介護医療院	21	3.2	0.5	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	1.2	0.0	1.1	
II型介護医療院	17	0.8	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.1	0.8	
I型・II型混合介護医療院	2	3.2	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	
介護療養型医療施設(病院)	271	3.6	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1.9	0.0	0.9	
うち療養機能強化型A	132	5.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	2.3	0.0	0.9	
うち療養機能強化型B	23	2.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.9	
うちその他	110	1.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.3	0.0	1.0	
介護療養型医療施設(診療所)	85	3.5	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	2.0	0.0	1.0	
うち療養機能強化型A	5	3.5	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	
うち療養機能強化型B	2	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	
うちその他	77	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	2.2	0.0	0.5	
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1	546	5.8	3.2	0.2	0.3	0.0	0.2	0.3	5.4	0.1	0.8	
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2	134	2.3	1.7	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	2.5	0.3	0.8	
医療療養病棟入院基本料 経過措置1	63	1.8	0.5	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	2.5	0.1	1.7	
医療療養病棟入院基本料 経過措置2	4	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料	1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
有床診療所療養病棟入院基本料	148	2.5	0.9	0.1	0.1	0.0	0.1	0.2	2.1	0.8	1.4	
介護療養型老人保健施設	46	0.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.0	0.5	

	100床あたり患者数 (重複あり)			
	身体合併症を有する認知症高齢者			(左記以上の状態に当てはまる入院患者の実人数)
①認知症であつて、悪性腫瘍等と撮影された者	②診断された者	③ラックⅢb、Ⅳ者又は日常生活自立度のMに該当する者	④	
I型介護医療院	2.9	1.4	68.1	72.6
II型介護医療院	1.8	2.3	42.1	45.1
I型・II型混合介護医療院	0.1	0.2	17.1	14.8
介護療養型医療施設(病院)	2.7	1.9	56.7	59.4
うち療養機能強化型A	3.2	1.7	64.2	69.4
うち療養機能強化型B	2.1	2.2	58.8	51.0
うちその他	1.8	2.2	37.5	38.6
介護療養型医療施設(診療所)	3.0	3.5	37.9	39.5
うち療養機能強化型A	1.8	5.3	56.1	66.7
うち療養機能強化型B	5.3	0.0	31.6	31.6
うちその他	3.0	3.5	36.4	37.2
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1	2.9	6.1	34.7	43.9
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2	2.2	3.0	26.4	32.2
医療療養病棟入院基本料 経過措置1	1.2	3.7	26.1	29.7
医療療養病棟入院基本料 経過措置2	0.8	3.8	28.5	28.1
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料	0.0	0.0	0.0	9.1
有床診療所療養病棟入院基本料	1.5	2.4	13.7	17.1
介護療養型老人保健施設	1.9	1.7	40.1	36.1

### (8) 患者・利用者の傷病の状況

患者・利用者の傷病の状況をみると（複数回答）、介護医療院では、「認知症（アルツハイマー病等）」が 55.2%で最も多く、次いで「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が 55.1%であった。介護療養型医療施設でも、「認知症（アルツハイマー病等）」が 55.0%で最も多く、次いで「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が 50.3%であった。療養病棟入院基本料1・2を算定している病床では、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が 46.5%で最も多かった。療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床では、「高血圧」が 36.6%で最も多かった。介護療養型老人保健施設では、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が 54.6%で最も多く、次いで「認知症（アルツハイマー病等）」が 51.1%であった。

同様に、主な傷病の場合でみると、いずれの施設でも「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が最も多かった。

図表 33 該当する傷病（患者・利用者票）（複数回答）

	合計	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常症）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格系の病気（骨粗しょう症、関節症等）	外傷（転倒・骨折等）	がん（新生物）	血液・免疫の病気	うつ病・精神疾患	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	歯科疾患	その他の難病	その他	ない	無回答	累計（n）（%）
合計	3965	1312	1977	1196	691	186	827	597	527	714	390	260	106	342	1821	216	203	27	7	87	654	6	33	12179
(%)	100.0	33.1	49.9	30.2	17.4	4.7	20.9	15.1	13.3	18.0	9.8	6.6	2.7	8.6	45.9	5.4	5.1	0.7	0.2	2.2	16.5	0.2	0.8	307.2
介護医療院	1230	385	678	369	200	43	208	185	177	208	134	74	42	75	679	32	63	6	3	11	188	0	12	3772
(%)	100.0	31.3	55.1	30.0	16.3	3.5	16.9	15.0	14.4	16.9	10.9	6.0	3.4	6.1	55.2	2.6	5.1	0.5	0.2	0.9	15.3	0.0	1.0	306.7
介護療養型医療施設	596	198	300	171	81	26	72	74	57	94	49	25	7	43	328	26	21	2	2	12	87	1	5	1681
(%)	100.0	33.2	50.3	28.7	13.6	4.4	12.1	12.4	9.6	15.8	8.2	4.2	1.2	7.2	55.0	4.4	3.5	0.3	0.3	2.0	14.6	0.2	0.8	282.0
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	1505	506	700	471	301	74	435	261	221	252	129	116	36	152	526	127	81	12	2	52	276	5	12	4747
(%)	100.0	33.6	46.5	31.3	20.0	4.9	28.9	17.3	14.7	16.7	8.6	7.7	2.4	10.1	35.0	8.4	5.4	0.8	0.1	3.5	18.3	0.3	0.8	315.4
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	164	60	99	42	27	9	19	18	17	50	27	9	4	25	51	7	13	2	0	3	29	0	1	472
(%)	100.0	36.6	36.0	25.6	16.5	5.5	11.6	11.0	10.4	30.5	16.5	5.5	2.4	15.2	31.1	4.3	7.9	1.2	0.0	1.8	17.7	0.0	0.6	287.8
介護療養型老人保健施設	315	109	172	102	51	24	57	30	29	76	36	26	6	29	161	14	16	3	0	8	36	0	2	987
(%)	100.0	34.6	54.6	32.4	16.2	7.6	18.1	9.5	9.2	24.1	11.4	8.3	1.9	9.2	51.1	4.4	5.1	1.0	0.0	2.5	11.4	0.0	0.6	313.3
無回答	155	54	68	41	31	10	36	29	26	34	15	10	11	18	76	10	9	2	0	1	38	0	1	520
(%)	100.0	34.8	43.9	26.5	20.0	6.5	23.2	18.7	16.8	21.9	9.7	6.5	7.1	11.6	49.0	6.5	5.8	1.3	0.0	0.6	24.5	0.0	0.6	335.5

図表 34 該当する傷病（患者・利用者票）（主なもの）

	合計	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常症）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格系の病気（骨粗しょう症、関節症等）	外傷（転倒・骨折等）	がん（新生物）	血液・免疫の病気	うつ病・精神疾患	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	歯科疾患	その他の難病	その他	ない	無回答
合計	3965	52	872	204	85	1	157	34	72	79	84	62	11	53	462	94	2	0	0	52	111	0	1478
(%)	100.0	1.3	22.0	5.1	2.1	0.0	4.0	0.9	1.8	2.0	2.1	1.6	0.3	1.3	11.7	2.4	0.1	0.0	0.0	1.3	2.8	0.0	37.3
介護医療院	1230	13	305	66	20	0	33	7	21	16	23	19	4	12	223	8	1	0	0	5	23	0	431
(%)	100.0	1.1	24.8	5.4	1.6	0.0	2.7	0.6	1.7	1.3	1.9	1.5	0.3	1.0	18.1	0.7	0.1	0.0	0.0	0.4	1.9	0.0	35.0
介護療養型医療施設	596	10	129	20	11	0	8	4	1	9	8	5	0	5	103	9	0	0	0	6	8	0	260
(%)	100.0	1.7	21.6	3.4	1.8	0.0	1.3	0.7	0.2	1.5	1.3	0.8	0.0	0.8	17.3	1.5	0.0	0.0	0.0	1.0	1.3	0.0	43.6
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	1505	14	293	84	35	0	98	20	39	24	29	26	4	24	75	65	1	0	0	37	61	0	576
(%)	100.0	0.9	19.5	5.6	2.3	0.0	6.5	1.3	2.6	1.6	1.9	1.7	0.3	1.6	5.0	4.3	0.1	0.0	0.0	2.5	4.1	0.0	38.3
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	164	6	25	6	7	0	2	1	4	13	13	5	0	5	10	3	0	0	0	1	6	0	57
(%)	100.0	3.7	15.2	3.7	4.3	0.0	1.2	0.6	2.4	7.9	7.9	3.0	0.0	3.0	6.1	1.8	0.0	0.0	0.0	0.6	3.7	0.0	34.8
介護療養型老人保健施設	315	4	91	21	7	1	11	1	3	14	8	6	1	4	33	4	0	0	0	3	6	0	97
(%)	100.0	1.3	28.9	6.7	2.2	0.3	3.5	0.3	1.0	4.4	2.5	1.9	0.3	1.3	10.5	1.3	0.0	0.0	0.0	1.0	1.9	0.0	30.8
無回答	155	5	29	7	5	0	5	1	4	3	3	1	2	3	18	5	0	0	0	0	7	0	57
(%)	100.0	3.2	18.7	4.5	3.2	0.0	3.2	0.6	2.6	1.9	1.9	0.6	1.3	1.9	11.6	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	36.8

### (9) 患者・利用者の生活状況

患者・利用者の主な日中の生活の場所をみると、いずれの施設類型においても「自室・ベッド・臥位」の割合が多かった。

食事の場所では、「食堂等自室以外」の構成比が高い施設は、介護医療院、介護療養型老人保健施設であった。「自室」の構成比が高い施設は、介護療養型医療施設、療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床であった。「食事はとっていない（経管栄養等）」の構成比が高い施設は、療養病棟入院基本料1・2を算定している病床であった。

食事の時間では、いずれの施設類型においても「決められた時間に提供されている」の構成比が最も高かった。

図表 35 主な日中の生活場所の状況（患者・利用者票）

	合計	自室以外 (食堂・レクリエーションルーム等)	自室・ベッド上・座位	自室・ベッド上・臥位	無回答
合計	3965	536	517	2861	51
(%)	100.0	13.5	13.0	72.2	1.3
介護医療院	1230	259	138	829	4
(%)	100.0	21.1	11.2	67.4	0.3
介護療養型医療施設	596	53	68	465	10
(%)	100.0	8.9	11.4	78.0	1.7
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	1505	91	210	1176	28
(%)	100.0	6.0	14.0	78.1	1.9
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	164	29	38	93	4
(%)	100.0	17.7	23.2	56.7	2.4
介護療養型老人保健施設	315	74	39	201	1
(%)	100.0	23.5	12.4	63.8	0.3
無回答	155	30	24	97	4
(%)	100.0	19.4	15.5	62.6	2.6

図表 36 食事の場所（患者・利用者票）

	合計	食堂等自室以外	自室	食事はとっていない（経管栄養等）	無回答
合計	3965	1223	1150	1543	49
(%)	100.0	30.8	29.0	38.9	1.2
介護医療院	1230	512	299	411	8
(%)	100.0	41.6	24.3	33.4	0.7
介護療養型医療施設	596	171	221	197	7
(%)	100.0	28.7	37.1	33.1	1.2
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	1505	279	453	744	29
(%)	100.0	18.5	30.1	49.4	1.9
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	164	64	67	33	0
(%)	100.0	39.0	40.9	20.1	0.0
介護療養型老人保健施設	315	149	66	100	0
(%)	100.0	47.3	21.0	31.7	0.0
無回答	155	48	44	58	5
(%)	100.0	31.0	28.4	37.4	3.2

図表 37 食事の時間（患者・利用者票）

	合計	決められた時間に提供されている	本人の希望する時間に提供されている	日によって提供時間が異なる	無回答
合計 (%)	3965 100.0	3537 89.2	11 0.3	12 0.3	405 10.2
介護医療院 (%)	1230 100.0	1143 92.9	2 0.2	1 0.1	84 6.8
介護療養型医療施設 (%)	596 100.0	568 95.3	0 0.0	2 0.3	26 4.4
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床 (%)	1505 100.0	1222 81.2	9 0.6	8 0.5	266 17.7
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床 (%)	164 100.0	161 98.2	0 0.0	1 0.6	2 1.2
介護療養型老人保健施設 (%)	315 100.0	303 96.2	0 0.0	0 0.0	12 3.8
無回答 (%)	155 100.0	140 90.3	0 0.0	0 0.0	15 9.7

#### 4. サービスの提供実態の概要

##### (1) 医療処置の状況

平成30年9月の1か月間において、介護医療院の入所者に対して行った医療処置の人数をみると、I型介護医療院では、「リハビリテーション」が1,159人で最も多く、次いで「排便」の477人、「喀痰吸引」の443人、「浣腸」の426人であった。II型介護医療院では、同様に「リハビリテーション」が735人で最も多く、次いで「浣腸」の218人、「喀痰吸引」の199人であった。

図表 38 医療処置の状況（介護医療院票）

	施設数	定員数	胃ろう・腸ろうによる栄養管理	経鼻経管栄養	中心静脈栄養	カテーテル（尿道留置カテーテル・コンドームカテーテル）の管理	ストーマ（人工肛門・人口膀胱）の管理	喀痰吸引	ネブライザー	酸素療法（酸素吸入）	気管切開のケア	人工呼吸器の管理	静脈内注射（点滴含む）	皮内、皮下及び筋肉内注射（インスリン注射を除く）
合計	40	3095	443	528	54	350	32	727	10	188	18	7	400	46
I型介護医療院	21	1652	229	354	47	218	16	443	5	140	13	7	271	30
II型介護医療院	17	1044	183	125	4	94	15	199	4	25	4	0	75	12
I型・II型混合介護医療院	2	399	31	49	3	38	1	85	1	23	1	0	54	4
	簡易血糖測定	インスリン注射	疼痛管理（麻薬なし）	疼痛管理（麻薬使用）	創傷処置	褥瘡処置	浣腸	排便	導尿	膀胱洗浄	持続モニター測定（血圧・心拍・酸素飽和度等）	リハビリテーション	ターミナルケア	歯科治療（訪問を含む）
合計	208	96	99	14	228	162	644	780	47	56	65	2197	320	269
I型介護医療院	148	51	52	14	136	97	426	477	25	32	43	1159	240	151
II型介護医療院	54	33	43	0	68	42	218	186	20	16	11	735	37	75
I型・II型混合介護医療院	6	12	4	0	24	23	0	117	2	8	11	303	43	43

## (2) リハビリテーションの状況

介護保険適用の場合において、患者・利用者 100 人あたりのリハビリテーションに関する各種加算を取得した人数を介護施設ごとにみると、いずれの施設も「口腔衛生管理加算」が最も多く、次いで「経口維持加算」となっていた。

同様に、介護保険適用の場合において、患者・利用者 100 人あたりのリハビリテーションに関する特定（特別）診療費を算定した人数をみると、いずれの施設も「理学療法Ⅰ・Ⅱ」が最も多く、次いで「作業療法」となっていた。

また、医療保険適用の場合において、患者・利用者 100 人あたりのリハビリテーションの各種加算を取得した人数を医療施設ごとにみると、療養病棟入院基本料 1・2 を算定している病床では、「脳血管疾患等リハビリテーション料」が 27.1 人で最も多く、次いで「運動器リハビリテーション料」の 18.4 人であった。療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床では、「運動器リハビリテーション料」が 31.7 人で最も多く、次いで「脳血管疾患等リハビリテーション料」の 20.1 人であった。

図表 39 患者・利用者 100 人あたりの介護保険適用の場合に算定したリハビリテーションに関する加算（平成 30 年 9 月分）（患者・利用者票、複数回答）

	合計	経口維持加算	経口移行加算	口腔衛生管理加算	排せつ支援加算
合計	2141	8.5	0.5	15.9	1.5
介護医療院	1230	9.5	0.7	19.4	2.0
介護療養型医療施設	596	8.4	0.3	10.6	1.3
介護療養型老人保健施設	315	4.4	0.3	12.1	0.3
無回答	155	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 40 患者・利用者 100 人あたりの介護保険適用の場合に算定したリハビリテーションに関する特定（特別）診療費（平成 30 年 9 月分）（患者・利用者票、複数回答）

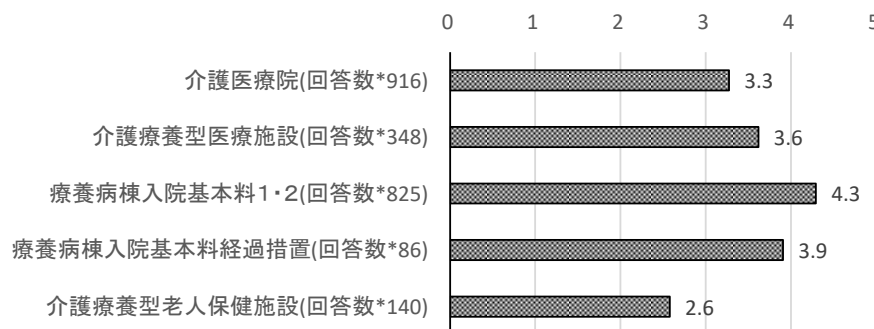
	合計	理学療法（Ⅰ・Ⅱ）	作業療法	言語聴覚療法	集団コミュニケーション療法	摂食機能療法	短期集中リハビリテーション	認知症短期集中リハビリテーション実施加算	精神科作業療法	認知症老人入院（入所）精神療法
合計	2141	45.1	22.2	10.5	0.4	4.1	7.0	1.4	0.4	0.6
介護医療院	1230	29.8	15.8	7.4	0.1	1.9	4.7	1.4	0.0	0.6
介護療養型医療施設	596	12.8	5.9	2.3	0.0	1.5	1.0	0.0	0.4	0.0
介護療養型老人保健施設	315	2.5	0.6	0.8	0.2	0.7	1.4	0.0	0.0	0.0
無回答	155	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 41 患者・利用者 100 人あたりの医療保険適用の場合に算定したリハビリテーションに関する加算（平成 30 年 9 月分）（患者・利用者票）

	合計	心大血管疾患リハビリテーション料	脳血管疾患等リハビリテーション料	廃用症候群リハビリテーション料	運動器リハビリテーション料	呼吸器リハビリテーション料	摂食機能療法	視能訓練	難病患者リハビリテーション料	障害児（者）リハビリテーション料	がん患者リハビリテーション料	認知症者リハビリテーション料	リンパ浮腫複合的治療料	集団コミュニケーション療法料
合計	1824	0.2	24.2	8.7	18.3	1.6	4.7	0.0	0.2	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0
療養病棟入院基本料 1・2 を算定している病床	1505	0.2	27.1	10.1	18.4	1.9	5.5	0.0	0.3	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	164	0.0	20.1	4.3	31.7	0.6	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	155	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

リハビリテーションの具体的な内容（1週間当たりの回数、1週間当たりの合計時間）については、療養病棟入院基本料1・2が4.3回（133.8分）で最も多く、次いで療養病棟入院基本料経過措置の3.9回（127.8分）、介護療養型医療施設の3.6回（90.9分）であった。

図表 42 リハビリテーションの具体的な内容（1週間当たりの回数）（患者・利用者票）

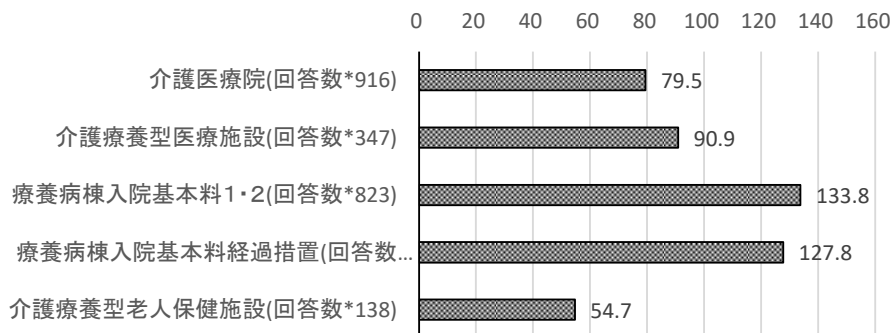


\*回答数は患者・利用者票の患者・利用者数

図表 43 リハビリテーションの具体的な内容（1週間当たりの回数）（患者・利用者票）

	施設数	合計	平均値
介護医療院	916	2999	3.3
介護療養型医療施設	348	1259	3.6
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	825	3542	4.3
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	86	336	3.9
介護療養型老人保健施設	140	361	2.6
無回答	4	45	11.3

図表 44 リハビリテーションの具体的な内容（1週間当たりの合計時間）（患者・利用者票）



\*回答数は患者・利用者票の患者・利用者数

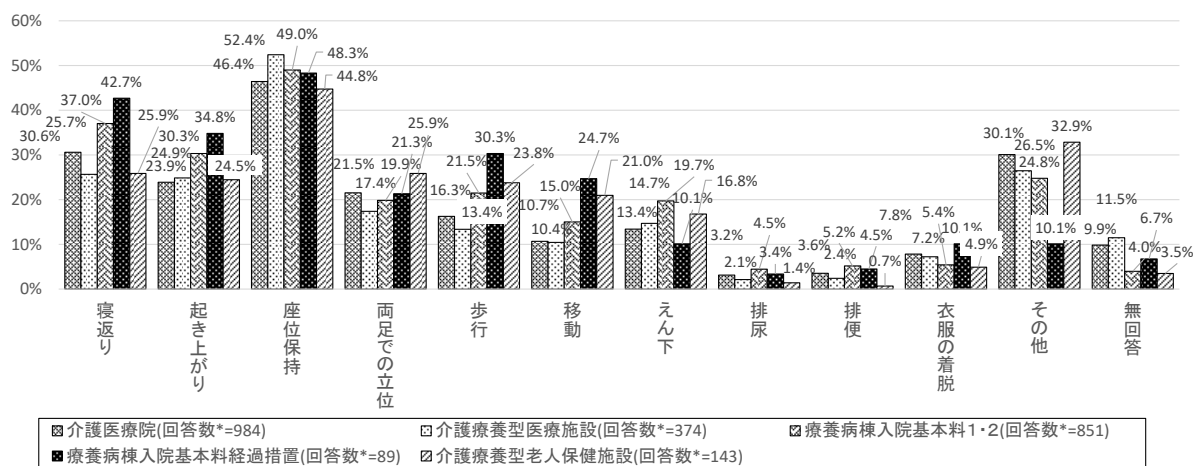
図表 45 リハビリテーションの具体的な内容（1週間当たりの合計時間）（患者・利用者票）

	施設数	合計	平均値
介護医療院	916	72777	79.5
介護療養型医療施設	347	31558	90.9
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	823	110149	133.8
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	86	10989	127.8
介護療養型老人保健施設	138	7553	54.7
無回答	4	680	170.0



リハビリテーションの具体的な内容のうち、維持向上させようとした生活機能では、各施設類型とも「座位保持」が最も大きかった。次いで「寝返り」や「起き上がり」、「両足での立位」等であった。

図表 46 リハビリテーションの具体的な内容 (維持向上させようとした生活機能)



\*回答数は患者・利用者票の患者・利用者数

図表 47 リハビリテーションの具体的な内容 (維持向上させようとした生活機能)

	合計	寝返り	起き上がり	座位保持	両足での立位	歩行	移動	えん下	排尿	排便	衣服の着脱	その他	無回答	累計 (n) (%)
合計	2445	787	652	1177	503	458	325	388	83	94	167	662	185	5481
(%)	100.0	32.2	26.7	48.1	20.6	18.7	13.3	15.9	3.4	3.8	6.8	27.1	7.6	224.2
介護医療院	984	301	235	457	212	160	105	132	31	35	77	296	97	2138
(%)	100.0	30.6	23.9	46.4	21.5	16.3	10.7	13.4	3.2	3.6	7.8	30.1	9.9	217.3
介護療養型医療施設	374	96	93	196	65	50	39	55	8	9	27	99	43	780
(%)	100.0	25.7	24.9	52.4	17.4	13.4	10.4	14.7	2.1	2.4	7.2	26.5	11.5	208.6
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	851	315	258	417	169	183	128	168	38	44	46	211	34	2011
(%)	100.0	37.0	30.3	49.0	19.9	21.5	15.0	19.7	4.5	5.2	5.4	24.8	4.0	236.3
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	89	38	31	43	19	27	22	9	3	4	9	9	6	220
(%)	100.0	42.7	34.8	48.3	21.3	30.3	24.7	10.1	3.4	4.5	10.1	10.1	6.7	247.2
介護療養型老人保健施設	143	37	35	64	37	34	30	24	2	1	7	47	5	323
(%)	100.0	25.9	24.5	44.8	25.9	23.8	21.0	16.8	1.4	0.7	4.9	32.9	3.5	225.9
無回答	4	0	0	0	1	4	1	0	1	1	1	0	0	9
(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	25.0	100.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	225.0

リハビリテーションを実施しなかった理由としては、介護医療院では、「その他」や「無回答」を除くと「リハビリテーション・機能訓練は行ったが、関連する加算等は算定していない」が13.8%で最も多かった。介護療養型医療施設では、「ターミナル期・寝たきりで意識がない等、リハビリテーション・機能訓練を実施できなかった」が14.0%で最も多かった。療養病棟入院基本料1・2を算定している病床では、「ターミナル期・寝たきりで意識がない等、リハビリテーション・機能訓練を実施できなかった」が20.8%で最も多かった。療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床では、「リハビリテーション・機能訓練は行ったが、関連する加算等は算定していない」が29.3%で最も多かった。介護療養型老人保健施設では、「リハビリテーション・機能訓練は行ったが、関連する加算等は算定していない」が66.3%で最も多かった。

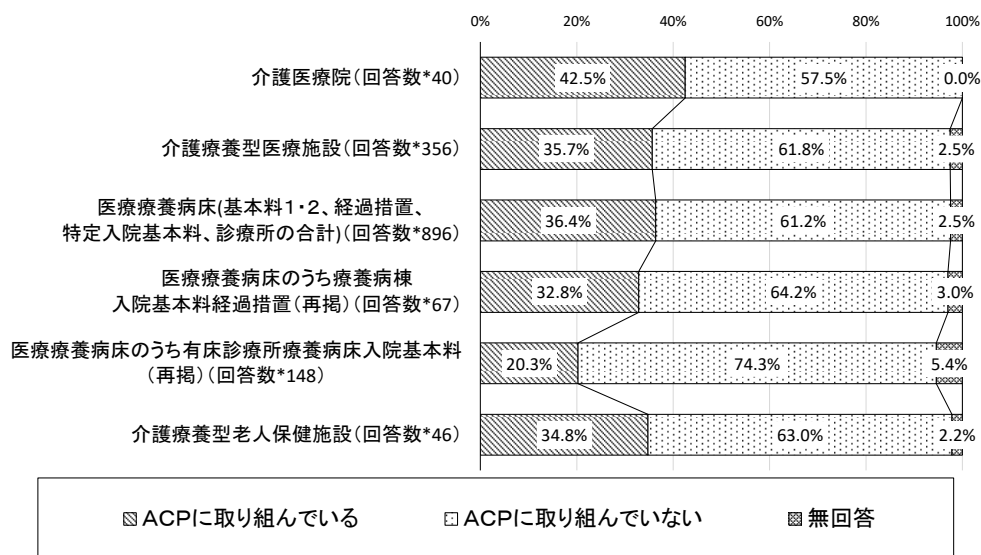
図表 48 リハビリテーションを実施しなかった理由（患者・利用者票）

	合計	生活機能を維持・向上させるリハビリテーション・機能訓練を実施する必要があるほど自立している	リハビリテーション・機能訓練は行ったが、関連する加算等は算定していない	体調不良など医学的な理由によりリハビリテーション・機能訓練を実施すべきと判断された	ターミナル期・寝たきりで意識がない等、リハビリテーション・機能訓練を実施できなかった	その他	無回答
合計	1411	30	252	185	216	294	434
(%)	100.0	2.1	17.9	13.1	15.3	20.8	30.8
介護医療院	246	8	34	22	30	64	88
(%)	100.0	3.3	13.8	8.9	12.2	26.0	35.8
介護療養型医療施設	222	2	27	26	31	53	83
(%)	100.0	0.9	12.2	11.7	14.0	23.9	37.4
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	654	15	42	123	136	155	183
(%)	100.0	2.3	6.4	18.8	20.8	23.7	28.0
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	75	5	22	5	6	11	26
(%)	100.0	6.7	29.3	6.7	8.0	14.7	34.7
介護療養型老人保健施設	172	0	114	7	1	6	44
(%)	100.0	0.0	66.3	4.1	0.6	3.5	25.6
無回答	42	0	13	2	12	5	10
(%)	100.0	0.0	31.0	4.8	28.6	11.9	23.8

### (3) アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の実施状況

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に取り組む状況について、取り組んでいる割合をみると、介護医療院が42.5%で最も多く、次いで介護療養型医療施設が36.4%であった。

図表 49 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関する取り組みの有無（施設票）



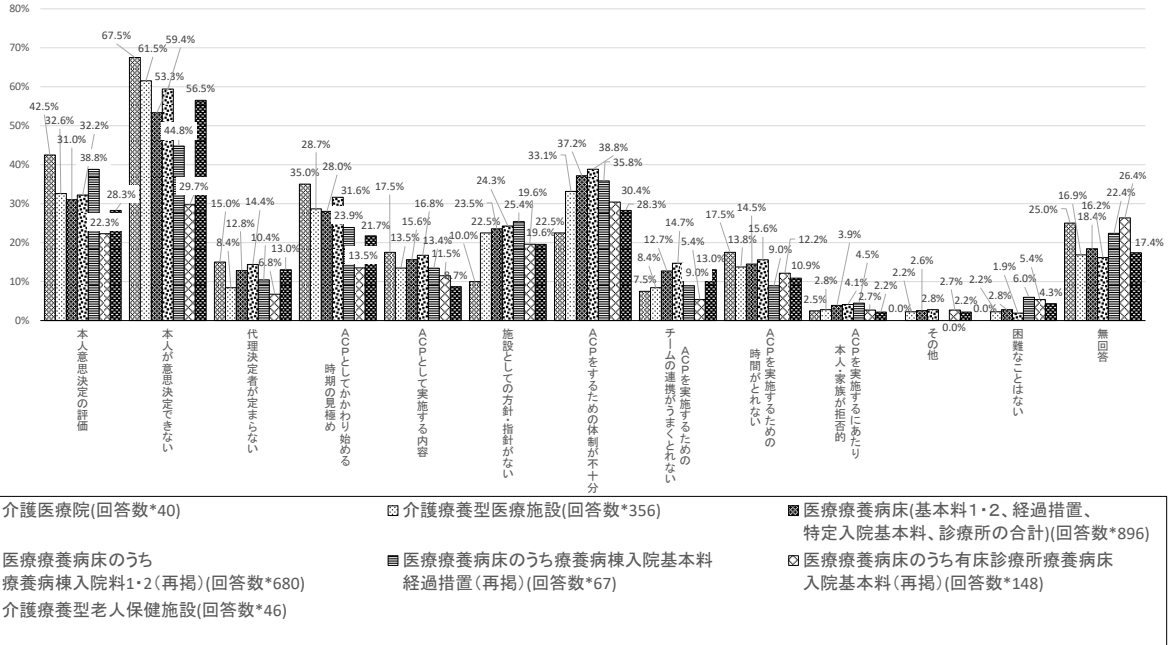
\*回答数は施設数

図表 50 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関する取り組みの有無（施設票）

施設種別	施設数	ACPに取り組んでいる (%)	ACPに取り組んでいない (%)	無回答 (%)
I型介護医療院 (%)	21	47.6	52.4	0.0
II型介護医療院 (%)	17	41.2	58.8	0.0
I型・II型混合介護医療院 (%)	2	0.0	100.0	0.0
介護療養型医療施設(病院) (%)	271	38.4	59.4	2.2
うち療養機能強化型A (%)	132	46.2	52.3	1.5
うち療養機能強化型B (%)	23	34.8	65.2	0.0
うちその他 (%)	110	29.1	67.3	3.6
介護療養型医療施設(診療所) (%)	85	27.1	69.4	3.5
うち療養機能強化型A (%)	5	20.0	80.0	0.0
うち療養機能強化型B (%)	2	50.0	50.0	0.0
うちその他 (%)	77	27.3	68.8	3.9
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1 (%)	546	43.0	54.8	2.2
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2 (%)	134	29.1	70.9	0.0
医療療養病棟入院基本料 経過措置1 (%)	63	34.9	61.9	3.2
医療療養病棟入院基本料 経過措置2 (%)	4	0.0	100.0	0.0
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料 (%)	1	0.0	100.0	0.0
有床診療所療養病床入院基本料 (%)	148	20.3	74.3	5.4
介護療養型老人保健施設 (%)	46	34.8	63.0	2.2

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に取り組む上で困難なことについてみると、いずれの施設も「本人が意思決定できない」が最も多い割合となっていた。

図表 51 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に取り組む上で困難なこと（複数回答）

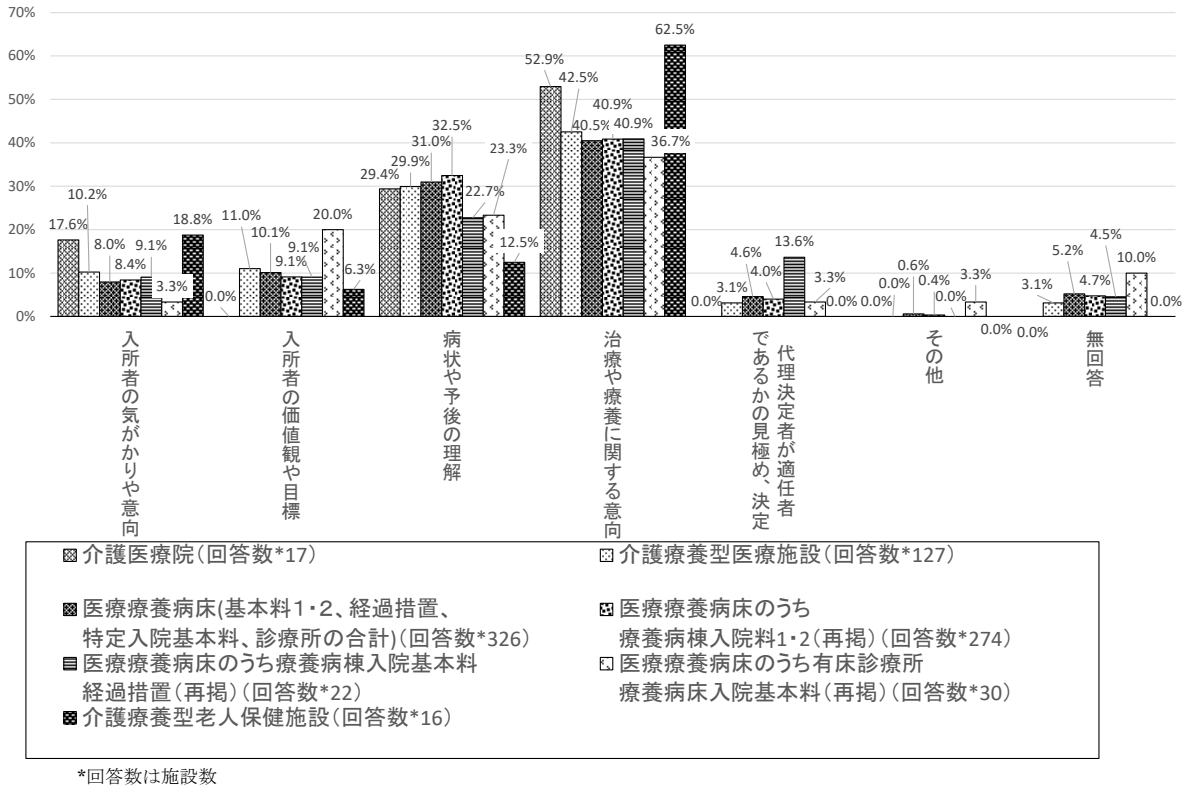


図表 52 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に取り組む上で困難なこと（複数回答）

	施設数	本人意思決定の評価	本人が意思決定できない	代理決定者が定まらない	ACPとしてかかわり始める時期の見極め	ACPとして実施する内容	施設としての方針・指針がない	ACPを実施するための体制が不十分	チームの連携がうまくとれない	ACPを実施するための時間がない	ACPを実施するための本人・家族が拒否的	その他	困難なことはない	無回答
I型介護医療院	21	6	12	3	5	3	1	4	2	5	0	0	0	7
(%)	100.0	28.6	57.1	14.3	23.8	14.3	4.8	19.0	9.5	23.8	0.0	0.0	0.0	33.3
II型介護医療院	17	10	13	2	8	3	3	4	0	2	1	0	0	3
(%)	100.0	58.8	76.5	11.8	47.1	17.6	17.6	23.5	0.0	11.8	5.9	0.0	0.0	17.6
I型・II型混合介護医療院	1	1	2	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
(%)	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護療養型医療施設(病院)	271	91	175	24	87	37	62	89	26	38	9	4	6	46
(%)	100.0	33.6	64.6	8.9	32.1	13.7	22.9	32.8	9.6	14.0	3.3	1.5	2.2	17.0
うち療養機能強化型A	132	40	92	15	42	17	31	35	15	19	3	2	4	19
(%)	100.0	30.3	69.7	11.4	31.8	12.9	23.5	26.5	11.4	14.4	2.3	1.5	3.0	14.4
うち療養機能強化型B	23	10	15	4	10	1	5	8	0	1	1	0	2	3
(%)	100.0	43.5	65.2	17.4	43.5	4.3	21.7	34.8	0.0	4.3	4.3	0.0	8.7	13.0
うちその他	110	39	63	4	34	18	25	45	11	18	5	2	0	23
(%)	100.0	35.5	57.3	3.6	30.9	16.4	22.7	40.9	10.0	16.4	4.5	1.8	0.0	20.9
介護療養型医療施設(診療所)	85	25	44	6	15	11	18	29	4	11	1	4	2	14
(%)	100.0	29.4	51.8	7.1	17.6	12.9	21.2	34.1	4.7	12.9	1.2	4.7	2.4	16.5
うち療養機能強化型A	5	0	3	0	0	1	1	1	1	2	0	0	1	0
(%)	100.0	0.0	60.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0
うち療養機能強化型B	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うちその他	77	25	39	6	15	10	17	27	3	9	1	4	1	13
(%)	100.0	32.5	50.6	7.8	19.5	13.0	22.1	35.1	3.9	11.7	1.3	5.2	1.3	16.9
医療療養病床入院基本料 療養病棟入院料1	546	183	342	79	175	87	124	204	81	83	23	15	8	88
(%)	100.0	33.5	62.6	14.5	32.1	15.9	22.7	37.4	14.8	15.2	4.2	2.7	1.5	16.1
医療療養病床入院基本料 療養病棟入院料2	134	36	62	19	40	27	41	60	19	23	5	4	5	22
(%)	100.0	26.9	46.3	14.2	29.9	20.1	30.6	44.8	14.2	17.2	3.7	3.0	3.7	16.4
医療療養病床入院基本料 経過措置1	63	25	27	7	15	8	15	25	6	9	0	0	4	14
(%)	100.0	39.7	42.9	11.1	23.8	12.7	23.8	39.7	9.5	14.3	0.0	0.0	6.3	22.2
医療療養病床入院基本料 経過措置2	4	1	3	0	1	1	2	2	0	1	0	0	0	1
(%)	100.0	25.0	75.0	0.0	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
医療療養病床入院基本料 特別入院基本料	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
有床診療所療養病棟入院基本料	148	33	44	10	20	17	29	45	8	18	4	4	8	39
(%)	100.0	22.3	29.7	6.8	13.5	11.5	19.6	30.4	5.4	12.2	2.7	2.7	5.4	26.4
介護療養型老人保健施設	46	13	26	6	14	10	4	13	5	13	1	1	2	8
(%)	100.0	28.3	56.5	13.0	30.4	21.7	8.7	28.3	10.9	28.3	2.2	2.2	4.3	17.4

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）で話し合う内容のうち特に重視することについてみると、いずれの施設も「治療や療養に関する移行」が最も多い割合となっていた。

図表 53 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に取り組んでいると回答した場合 ACPで話し合う内容のうち特に重視すること



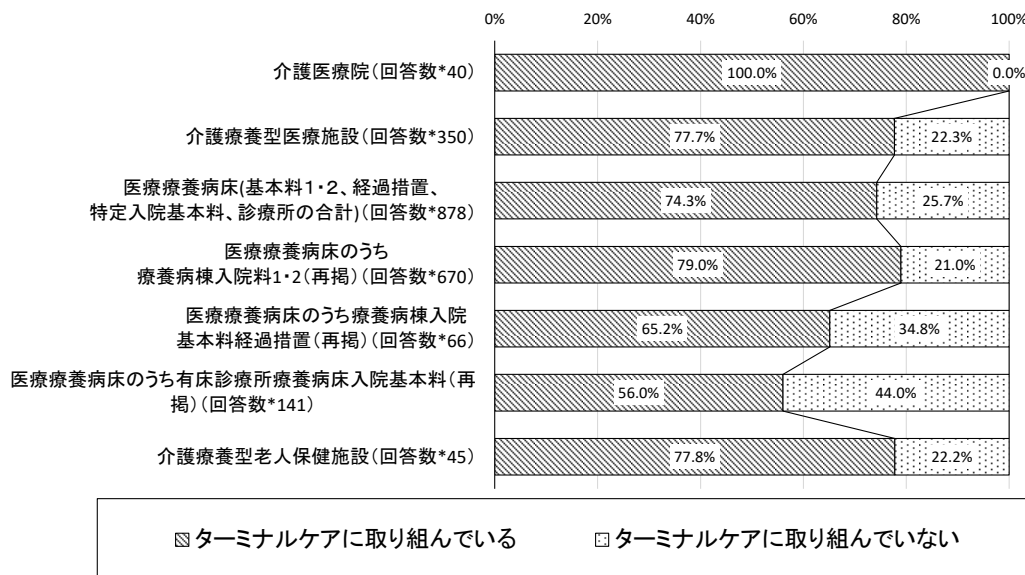
図表 54 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に取り組んでいると回答した場合 ACPで話し合う内容のうち特に重視すること

	施設数	入所者の気がかりや意向	入所者の価値観や目標	病状や予後の理解	治療や療養に関する移行	代理決定者が適任者であるかの見極め、決定	その他	無回答
I型介護医療院 (%)	10	1	0	4	5	0	0	0
II型介護医療院 (%)	7	2	0	1	4	0	0	0
I型・II型混合介護医療院 (%)	0	0	0	0	0	0	0	0
介護療養型医療施設(病院) (%)	104	8	9	32	47	4	0	4
うち療養機能強化型A (%)	61	2	3	22	29	2	0	3
うち療養機能強化型B (%)	8	1	1	3	3	0	0	0
うちその他 (%)	32	5	5	6	14	2	0	0
介護療養型医療施設(診療所) (%)	23	5	5	6	7	0	0	0
うち療養機能強化型A (%)	1	0	0	0	1	0	0	0
うち療養機能強化型B (%)	1	0	0	1	0	0	0	0
うちその他 (%)	21	5	5	5	6	0	0	0
医療療養病床入院基本料 療養病床入院料1 (%)	235	21	21	75	96	10	1	11
医療療養病床入院基本料 療養病床入院料2 (%)	39	2	4	14	16	1	0	2
医療療養病床入院基本料 経過措置1 (%)	22	2	2	5	9	3	0	1
医療療養病床入院基本料 経過措置2 (%)	0	0	0	0	0	0	0	0
医療療養病床入院基本料 特別入院基本料 (%)	0	0	0	0	0	0	0	0
有床診療所療養病床入院基本料 (%)	30	1	6	7	11	1	1	3
介護療養型老人保健施設 (%)	16	3	1	2	10	0	0	0

#### (4) ターミナルケアの実施状況

看取り期に入った入院・入所者に対してターミナルケアに取り組んでいるか施設類型ごとに回答を求めたところ、施設要件となっている介護医療院の100%を除くと、医療療養病床のうち療養病棟入院基本料1・2（再掲）が79.0%で最も多く、次いで介護療養型老人保健施設が77.8%、介護療養型医療施設が77.7%であった。

図表 55 ターミナルケアに関する取り組みの有無（施設票）



\*回答数は施設数

図表 56 ターミナルケアに関する取り組みの有無（施設票）

施設類型	施設数	取り組み中 (%)	取り組みしていない (%)
I型介護医療院	21	21	0
(%)	100.0	100.0	0.0
II型介護医療院	17	17	0
(%)	100.0	100.0	0.0
I型・II型混合介護医療院	2	2	0
(%)	100.0	100.0	0.0
介護療養型医療施設(病院)	268	216	52
(%)	100.0	80.6	19.4
うち療養機能強化型A	132	122	10
(%)	100.0	92.4	7.6
うち療養機能強化型B	23	22	1
(%)	100.0	95.7	4.3
うちその他	107	67	40
(%)	100.0	62.6	37.4
介護療養型医療施設(診療所)	82	56	26
(%)	100.0	68.3	31.7
うち療養機能強化型A	5	4	1
(%)	100.0	80.0	20.0
うち療養機能強化型B	2	2	0
(%)	100.0	100.0	0.0
うちその他	74	49	25
(%)	100.0	66.2	33.8
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1	540	432	108
(%)	100.0	80.0	20.0
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2	130	97	33
(%)	100.0	74.6	25.4
医療療養病棟入院基本料 経過措置1	62	41	21
(%)	100.0	66.1	33.9
医療療養病棟入院基本料 経過措置2	4	2	2
(%)	100.0	50.0	50.0
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料	1	1	0
(%)	100.0	100.0	0.0
有床診療所療養病床入院基本料	141	79	62
(%)	100.0	56.0	44.0
介護療養型老人保健施設	45	35	10
(%)	100.0	77.8	22.2

※無回答は集計の対象外とした。

患者・利用者のターミナルケアの実施の有無については、「はい」と回答した割合が、介護医療院で 19.2%、介護療養型医療施設で 23.2%、療養病棟入院基本料 1・2 を算定している病床で 22.6%、療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床え 15.9%、介護療養型老人保健施設で 9.2%であった。

ターミナルケアの具体的な内容について、介護医療院では「家族に対する相談対応・ケア」が 67.8%で最も多く、次いで「食事量の調整」が 64.0%であった。介護療養型医療施設では、「食事量の調整」が 74.6%で最も多く、次いで「水分量の調査」が 73.2%であった。療養病棟入院基本料 1・2 を算定している病床では、「家族に対する相談対応・ケア」が 76.0%で最も多く、次いで「喀痰吸引」が 70.1%であった。療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床では、「家族に対する相談対応・ケア」と「喀痰吸引」が 53.8%で最も多かった。介護療養型老人保健施設では、「食事の調整」が 96.6%で最も多く、次いで「家族に対する相談対応・ケア」が 89.7%であった。

図表 57 ターミナルケアの実施の有無（患者・利用者票）

	合計	はい	いいえ	無回答
合計	3965	798	3004	163
(%)	100.0	20.1	75.8	4.1
介護医療院	1230	236	955	39
(%)	100.0	19.2	77.6	3.2
介護療養型医療施設	596	138	437	21
(%)	100.0	23.2	73.3	3.5
療養病棟入院基本料 1・2 を算定している病床	1505	340	1095	70
(%)	100.0	22.6	72.8	4.7
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	164	26	132	6
(%)	100.0	15.9	80.5	3.7
介護療養型老人保健施設	315	29	266	20
(%)	100.0	9.2	84.4	6.3
無回答	155	29	119	7
(%)	100.0	18.7	76.8	4.5

図表 58 ターミナルケアの具体的な内容（患者・利用者票）（複数回答）

	合計	食事量の調整	水分量の調整	麻薬による疼痛管理	創傷・褥瘡ケア	喀痰吸引	環境整備（個室への移動等）	一時帰宅を含む帰宅支援	不安等心理的変化への対応・ケア	家族に対する相談対応・ケア	無回答	累計 (n) (%)
合計	799	510	513	53	328	525	247	36	315	576	5	3108
(%)	100.0	63.8	64.2	6.6	41.1	65.7	30.9	4.5	39.4	72.1	0.6	389.0
介護医療院	236	151	141	4	83	138	58	3	98	160	1	837
(%)	100.0	64.0	59.7	1.7	35.2	58.5	24.6	1.3	41.5	67.8	0.4	354.7
介護療養型医療施設	138	103	101	11	64	98	43	8	58	98	2	586
(%)	100.0	74.6	73.2	8.0	46.4	71.0	31.2	5.8	42.0	71.0	1.4	424.6
療養病棟入院基本料 1・2 を算定している病床	341	198	222	32	150	239	118	20	132	259	2	1372
(%)	100.0	58.1	65.1	9.4	44.0	70.1	34.6	5.9	38.7	76.0	0.6	402.3
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	26	11	8	2	13	14	4	0	3	14	0	69
(%)	100.0	42.3	30.8	7.7	50.0	53.8	15.4	0.0	11.5	53.8	0.0	265.4
介護療養型老人保健施設	29	28	22	0	8	14	13	2	11	26	0	124
(%)	100.0	96.6	75.9	0.0	27.6	48.3	44.8	6.9	37.9	89.7	0.0	427.6
無回答	29	19	19	4	10	22	11	3	13	19	0	120
(%)	100.0	65.5	65.5	13.8	34.5	75.9	37.9	10.3	44.8	65.5	0.0	413.8



## (5) 地域に貢献する活動・地域と交流する活動等

活動を実施するにあたって連携している組織について、施設類型ごとにみると、I型介護医療院では、「自治会・町内会」及び「ボランティア団体」が47.6%で最も多く、次に「地域包括支援センター」の38.1%、「小・中学校」の33.3%であった。II型介護医療院では、「小・中学校」が64.7%で最も多く、次いで「ボランティア団体」の52.9%、「地域包括支援センター」及び「市区町村」35.3%であった。介護療養型医療施設では、「自治会・町内会」が41.4%で最も多く、次に「市区町村」の34.1%、「小・中学校」の32.7%であった。医療療養病床では、「市区町村」及び「小・中学校」が37.9%で最も多く、次に「自治会・町内会」の37.1%であった。介護療養型老人保健施設では、「小・中学校」が41.3%で最も多く、次いで「自治会・町内会」の39.1%、「ボランティア団体」34.8%であった。

なお、介護医療院において、2017年度と比較した活動の実施件数の変化をみると、I型介護医療院では「増加した」と回答した施設数が57.1%、II型介護医療院では、「増加した」と回答した施設数が23.5%に留まった。

図表 59 活動を実施するにあたって連携している組織（複数回答）

	合計	都道府県	市区町村	自治会・町内会	ボランティア団体	保育園・幼稚園	小・中学校	地域包括支援センター	その他	無回答	累計 (n) (%)
I型介護医療院 (%)	21 100.0	1 4.8	6 28.6	10 47.6	10 47.6	4 19.0	7 33.3	8 38.1	5 23.8	1 4.8	52 247.6
II型介護医療院 (%)	17 100.0	0 0.0	6 35.3	2 11.8	9 52.9	5 29.4	11 64.7	6 35.3	0 0.0	1 5.9	40 235.3
I型・II型混合介護医療院 (%)	2 100.0	0 0.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	6 300.0
介護療養病床 (%)	355 100.0	19 5.4	121 34.1	147 41.4	104 29.3	62 17.5	116 32.7	70 19.7	54 15.2	57 16.1	750 211.3
医療療養病床 (%)	925 100.0	60 6.5	351 37.9	343 37.1	215 23.2	116 12.5	351 37.9	197 21.3	117 12.6	207 22.4	1957 211.6
うち療養病棟入院料1・2 (%)	690 100.0	53 7.7	293 42.5	278 40.3	171 24.8	89 12.9	278 40.3	165 23.9	86 12.5	120 17.4	1533 222.2
うち経過措置 (%)	81 100.0	4 4.9	30 37.0	28 34.6	20 24.7	9 11.1	34 42.0	12 14.8	14 17.3	15 18.5	166 204.9
うち有床診療所療養病床入院基本料 (%)	165 100.0	4 2.4	32 19.4	42 25.5	29 17.6	20 12.1	42 25.5	23 13.9	19 11.5	72 43.6	283 171.5
介護療養型老人保健施設 (%)	46 100.0	1 2.2	13 28.3	18 39.1	16 34.8	10 21.7	19 41.3	3 6.5	3 6.5	9 19.6	92 200.0

図表 60 2017年度と比較した活動の実施件数の変化

	合計	増加した	減少した	変化はなかった	無回答
合計 (%)	40 100.0	16 40.0	1 2.5	18 45.0	5 12.5
I型介護医療院 (%)	21 100.0	12 57.1	0 0.0	7 33.3	2 9.5
II型介護医療院 (%)	17 100.0	4 23.5	1 5.9	9 52.9	3 17.6
I型・II型混合介護医療院 (%)	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0



## 5. 開設した介護医療院の概要

### (1) 開設時期

既に移行した介護医療院について、2018年4月から9月末までの開設年月をたずねたところ、2018年4月に開設した介護医療院は12.5%、2018年5月に開設した介護医療院は10.0%、2018年6月に開設した介護医療院は10.0%、2018年7月に開設した介護医療院は12.5%、2018年8月に開設した介護医療院は32.5%、2018年9月に開設した介護医療院は22.5%であった。

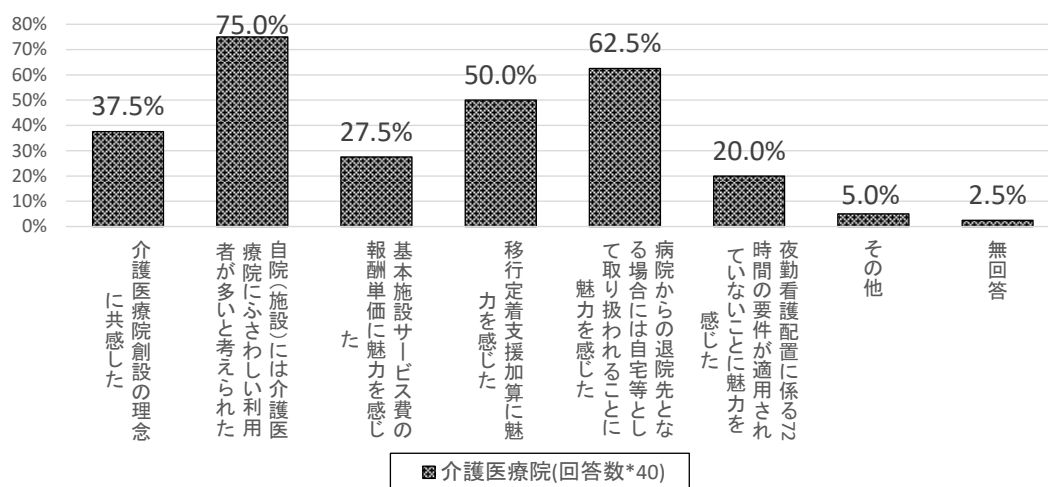
図表 61 施設の開設年月

	合計	2018年4月	2018年5月	2018年6月	2018年7月	2018年8月	2018年9月
合計 (%)	40 100.0	5 12.5	4 10.0	4 10.0	5 12.5	13 32.5	9 22.5
I型介護医療院 (%)	21 100.0	3 14.3	1 4.8	3 14.3	3 14.3	9 42.9	2 9.5
II型介護医療院 (%)	17 100.0	2 11.8	3 17.6	1 5.9	2 11.8	4 23.5	5 29.4
I型・II型混合介護医療院 (%)	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

## (2) 開設理由

既に移行した介護医療院へ介護医療院の開設を決めた理由をたずねたところ、割合が大きかった順に「自院（施設）には介護医療院にふさわしい利用者が多いと考えられた」が75.0%、「病院からの退院先となる場合には自宅等として取り扱われることに魅力を感じた」が62.5%、「移行定着支援加算に魅力を感じた」が50.0%、「介護医療院創設の理念に共感した」が37.5%、「基本施設サービス費の報酬単価に魅力を感じた」が27.5%、「夜勤看護配置に係る72時間の要件が適用されていないことに魅力を感じた」が20.0%、「その他」が5.0%、「無回答」が2.5%であった。

図表 62 介護医療院の開設を決めた理由（複数回答）



\*回答数は施設数

図表 63 介護医療院の開設を決めた理由（複数回答）

	合計	介護医療院創設の理念に共感した	自院（施設）には介護医療院にふさわしい利用者が多いと考えられた	基本施設サービス費の報酬単価に魅力を感じた	移行定着支援加算に魅力を感じた	病院からの退院先となる場合には自宅等として取り扱われることに魅力を感じた	夜勤看護配置に係る72時間の要件が適用されていないことに魅力を感じた	その他	無回答	累計 (n) (%)
合計	40	15	30	11	20	25	8	2	1	112
(%)	100.0	37.5	75.0	27.5	50.0	62.5	20.0	5.0	2.5	280.0
I型介護医療院	21	7	15	6	9	11	4	2	0	54
(%)	100.0	33.3	71.4	28.6	42.9	52.4	19.0	9.5	0.0	257.1
II型介護医療院	17	8	13	4	10	12	2	0	1	50
(%)	100.0	47.1	76.5	23.5	58.8	70.6	11.8	0.0	5.9	294.1
I型・II型混合介護医療院	2	0	2	1	1	2	2	0	0	8
(%)	100.0	0.0	100.0	50.0	50.0	100.0	100.0	0.0	0.0	400.0

### (3) 開設に当たっての情報

既に移行した介護医療院のうち、開設前の施設の状況をたずねたところ、割合が大きかった順に「介護療養型医療施設（病院）」が50.0%、「介護療養型老人保健施設（転換老健）」が35.0%、「医療療養病床（20：1）」が12.5%、「医療療養病床（25：1）」が10.0%、「医療療養病床（診療所）」が5.0%、「その他の病床等」及び「新設」がそれぞれ2.5%であった。

移行にあたって既存建物の活用状況は「既存建物をそのまま活用」が80.0%と最も大きく、次いで「改修工事（本体の躯体工事には及ばない屋内改修）」が17.5%であった。

図表 64 開設前の施設（複数回答）

	合計	医療療養 病床 (20:1)	医療療養 病床 (25:1)	医療療養 病床(診 療所)	介護療養 型医療施 設(病 院)	介護療養 型医療施 設(診療 所)	介護療養 型医療施 設(認知 症疾患 型)	介護療養 型老人保 健施設 (転換老 健)	その他 の 病床等	新設	累計 (n)(%)
合計	40	5	4	2	20	0	0	14	1	1	47
(%)	100.0	12.5	10.0	5.0	50.0	0.0	0.0	35.0	2.5	2.5	117.5
I型介護医療院	21	4	1	0	16	0	0	1	1	1	24
(%)	100.0	19.0	4.8	0.0	76.2	0.0	0.0	4.8	4.8	4.8	114.3
II型介護医療院	17	1	3	2	2	0	0	12	0	0	20
(%)	100.0	5.9	17.6	11.8	11.8	0.0	0.0	70.6	0.0	0.0	117.6
I型・II型混合介護医療院	2	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3
(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	150.0

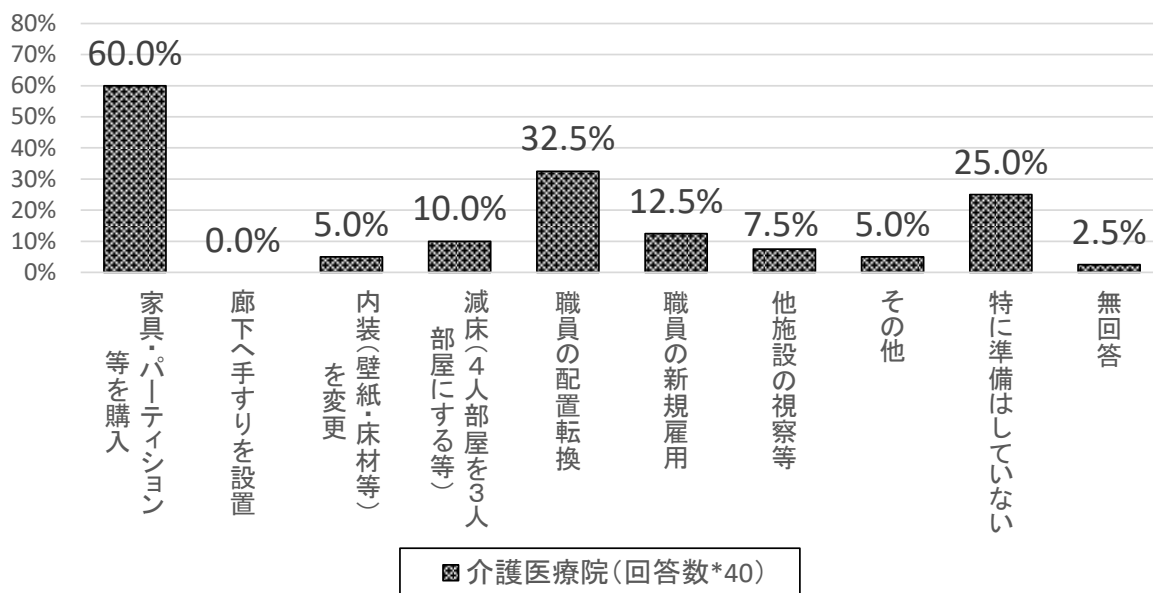
図表 65 既存建物の活用

	合計	既存建物 をそのま ま活用	改修工事 (本体の 躯体工 事には 及ばな い屋内 改修)	改築工事	新築	無回答
合計	40	32	7	0	0	1
(%)	100.0	80.0	17.5	0.0	0.0	2.5
I型介護医療院	21	18	3	0	0	0
(%)	100.0	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0
II型介護医療院	17	12	4	0	0	1
(%)	100.0	70.6	23.5	0.0	0.0	5.9
I型・II型混合介護医療院	2	2	0	0	0	0
(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

開設に向けた準備の状況をたずねたところ、「家具・パーティション等を購入」の60.0%が最も大きく、次いで「職員の配置転換」が32.5%であった。

開設にあたって活用した助成制度等の状況のうち「助成制度等を利用していない」と回答した施設は95.0%であり、「病床転換助成事業」と回答した施設は2.5%であった。

図表 66 開設に向けた準備（複数回答）



\*回答数は施設数

図表 67 開設に向けた準備（複数回答）

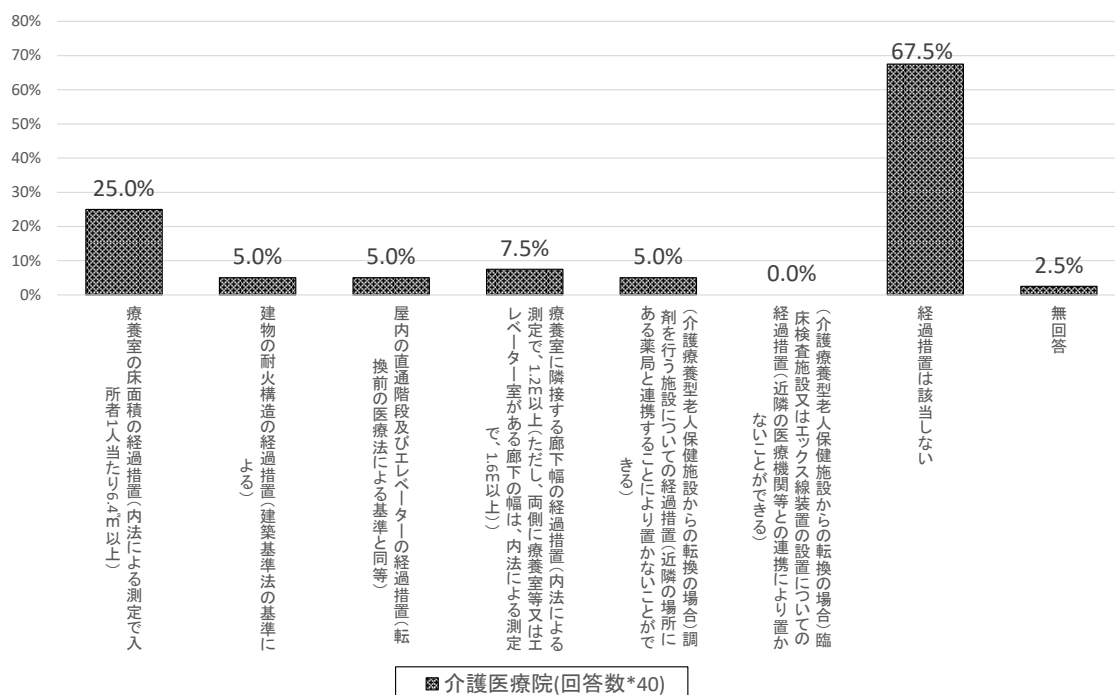
	合計	家具・パーティション等を購入	廊下へ手すりを設置	内装(壁紙・床材等)を変更	減床(4人部屋を3人部屋にする等)	職員の配置転換	職員の新規雇用	他施設の視察等	その他	特に準備はしていない	無回答	累計(n)(%)
合計	40	24	0	2	4	13	5	3	2	10	1	64
(%)	100.0	60.0	0.0	5.0	10.0	32.5	12.5	7.5	5.0	25.0	2.5	160.0
I型介護医療院	21	11	0	1	3	3	1	1	1	7	0	28
(%)	100.0	52.4	0.0	4.8	14.3	14.3	4.8	4.8	4.8	33.3	0.0	133.3
II型介護医療院	17	12	0	1	1	9	3	1	1	3	1	32
(%)	100.0	70.6	0.0	5.9	5.9	52.9	17.6	5.9	5.9	17.6	5.9	188.2
I型・II型混合介護医療院	2	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	4
(%)	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	200.0

図表 68 活用した助成制度等（複数回答）

	合計	地域医療介護総合確保基金(介護施設等の施設開設準備経費等支援事業)	地域医療介護総合確保基金(定期借地権設定のための一時金の支援事業)	地域医療介護総合確保基金(ユニット改修等支援事業)	地域医療介護総合確保基金(介護療養型医療施設等転換整備支援事業)	病床転換助成事業	福祉医療機構(WAM)の療養病床転換支援策(融資条件の優遇等)	その他	助成制度等を利用していない	無回答	累計(n)(%)
合計	40	0	0	0	0	1	0	0	38	1	40
(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	95.0	2.5	100.0
I型介護医療院	21	0	0	0	0	1	0	0	20	0	21
(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	95.2	0.0	100.0
II型介護医療院	17	0	0	0	0	0	0	0	16	1	17
(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	94.1	5.9	100.0
I型・II型混合介護医療院	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0

開設に向けて活用した経過措置をたずねたところ、「経過措置は該当しない」が67.5%と最も大きく、次いで「療養室の床面積の経過措置（内法による測定で入所者1人あたり6.4㎡以上）」が25.0%、「療養室に隣接する廊下幅の経過措置（内法による測定で、1.2m以上（ただし、両側に療養室等又はエレベーター室がある廊下の幅は、内法による測定で1.6m以上）」が7.5%であった。

図表 69 活用した経過措置（複数回答）



\*回答数は施設数

図表 70 活用した経過措置（複数回答）

	合計	療養室の床面積の経過措置（内法による測定で入所者1人あたり6.4㎡以上）	建物の耐火構造の経過措置（建築基準法による）	屋内の直通階段及びエレベーターの経過措置（転換前の医療法による基準と同等）	療養室に隣接する廊下幅の経過措置（内法による測定で、1.2m以上（ただし、両側に療養室等又はエレベーター室がある廊下の幅は、内法による測定で、1.6m以上））	（介護療養型老人保健施設からの転換の場合）調剤を行う施設についての経過措置（近隣の場所にある薬局と連携することにより置かないことができる）	（介護療養型老人保健施設からの転換の場合）臨床検査施設又はエックス線装置の設置についての経過措置（近隣の医療機関等との連携により置かないことができる）	経過措置は該当しない	無回答	累計 (n) (%)
合計	40	10	2	2	3	2	0	27	1	47
(%)	100.0	25.0	5.0	5.0	7.5	5.0	0.0	67.5	2.5	117.5
I型介護医療院	21	6	2	2	1	0	0	14	0	25
(%)	100.0	28.6	9.5	9.5	4.8	0.0	0.0	66.7	0.0	119.0
II型介護医療院	17	3	0	0	1	2	0	12	1	19
(%)	100.0	17.6	0.0	0.0	5.9	11.8	0.0	70.6	5.9	111.8
I型・II型混合介護医療院	2	1	0	0	1	0	0	1	0	3
(%)	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	150.0

#### (4) 介護医療院の理念の共有の状況

既に移行した介護医療院のうち、開設にあたって施設理念を新たに創設したかをたずねたところ、介護医療院全体のうち、「理念の創設を行った」と回答した施設は 7.5%であった。また、「理念の創設は行っていない」と回答した施設は 87.5%であった。

施設理念を創設しなかった施設に理念を創設しなかった理由をたずねたところ、「もともとの理念と変わらないため」が 91.4%と最も大きかった。

職員で理念や意識を共有する際の中心人物をたずねたところ、「経営陣」が 62.5%と最も大きく、次いで「開設の軸となる職員（事務長等）」が 60.0%であった。

図表 71 施設理念創設の有無

	合計	理念の創設を行った	理念の創設は行っていない	無回答
合計 (%)	40 100.0	3 7.5	35 87.5	2 5.0
I型介護医療院 (%)	21 100.0	3 14.3	18 85.7	0 0.0
II型介護医療院 (%)	17 100.0	0 0.0	15 88.2	2 11.8
I型・II型混合介護医療院 (%)	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0

図表 72 施設理念を創設しなかった理由（複数回答）

	合計	もともとの理念と変わらないため	検討中であるため	その他	無回答	累計 (n) (%)
合計 (%)	35 100.0	32 91.4	1 2.9	0 0.0	2 5.7	35 100.0
I型介護医療院 (%)	18 100.0	17 94.4	1 5.6	0 0.0	0 0.0	18 100.0
II型介護医療院 (%)	15 100.0	13 86.7	0 0.0	0 0.0	2 13.3	15 100.0
I型・II型混合介護医療院 (%)	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

図表 73 職員で理念や意識を共有する際の中心人物（複数回答）

	合計	経営陣	開設の軸となる職員（事務長等）	現場の職員（医師、看護師等）	特に理念や意識の共有は行っていない	その他	無回答	累計 (n) (%)
合計 (%)	40 100.0	25 62.5	24 60.0	22 55.0	0 0.0	0 0.0	1 2.5	72 180.0
I型介護医療院 (%)	21 100.0	16 76.2	12 57.1	10 47.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	38 181.0
II型介護医療院 (%)	17 100.0	8 47.1	11 64.7	11 64.7	0 0.0	0 0.0	1 5.9	31 182.4
I型・II型混合介護医療院 (%)	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 150.0

職員との意識の共有方法をたずねたうち、最も大きな割合を占めたのは「移行の中心となる職員が介護医療院の理念や役割について職員に話をした」の 85.0%であった。次に大きな割合を占めたのは「職員に対して資料の配布を行った」の 40.0%であった。

職員への説明開始時期をたずねたうち、最も大きな割合を占めたのは「介護医療院開設のおよそ 3 か月以上前」の 42.5%であった。次に大きな割合を占めたのは「介護医療院開設のおよそ 6 か月以上前」、「介護医療院開設のおよそ 2 か月前」がそれぞれ 22.5%であった。

図表 74 職員との意識の共有方法（複数回答）

	合計	移行の中心となる職員が介護医療院の理念や役割について職員に話をした	職員に対して資料の配布を行った	特に職員に対して説明は行っていない	その他	無回答	累計 (n) (%)
合計 (%)	40 100.0	34 85.0	16 40.0	1 2.5	2 5.0	1 2.5	54 135.0
I 型介護医療院 (%)	21 100.0	19 90.5	6 28.6	1 4.8	1 4.8	0 0.0	27 128.6
II 型介護医療院 (%)	17 100.0	13 76.5	10 58.8	0 0.0	1 5.9	1 5.9	25 147.1
I 型・II 型混合介護医療院 (%)	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

図表 75 職員への説明開始時期

	合計	介護医療院開設のおよそ 6 か月以上前	介護医療院開設のおよそ 3 か月以上前	介護医療院開設のおよそ 2 か月前	介護医療院開設のおよそ 1 か月前	特に職員に対する説明は行っていない	その他	無回答
合計 (%)	40 100.0	9 22.5	17 42.5	9 22.5	4 10.0	0 0.0	0 0.0	1 2.5
I 型介護医療院 (%)	21 100.0	5 23.8	10 47.6	4 19.0	2 9.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
II 型介護医療院 (%)	17 100.0	4 23.5	7 41.2	3 17.6	2 11.8	0 0.0	0 0.0	1 5.9
I 型・II 型混合介護医療院 (%)	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

## (5) 移行定着支援加算の取得状況

既に移行した介護医療院のうち、移行定着支援加算を算定している施設は介護医療院全体のうち、97.5%が算定しており、算定していない割合は2.5%であった。

図表 76 移行定着支援加算算定の有無（複数回答）

	合計	算定している	算定していない
合計 (%)	40 100.0	39 97.5	1 2.5
I型介護医療院 (%)	21 100.0	20 95.2	1 4.8
II型介護医療院 (%)	17 100.0	17 100.0	0 0.0
I型・II型混合介護医療院 (%)	2 100.0	2 100.0	0 0.0

移行定着支援加算を算定する際の利用者・家族への説明方法をたずねたところ、介護医療院全体では「対面で説明した」が89.7%と最も大きく、次いで「説明資料を配布した」の79.5%であった。

図表 77 移行定着支援加算について利用者・家族への説明方法（複数回答）

	合計	対面で説明した	説明資料を配布した	説明資料を掲示した	その他	累計 (n) (%)
合計 (%)	39 100.0	35 89.7	31 79.5	14 35.9	3 7.7	83 212.8
I型介護医療院 (%)	20 100.0	17 85.0	15 75.0	5 25.0	3 15.0	40 200.0
II型介護医療院 (%)	17 100.0	17 100.0	14 82.4	7 41.2	0 0.0	38 223.5
I型・II型混合介護医療院 (%)	2 100.0	1 50.0	2 100.0	2 100.0	0 0.0	5 250.0



移行定着支援加算を算定する際の地域住民への説明方法をたずねたところ、介護医療院全体では「説明資料を配布した」が 64.1%と最も大きく、次いで「説明資料を掲示した」の 41.0%であった。

また、移行定着支援加算について説明を行った地域住民の種別をたずねたところ、介護医療院全体では「病院・診療所の受診者」が 48.7%と最も大きく、次いで「自治体・町内会の役員」が 33.3%であった。

図表 78 移行定着支援加算について地域住民への説明方法（複数回答）

	合計	対面で説明した	説明資料を配布した	説明資料を掲示した	その他	無回答	累計 (n) (%)
合計 (%)	39 100.0	13 33.3	25 64.1	16 41.0	11 28.2	1 2.6	66 169.2
I型介護医療院 (%)	20 100.0	8 40.0	12 60.0	8 40.0	6 30.0	1 5.0	35 175.0
II型介護医療院 (%)	17 100.0	5 29.4	11 64.7	6 35.3	4 23.5	0 0.0	26 152.9
I型・II型混合介護医療院 (%)	2 100.0	0 0.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	5 250.0

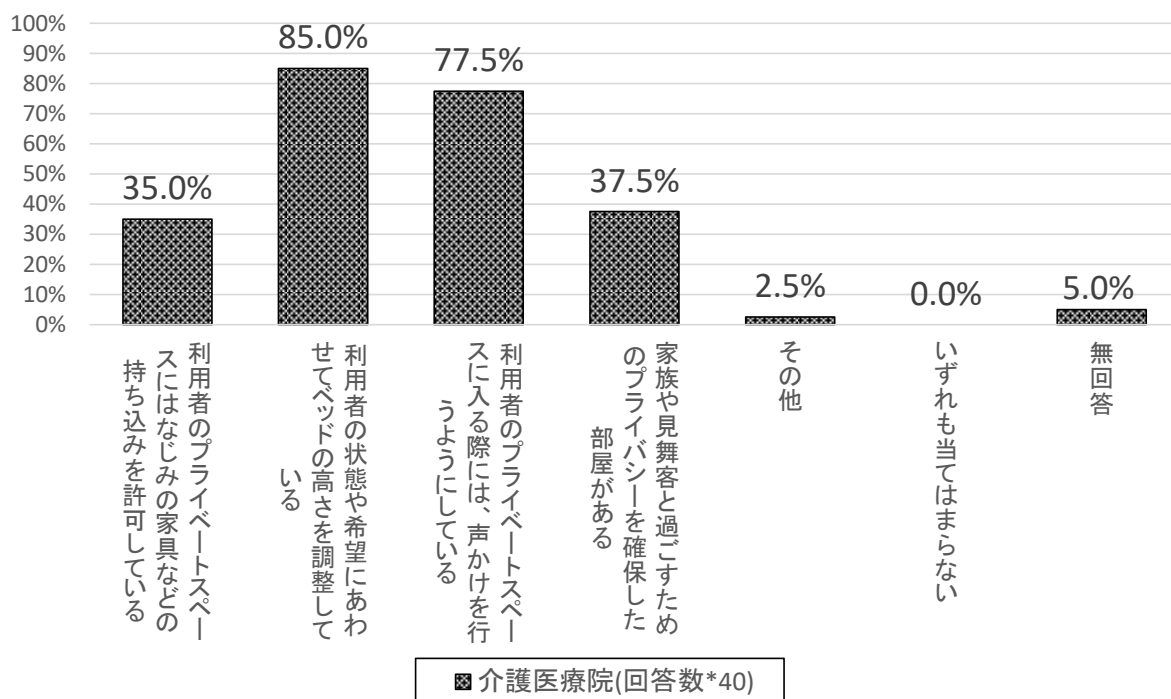
図表 79 移行定着支援加算について説明を行った地域住民（複数回答）

	合計	自治会・町内会の役員	自治会・町内会の加入者	民生委員	病院・診療所の受診者	募集に対して参加された方	その他	累計 (n) (%)
合計 (%)	39 100.0	13 33.3	10 25.6	7 17.9	19 48.7	6 15.4	16 41.0	71 182.1
I型介護医療院 (%)	20 100.0	7 35.0	6 30.0	2 10.0	10 50.0	1 5.0	7 35.0	33 165.0
II型介護医療院 (%)	17 100.0	5 29.4	4 23.5	5 29.4	7 41.2	5 29.4	7 41.2	33 194.1
I型・II型混合介護医療院 (%)	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0	5 250.0

## (6) 生活施設としての環境を整える取組・工夫等

既に移行した介護医療院へ生活施設としてのプライベートスペースの確保についてたずねたところ、「利用者の状態や希望にあわせてベッドの高さを調整している」が85.0%と最も大きく、次いで「利用者のプライベートスペースに入る際には、声かけを行うようにしている」の77.5%であった。

図表 80 生活施設としてのプライベートスペースの確保（複数回答）



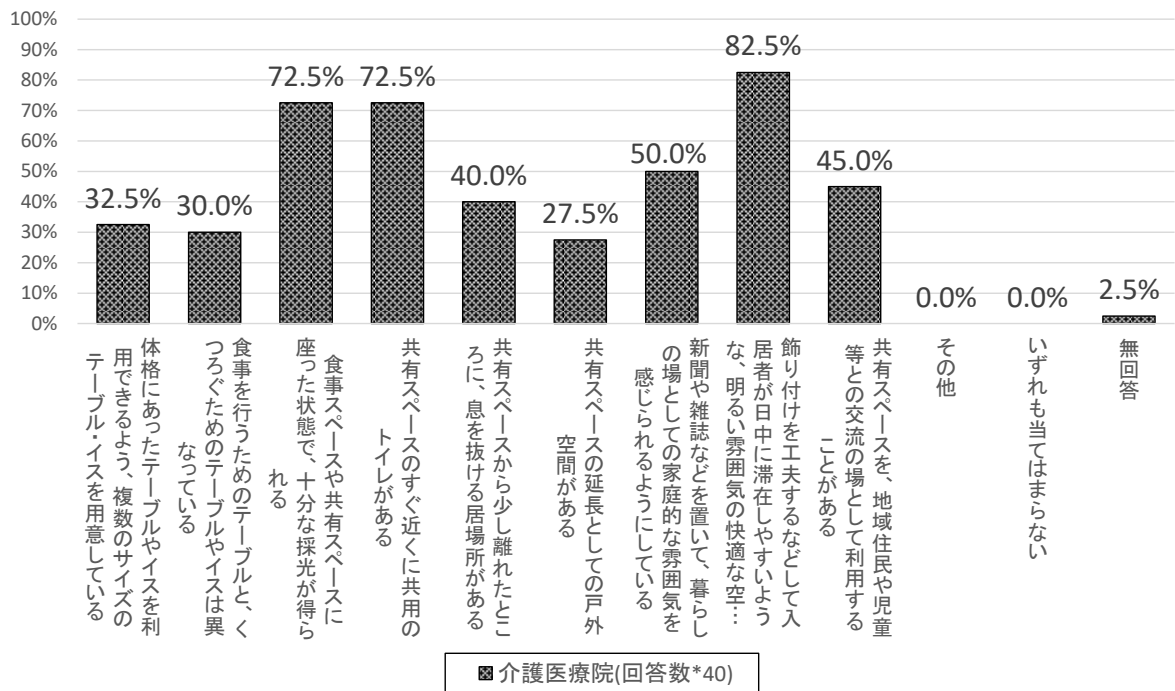
\*回答数は施設数

図表 81 生活施設としてのプライベートスペースの確保（複数回答）

	合計	利用者のプライベートスペースにはなじみの家具などの持ち込みを許可している	利用者の状態や希望にあわせてベッドの高さを調整している	利用者のプライベートスペースに入る際には、声かけを行うようにしている	家族や見舞客と過ごすためのプライバシーを確保した部屋がある	その他	上記01～05にはいずれも当てはまらない	無回答	累計 (n) (%)
合計	40	14	34	31	15	1	0	2	97
(%)	100.0	35.0	85.0	77.5	37.5	2.5	0.0	5.0	242.5
I型介護医療院	21	6	16	16	9	1	0	1	49
(%)	100.0	28.6	76.2	76.2	42.9	4.8	0.0	4.8	233.3
II型介護医療院	17	8	16	14	5	0	0	1	44
(%)	100.0	47.1	94.1	82.4	29.4	0.0	0.0	5.9	258.8
I型・II型混合介護医療院	2	0	2	1	1	0	0	0	4
(%)	100.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	200.0

既に移行した介護医療院へ生活施設としての共有スペースの状況についてたずねたところ、「飾り付けを工夫するなどして入居者が日中に滞在しやすいような、明るい雰囲気の快適な空間にしている」が82.5%と最も大きく、次いで「共有スペースのすぐ近くに共用のトイレがある」と「食事スペースや共有スペースに座った状態で十分な採光が得られる」がそれぞれ72.5%であった。

図表 82 生活施設としての共有スペースの状況（複数回答）



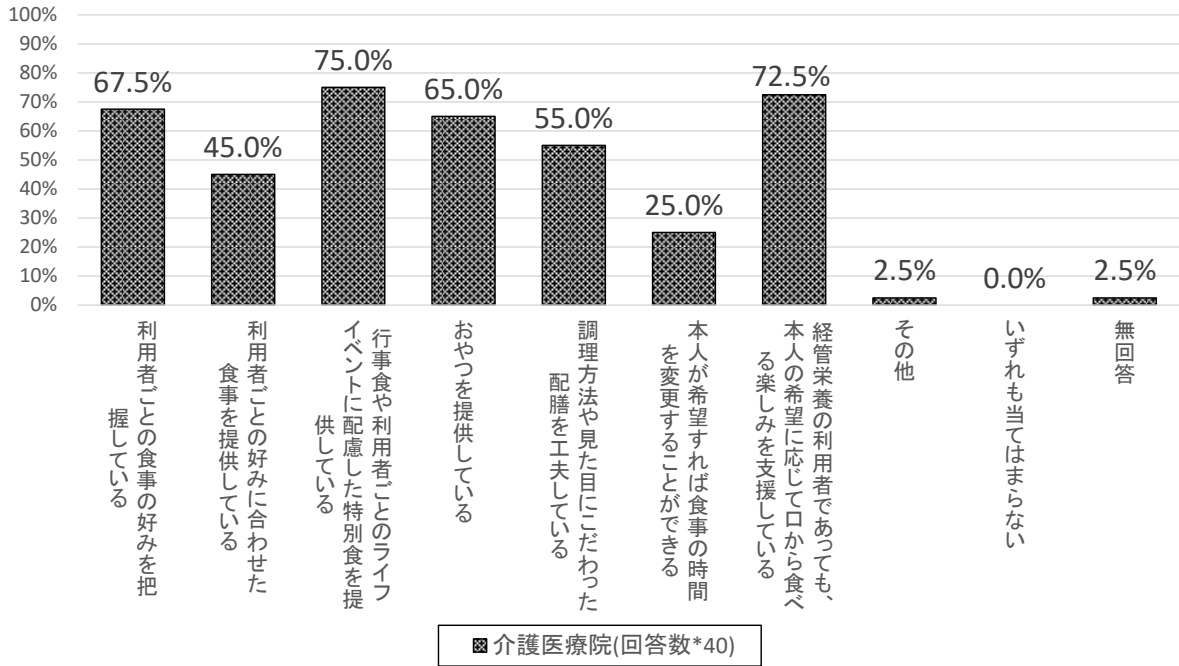
\*回答数は施設数

図表 83 生活施設としての共有スペースの状況（複数回答）

	合計	体格にあったテーブルやイスを利用できるよう、複数のサイズのテーブル・イスを用意している	食事を行うためのテーブルと、くつろぐためのテーブルやイスは異なる	食事スペースや共有スペースに座った状態で、十分な採光が得られる	共有スペースのすぐ近くに共用のトイレがある	共有スペースから少し離れたところに、息を抜ける居場所がある	共有スペースの延長としての戸外空間がある	新聞や雑誌などを置いて、暮らしの場としての家庭的な雰囲気を感じられるようにしている	飾り付けを工夫するなどして入居者が日中に滞在しやすいような、明るい雰囲気の快適な空間にしている	共有スペースを、地域住民や児童等との交流の場として利用することがある	その他	上記01～10には当てはまらない	無回答	累計 (n) (%)
合計 (%)	40 100.0	13 32.5	12 30.0	29 72.5	29 72.5	16 40.0	11 27.5	20 50.0	33 82.5	18 45.0	0 0.0	0 0.0	1 2.5	182 455.0
I型介護医療院 (%)	21 100.0	5 23.8	9 42.9	16 76.2	17 81.0	10 47.6	8 38.1	8 38.1	16 76.2	10 47.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	99 471.4
II型介護医療院 (%)	17 100.0	8 47.1	3 17.6	11 64.7	11 64.7	5 29.4	2 11.8	10 58.8	15 88.2	8 47.1	0 0.0	0 0.0	1 5.9	74 435.3
I型・II型混合介護医療院 (%)	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 450.0

既に移行した介護医療院へ生活施設としての食事支援の状況についてたずねたところ、「行事食や利用者ごとのライフイベントに配慮した特別職を提供している」が75.0%と最も大きく、次いで「経管栄養の利用者であっても、本人の希望に応じて口から食べる楽しみを支援している」が72.5%であった。

図表 84 生活施設としての食事支援の状況（複数回答）



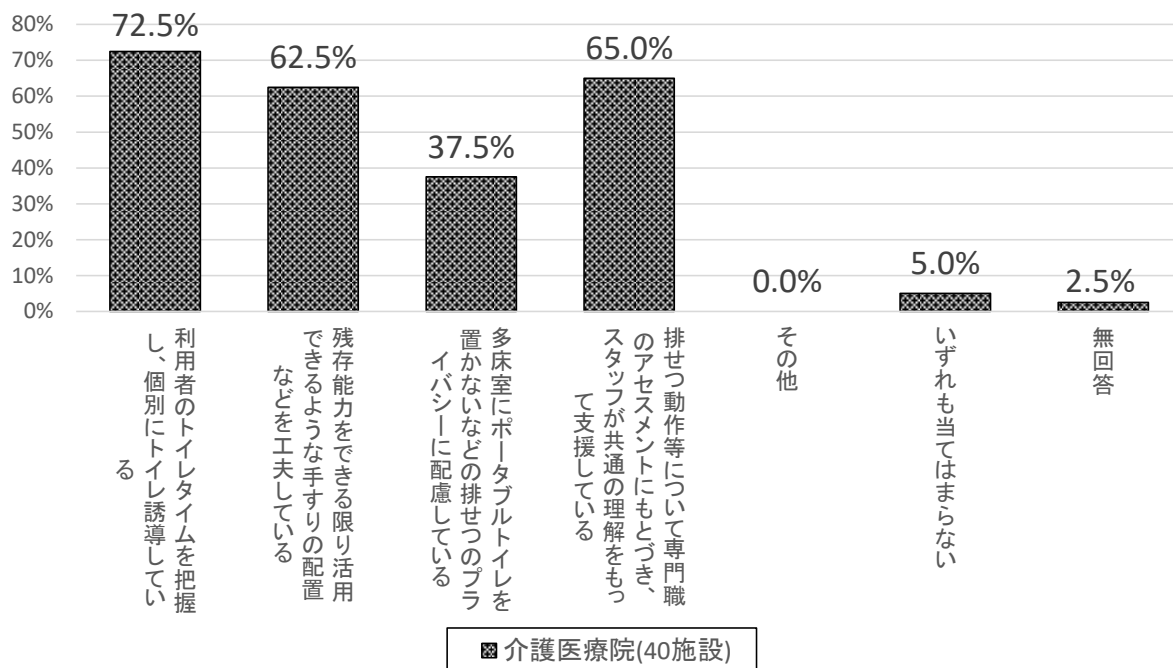
\*回答数は施設数

図表 85 生活施設としての食事支援の状況（複数回答）

	合計	利用者ごとの食事の好み把握している	利用者ごとの好みに合わせた食事を提供している	行事食や利用者ごとのライフイベントに配慮した特別食を提供している	おやつを提供している	調理方法や見た目にこだわった配膳を工夫している	本人が希望すれば食事の時間を変更することができる	経管栄養の利用者であっても、本人の希望に応じて口から食べる楽しみを支援している	その他	上記01～08には当てはまらない	無回答	累計 (n) (%)
合計	40	27	18	30	26	22	10	29	1	0	1	164
(%)	100.0	67.5	45.0	75.0	65.0	55.0	25.0	72.5	2.5	0.0	2.5	410.0
I型介護医療院	21	14	11	14	14	12	7	16	0	0	0	88
(%)	100.0	66.7	52.4	66.7	66.7	57.1	33.3	76.2	0.0	0.0	0.0	419.0
II型介護医療院	17	12	7	15	10	9	3	12	1	0	1	70
(%)	100.0	70.6	41.2	88.2	58.8	52.9	17.6	70.6	5.9	0.0	5.9	411.8
I型・II型混合介護医療院	2	1	0	1	2	1	0	1	0	0	0	6
(%)	100.0	50.0	0.0	50.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	300.0

既に移行した介護医療院へ生活施設としての排せつ支援の状況についてたずねたところ、「利用者のトイレタイムを把握し、個別にトイレ誘導している」が72.5%と最も大きく、次いで「排せつ動作等について専門職のアセスメントにもとづき、スタッフが共通の理解をもって支援している」が65.0%であった。

図表 86 生活施設としての排せつ支援の状況（複数回答）



\*回答数は施設数

図表 87 生活施設としての排せつ支援の状況（複数回答）

	合計	利用者のトイレタイムを把握し、個別にトイレ誘導している	残存能力をできる限り活用できるような手すりの配置などを工夫している	多床室にポータブルトイレを置かないなどの排せつのプライバシーに配慮している	排せつ動作等について専門職のアセスメントにもとづき、スタッフが共通の理解をもって支援している	その他	上記01～05にはいずれも当てはまらない	無回答	累計 (n) (%)
合計	40	29	25	15	26	0	2	1	98
(%)	100.0	72.5	62.5	37.5	65.0	0.0	5.0	2.5	245.0
I型介護医療院	21	15	11	11	13	0	0	0	50
(%)	100.0	71.4	52.4	52.4	61.9	0.0	0.0	0.0	238.1
II型介護医療院	17	14	13	4	12	0	1	1	45
(%)	100.0	82.4	76.5	23.5	70.6	0.0	5.9	5.9	264.7
I型・II型混合介護医療院	2	0	1	0	1	0	1	0	3
(%)	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	150.0

既に移行した介護医療院へ生活施設としての入浴支援の状況についてたずねたところ、「上記にはいずれも当てはまらない」を除き最も高い割合を占めたのは「マンツーマン体制での入浴（浴室までの誘導～浴室内の介助を1人の職員が行う入浴）を実現している」の27.5%であった。

図表 88 生活施設としての入浴支援の状況（複数回答）

	合計	本人が希望すれば週3回以上の入浴を実現している	本人が希望すれば夜間入浴（夕食後から就寝前の時間帯の入浴）を実現している	マンツーマン体制での入浴（浴室までの誘導～浴室内の介助を1人の職員が行う入浴）を実現している	その他	上記にはいずれも当てはまらない	無回答	累計 (n) (%)
合計 (%)	40 100.0	5 12.5	0 0.0	11 27.5	1 2.5	22 55.0	3 7.5	42 105.0
I型介護医療院 (%)	21 100.0	3 14.3	0 0.0	6 28.6	1 4.8	11 52.4	0 0.0	21 100.0
II型介護医療院 (%)	17 100.0	2 11.8	0 0.0	5 29.4	0 0.0	9 52.9	3 17.6	19 111.8
I型・II型混合介護医療院 (%)	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0

既に移行した介護医療院へ生活施設としてのレクリエーションの取り組み方針の状況についてたずねたところ、「利用者の希望に合わせてレクリエーションを組み合わせている」が50.0%と最も大きく、次いで「個別の外出に対応している」が30.0%であった。

図表 89 生活施設としてのレクリエーションの取り組み方針の状況（複数回答）

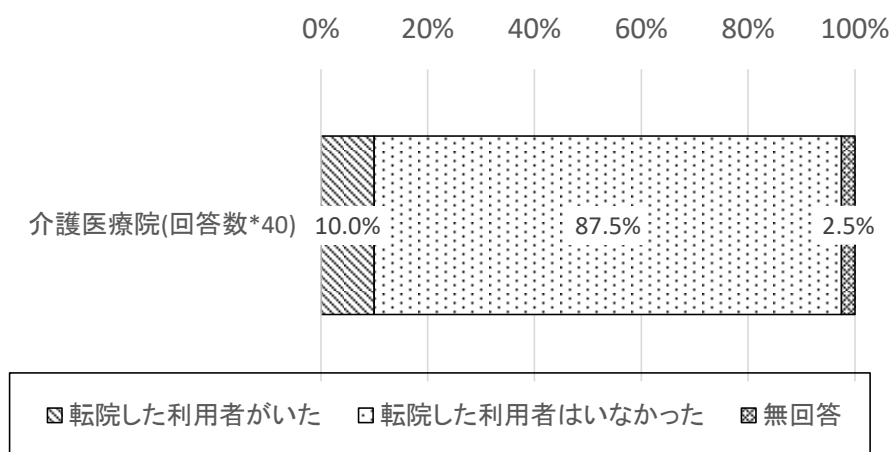
	合計	利用者の希望に合わせてレクリエーションを組み合わせている	外出行事を実施している	個別の外出に対応している	近隣の行事（運動会、お祭り等）に参加している	その他	上記にはいずれも当てはまらない	無回答	累計 (n) (%)
合計 (%)	40 100.0	20 50.0	11 27.5	12 30.0	8 20.0	2 5.0	5 12.5	6 15.0	64 160.0
I型介護医療院 (%)	21 100.0	9 42.9	8 38.1	8 38.1	4 19.0	1 4.8	3 14.3	3 14.3	36 171.4
II型介護医療院 (%)	17 100.0	10 58.8	3 17.6	3 17.6	4 23.5	1 5.9	2 11.8	3 17.6	26 152.9
I型・II型混合介護医療院 (%)	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

### (7) 転院（転棟）する必要のあった利用者の状況

介護医療院へ移行するにあたり、併設医療機関や他の医療機関へ転院（転棟）した利用者の有無をたずねたところ、「転院した利用者はいなかった」と回答した施設が87.5%と最も高い割合を占めた。

また、「転院した利用者がいた」と回答した施設のうち、転院（転棟）した利用者の理由別人数をたずねた。転院（転棟）した利用者的人数のうち、最も高い割合を占めたのは「医療の必要性が大きかった」の50.0%（5人）であり、次いで「本人・家族の希望」の30.0%（3人）であった。

図表 90 併設医療機関や他の医療機関へ転院（転棟）した利用者の有無



\*回答数は施設数

図表 91 併設医療機関や他の医療機関へ転院（転棟）した利用者の有無

	合計	転院した利用者がいた	転院した利用者はいなかった	無回答
合計	40	4	35	1
(%)	100.0	10.0	87.5	2.5
I型介護医療院	21	1	20	0
(%)	100.0	4.8	95.2	0.0
II型介護医療院	17	2	14	1
(%)	100.0	11.8	82.4	5.9
I型・II型混合介護医療院	2	1	1	0
(%)	100.0	50.0	50.0	0.0

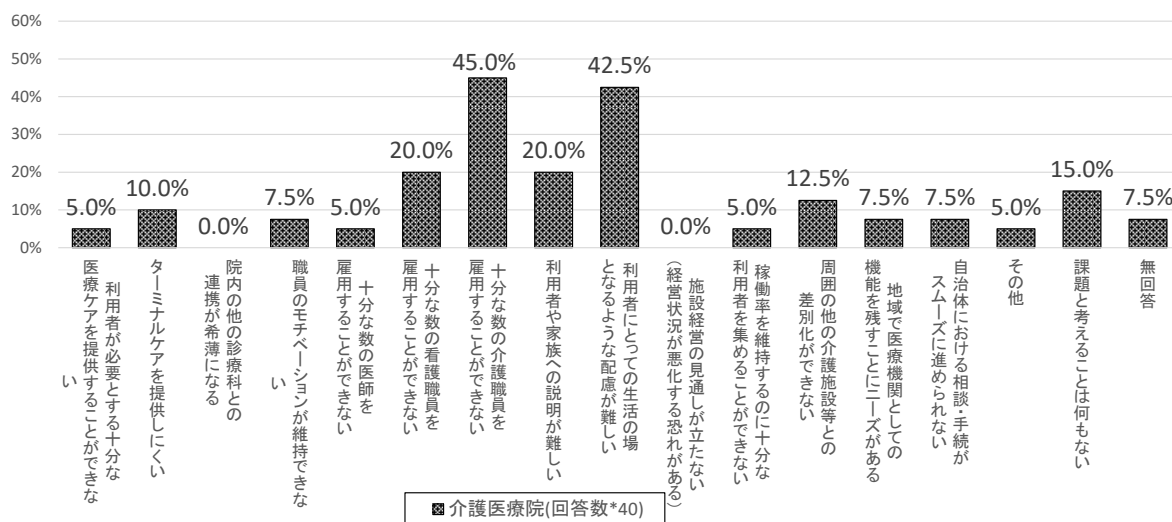
図表 92 転院（転棟）した利用者の理由別人数

		合計	利用者の年齢が40歳未満だった	要介護認定されなかった	医療の必要性が高かった	介護保険施設では自己負担額が大きく変わった	本人・家族の希望	その他
介護医療院	施設数	4	0	0	1	1	2	1
	人数	10	0	0	5	1	3	1
(%)	割合	100.0	0.0	0.0	50.0	10.0	30.0	10.0

### (8) 介護医療院開設に当たっての課題

既に介護医療院へ移行した施設へ、介護医療院の開設にあたって必要だと感じた支援策について複数回答にて回答を求めた。その結果、最も大きい割合を占めたのは「十分な数の介護職員を雇用することができない」の45.0%であった。次いで、「利用者にとっての生活の場となるような配慮が難しい」が42.5%であった。

図表 93 介護医療院の開設にあたって課題と考えること（複数回答）



\*回答数は施設数

図表 94 介護医療院の開設にあたって課題と考えること（複数回答）

	合計	利用者が必要とする十分な医療ケアを提供することができない	ターミナルケアを提供しにくい	院内の他の診療科との連携が希薄になる	職員とのモチベーションが維持できない	十分な数の医師を雇用することができない	十分な数の看護職員を雇用することができない	十分な数の介護職員を雇用することができない	利用者や家族への説明が難しい	利用者にとっての生活の場となるような配慮が難しい
合計	40	2	4	0	3	2	8	18	8	17
(%)	100.0	5.0	10.0	0.0	7.5	5.0	20.0	45.0	20.0	42.5
I型介護医療院	21	1	0	0	1	0	1	11	6	8
(%)	100.0	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	4.8	52.4	28.6	38.1
II型介護医療院	17	1	4	0	2	2	7	7	2	8
(%)	100.0	5.9	23.5	0.0	11.8	11.8	41.2	41.2	11.8	47.1
I型・II型混合介護医療院	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

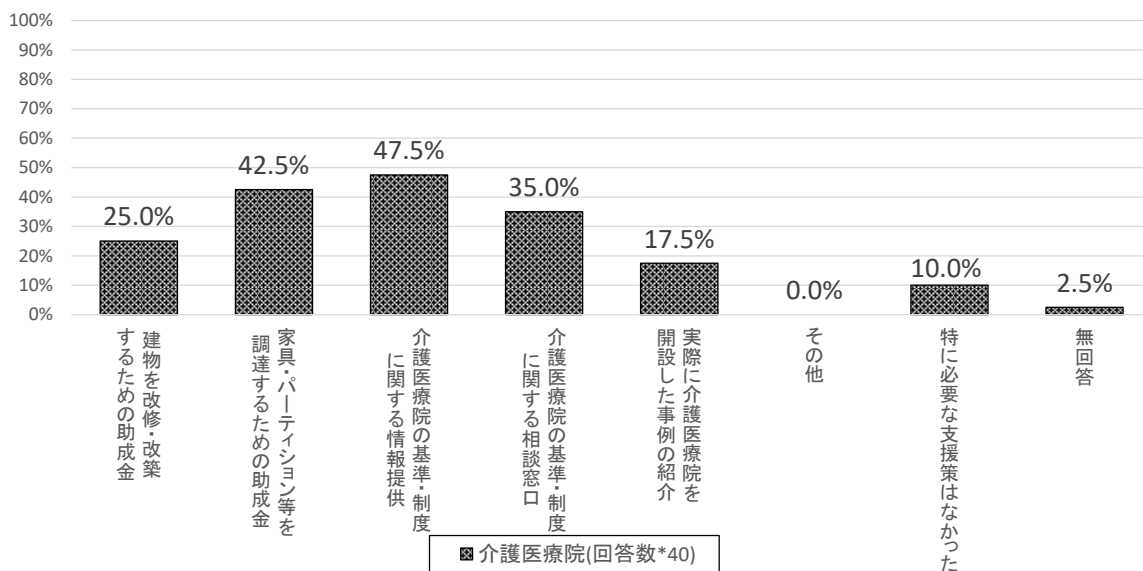
	施設経営の見通しが立たない（経営状況が悪化する恐れがある）	稼働率を維持するのに十分な利用者を集めることができない	周囲の他の介護施設等との差別化ができない	地域で医療機関としての機能を残すことにニーズがある	自治体における相談・手続がスムーズに進められない	その他	課題と考えることは何もない	無回答	累計 (n) (%)
合計	0	2	5	3	3	2	6	3	86
(%)	0.0	5.0	12.5	7.5	7.5	5.0	15.0	7.5	215.0
I型介護医療院	0	0	1	2	2	2	1	2	38
(%)	0.0	0.0	4.8	9.5	9.5	9.5	4.8	9.5	181.0
II型介護医療院	0	2	4	1	1	0	4	1	46
(%)	0.0	11.8	23.5	5.9	5.9	0.0	23.5	5.9	270.6
I型・II型混合介護医療院	0	0	0	0	0	0	1	0	2
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0



### (9) 介護医療院開設にあたって必要な支援策

既に介護医療院へ移行した施設へ、介護医療院の開設にあたって必要だと感じた支援策について複数回答にて回答を求めた。その結果、「介護医療院の基準・制度に関する情報提供」の47.5%が最も大きく、次いで「家具・パーティション等を調達するための助成金」が42.5%であった。

図表 95 介護医療院の開設にあたって必要だと感じた支援策（複数回答）



\*回答数は施設数

図表 96 介護医療院の開設にあたって必要だと感じた支援策（複数回答）

	合計	建物を改修・改築するための助成金	家具・パーティション等を調達するための助成金	介護医療院の基準・制度に関する情報提供	介護医療院の基準・制度に関する相談窓口	実際に介護医療院を開設した事例の紹介	その他	特に必要な支援策はなかった	無回答	累計 (n) (%)
合計	40	10	17	19	14	7	0	4	1	72
(%)	100.0	25.0	42.5	47.5	35.0	17.5	0.0	10.0	2.5	180.0
I型介護医療院	21	6	8	10	7	5	0	2	0	38
(%)	100.0	28.6	38.1	47.6	33.3	23.8	0.0	9.5	0.0	181.0
II型介護医療院	17	4	9	9	7	2	0	0	1	32
(%)	100.0	23.5	52.9	52.9	41.2	11.8	0.0	0.0	5.9	188.2
I型・II型混合介護医療院	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2
(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0

## 6. 介護医療院への移行についての概要

### (1) 介護医療院に関する情報

療養病床等を有する医療機関及び施設に介護医療院への関心をたずねたところ、「非常に  
関心がある」または「関心がある」と回答した介護療養型医療施設は 89.8%、医療療養病床  
のうち療養病棟入院料 1・2 は 60.6%、医療療養病床のうち経過措置は 74.1%、医療療養病  
床のうち有床診療所療養病床入院基本料は 49.7%、介護療養型老人保健施設は 76.1%であ  
った。

図表 97 「介護医療院」への関心

	合計	非常に 関心がある	関心があ る	関心がな い	無回答
介護療養型医療施設 (%)	355 100.0	157 44.2	162 45.6	34 9.6	2 0.6
医療療養病床 (%)	925 100.0	171 18.5	381 41.2	351 37.9	22 2.4
うち療養病棟入院料 1・2 (%)	690 100.0	137 19.9	281 40.7	257 37.2	15 2.2
うち経過措置 (%)	81 100.0	22 27.2	38 46.9	20 24.7	1 1.2
うち有床診療所療養病床入院基本料 (%)	165 100.0	15 9.1	67 40.6	77 46.7	6 3.6
介護療養型老人保健施設 (%)	46 100.0	15 32.6	20 43.5	10 21.7	1 2.2

介護医療院への関心をたずねたうち、「非常に関心がある」または「関心がある」と回答し  
た医療機関及び施設について、介護医療院に関する情報収集の状況をたずねたところ、「行っ  
ている」と回答した介護療養型医療施設は 87.8%、医療療養病床のうち療養病棟入院料 1・  
2 は 79.5%、医療療養病床のうち経過措置は 80.0%、医療療養病床のうち有床診療所療養病  
床入院基本料は 61.0%、介護療養型老人保健施設は 82.9%であった。

図表 98 「介護医療院」に関する情報収集

	合計	行ってい る	行ってい ない	無回答
介護療養型医療施設 (%)	319 100.0	280 87.8	38 11.9	1 0.3
医療療養病床 (%)	553 100.0	427 77.2	126 22.8	0 0.0
うち療養病棟入院料 1・2 (%)	419 100.0	333 79.5	86 20.5	0 0.0
うち経過措置 (%)	60 100.0	48 80.0	12 20.0	0 0.0
うち有床診療所療養病床入院基本料 (%)	82 100.0	50 61.0	32 39.0	0 0.0
介護療養型老人保健施設 (%)	35 100.0	29 82.9	6 17.1	0 0.0

※「介護医療院」への関心をたずねたうち「非常に関心がある」または「関心がある」と回答した施設のみ回答している。

療養病床等を有する医療機関及び施設に介護医療院具体的な開設手順の把握状況をたずねたところ、「知っている」と回答した介護療養型医療施設は 59.7%、医療療養病床のうち療養病棟入院料 1・2 は 39.4%、医療療養病床のうち経過措置は 43.2%、医療療養病床のうち有床診療所療養病床入院基本料は 21.8%、介護療養型老人保健施設は 50.0%であった。

図表 99 「介護医療院」の具体的な開設手順

	合計	知っている	知らない	無回答
介護療養型医療施設 (%)	355 100.0	212 59.7	130 36.6	13 3.7
医療療養病床 (%)	925 100.0	338 36.5	495 53.5	92 9.9
うち療養病棟入院料 1・2 (%)	690 100.0	272 39.4	352 51.0	66 9.6
うち経過措置 (%)	81 100.0	35 43.2	40 49.4	6 7.4
うち有床診療所療養病床入院基本料 (%)	165 100.0	36 21.8	108 65.5	21 12.7
介護療養型老人保健施設 (%)	46 100.0	23 50.0	19 41.3	4 8.7

療養病床等を有する医療機関及び施設について、介護医療院へ移行する場合に適用される経過措置の認知状況を複数回答にてたずねた。介護療養型医療施設、医療療養病床のうち療養病棟入院料1・2、経過措置では「療養室の床面積は、新築、増築又は全面的な改築の工事が終了するまでの間は、内法による測定で入所者1人あたり6.4平方メートル以上でよい」という経過措置の認知度が最も大きく、それぞれ87.0%、69.0%、80.2%であった。医療療養病床のうち有床診療所療養病床入院基本料では無回答が49.7%と最も高い割合を占めた。介護療養型老人保健施設では「療養室の床面積は、新築、増築又は全面的な改築の工事が終了するまでの間は、内法による測定で入所者1人あたり6.4平方メートル以上でよい」という経過措置の認知度が80.4%と最も高い割合を占めた。

図表 100 療養病床等を有する医療機関が介護医療院に移行する場合に適用される経過措置の認知（複数回答）

	合計	療養室の床面積は、新築、増築又は全面的な改築の工事が終了するまでの間は、内法による測定で入所者1人あたり6.4平方メートル以上でよい	建物の耐火構造は、建築基準法によるものでよい	屋内の直通階段及びエレベーターについては、転換前の医療法による基準と同等のものでよい	療養室に隣接する廊下の幅は、内法による測定で、1.2メートル以上（ただし、両側に療養室等又はエレベーター室がある廊下の幅は、内法による測定で、1.6メートル以上）であればよい	無回答	累計 (n) (%)
介護療養型医療施設 (%)	355 100.0	309 87.0	253 71.3	239 67.3	277 78.0	37 10.4	1115 314.1
医療療養病床 (%)	925 100.0	608 65.7	471 50.9	444 48.0	498 53.8	286 30.9	2307 249.4
うち療養病棟入院料1・2 (%)	690 100.0	476 69.0	365 52.9	353 51.2	386 55.9	193 28.0	1773 257.0
うち経過措置 (%)	81 100.0	65 80.2	54 66.7	47 58.0	56 69.1	16 19.8	238 293.8
うち有床診療所療養病床入院基本料 (%)	165 100.0	73 44.2	58 35.2	50 30.3	62 37.6	82 49.7	325 197.0

図表 101 療養病床等を有する医療機関が介護医療院に移行する場合に適用される経過措置の認知（介護療養型老人保健施設票）（複数回答）

	合計	療養室の床面積は、新築、増築又は全面的な改築の工事が終了するまでの間は、内法による測定で入所者1人あたり6.4平方メートル以上でよい	建物の耐火構造は、建築基準法によるものでよい	屋内の直通階段及びエレベーターについては、転換前の医療法による基準と同等のものでよい	療養室に隣接する廊下の幅は、内法による測定で、1.2メートル以上（ただし、両側に療養室等又はエレベーター室がある廊下の幅は、内法による測定で、1.6メートル以上）であればよい	（介護療養型老人保健施設からの転換の場合）調剤検査施設又はエックス線装置の設置（近隣の場所にある薬局と連携することにより置かないことができる）	（介護療養型老人保健施設からの転換の場合）臨床検査施設又はエックス線装置の設置（近隣の医療機関等との連携により置かないことができる）	無回答
介護療養型老人保健施設 (%)	46 100.0	37 80.4	29 63.0	31 67.4	31 67.4	24 52.2	23 50.0	9 19.6

## (2) 移行予定有無別の状況

2023 年度末までに介護医療院へ移行する予定の有無別に介護医療院へ移行する際に適用される経過措置の認知状況を集計した。

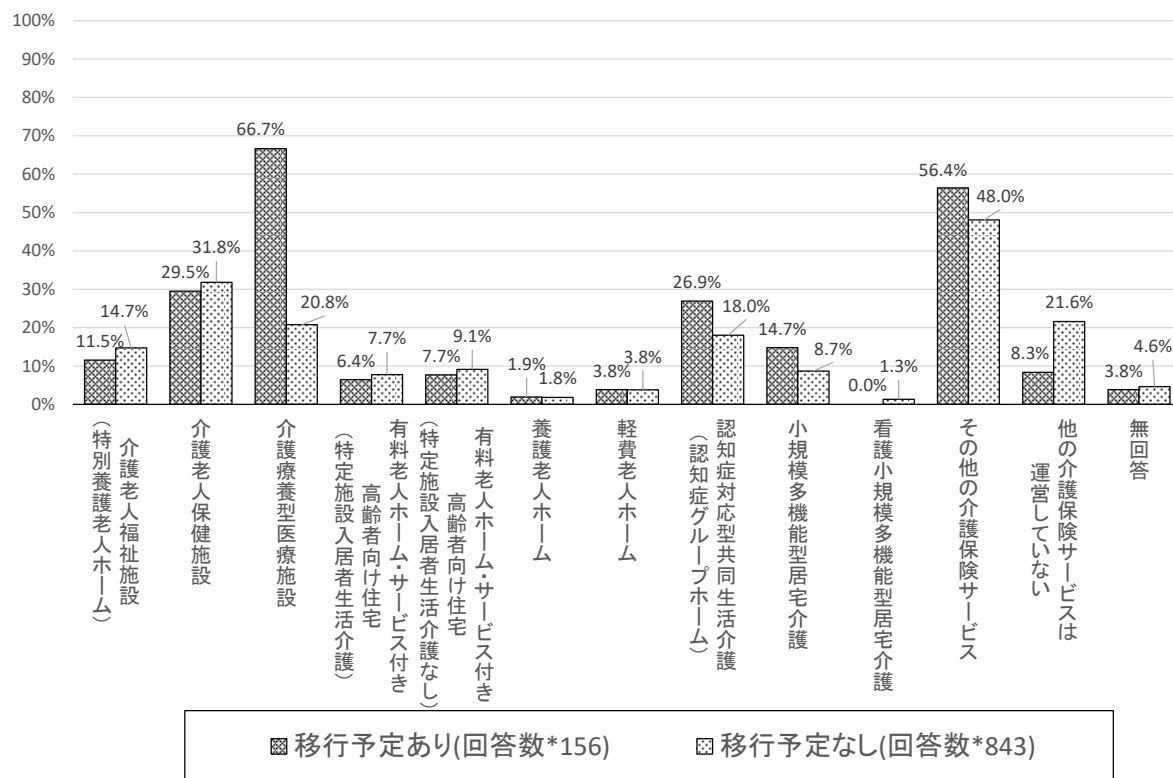
その結果、移行予定がある施設のうち、「療養室の床面積は、新築、増築又は全面的な改築の工事が終了するまでの間は、内法による測定で入所者 1 人あたり 6.4 平方メートル以上でよい」という経過措置を把握している割合は 94.0%であった。一方で移行予定がない施設では 62.8%であった。

図表 102 移行予定別介護医療院経過措置把握の認知（複数回答）

	合計	療養室の床面積は、新築、増築又は全面的な改築の工事が終了するまでの間は、内法による測定で入所者 1 人あたり 6.4 平方メートル以上でよい	建物の耐火構造は、建築基準法によるものでよい	屋内の直通階段及びエレベーターについては、転換前の医療法による基準と同等のものでよい	療養室に隣接する廊下の幅は、内法による測定で、1.2メートル以上（ただし、両側に療養室等又はエレベーター室がある廊下の幅は、内法による測定で、1.6メートル以上）であればよい	無回答	累計 (n) (%)
移行予定あり (%)	168 100.0	158 94.0	133 79.2	133 79.2	151 89.9	9 5.4	584 347.6
移行予定なし (%)	877 100.0	551 62.8	416 47.4	389 44.4	430 49.0	295 33.6	2081 237.3

医療療養病床における 2023 年度末までの介護医療院へ移行予定の有無と同法人・関連法人での介護保険サービス実績有無をみたところ、移行予定のある場合の同法人・関連法人における介護保険サービス（介護療養型医療施設）実績の施設数割合は 66.7%であった。一方で移行予定のない場合では、20.8%で、介護保険サービスの実績有無と移行予定の有無との差異が大きかった。

図表 103 系列法人が実施している介護保険サービス別移行予定（医療療養病床）（複数回答）



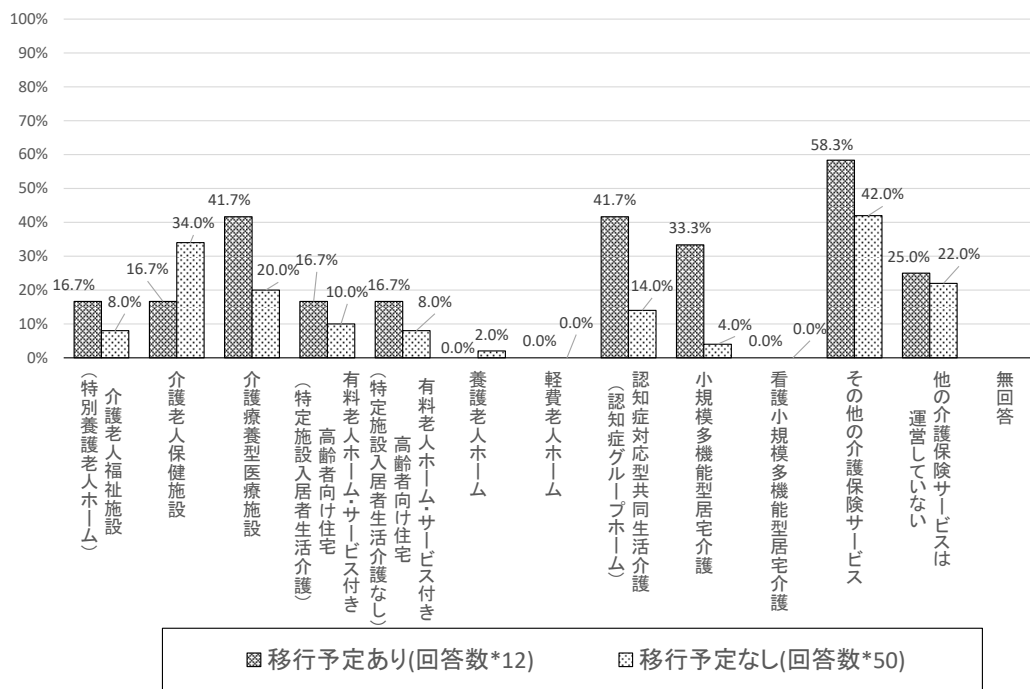
\*回答数は施設数

図表 104 系列法人が実施している介護保険サービス別移行予定（医療療養病床）（複数回答）

	合計	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅(特定施設入居者生活介護)	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅(特定施設入居者生活介護なし)	養護老人ホーム	軽費老人ホーム	認知症対応型共同生活介護(認知症グループホーム)	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	その他の介護保険サービス	他の介護保険サービスは運営していない	無回答	累計(n)(%)
移行予定あり(%)	156 100.0	18 11.5	46 29.5	104 66.7	10 6.4	12 7.7	3 1.9	6 3.8	42 26.9	23 14.7	0 0.0	88 56.4	13 8.3	6 3.8	371 237.8
移行予定なし(%)	843 100.0	124 14.7	268 31.8	175 20.8	65 7.7	77 9.1	15 1.8	32 3.8	152 18.0	73 8.7	11 1.3	405 48.0	182 21.6	39 4.6	1618 191.9

医療療養病床のうち療養病棟入院料経過措置における 2023 年度末までの介護医療院へ移行予定の有無と同法人・関連法人での介護保険サービス実績有無をみたところ、移行予定のある場合の同法人・関連法人における介護保険サービス（介護療養型医療施設）実績の施設数割合は 41.7%であった。一方で移行予定のない場合では、20.0%で、医療療養病床全体と同様に介護保険サービスの実績有無と移行予定の有無との差異が大きかった。

図表 105 系列法人が実施している介護保険サービス別移行予定  
（医療療養病床のうち療養病棟入院料経過措置）（複数回答）



\*回答数は施設数

図表 106 系列法人が実施している介護保険サービス別移行予定  
（医療療養病床のうち療養病棟入院料経過措置）（複数回答）

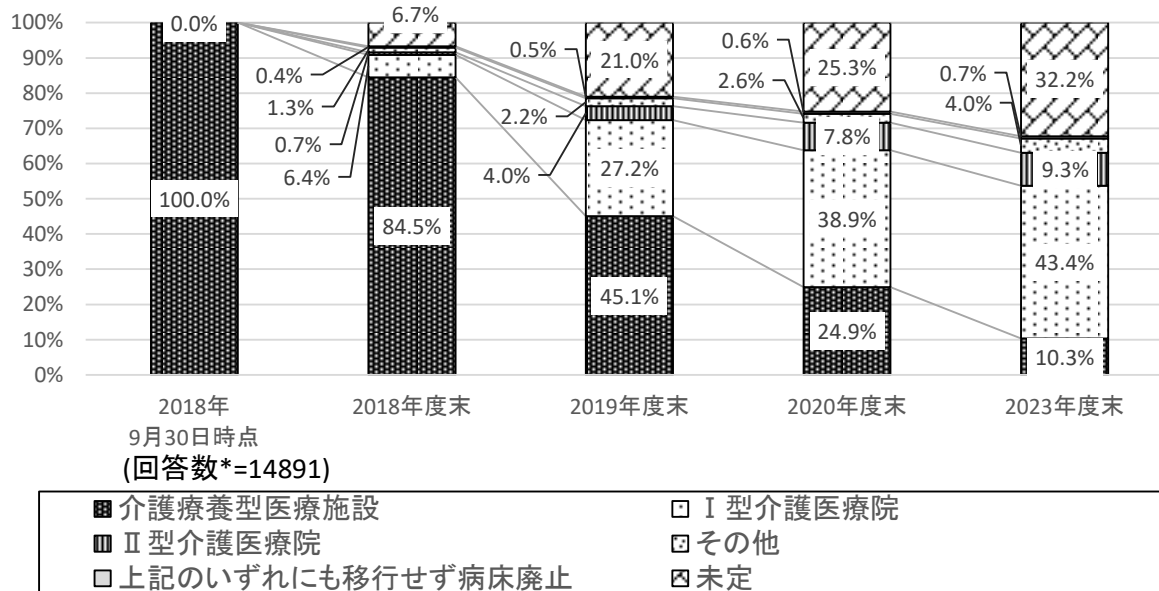
	合計	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅(特定施設入居者生活介護)	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅(特定施設入居者生活介護なし)	養護老人ホーム	軽費老人ホーム	認知症対応型共同生活介護(認知症グループホーム)	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	その他の介護保険サービス	他の介護保険サービスは運営していない	無回答	累計(n)(%)
移行予定あり	12	2	2	5	2	2	0	0	5	4	0	7	3	1	33
(%)	100.0	16.7	16.7	41.7	16.7	16.7	0.0	0.0	41.7	33.3	0.0	58.3	25.0	8.3	275.0
移行予定なし	50	4	17	10	5	4	1	0	7	2	0	21	11	1	83
(%)	100.0	8.0	34.0	20.0	10.0	8.0	2.0	0.0	14.0	4.0	0.0	42.0	22.0	2.0	166.0



### (3) 介護医療院等への移行予定

介護療養型医療施設から介護医療院への移行予定をたずねたところ、2019年度末までに介護医療院へ移行を予定している病床はI型介護医療院・II型介護医療院を合計すると31.2%の病床数構成比であった。2023年度末時点では52.7%であった。

図表 107 介護医療院への移行予定【介護療養型医療施設・全体】



\*回答数は施設票における病床数

図表 108 介護医療院への移行予定【介護療養型医療施設・全体】

			平成30年 9月30日時点		2018年度末			2019年度末			2020年度末			2023年度末				
			施設数	病床数	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合		
病院	医療保険	療養病床	療養病床入院基本料		7	170	1.1	7	190	1.3	7	175	1.2	16	312	2.1		
		療養病床入院基本料	経過措置		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		地域包括ケア病床入院料			0	0	0.0	2	34	0.2	4	62	0.4	4	62	0.4		
		回復期リハビリテーション病床入院料			0	0	0.0	3	72	0.5	4	84	0.6	4	96	0.6		
		一般病床	一般病床入院基本料		1	22	0.1	1	22	0.1	2	50	0.3	2	50	0.3		
	一般病床	その他		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
	介護保険	療養病床	療養機能強化型A		126	8535	98	6622	44.5	47	2879	19.3	27	1302	8.7	12	475	3.2
		療養病床	療養機能強化型B		23	1458	20	1319	8.9	12	825	5.5	5	335	2.2	2	60	0.4
		療養病床	療養病床その他		94	3698	83	3435	23.1	49	2208	14.8	38	1402	9.4	16	756	5.1
		精神病床	老人性認知症疾患療養病床		4	405	4	405	2.7	1	240	1.6	1	240	1.6	0	0	0.0
療養病床		有床診療所療養病床入院基本料		1	6	0.0	2	8	0.1	2	8	0.1	2	8	0.1			
診療所	医療保険	一般病床	有床診療所入院基本料		0	0	0.0	1	2	0.0	1	2	0.0	3	14	0.1		
		療養病床	療養機能強化型A		5	148	6	208	1.4	3	120	0.8	1	54	0.4	0	0	0.0
	介護保険	療養病床	療養機能強化型B		2	19	1	10	0.1	1	10	0.1	1	10	0.1	0	0	0.0
		療養病床	療養病床その他		68	628	62	584	3.9	45	431	2.9	38	360	2.4	25	246	1.7
		介護医療院	I型介護医療院		15	946	6.4	63	4052	27.2	86	5798	38.9	96	6466	43.4		
介護医療院	II型介護医療院		5	107	0.7	21	601	4.0	28	1161	7.8	36	1384	9.3				
介護保険 施設	介護老人保健施設			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
	居宅サービス	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅(特定施設入居者生活介護)		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
	居宅サービス	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅(特定施設入居者生活介護なし)		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
	居宅サービス	養護老人ホーム		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
	居宅サービス	軽費老人ホーム		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
	居宅サービス	認知症対応型共同生活介護(認知症グループホーム)		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
	居宅サービス	小規模多機能型居宅介護		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
	居宅サービス	看護小規模多機能型居宅介護		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
	居宅サービス	その他		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
	上記のいずれにも移行せず病床廃止			4	61	0.4	5	73	0.5	6	85	0.6	9	104	0.7			
	未定			22	996	6.7	72	3124	21.0	91	3763	25.3	118	4798	32.2			
	合計			322	14891	322	14891	100.0	322	14891	100.0	322	14891	100.0	322	14891	100.0	

※1 施設が複数の病床種別に移行を予定する必要があるため、各病床種別の施設数を積上げて合計した値は、「合計」欄の施設数と一致しないことがある。

※2018年9月30日時点の病床数と2023年度末の予定病床数が一致する施設のみ集計した。



介護療養型医療施設のうち、病院が有する病床から介護医療院への移行予定をたずねたと  
 ころ、2019年度末までに介護医療院へ移行を予定している病床はⅠ型介護医療院・Ⅱ型介護  
 医療院を合計すると32.4%の病床数構成比であった。2023年度末時点では53.6%であった。

図表 109 介護医療院への移行予定【介護療養型医療施設・病院】

			平成30年 9月30日時点			2018年度末			2019年度末			2020年度末			2023年度末				
			施設 数	病床 数	割合	施設 数	病床 数	割合	施設 数	病床 数	割合	施設 数	病床 数	割合	施設 数	病床 数	割合		
病院	医療 保険	療養病床	療養病棟入院基本料	療養病棟入院料1・2		7	170	1.2	6	170	1.2	6	155	1.1	14	282	2.1		
		療養病棟入院基本料	経過措置		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	
		地域包括ケア病棟入院料			0	0	0.0	2	34	0.2	4	62	0.5	4	62	0.5	4	62	0.5
		回復期リハビリテーション病棟入院料			0	0	0.0	3	72	0.5	4	84	0.6	4	96	0.7	4	96	0.7
		一般病床	一般病棟入院基本料			1	22	0.2	1	22	0.2	2	50	0.4	2	50	0.4	2	50
			一般病床その他			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0
	介護 保険	療養病床	療養機能強化型A			122	8308	95	6494	47.5	45	2793	20.4	26	1241	9.1	12	475	3.5
			療養機能強化型B			23	1458	20	1319	9.6	12	825	6.0	5	335	2.4	2	60	0.4
			療養病床その他			91	3567	80	3304	24.1	47	2097	15.3	36	1291	9.4	15	732	5.3
			精神病床	老人性認知症疾患療養病床			3	352	3	352	2.6	1	240	1.8	1	240	1.8	0	0
診療 所	医療 保険	療養病床	有床診療所療養病床入院基本料			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		一般病床	有床診療所入院基本料			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
	介護 保険	療養病床	療養機能強化型A			0	0	0.0	1	60	0.4	0	0	0.0	0	0	0.0		
			療養機能強化型B			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
			療養病床その他			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
介護 施設	介護 医療 院	Ⅰ型介護医療院			14	847	6.2	55	3895	28.5	76	5579	40.8	85	6142	44.9			
		Ⅱ型介護医療院			4	89	0.7	15	530	3.9	19	1059	7.7	25	1185	8.7			
	介護 老人 保健 施設	介護老人福祉施設	(特別養護老人ホーム)			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		介護老人福祉施設	(特別養護老人ホーム)			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	1	60	0.4		
		有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅	(特定施設入居者生活介護)			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅	(特定施設入居者生活介護なし)			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		養護老人ホーム				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		軽費老人ホーム				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		認知症対応型共同生活介護	(認知症グループホーム)			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		小規模多機能型居宅介護				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
看護小規模多機能型居宅介護				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
その他				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
上記のいずれにも移行せず病床廃止					4	61	0.4	4	70	0.5	4	70	0.5	6	79	0.6			
未定					17	967	7.1	59	2937	21.5	73	3519	25.7	90	4462	32.6			
合計					239	13685	100.0	239	13685	100.0	239	13685	100.0	239	13685	100.0			

※1 施設が複数の病床種別に移行を予定する場合があるため、各病床種別の施設数を積上げて合計した値は、「合計」欄の施設数と一致しないことがある。

※2018年9月30日時点の病床数と2023年度末の予定病床数が一致する施設のみ集計した。

介護療養型医療施設のうち、病院の療養機能強化型 A から介護医療院への移行予定をたずねたところ、2019 年度末までに介護医療院へ移行を予定している病床は I 型介護医療院・II 型介護医療院を合計すると 38.3%の病床数構成比であった。2023 年度末時点では 58.2%であった。

図表 110 介護医療院への移行予定【介護療養型医療施設・病院のうち療養機能強化型 A】

			平成30年 9月30日時点			2018年度末			2019年度末			2020年度末			2023年度末					
			施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合			
病院のうち療養機能強化型 A	病院	医療保険	療養病床	療養病棟入院基本料	療養病棟入院料1・2		6	134	1.6	5	169	2.0	5	154	1.9	8	228	2.7		
			療養病棟	療養病棟入院基本料	経過措置		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0
			一般病床	地域包括ケア病棟入院料			0	0	0.0	0	0	0.0	1	21	0.3	1	21	0.3		
			一般病床	回復期リハビリテーション病棟入院料			0	0	0.0	1	6	0.1	2	18	0.2	2	30	0.4		
			一般病床	一般病棟入院基本料			1	22	0.3	1	22	0.3	1	22	0.3	1	22	0.3		
			一般病床	一般病棟その他			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
	病院	介護保険	療養病床	療養機能強化型A		122	8308	93	6402	77.1	44	2783	33.5	25	1231	14.8	11	468	5.6	
			療養病床	療養機能強化型B		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
			療養病床	療養病床その他		0	0	0.0	0	0	0.0	1	120	1.4	1	120	1.4			
			精神病床	老人性認知症疾患療養病床		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
			療養病床	有床診療所療養病床入院基本料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
			一般病床	有床診療所入院基本料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
	診療所	医療保険	療養病床	療養機能強化型A		1	60	0.7	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
			療養病床	療養機能強化型B		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
			療養病床	療養病床その他		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
		介護保険	介護医療院	I型介護医療院		12	771	9.3	42	3110	37.4	54	4200	50.6	61	4688	56.4			
			介護医療院	II型介護医療院		0	0	0.0	1	73	0.9	2	91	1.1	3	151	1.8			
			介護老人保健施設			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
	介護保険施設等	介護施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
			居宅老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護）		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護なし）				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0					
養護老人ホーム				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0					
軽費老人ホーム				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0					
認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0					
小規模多機能型居宅介護				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0					
看護小規模多機能型居宅介護				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0					
その他				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0					
上記のいずれにも移行せず病床廃止				1	21	0.3	1	30	0.4	2	58	0.7	3	61	0.7					
未定		14	898	10.8	34	2115	25.5	39	2393	28.8	44	2522	30.4							
合計		122	8308		122	8308	100.0	122	8308	100.0	122	8308	100.0	122	8308	100.0				

※1 施設が複数の病床種別に移行を予定する場合があるため、各病床種別の施設数を積上げて合計した値は、「合計」欄の施設数と一致しないことがある。

※2018年9月30日時点の病床数と2023年度末の予定病床数が一致する施設のみ集計した。

介護療養型医療施設のうち、病院の療養機能強化型 B から介護医療院への移行予定をたずねたところ、2019 年度末までに介護医療院へ移行を予定している病床は I 型介護医療院・II 型介護医療院を合計すると 33.5%の病床数構成比であった。2023 年度末時点では 52.0%であった。

図表 111 介護医療院への移行予定【介護療養型医療施設・病院のうち療養機能強化型 B】

			平成30年 9月30日時点		2018年度末			2019年度末			2020年度末			2023年度末				
			施設数	病床数	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合		
病院のうち療養機能強化型 B	病院	医療保険	療養病床	療養病棟入院基本料	療養病棟入院料1・2	0	0	0.0	1	1	0.1	1	1	0.1	2	16	1.1	
			療養病棟入院基本料	経過措置	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
			地域包括ケア病棟入院料		0	0	0.0	0	0	0.0	1	7	0.5	1	7	0.5		
			回復期リハビリテーション病棟入院料		0	0	0.0	1	20	1.4	1	20	1.4	1	20	1.4		
			一般病床	一般病棟入院基本料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
			一般病床	一般病床その他		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
	介護保険	療養病床	療養機能強化型A		1	82	5.7	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
			療養機能強化型B		22	1429	20	1319	92.3	11	777	54.4	5	335	23.4	2	60	4.2
			療養病床その他		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
			精神病床	老人性認知症疾患療養病床		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
			療養病床	有床診療所療養病床入院基本料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
			一般病床	有床診療所入院基本料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
	診療所	医療保険	療養病床	療養機能強化型A		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
			療養病床	療養機能強化型B		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
			療養病床	療養病床その他		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
			療養病床	療養病床その他		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
	施設	介護医療院	I 型介護医療院		0	0	0.0	7	463	32.4	11	732	51.2	11	732	51.2		
			II 型介護医療院		0	0	0.0	1	16	1.1	1	16	1.1	1	11	0.8		
		介護老人保健施設	介護老人保健施設		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
			介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	1	60	4.2		
			居宅老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護）		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
			居宅老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護なし）		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
養護老人ホーム				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
軽費老人ホーム				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
小規模多機能型居宅介護				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
看護小規模多機能型居宅介護				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
その他				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
上記のいずれにも移行せず病床廃止				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
未定				1	28	2.0	3	152	10.6	5	318	22.3	6	523	36.6			
合計		22	1429	100.0	22	1429	100.0	22	1429	100.0	22	1429	100.0					

※1 施設が複数の病床種別に移行を予定する場合があるため、各病床種別の施設数を積上げて合計した値は、「合計」欄の施設数と一致しないことがある。

※2018年9月30日時点の病床数と2023年度末の予定病床数が一致する施設のみ集計した。

介護療養型医療施設のうち、病院のその他から介護医療院への移行予定をたずねたところ、2019年度末までに介護医療院へ移行を予定している病床はⅠ型介護医療院・Ⅱ型介護医療院を合計すると17.6%の病床数構成比であった。2023年度末時点では46.6%であった。

図表 112 介護医療院への移行予定【介護療養型医療施設・病院のうちその他】

			平成30年 9月30日時点			2018年度末			2019年度末			2020年度末			2023年度末					
			施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合			
病院のうちその他	医療保険	療養病床	療養病棟入院基本料	療養病棟入院料1・2		1	36	1.1	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	3	26	0.8
			療養病棟入院基本料	経過措置		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
		一般病床	地域包括ケア病棟入院料		0	0	0.0	2	34	1.0	2	34	1.0	2	34	1.0	2	34	1.0	
			回復期リハビリテーション病棟入院料		0	0	0.0	1	46	1.4	1	46	1.4	1	46	1.4	1	46	1.4	
			一般病棟入院基本料		0	0	0.0	0	0	0.0	1	28	0.8	1	28	0.8	1	28	0.8	
	介護保険	療養病床	療養機能強化型A		1	10	0.3	1	10	0.3	1	10	0.3	1	10	0.3	1	10	0.3	
			療養機能強化型B		0	0	0.0	1	48	1.4	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
			療養病床その他		88	3385	77	3122	92.2	45	2055	60.7	33	1129	33.4	14	612	18.1		
			精神病床	老人性認知症疾患療養病床		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
		診療所	医療保険	療養病床	有床診療所療養病床入院基本料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0
	一般病床			有床診療所入院基本料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
	介護保険		療養病床	療養機能強化型A		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
			療養病床	療養機能強化型B		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
			療養病床	療養病床その他		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
	介護施設のうちその他	介護医療院	Ⅰ型介護医療院		2	76	2.2	5	182	5.4	10	507	15.0	12	582	17.2				
			Ⅱ型介護医療院		3	60	1.8	12	412	12.2	15	923	27.3	20	994	29.4				
		介護老人保健施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
			有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護）		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
			有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護なし）		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
			養護老人ホーム		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
軽費老人ホーム				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0					
認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0					
小規模多機能型居宅介護				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0					
看護小規模多機能型居宅介護				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0					
その他		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0							
上記のいずれにも移行せず病床廃止		3	40	1.2	3	40	1.2	2	12	0.4	3	18	0.5							
未定		2	41	1.2	20	558	16.5	27	695	20.5	36	1035	30.6							
合計		88	3085	88	3385	100.0	88	3385	100.0	88	3384	100.0	88	3385	100.0					

※1 施設が複数の病床種別に移行を予定する必要があるため、各病床種別の施設数を積上げて合計した値は、「合計」欄の施設数と一致しないことがある。

※2018年9月30日時点の病床数と2023年度末の予定病床数が一致する施設のみ集計した。

介護療養型医療施設のうち、診療所が有する病床から介護医療院への移行予定をたずねたところ、2019年度末までに介護医療院へ移行を予定している病床はⅠ型介護医療院・Ⅱ型介護医療院を合計すると20.0%の病床数構成比であった。2023年度末時点では26.3%であった。

図表 113 介護医療院への移行予定【介護療養型医療施設・診療所】

			平成30年 9月30日時点			2018年度末			2019年度末			2020年度末			2023年度末				
			施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合		
病院	医療保険	療養病床	療養病棟入院基本料	療養病棟入院料1・2		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		療養病棟入院基本料	経過措置		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	
		地域包括ケア病棟入院料			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	
		回復期リハビリテーション病棟入院料			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	
		一般病床	一般病棟入院基本料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	
	一般病床	一般病床その他		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0		
	介護保険	療養病床	療養機能強化型A		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	
		療養病床	療養機能強化型B		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	
		療養病床	療養病床その他		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	
		精神病床	老人性認知症疾患療養病床		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	
療養病床		有床診療所療養病床入院基本料		1	6	0.9	2	8	1.2	2	8	1.2	2	8	1.2	2	8	1.2	
診療所	医療保険	一般病床	有床診療所入院基本料		0	0	0.0	1	2	0.3	1	2	0.3	3	14	2.2	0	0.0	
		療養病床	療養機能強化型A		4	37	4.3	2	12	1.9	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	
		療養病床	療養機能強化型B		2	19	1.5	1	10	1.5	1	10	1.5	0	0	0.0	0	0.0	
	介護保険	療養病床	療養病床その他		64	591	58.5	547	84.5	41	394	60.9	35	331	51.2	22	217	33.5	
		介護医療院	Ⅰ型介護医療院		0	0	0.0	7	58	9.0	7	58	9.0	7	58	9.0	7	58	9.0
		介護医療院	Ⅱ型介護医療院		1	18	2.8	6	71	11.0	9	102	15.8	10	112	17.3	0	0.0	
		介護老人保健施設			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	
		介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	
		居宅老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護）			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	
		有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護なし）			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	
介護保険施設・サービス等	密着型サーム	養護老人ホーム		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0		
	軽費老人ホーム			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0		
	認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0		
	小規模多機能型居宅介護			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0		
	看護小規模多機能型居宅介護			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0		
	その他			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0		
	上記のいずれにも移行せず病床廃止			0	0	0.0	0	0	0.0	1	12	1.9	2	22	3.4	0	0.0		
未定			5	29	4.5	11	92	14.2	15	124	19.2	25	216	33.4	0	0.0			
合計			70	647	100.0	70	647	100.0	70	647	100.0	70	647	100.0	70	647	100.0		

※1 施設が複数の病床種別に移行を予定する場合があるため、各病床種別の施設数を積上げて合計した値は、「合計」欄の施設数と一致しないことがある。

※2018年9月30日時点の病床数と2023年度末の予定病床数が一致する施設のみ集計した。

介護療養型医療施設のうち、診療所の療養機能強化型 A から介護医療院への移行予定をたずねたところ、2019 年度末までに介護医療院へ移行を予定している病床は I 型介護医療院・II 型介護医療院を合計すると 80.6%の病床数構成比であった。2023 年度末時点では 80.6%であった。なお、この結果は集計対象となった施設が 3 施設のみであったことに留意が必要である。

図表 114 介護医療院への移行予定【介護療養型医療施設・診療所のうち療養機能強化型 A】

			平成30年 9月30日時点		2018年度末			2019年度末			2020年度末			2023年度末					
			施設数	病床数	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合			
診療所のうち療養機能強化型 A	病院	医療保険	療養病床	療養病棟入院基本料	療養病棟入院料1・2	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
			療養病棟入院基本料	経過措置	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
			地域包括ケア病棟入院料	回復期リハビリテーション病棟入院料	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
		一般病床	一般病棟入院基本料	一般病棟その他	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
			療養病床	療養機能強化型A	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
			療養機能強化型B	療養病床その他	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
	介護保険	精神病床	老人性認知症疾患療養病床	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
		医療	療養病床	有床診療所療養病床入院基本料	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
			一般病床	有床診療所入院基本料	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
	診療所	介護保険	療養病床	療養機能強化型A	3	31	100.0	1	6	19.4	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
			療養機能強化型B	療養病床その他	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
			介護医療院	I 型介護医療院	0	0	0.0	1	9	29.0	1	9	29.0	1	9	29.0	1	9	29.0
			施設	II 型介護医療院	0	0	0.0	1	16	51.6	1	16	51.6	1	16	51.6	1	16	51.6
	介護保険施設・等	介護老人保健施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
			有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護）	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
		密着型サービス	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護なし）	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
			養護老人ホーム	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
		居宅サービス・地域	軽費老人ホーム	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
			認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
小規模多機能型居宅介護			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
看護小規模多機能型居宅介護			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
その他			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
上記のいずれにも移行せず病床廃止		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	1	6	19.4	1	6	19.4			
未定		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
合計	3	31	100.0	3	31	100.0	3	31	100.0	3	31	100.0	3	31	100.0				

※1 施設が複数の病床種別に移行を予定する必要があるため、各病床種別の施設数を積上げて合計した値は、「合計」欄の施設数と一致しないことがある。

※2018年9月30日時点の病床数と2023年度末の予定病床数が一致する施設のみ集計した。

介護療養型医療施設のうち、診療所の療養機能強化型 B から介護医療院への移行予定をたずねたところ、2019 年度末までに介護医療院へ移行を予定している病床は I 型介護医療院・II 型介護医療院を合計すると 0.0%の病床数構成比であった。2023 年度末時点では 0.0%であった。なお、この結果は集計対象となった施設は 2 施設のみであったことに留意が必要である。

図表 115 介護医療院への移行予定【介護療養型医療施設・診療所のうち療養機能強化型 B】

			平成30年 9月30日時点		2018年度末			2019年度末			2020年度末			2023年度末				
			施設数	病床数	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合		
診療所のうち療養機能強化型 B	病院	医療保険	療養病床	療養病床入院基本料	療養病床入院料1・2	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
			療養病床	療養病床入院基本料	経過措置	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
			一般病床	地域包括ケア病棟入院料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
			一般病床	回復期リハビリテーション病棟入院料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
			一般病床	一般病棟入院基本料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
	介護保険	療養病床	療養機能強化型A		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		療養病床	療養機能強化型B		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		療養病床	療養病床その他		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		精神病床	老人性認知症疾患療養病床		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		療養病床	有床診療所療養病床入院基本料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
診療所	医療保険	一般病床	有床診療所入院基本料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		療養病床	療養機能強化型A		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		療養病床	療養機能強化型B		2	19	1	10	52.6	1	10	52.6	1	10	52.6	0	0	0.0
		療養病床	療養病床その他		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		介護医療院	I 型介護医療院		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
介護保険施設	介護施設	介護施設	II 型介護医療院		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		介護老人保健施設		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
	居宅サービス等	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
		有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護）		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
		有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護なし）		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
		養護老人ホーム		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
		軽費老人ホーム		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
		認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
		小規模多機能型居宅介護		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
		看護小規模多機能型居宅介護		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
その他		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0					
上記のいずれにも移行せず病床廃止		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0					
未定		1	9	47.4	1	9	47.4	1	9	47.4	1	9	47.4					
合計		2	19	2	19	100.0	2	19	100.0	2	19	100.0	2	19	100.0			

※1 施設が複数の病床種別に移行を予定する場合があるため、各病床種別の施設数を積上げて合計した値は、「合計」欄の施設数と一致しないことがある。

※2018年9月30日時点の病床数と2023年度末の予定病床数が一致する施設のみ集計した。

介護療養型医療施設のうち、診療所のその他から介護医療院への移行予定をたずねたところ、2019年度末までに介護医療院へ移行を予定している病床はI型介護医療院・II型介護医療院を合計すると17.8%の病床数構成比であった。2023年度末時点では24.8%であった。

図表 116 介護医療院への移行予定【介護療養型医療施設・診療所のうちその他】

			平成30年 9月30日時点			2018年度末			2019年度末			2020年度末			2023年度末				
			施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合		
病院	医療保険	療養病床	療養病棟入院基本料	療養病棟入院料1・2		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		療養病棟入院基本料	経過措置		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	
		地域包括ケア病棟入院料			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	
		回復期リハビリテーション病棟入院料			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	
		一般病床	一般病棟入院基本料			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0
		一般病床	一般病床その他			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0
	介護保険	療養病床	療養機能強化型A			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0
		療養病床	療養機能強化型B			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0
		療養病床	療養病床その他			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0
		精神病床	老人性認知症疾患療養病床			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0
		医療	療養病床	有床診療所療養病床入院基本料			1	6	1.0	2	8	1.4	2	8	1.4	2	8	1.4	
		一般病床	有床診療所入院基本料			0	0	0.0	1	2	0.3	1	2	0.3	3	14	2.4		
診療所のうちその他	介護医療院	療養病床	療養機能強化型A			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		療養病床	療養機能強化型B			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		療養病床	療養病床その他			63	585	92.5	40	388	66.3	34	325	55.6	21	211	36.1		
	介護施設	介護医療院	I型介護医療院			0	0	0.0	6	49	8.4	6	49	8.4	6	49	8.4		
		介護施設	II型介護医療院			1	18	3.1	5	55	9.4	8	86	14.7	9	96	16.4		
		介護老人保健施設			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
介護保険 在宅サービス等	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護）			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護なし）			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
	養護老人ホーム			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
	軽費老人ホーム			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
	認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
	小規模多機能型居宅介護			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
	看護小規模多機能型居宅介護			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
その他			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0					
上記のいずれにも移行せず病床廃止			0	0	0.0	0	0	0.0	1	12	2.1	1	12	2.1					
未定			4	20	3.4	10	83	14.2	12	103	17.6	22	195	33.3					
合計			63	585	92.5	63	585	100.0	63	585	100.0	63	585	100.0	63	585	100.0		

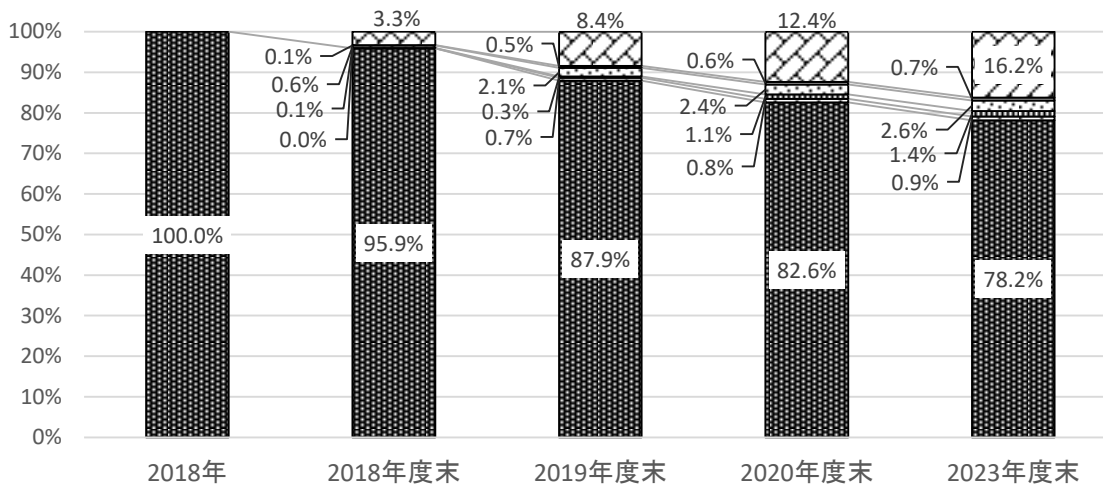
※1 施設が複数の病床種別に移行を予定する必要があるため、各病床種別の施設数を積上げて合計した値は、「合計」欄の施設数と一致しないことがある。

※2018年9月30日時点の病床数と2023年度末の予定病床数が一致する施設のみ集計した。



医療療養病床から介護医療院への移行予定をたずねたところ、2019年度末までに介護医療院へ移行を予定している病床はI型介護医療院・II型介護医療院を合計すると1.0%の病床数構成比であった。2023年度末時点では2.3%であった。

図表 117 介護医療院への移行予定【医療療養病床・療養病棟入院基本料全体】



9月30日時点  
(回答数\*=49818)

<input type="checkbox"/> 未定	<input type="checkbox"/> 上記のいずれにも移行せず病床廃止
<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> II型介護医療院
<input type="checkbox"/> I型介護医療院	<input type="checkbox"/> 医療療養病床

\*回答数は施設票における病床数

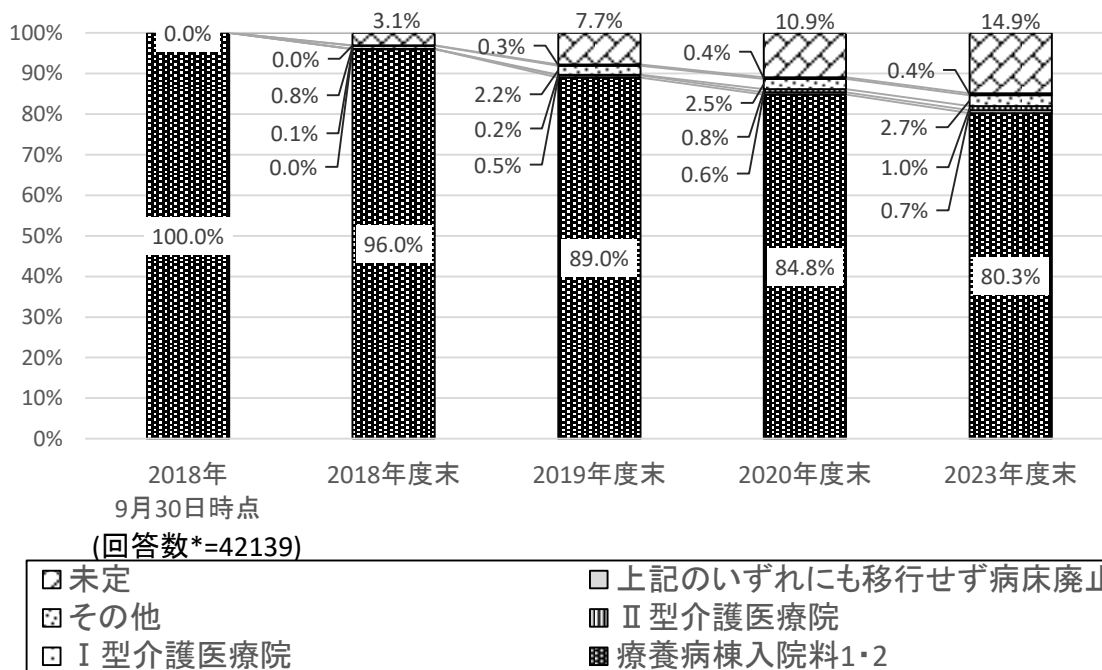
図表 118 介護医療院への移行予定【医療療養病床・療養病棟入院基本料全体】

施設種別	平成30年 9月30日時点		2018年度末			2019年度末			2020年度末			2023年度末				
	施設数	病床数	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合		
療養病棟 医療保険	療養病棟	680	45268	652	43782	87.9	605	40798	81.9	579	39256	78.8	539	37188	74.6	
	療養病棟入院基本料	57	3292	54	2893	5.8	37	2054	4.1	21	1033	2.1	18	971	1.9	
	療養病棟入院基本料 経過措置	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
	療養病棟入院基本料 特別入院基本料	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
	地域包括ケア病棟入院料	0	0	11	168	0.3	22	473	0.9	23	506	1.0	27	589	1.2	
	回復期リハビリテーション病棟入院料	1	24	0.0	9	332	0.7	11	450	0.9	11	450	0.9	11	450	0.9
	一般病床	1	28	0.1	3	123	0.2	2	95	0.2	3	112	0.2	3	112	0.2
	一般病棟入院基本料	3	58	0.1	5	107	0.2	5	107	0.2	5	107	0.2	5	107	0.2
	その他	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
	その他	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
療養病棟 医療保険	療養病棟	154	1258	140	1109	2.2	115	959	1.9	104	868	1.7	95	793	1.6	
	有床診療所療養病棟入院基本料	1	4	0.0	5	20	0.0	5	20	0.0	5	20	0.0	5	20	0.0
	有床診療所入院基本料	1	4	0.0	14	336	0.7	18	405	0.8	19	446	0.9	19	446	0.9
	I型介護医療院	3	40	0.1	8	166	0.3	13	570	1.1	19	691	1.4	19	691	1.4
	II型介護医療院	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設入居者生活介護)	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設入居者生活介護なし)	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
	養護老人ホーム	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
軽費老人ホーム	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
療養病棟 介護保険 施設費	認知症対応型共同生活介護 (認知症グループホーム)	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	
	小規模多機能型居宅介護	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	
	看護小規模多機能型居宅介護	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	
	その他	1	12	0.0	1	12	0.0	1	12	0.0	1	12	0.0	1	12	0.0
	上記のいずれにも移行せず病床廃止	6	58	0.1	17	247	0.5	22	321	0.6	24	352	0.7	24	352	0.7
	未定	39	1638	3.3	104	4191	8.4	145	6175	12.4	193	8087	16.2	193	8087	16.2
	合計	889	49818	889	49818	100.0	889	49818	100.0	889	49818	100.0	889	49818	100.0	

※1 施設が複数の病床種別に移行を予定する必要があるため、各病床種別の施設数を積上げて合計した値は、「合計」欄の施設数と一致しないことがある。  
 ※2018年9月30日時点の病床数と2023年度末の予定病床数が一致する施設のみ集計した。

医療療養病床のうち、療養病棟入院料 1・2 から介護医療院への移行予定をたずねたところ、2019年度末までに介護医療院へ移行を予定している病床は、I型介護医療院・II型介護医療院を合計すると0.7%の病床数構成比であった。2023年度末時点では1.7%であった。

図表 119 介護医療院への移行予定【医療療養病床・療養病棟入院料1・2】



\*回答数は施設票における病床数

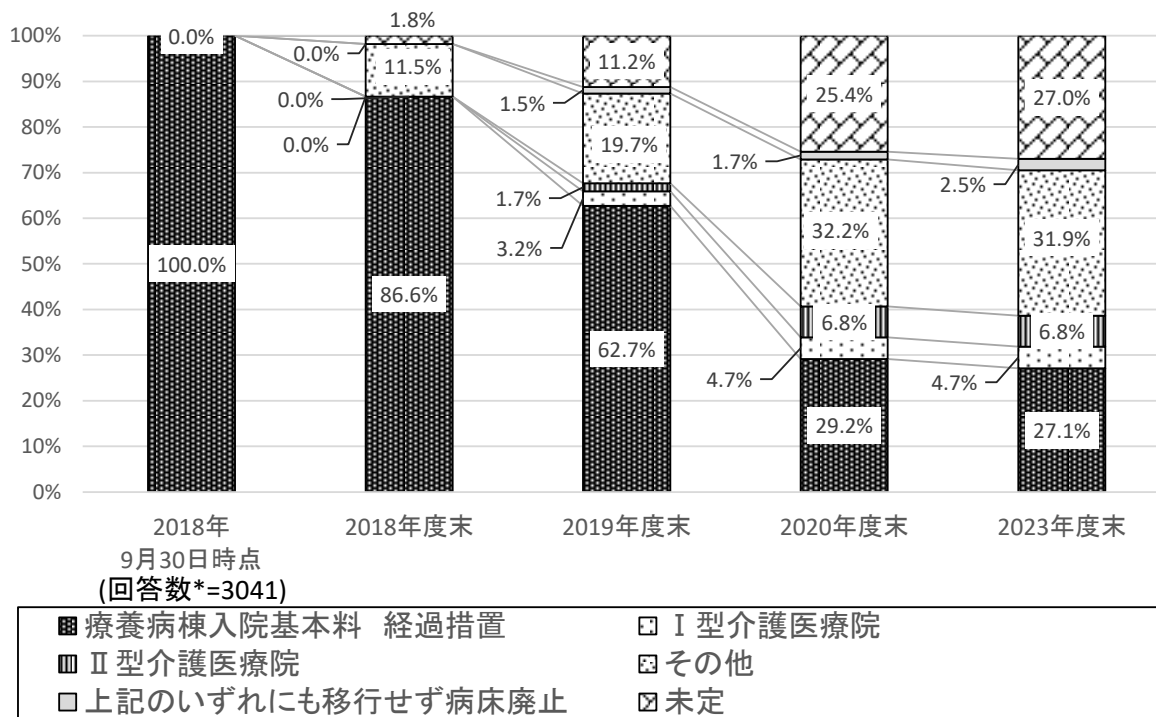
図表 120 介護医療院への移行予定【医療療養病床・療養病棟入院料1・2】

			平成30年 9月30日時点		2018年度末			2019年度末			2020年度末			2023年度末			
			施設数	病床数	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	
療養病棟入院料1・2	療養病棟	療養病棟入院基本料	629	42139	599	40455	96.0	552	37502	89.0	526	35734	84.8	488	33826	80.3	
		療養病棟入院料1・2															
		療養病棟入院基本料 経過措置	2	70	0.2	1	20	0.0	1	20	0.0	1	20	0.0	1	20	0.0
		療養病棟入院基本料 特別入院基本料	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
		地域包括ケア病棟入院料	10	148	0.4	18	382	0.9	19	437	1.0	22	512	1.2	22	512	1.2
		回復期リハビリテーション病棟入院料	1	24	0.1	7	271	0.6	9	389	0.9	9	389	0.9	9	389	0.9
		一般病棟	1	28	0.1	3	123	0.3	2	95	0.2	3	112	0.3	3	112	0.3
		一般病棟入院基本料	3	58	0.1	4	104	0.2	4	104	0.2	4	104	0.2	4	104	0.2
		その他	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
		療養病棟	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
		一般病棟	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
		有床診療所療養病棟入院基本料	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
		有床診療所入院基本料	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
		介護医療院	1	4	0.0	10	230	0.5	11	241	0.6	12	282	0.7	12	282	0.7
I型介護医療院	2	34	0.1	4	86	0.2	5	330	0.8	9	491	1.0	9	491	1.0		
II型介護医療院	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
介護老人福祉施設	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設入居者生活介護)	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設入居者生活介護なし)	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
養護老人ホーム	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
軽費老人ホーム	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
認知症対応型共同生活介護 (認知症グループホーム)	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
小規模多機能型居宅介護	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
看護小規模多機能型居宅介護	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
その他	1	12	0.0	1	12	0.0	1	12	0.0	1	12	0.0	1	12	0.0		
上記のいずれにも移行せず病床廃止	3	16	0.0	9	145	0.3	11	171	0.4	12	177	0.4	12	177	0.4		
未定	23	1290	3.1	63	3264	7.7	86	4606	10.9	121	6274	14.9	121	6274	14.9		
合計	629	42139	100.0	629	42139	100.0	629	42139	100.0	629	42139	100.0	629	42139	100.0		

※1 施設が複数の病床種別に移行を予定する必要があるため、各病床種別の施設数を積上げて合計した値は、「合計」欄の施設数と一致しないことがある。  
 ※2018年9月30日時点の病床数と2023年度末の予定病床数が一致する施設のみ集計した。

医療療養病床のうち、療養病棟入院料経過措置から介護医療院への移行予定をたずねたところ、2019年度末までに介護医療院へ移行を予定している病床は、I型介護医療院・II型介護医療院を合計すると4.9%の病床数構成比であった。2023年度末時点では11.5%であった。

図表 121 介護医療院への移行予定【医療療養病床・療養病棟入院料経過措置】



\*回答数は施設票における病床数

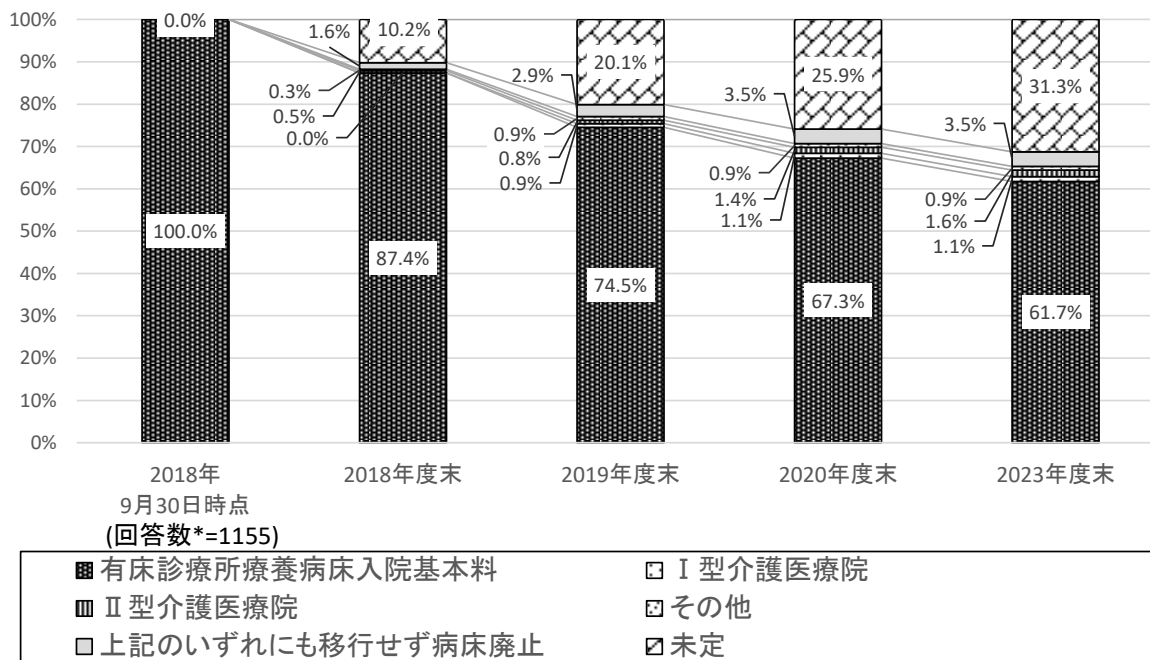
図表 122 介護医療院への移行予定【医療療養病床・療養病棟入院料経過措置】

療養病棟入院基本料	病棟	医療保険	診療	介護施設	居宅サービス	施設	平成30年 9月30日時点			2018年度末			2019年度末			2020年度末			2023年度末					
							施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合			
療養病棟入院基本料	療養病棟	医療保険	診療	介護施設	居宅サービス	療養病棟入院基本料	5	350	11.5	7	499	16.4	11	903	29.7	12	892	29.3						
						療養病棟入院料1・2 経過措置	46	2635	86.6	32	1908	62.7	16	887	29.2	13	825	27.1						
						療養病棟入院基本料 特別入院基本料	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0						
						地域包括ケア病棟入院料	0	0	0.0	2	69	2.3	2	47	1.5	2	47	1.5						
						回復期リハビリテーション病棟入院料	0	0	0.0	1	20	0.7	1	20	0.7	1	20	0.7						
						一般病棟	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0						
						一般病棟入院基本料	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0						
						その他	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0						
						療養病棟入院基本料	療養病棟	医療保険	診療	介護施設	居宅サービス	療養病棟入院基本料	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
												有床診療所療養病床入院基本料	0	0	0.0	1	10	0.3	1	10	0.3	1	10	0.3
												I型介護医療院	0	0	0.0	2	96	3.2	3	144	4.7	3	144	4.7
												II型介護医療院	0	0	0.0	1	53	1.7	4	206	6.8	4	206	6.8
												介護老人保健施設	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
												介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
												有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護）	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
												有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護なし）	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
												養護老人ホーム	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
軽費老人ホーム	0	0	0.0	0	0							0.0	0	0	0.0	0	0	0.0						
認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）	0	0	0.0	0	0							0.0	0	0	0.0	0	0	0.0						
小規模多機能型居宅介護	0	0	0.0	0	0							0.0	0	0	0.0	0	0	0.0						
看護小規模多機能型居宅介護	0	0	0.0	0	0							0.0	0	0	0.0	0	0	0.0						
その他	0	0	0.0	0	0							0.0	0	0	0.0	0	0	0.0						
上記のいずれにも移行せず病床廃止	0	0	0.0	3	45							1.5	4	51	1.7	5	76	2.5						
未定	2	56	1.8	7	341							11.2	15	773	25.4	17	821	27.0						
合計	50	3041	100.0	50	3041							100.0	50	3041	100.0	50	3041	100.0						

※1 施設が複数の病床種別に移行を予定する場合があるため、各病床種別の施設数を積上げて合計した値は、「合計」欄の施設数と一致しないことがある。  
 ※2018年9月30日時点の病床数と2023年度末の予定病床数が一致する施設のみ集計した。

医療療養病床のうち、有床診療所療養病床入院基本料から介護医療院への移行予定をたずねたところ、2019年度末までに介護医療院へ移行を予定している病床はI型介護医療院・II型介護医療院を合計すると1.7%の病床数構成比であった。2023年度末時点では2.7%であった。

図表 123 介護医療院への移行予定【医療療養病床・有床診療所療養病床入院基本料】



\*回答数は施設票における病床数

図表 124 介護医療院への移行予定【医療療養病床・有床診療所療養病床入院基本料】

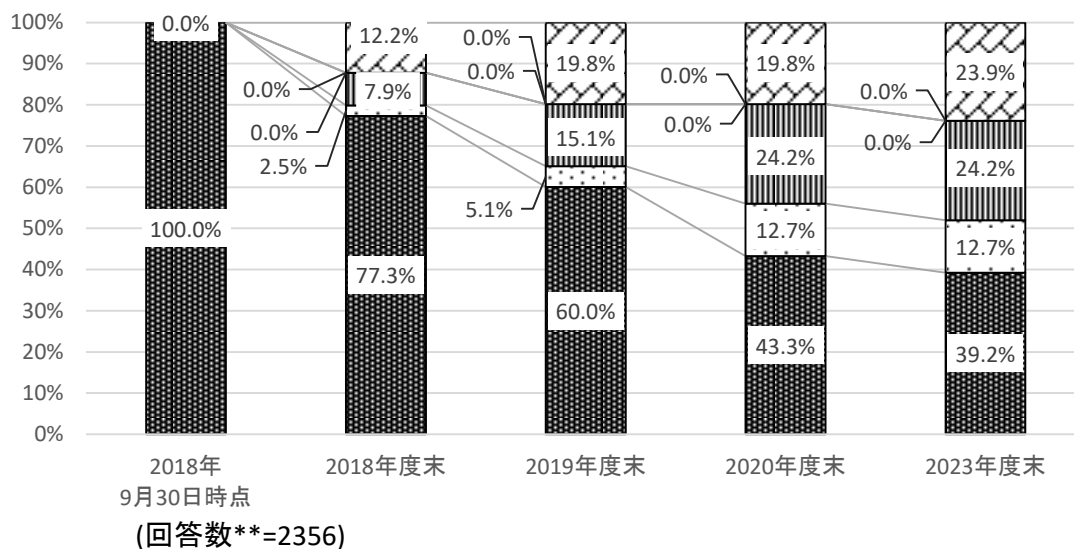
施設種別	平成30年 9月30日時点		2018年度末			2019年度末			2020年度末			2023年度末					
	施設数	病床数	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合			
有床診療所療養病床入院基本料	療養病床	療養病棟入院基本料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		療養病棟入院基本料 経過措置		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		療養病棟入院基本料 特別入院基本料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		地域包括ケア病棟入院料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		回復期リハビリテーション病棟入院料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		一般病棟		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		一般病棟入院基本料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		その他		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		診療		139	1155	126	1009	87.4	102	861	74.5	92	777	67.3	84	713	61.7
		診療		1	4	0.3	4	10	0.9	4	10	0.9	4	10	0.9	4	10
介護医療院	介護施設	I型介護医療院		0	0	0.0	2	10	0.9	3	13	1.1	3	13	1.1		
		II型介護医療院		1	6	0.5	2	9	0.8	3	16	1.4	4	18	1.6		
		介護老人保健施設		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護）		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護なし）		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		養護老人ホーム		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		軽費老人ホーム		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		小規模多機能型居宅介護		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		看護小規模多機能型居宅介護		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		その他		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		上記のいずれにも移行せず病床廃止		2	18	1.6	4	33	2.9	5	40	3.5	5	40	3.5		
		未定		10	118	10.2	26	232	20.1	33	299	25.9	40	361	31.3		
合計		139	1155	100.0	139	1155	100.0	139	1155	100.0	139	1155	100.0				

※1 施設が複数の病床種別に移行を予定する場合があるため、各病床種別の施設数を積上げて合計した値は、「合計」欄の施設数と一致しないことがある。

※2018年9月30日時点の病床数と2023年度末の予定病床数が一致する施設のみ集計した。

介護療養型老人保健施設から介護医療院への移行予定をたずねたところ、2019年度末までに介護医療院へ移行を予定している病床はI型介護医療院・II型介護医療院を合計すると20.2%の定員数構成比であった。2023年度末時点では36.9%であった。

図表 125 介護医療院への移行予定【介護療養型老人保健施設】



■ 介護老人保健施設	□ I型介護医療院
■ II型介護医療院	□ その他
□ 上記のいずれにも移行せず病床廃止	□ 未定

\*\*回答数は施設票における定員数  
 ※介護老人保健施設には介護療養型老人保健施設のほか介護老人保健施設が含まれる場合がある。

図表 126 介護医療院への移行予定【介護療養型老人保健施設】

	平成30年 9月30日時点	2018年度末			2019年度末			2020年度末			2023年度末			
		施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	
介護医療院														
I型介護医療院			1	60	2.5	2	120	5.1	3	300	12.7	3	300	12.7
II型介護医療院			4	187	7.9	7	355	15.1	9	570	24.2	9	570	24.2
介護老人保健施設	45	2356	36	1821	77.3	29	1414	60.0	26	1019	43.3	23	924	39.2
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅(特定施設入居者生活介護)			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅(特定施設入居者生活介護なし)			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
養護老人ホーム			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
軽費老人ホーム			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
認知症対応型共同生活介護(認知症グループホーム)			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
小規模多機能型居宅介護			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
看護小規模多機能型居宅介護			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
その他			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
上記のいずれにも移行せずベッドを廃止			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
未定			4	288	12.2	8	467	19.8	8	467	19.8	11	562	23.9
合計	45	2356	45	2356	100.0	45	2356	100.0	45	2356	100.0	45	2356	100.0

※1 施設が複数の病床種別に移行を予定する場合があるため、各病床種別の施設数を積上げて合計した値は、「合計」欄の施設数と一致しないことがある。

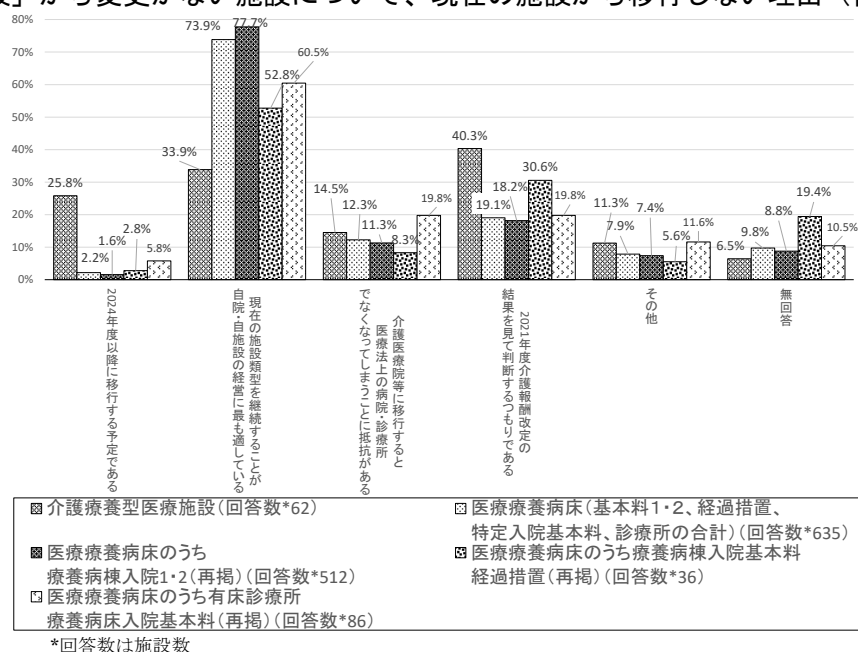
※2018年9月30日時点の定員数と2023年度末の予定定員数が一致する施設のみ集計した。

#### (4) 介護医療院に移行すると仮定した場合の課題

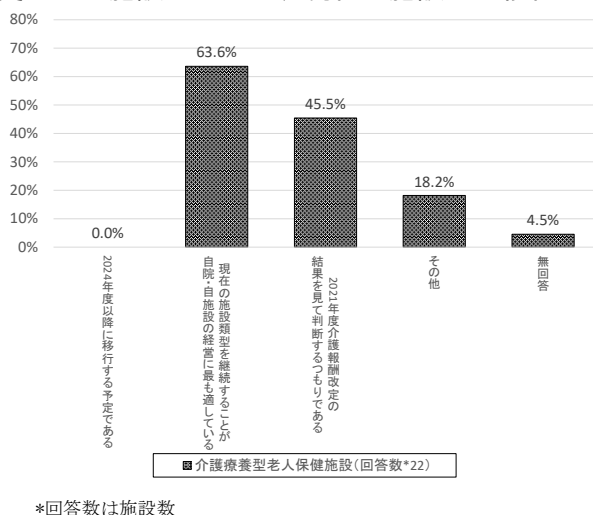
2023年度末までに介護医療院へ移行しないと回答した施設へ、現在の施設から移行しない理由を複数回答にて回答を求めた。

その結果、療養病棟入院料1・2(再掲)、療養病棟入院基本料経過措置(再掲)、有床診療所療養病床入院基本料(再掲)では「現在の施設類型を継続することが自院・自施設の経営に最も適している。」と回答した施設が77.7%、52.8%、60.5%、とそれぞれの類型で最も大きい施設数割合であった。一方で、介護療養型医療施設では「2021年度介護報酬改定の結果を見て判断するつもりである」と回答した割合が40.3%と最も大きかった。介護療養型老人保健施設では「現在の施設類型を継続することが自院・自施設の経営に最も適している。」と回答した割合が63.6%と最も大きかった。

図表 127 2023年度末の予定病床数で「介護療養型医療施設」、「医療療養病床」、「医療療養型老人保健施設」から変更がない施設について、現在の施設から移行しない理由(複数回答)



図表 128 2023年度末の予定病床数で「介護療養型医療施設」、「医療療養病床」、「医療療養型老人保健施設」から変更がない施設について、現在の施設から移行しない理由(複数回答)



図表 129 2023 年度末までに介護療養型医療施設を移行しない理由（複数回答）

	合計	2024年度 以降に移 行する予 定である	介護療養 型医療施 設を継続 することが 自院の最 も適して いると考 えている	介護医療 院等に移 行すると 医療法上 の病院・ 診療所で なくなっ てしまう ことに抵 抗がある	2021年介 護報酬改 定の結果 を見て判 断するつ もりであ る	その他	無回答	累計 (n) (%)
介護療養型医療施設（病院）	31	8	8	2	15	4	3	40
（%）	100.0	25.8	25.8	6.5	48.4	12.9	9.7	129.0
うち療養機能強化型A	12	5	3	2	7	0	1	18
（%）	100.0	41.7	25.0	16.7	58.3	0.0	8.3	150.0
うち療養機能強化型B	2	0	0	0	1	1	0	2
（%）	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0
うちその他	16	3	5	0	7	2	2	19
（%）	100.0	18.8	31.3	0.0	43.8	12.5	12.5	118.8
介護療養型医療施設（診療所）	31	8	13	7	10	3	1	42
（%）	100.0	25.8	41.9	22.6	32.3	9.7	3.2	135.5
うち療養機能強化型A	1	0	0	0	1	0	0	1
（%）	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
うち療養機能強化型B	0	0	0	0	0	0	0	0
（%）	-	-	-	-	-	-	-	-
うちその他	29	8	13	7	8	3	1	40
（%）	100.0	27.6	44.8	24.1	27.6	10.3	3.4	137.9
療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1	433	7	348	46	77	30	29	537
（%）	100.0	1.6	80.4	10.6	17.8	6.9	6.7	124.0
療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2	79	1	50	12	16	8	16	103
（%）	100.0	1.3	63.3	15.2	20.3	10.1	20.3	130.4
療養病棟入院基本料 経過措置1	36	1	19	3	11	2	7	43
（%）	100.0	2.8	52.8	8.3	30.6	5.6	19.4	119.4
療養病棟入院基本料 経過措置2	0	0	0	0	0	0	0	0
（%）	-	-	-	-	-	-	-	-
療養病棟入院基本料 特別入院基本料	1	0	0	0	0	0	1	1
（%）	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
有床診療所療養病床入院基本料	86	5	52	17	17	10	9	110
（%）	100.0	5.8	60.5	19.8	19.8	11.6	10.5	127.9

図表 130 2023 年度末までに施設を移行しない理由（介護療養型老人保健施設票）（複数回答）

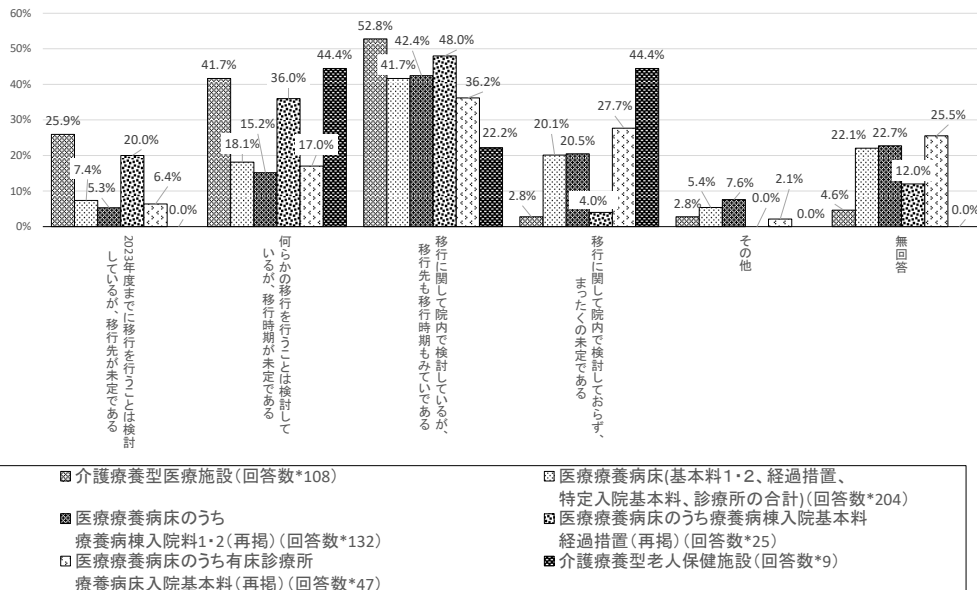
	合計	2024年度 以降に移 行する予 定である	介護療養 型老人保 健施設を 継続する ことが自 施設の経 営に最も 適してい ると考え ている	2021年介 護報酬改 定の結果 を見て判 断するつ もりであ る	その他	無回答	累計 (n) (%)
介護療養型老人保健施設	22	0	14	10	4	1	29
（%）	100.0	0.0	63.6	45.5	18.2	4.5	131.8



2023 年度末までの移行予定病床数で未定と回答した施設に現在の検討状況について複数回答にて回答を求めた。

その結果、介護療養型医療施設、療養病棟入院料 1・2（再掲）、療養病棟入院基本料経過措置（再掲）、有床診療所療養病床入院基本料（再掲）では「移行に関して院内で検討しているが移行先も移行時期も未定である」と回答した施設数割合がそれぞれ 52.8%、42.4%、48.0%、36.2 と最も大きかった。一方で、介護療養型老人保健施設は、「何らかの移行を行うことは検討しているが、移行時期が未定である」と「移行に関して院内で検討しておらず、まったくの未定である」と回答した割合がそれぞれ 44.4%と最も大きかった。

図表 131 予定病床数が未定の場合、現在の検討状況について（複数回答）



\*回答数は施設数

図表 132 予定病床数が未定の場合、現在の検討状況について（複数回答）

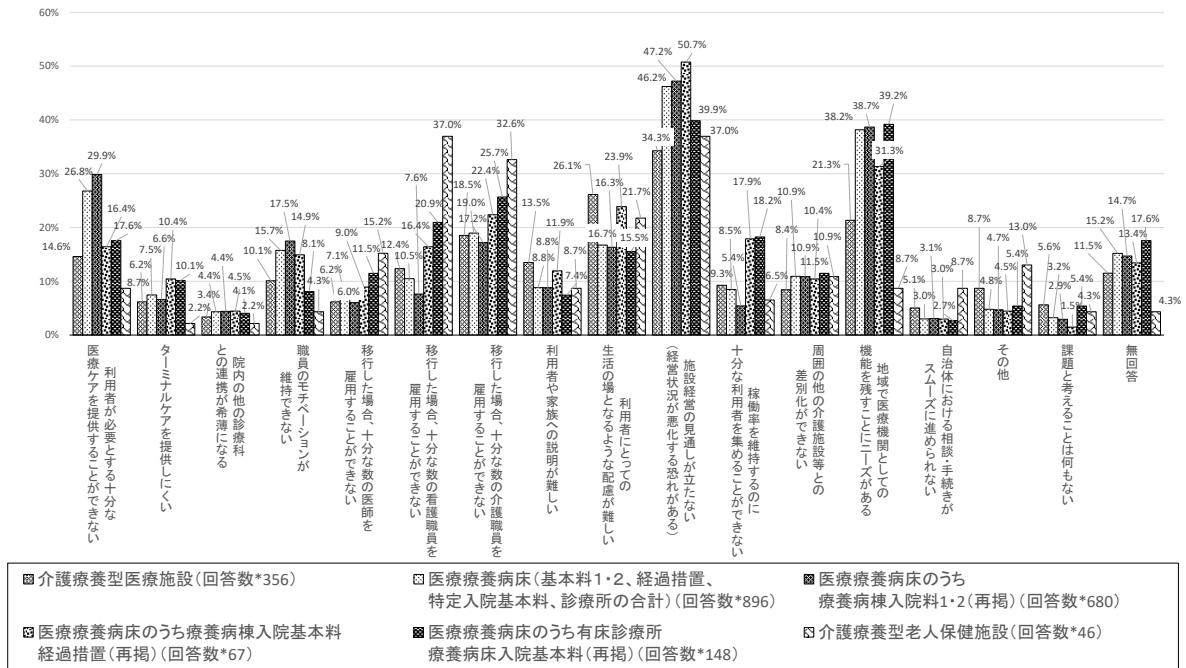
	合計	2023年度末までに移行を行うことは検討しているが、移行先が未定である	2023年度末までに移行を行うことは検討しているが、移行時期が未定である	何らかの移行を行うことは検討しているが、移行時期が未定である	移行に関して院内で検討しているが、移行先も移行時期も未定である	移行に関して院内で検討しているが、移行先も移行時期も未定である	移行に関して院内で検討しておらず、まったくの未定である	その他	無回答	累計(n) (%)
介護療養型医療施設(病院)	86	24	35	48	1	3	4	115		
(%)	100.0	27.9	40.7	55.8	1.2	3.5	4.7	133.7		
うち療養機能強化型A	37	10	11	19	0	1	2	43		
(%)	100.0	27.0	29.7	51.4	0.0	2.7	5.4	116.2		
うち療養機能強化型B	6	2	3	4	0	0	0	9		
(%)	100.0	33.3	50.0	66.7	0.0	0.0	0.0	150.0		
うちその他	41	12	21	23	1	1	2	60		
(%)	100.0	29.3	51.2	56.1	2.4	2.4	4.9	146.3		
介護療養型医療施設(診療所)	22	4	10	9	2	0	1	26		
(%)	100.0	18.2	45.5	40.9	9.1	0.0	4.5	118.2		
うち療養機能強化型A	1	0	1	0	0	0	0	1		
(%)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0		
うち療養機能強化型B	1	1	0	0	0	0	0	1		
(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0		
うちその他	20	3	9	9	2	0	1	24		
(%)	100.0	15.0	45.0	45.0	10.0	0.0	5.0	120.0		
療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1	97	3	11	35	21	8	27	105		
(%)	100.0	3.1	11.3	36.1	21.6	8.2	27.8	108.2		
療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2	35	4	9	21	6	2	3	45		
(%)	100.0	11.4	25.7	60.0	17.1	5.7	8.6	128.6		
療養病棟入院基本料 経過措置1	22	4	9	9	1	0	3	26		
(%)	100.0	18.2	40.9	40.9	4.5	0.0	13.6	118.2		
療養病棟入院基本料 経過措置2	3	1	0	3	0	0	0	4		
(%)	100.0	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	133.3		
療養病棟入院基本料 特定入院基本料	0	0	0	0	0	0	0	0		
(%)	-	-	-	-	-	-	-	-		
有床診療所療養病床入院基本料	47	3	8	17	13	1	12	54		
(%)	100.0	6.4	17.0	36.2	27.7	2.1	25.5	114.9		
介護療養型老人保健施設	9	0	4	2	4	0	0	10		
(%)	100.0	0.0	44.4	22.2	44.4	0.0	0.0	111.1		



療養病床等から介護医療院へ移行すると仮定した場合の課題について、複数回答として上位3項目まで回答を求めた。

その結果、いずれの施設類型においても「施設経営の見通しが立たない（経営状況が悪化する恐れがある）」が34.3%～50.7%と最も大きい施設数割合であった。介護療養型老人保健施設は、「移行した場合、十分な数の看護職員を雇用することができない」も37.0%で同数であった。

図表 133 介護療養型医療施設を介護医療院に移行すると仮定した場合、課題と考える項目（複数回答）



\*回答数は施設数

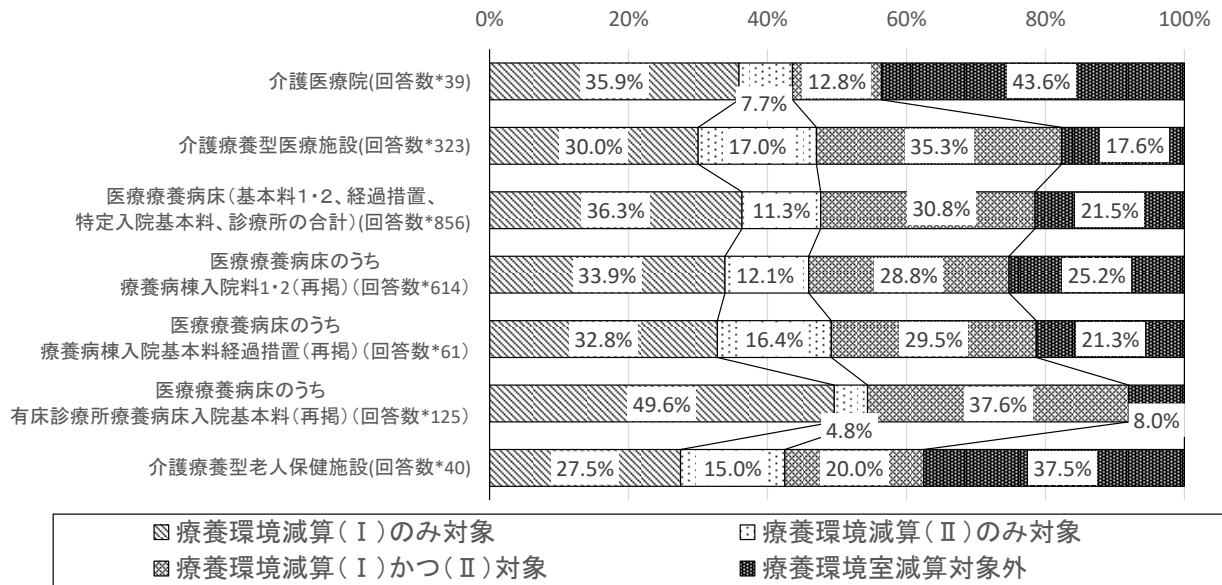
図表 134 介護療養型医療施設を介護医療院に移行すると仮定した場合、課題と考える項目（複数回答）

	合計	利用者が 必要とする 十分な 医療ケア を提供する ことが できない	ターミナ ルケアを 提供しに くい	院内の他 の診療科 との連携 が希薄に なる	職員のモ チベーション が維持でき ない	移行した 場合、十 分な数の 医師を雇 用するこ とができ ない	移行した 場合、十 分な数の 看護職員 を雇用に することが できない	移行した 場合、十 分な数の 介護職員 を雇用に することが できない	利用者や 家族への 説明が難 しい	利用者にと つての場 所となる ような配 慮が難しい
介護療養型医療施設（病院）	271	40	17	9	30	16	24	40	40	74
（%）	100.0	14.8	6.3	3.3	11.1	5.9	8.9	14.8	14.8	27.3
うち療養機能強化型A	132	14	5	4	14	7	8	16	21	38
（%）	100.0	10.6	3.8	3.0	10.6	5.3	6.1	12.1	15.9	28.8
うち療養機能強化型B	23	4	1	2	4	2	4	3	5	7
（%）	100.0	17.4	4.3	8.7	17.4	8.7	17.4	13.0	21.7	30.4
うちその他	110	22	11	3	12	6	11	20	14	28
（%）	100.0	20.0	10.0	2.7	10.9	5.5	10.0	18.2	12.7	25.5
介護療養型医療施設（診療所）	85	12	5	3	6	6	20	26	8	19
（%）	100.0	14.1	5.9	3.5	7.1	7.1	23.5	30.6	9.4	22.4
うち療養機能強化型A	5	2	1	0	0	0	1	0	1	1
（%）	100.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0
うち療養機能強化型B	2	0	0	0	0	0	1	1	0	1
（%）	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0
うちその他	77	9	4	3	6	5	18	25	7	17
（%）	100.0	11.7	5.2	3.9	7.8	6.5	23.4	32.5	9.1	22.1
療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1	546	164	35	27	97	34	43	90	45	80
（%）	100.0	30.0	6.4	4.9	17.8	6.2	7.9	16.5	8.2	14.7
療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2	134	39	10	3	22	7	9	27	15	31
（%）	100.0	29.1	7.5	2.2	16.4	5.2	6.7	20.1	11.2	23.1
療養病棟入院基本料 経過措置1	63	10	7	2	10	6	9	14	8	14
（%）	100.0	15.9	11.1	3.2	15.9	9.5	14.3	22.2	12.7	22.2
療養病棟入院基本料 経過措置2	4	1	0	1	0	0	2	1	0	2
（%）	100.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	50.0
療養病棟入院基本料 特別入院基本料	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（%）	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
有床診療所療養病床入院基本料	148	26	15	6	12	17	31	38	11	23
（%）	100.0	17.6	10.1	4.1	8.1	11.5	20.9	25.7	7.4	15.5
介護療養型老人保健施設	46	4	1	1	2	7	17	15	4	10
（%）	100.0	8.7	2.2	2.2	4.3	15.2	37.0	32.6	8.7	21.7

	施設経営 の見通し が立たな い（経営 状況が悪 化する恐 れがある）	稼働率を 維持する のに十分 な利用者 を集める ことが できない	周囲の他 の介護施 設等との 差別化が できない	地域で医 療機関と しての機 能を残す ことが できない	自治体に おける相 談・手続 がスムーズ に進め られない	その他	課題と考 えること は何もな い	無回答	累計 (n) (%)
介護療養型医療施設（病院）	92	21	24	48	12	25	13	37	562
（%）	33.9	7.7	8.9	17.7	4.4	9.2	4.8	13.7	207.4
うち療養機能強化型A	34	7	9	16	5	16	7	24	245
（%）	25.8	5.3	6.8	12.1	3.8	12.1	5.3	18.2	185.6
うち療養機能強化型B	10	1	2	6	0	3	1	0	55
（%）	43.5	4.3	8.7	26.1	0.0	13.0	4.3	0.0	239.1
うちその他	46	12	12	26	6	5	5	11	250
（%）	41.8	10.9	10.9	23.6	5.5	4.5	4.5	10.0	227.3
介護療養型医療施設（診療所）	30	12	6	28	6	6	7	4	204
（%）	35.3	14.1	7.1	32.9	7.1	7.1	8.2	4.7	240.0
うち療養機能強化型A	2	0	0	3	0	0	1	0	12
（%）	40.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0	240.0
うち療養機能強化型B	1	0	0	0	1	0	0	0	5
（%）	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	250.0
うちその他	27	12	6	24	5	6	6	4	184
（%）	35.1	15.6	7.8	31.2	6.5	7.8	7.8	5.2	239.0
療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1	259	28	54	215	15	25	17	83	1311
（%）	47.4	5.1	9.9	39.4	2.7	4.6	3.1	15.2	240.1
療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2	62	9	20	48	6	7	3	17	335
（%）	46.3	6.7	14.9	35.8	4.5	5.2	2.2	12.7	250.0
療養病棟入院基本料 経過措置1	33	12	7	20	2	3	1	8	166
（%）	52.4	19.0	11.1	31.7	3.2	4.8	1.6	12.7	263.5
療養病棟入院基本料 経過措置2	1	0	0	1	0	0	0	1	10
（%）	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	250.0
療養病棟入院基本料 特別入院基本料	0	0	0	0	0	0	0	1	1
（%）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
有床診療所療養病床入院基本料	59	27	17	58	4	8	8	26	386
（%）	39.9	18.2	11.5	39.2	2.7	5.4	5.4	17.6	260.8
介護療養型老人保健施設	17	3	5	4	4	6	2	2	104
（%）	37.0	6.5	10.9	8.7	8.7	13.0	4.3	4.3	226.1

各施設類型のうち、療養環境減算（Ⅰ）（廊下幅 1.8m未満または中廊下幅 2.7m未満）、療養環境減算（Ⅱ）（利用者一人当たり床面積 8.0 m<sup>2</sup>未満）いずれかまたは両方の対象となる施設数構成比は、有床診療所療養病床入院基本料（再掲）が 92.0%と他の類型と比較して最も大きかった。次いで介護療養型医療施設が 82.3%であった。

図表 135 減算対象施設数



\*回答数は施設数

図表 136 減算対象施設数

	合計	療養環境減算(Ⅰ)対象	療養環境減算(Ⅱ)対象	療養環境減算(Ⅰ)かつ(Ⅱ)対象	療養環境室減算対象外
介護医療院	39	14	3	5	17
(%)	100.0	35.9	7.7	12.8	43.6
医療療養病床	801	290	90	243	178
(%)	100.0	36.2	11.2	30.3	22.2
療養病棟入院料1・2	614	208	74	177	155
(%)	100.0	33.9	12.1	28.8	25.2
経過措置1・2	61	20	10	18	13
(%)	100.0	32.8	16.4	29.5	21.3
特別入院基本料	1	0	0	1	0
(%)	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
有床診療所療養病床入院基本料	125.0	62.0	6.0	47.0	10.0
(%)	100.0	49.6	4.8	37.6	8.0
介護療養型医療施設	323	97	55	114	57
(%)	100.0	30.0	17.0	35.3	17.6
介護療養型老人保健施設	40	11	6	8	15
(%)	100.0	27.5	15.0	20.0	37.5

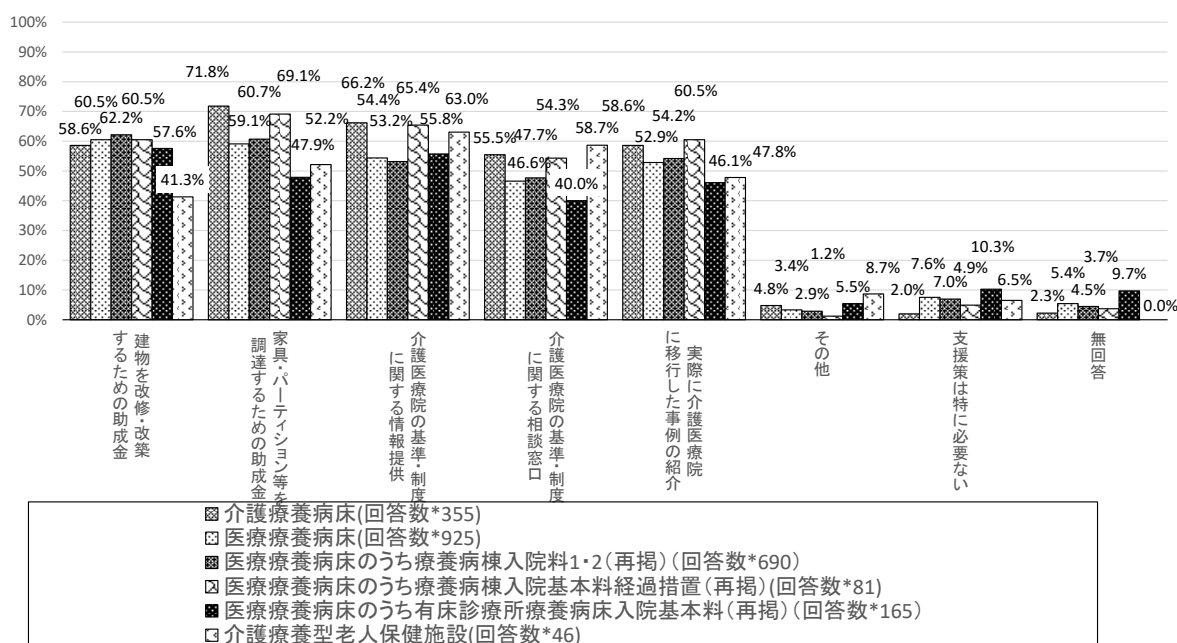
\*延べ床面積を尋ねた設問、及び廊下幅を尋ねた設問から、療養環境減算に該当する条件をもとに集計した。

### (5) 介護医療院に移行すると仮定した場合、必要と考えられる支援策

療養病床等を介護医療院へ移行すると仮定した場合、必要と考えられる支援策について複数回答にて回答を求めた。

その結果、介護療養型医療施設、療養病棟入院基本料経過措置（再掲）では、「家具パーティション等を調達するための助成金」の項目の施設数割合がそれぞれ 71.8%、69.1%で最も大きかった。療養病棟入院料 1・2（再掲）、有床診療所療養病床入院基本料（再掲）では、「建物を改修・改築するための助成金」の項目がそれぞれ 62.2%、57.6%で最も大きかった。介護療養型老人保健施設では、「介護医療院の基準・制度に関する情報提供」が 63.0%で最も大きかった。

図表 137 療養病床を介護医療院に移行すると仮定した場合、必要と考える支援策（複数回答）



\*回答数は施設数

図表 138 療養病床を介護医療院に移行すると仮定した場合、必要と考える支援策（複数回答）

	合計	建物を改修・改築するための助成金	家具・パーティション等を調達するための助成金	介護医療院の基準・制度に関する情報提供	介護医療院の基準・制度に関する相談窓口	実際に介護医療院に移行した事例の紹介	その他	支援策は特に必要ない	無回答	累計 (n) (%)
介護療養病床	355	208	255	235	197	208	17	7	8	1135
(%)	100.0	58.6	71.8	66.2	55.5	58.6	4.8	2.0	2.3	319.7
医療療養病床	925	560	547	503	431	489	31	70	50	2681
(%)	100.0	60.5	59.1	54.4	46.6	52.9	3.4	7.6	5.4	289.8
うち療養病棟入院料 1・2	690	429	419	367	329	374	20	48	31	2017
(%)	100.0	62.2	60.7	53.2	47.7	54.2	2.9	7.0	4.5	292.3
うち経過措置	81	49	56	53	44	49	1	4	3	259
(%)	100.0	60.5	69.1	65.4	54.3	60.5	1.2	4.9	3.7	319.8
うち有床診療所療養病床入院基本料	165	95	79	92	66	76	9	17	16	450
(%)	100.0	57.6	47.9	55.8	40.0	46.1	5.5	10.3	9.7	272.7
介護療養型老人保健施設	46	19	24	29	27	22	4	3	0	128
(%)	100.0	41.3	52.2	63.0	58.7	47.8	8.7	6.5	0.0	278.3

## 参 考 资 料

## 1. アンケート調査の詳細な調査結果

本編には記載できなかったアンケート調査の詳細な集計結果を以下に示す。

### (1) 施設の概要

図表 139 施設の概要（臨床検査（分析）の委託状況）

	合計	臨床検査 を委託し ていない	検査内容 によって 臨床検査 を一部委 託	臨床検査 を全部委 託	無回答
合計	40	4	23	12	1
(%)	100.0	10.0	57.5	30.0	2.5
I型介護医療院	21	3	11	7	0
(%)	100.0	14.3	52.4	33.3	0.0
II型介護医療院	17	0	11	5	1
(%)	100.0	0.0	64.7	29.4	5.9
I型・II型混合介護医療院	2	1	1	0	0
(%)	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0

図表 140 施設の概要（一部委託している場合の委託先）

	合計	関係医療 機関のみ	衛生検査 所のみ	関係医療 機関、衛 生検査所 の両方	無回答	累計 (n) (%)
合計	23	3	11	8	1	23
(%)	100.0	13.0	47.8	34.8	4.3	100.0
I型介護医療院	11	0	7	4	0	11
(%)	100.0	0.0	63.6	36.4	0.0	100.0
II型介護医療院	11	3	3	4	1	11
(%)	100.0	27.3	27.3	36.4	9.1	100.0
I型・II型混合介護医療院	1	0	1	0	0	1
(%)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0

図表 141 施設の概要（全部委託している場合の委託先）

	合計	関係医療 機関のみ	衛生検査 所のみ	関係医療 機関、衛 生検査所 の両方	無回答	累計 (n) (%)
合計	12	2	6	2	2	12
(%)	100.0	16.7	50.0	16.7	16.7	100.0
I型介護医療院	7	0	3	2	2	7
(%)	100.0	0.0	42.9	28.6	28.6	100.0
II型介護医療院	5	2	3	0	0	5
(%)	100.0	40.0	60.0	0.0	0.0	100.0
I型・II型混合介護医療院	0	0	0	0	0	0
(%)	-	-	-	-	-	-

図表 142 施設の概要  
 (介護医療院もしくは併設医療機関・事業所が実施する在宅介護サービス等)

	合計	通所リハビリテーション	訪問リハビリテーション	外来リハビリテーション	訪問看護	短期入所療養介護	上記のいずれも実施していない	累計 (n) (%)
合計	40	21	20	12	17	23	5	98
(%)	100.0	52.5	50.0	30.0	42.5	57.5	12.5	245.0
I型介護医療院	21	8	12	6	9	12	4	51
(%)	100.0	38.1	57.1	28.6	42.9	57.1	19.0	242.9
II型介護医療院	17	12	7	5	8	11	0	43
(%)	100.0	70.6	41.2	29.4	47.1	64.7	0.0	252.9
I型・II型混合介護医療院	2	1	1	1	0	0	1	4
(%)	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	200.0

図表 143 施設の概要 (併設する医療機関)

	合計	病院を併設	診療所を併設	併設医療機関なし	無回答
介護療養型老人保健施設	46	16	25	3	2
(%)	100.0	34.8	54.3	6.5	4.3

(2) 施設のサービス費の算定区分

図表 144 介護医療院の施設サービス費の算定区分

	合計	I型介護医療院サービス費(Ⅰ)	I型介護医療院サービス費(Ⅱ)	I型介護医療院サービス費(Ⅲ)	II型介護医療院サービス費(Ⅰ)	II型介護医療院サービス費(Ⅱ)	II型介護医療院サービス費(Ⅲ)	I型特別介護医療院サービス費	II型特別介護医療院サービス費	ユニット型I型介護医療院サービス費(Ⅰ)	ユニット型I型介護医療院サービス費(Ⅱ)	ユニット型I型介護医療院サービス費(Ⅲ)	ユニット型II型介護医療院サービス費(Ⅰ)	ユニット型II型介護医療院サービス費(Ⅱ)	ユニット型II型介護医療院サービス費(Ⅲ)	ユニット型I型特別介護医療院サービス費	ユニット型II型特別介護医療院サービス費	累計(n)(%)
合計	40	18	3	1	12	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	42
(%)	100.0	45.0	7.5	2.5	30.0	7.5	5.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	105.0
I型介護医療院	21	17	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
(%)	100.0	81.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
II型介護医療院	14	0	0	0	11	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	17
(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	64.3	11.8	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	100.0
I型・II型混合介護医療院	2	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
(%)	100.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	200.0

図表 145 介護療養型医療施設の施設サービス費の算定区分

	合計	療養型介護療養施設サービス費	療養型経過型介護療養施設サービス費	ユニット型療養型介護療養施設サービス費	ユニット型療養型経過型介護療養施設サービス費	診療所型介護療養施設サービス費	ユニット型診療所型介護療養施設サービス費	認知症患者型介護療養施設サービス費	認知症患者経過型介護療養施設サービス費	ユニット型認知症患者型介護療養施設サービス費	無回答
合計	370	262	6	0	0	85	0	3	0	0	14
(%)	100.0	70.8	1.6	0.0	0.0	23.0	0.0	0.8	0.0	0.0	3.8
病院	271	262	6	0	0	0	0	3	0	0	0
(%)	100.0	96.7	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0
病院_療養機能強化型A	132	130	2	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	100.0	98.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
病院_療養機能強化型B	23	22	1	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	100.0	95.7	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
病院_その他	110	105	3	0	0	0	0	2	0	0	0
(%)	100.0	95.5	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0
診療所	85	0	0	0	0	85	0	0	0	0	0
(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
診療所_療養機能強化型A	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
診療所_療養機能強化型B	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
診療所_その他	77	0	0	0	0	77	0	0	0	0	0
(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 146 介護療養型老人保健施設の施設サービス費の算定区分

	合計	介護保健施設サービス費(Ⅰ)	介護保健施設サービス費(Ⅱ) (療養型老健、看護職員を配置)	介護保健施設サービス費(Ⅲ) (療養型老健、看護オンコール体制)	介護保健施設サービス費(Ⅳ)	ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅰ)	ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅱ) (療養型老健、看護職員を配置)	ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅲ) (療養型老健、看護オンコール体制)	ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅳ)	無回答
介護療養型老人保健施設	46	3	31	9	1	0	1	0	0	1
(%)	100.0	6.5	67.4	19.6	2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	2.2



(3) 病棟の構造

図表 147 病棟構造

	合計	医療療養 病床と介 護療養型 医療施設 の混合病 棟が1病 棟ある	医療療養 病床と介 護療養型 医療施設 の混合病 棟が2病 棟ある	医療療養 病床と介 護療養型 医療施設 の混合病 棟はない	無回答
合計	1025	163	9	834	19
(%)	100.0	15.9	0.9	81.4	1.9
介護療養病床	355	154	8	189	4
(%)	100.0	43.4	2.3	53.2	1.1
医療療養病床	925	147	9	754	15
(%)	100.0	15.9	1.0	81.5	1.6
うち療養病棟入院料1・2	690	89	5	590	6
(%)	100.0	12.9	0.7	85.5	0.9
うち経過措置	81	17	3	60	1
(%)	100.0	21.0	3.7	74.1	1.2
うち有床診療所療養病床入院基本料	165	41	1	115	8
(%)	100.0	24.8	0.6	69.7	4.8

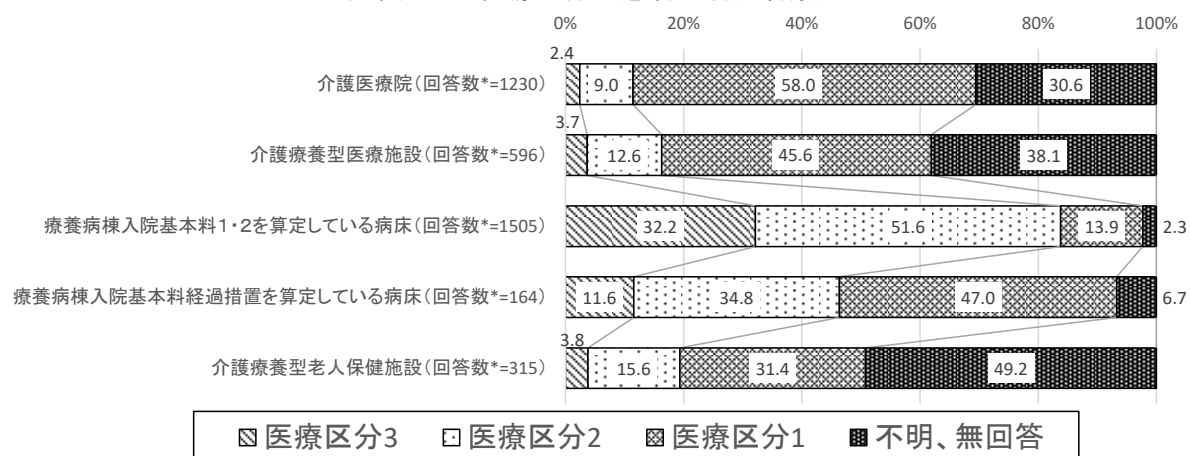
(4) 現在入院・入所中の場所へ入院・入所（または転棟）した日

図表 148 現在入院・入所中の場所へ入院・入所（または転棟）した日

	合計	平成27年 3月以前	平成27年 度	平成28年 度	平成29年 度	平成30年 4月以降	無回答
合計	3965	744	343	556	979	1299	44
(%)	100.0	18.8	8.7	14.0	24.7	32.8	1.1
介護医療院	1230	229	114	174	280	428	5
(%)	100.0	18.6	9.3	14.1	22.8	34.8	0.4
介護療養型医療施設	596	151	60	97	142	139	7
(%)	100.0	25.3	10.1	16.3	23.8	23.3	1.2
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	1505	240	119	195	398	548	5
(%)	100.0	15.9	7.9	13.0	26.4	36.4	0.3
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	164	43	14	21	31	54	1
(%)	100.0	26.2	8.5	12.8	18.9	32.9	0.6
介護療養型老人保健施設	315	51	28	53	98	82	3
(%)	100.0	16.2	8.9	16.8	31.1	26.0	1.0
無回答	155	30	8	16	30	48	23
(%)	100.0	19.4	5.2	10.3	19.4	31.0	14.8

(5) 患者・利用者の状態像（患者・利用者票）

図表 149 医療区分（患者・利用者票）

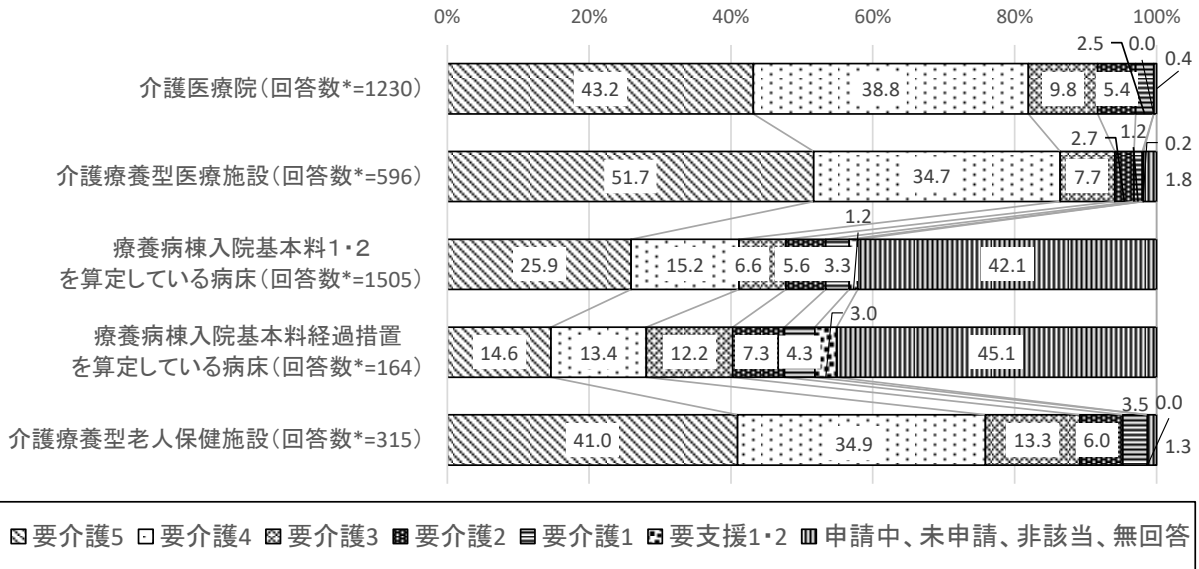


\*回答数は患者・利用者票における患者・利用者数

図表 150 医療区分（患者・利用者票）

	合計	医療区分1	医療区分2	医療区分3	不明	無回答
合計	3965	1431	1108	599	381	446
(%)	100.0	36.1	27.9	15.1	9.6	11.2
介護医療院	1230	713	111	30	159	217
(%)	100.0	58.0	9.0	2.4	12.9	17.6
介護療養型医療施設	596	272	75	22	132	95
(%)	100.0	45.6	12.6	3.7	22.1	15.9
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	1505	209	777	484	8	27
(%)	100.0	13.9	51.6	32.2	0.5	1.8
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	164	77	57	19	5	6
(%)	100.0	47.0	34.8	11.6	3.0	3.7
介護療養型老人保健施設	315	99	49	12	69	86
(%)	100.0	31.4	15.6	3.8	21.9	27.3
無回答	155	61	39	32	8	15
(%)	100.0	39.4	25.2	20.6	5.2	9.7

図表 151 要介護度（直近）（患者・利用者票）

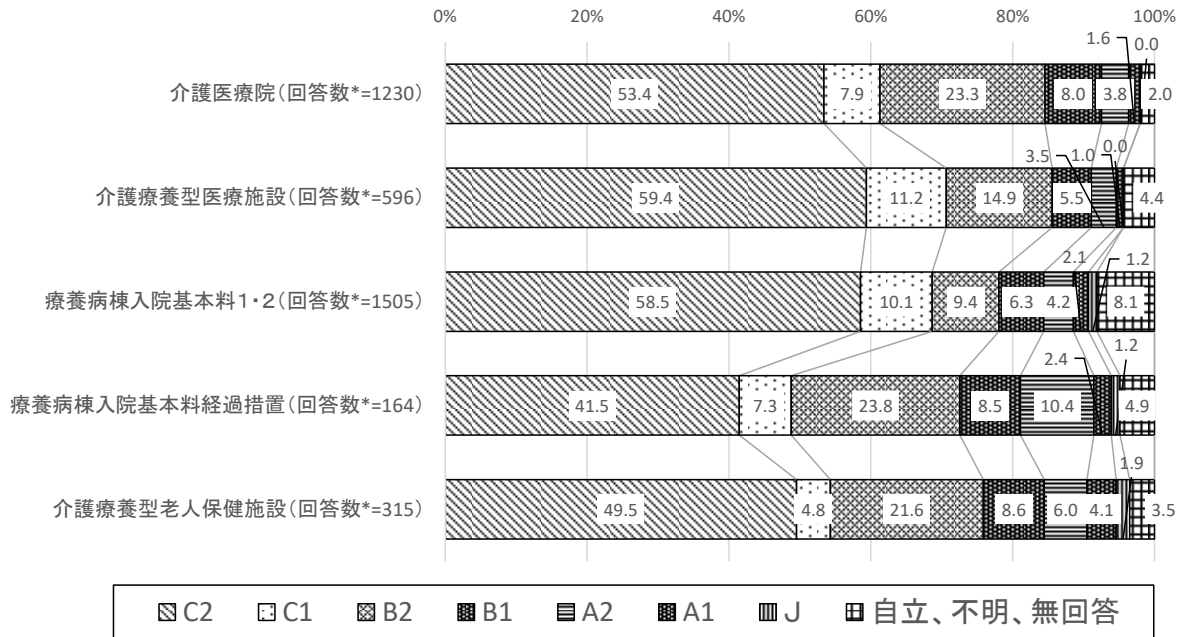


\*回答数は患者・利用者票における患者・利用者数

図表 152 要介護度（直近）（患者・利用者票）

	合計	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	未申請	非該当	無回答
合計 (%)	3965	27	114	208	340	1083	1420	28	490	72	183
	100.0	0.7	2.9	5.2	8.6	27.3	35.8	0.7	12.4	1.8	4.6
介護医療院 (%)	1230	0	31	66	120	477	531	1	2	0	2
	100.0	0.0	2.5	5.4	9.8	38.8	43.2	0.1	0.2	0.0	0.2
介護療養型医療施設 (%)	596	1	7	16	46	207	308	1	7	0	3
	100.0	0.2	1.2	2.7	7.7	34.7	51.7	0.2	1.2	0.0	0.5
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床 (%)	1505	18	50	84	100	229	390	18	400	68	148
	100.0	1.2	3.3	5.6	6.6	15.2	25.9	1.2	26.6	4.5	9.8
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床 (%)	164	5	7	12	20	22	24	5	58	3	8
	100.0	3.0	4.3	7.3	12.2	13.4	14.6	3.0	35.4	1.8	4.9
介護療養型老人保健施設 (%)	315	0	11	19	42	110	129	2	0	0	2
	100.0	0.0	3.5	6.0	13.3	34.9	41.0	0.6	0.0	0.0	0.6
無回答 (%)	155	3	8	11	12	38	38	1	23	1	20
	100.0	1.9	5.2	7.1	7.7	24.5	24.5	0.6	14.8	0.6	12.9

図表 153 障害高齢者の日常生活自立度（患者・利用者票）

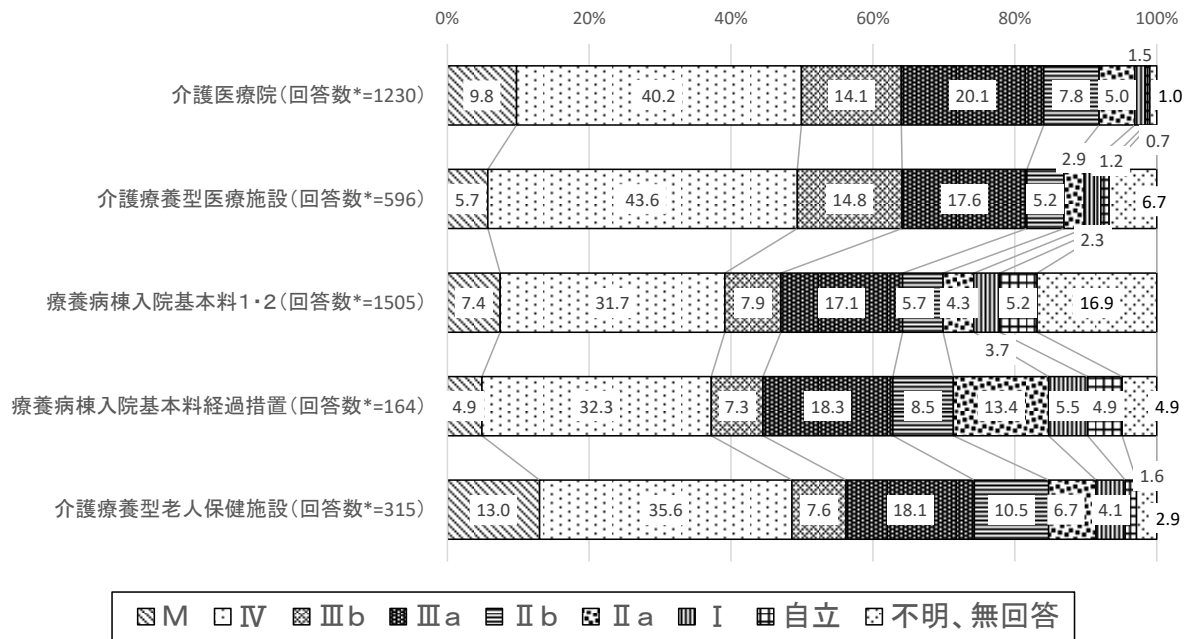


\*回答数は患者・利用者票における患者・利用者数

図表 154 障害高齢者の日常生活自立度（患者・利用者票）

	合計	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	無回答
合計	3965	23	9	21	78	177	283	645	357	2194	68	110
(%)	100.0	0.6	0.2	0.5	2.0	4.5	7.1	16.3	9.0	55.3	1.7	2.8
介護医療院	1230	1	0	0	20	47	98	286	97	657	13	11
(%)	100.0	0.1	0.0	0.0	1.6	3.8	8.0	23.3	7.9	53.4	1.1	0.9
介護療養型医療施設	596	0	0	0	6	21	33	89	67	354	6	20
(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.5	5.5	14.9	11.2	59.4	1.0	3.4
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	1505	17	6	12	32	63	95	142	152	881	44	61
(%)	100.0	1.1	0.4	0.8	2.1	4.2	6.3	9.4	10.1	58.5	2.9	4.1
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	164	3	2	0	4	17	14	39	12	68	2	3
(%)	100.0	1.8	1.2	0.0	2.4	10.4	8.5	23.8	7.3	41.5	1.2	1.8
介護療養型老人保健施設	315	1	0	6	13	19	27	68	15	156	1	9
(%)	100.0	0.3	0.0	1.9	4.1	6.0	8.6	21.6	4.8	49.5	0.3	2.9
無回答	155	1	1	3	3	10	16	21	14	78	2	6
(%)	100.0	0.6	0.6	1.9	1.9	6.5	10.3	13.5	9.0	50.3	1.3	3.9

図表 155 認知症高齢者の日常生活自立度（患者・利用者票）



\*回答数は患者・利用者票における患者・利用者数

図表 156 認知症高齢者の日常生活自立度（患者・利用者票）

	合計	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明	無回答
合計	3965	111	114	194	277	720	430	1440	328	224	127
(%)	100.0	2.8	2.9	4.9	7.0	18.2	10.8	36.3	8.3	5.6	3.2
介護医療院	1230	8	18	62	96	247	173	494	120	1	11
(%)	100.0	0.7	1.5	5.0	7.8	20.1	14.1	40.2	9.8	0.1	0.9
介護療養型医療施設	596	7	14	17	31	105	88	260	34	23	17
(%)	100.0	1.2	2.3	2.9	5.2	17.6	14.8	43.6	5.7	3.9	2.9
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	1505	79	55	65	86	258	119	477	112	180	74
(%)	100.0	5.2	3.7	4.3	5.7	17.1	7.9	31.7	7.4	12.0	4.9
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	164	8	9	22	14	30	12	53	8	3	5
(%)	100.0	4.9	5.5	13.4	8.5	18.3	7.3	32.3	4.9	1.8	3.0
介護療養型老人保健施設	315	5	13	21	33	57	24	112	41	1	8
(%)	100.0	1.6	4.1	6.7	10.5	18.1	7.6	35.6	13.0	0.3	2.5
無回答	155	4	5	7	17	23	14	44	13	16	12
(%)	100.0	2.6	3.2	4.5	11.0	14.8	9.0	28.4	8.4	10.3	7.7

(6) 患者・利用者の生活機能等の状況

図表 157 身体機能・起居動作（寝返り）

	合計	できる	つかまればできる	できない	無回答
合計	3965	603	716	2636	10
(%)	100.0	15.2	18.1	66.5	0.3
介護医療院	1230	183	244	801	2
(%)	100.0	14.9	19.8	65.1	0.2
介護療養型医療施設	596	51	113	429	3
(%)	100.0	8.6	19.0	72.0	0.5
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	1505	228	236	1037	4
(%)	100.0	15.1	15.7	68.9	0.3
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	164	44	31	89	0
(%)	100.0	26.8	18.9	54.3	0.0
介護療養型老人保健施設	315	62	60	193	0
(%)	100.0	19.7	19.0	61.3	0.0
無回答	155	35	32	87	1
(%)	100.0	22.6	20.6	56.1	0.6

図表 158 身体機能・起居動作（起き上がり）

	合計	できる	つかまればできる	できない	無回答
合計	3965	474	558	2920	13
(%)	100.0	12.0	14.1	73.6	0.3
介護医療院	1230	140	198	889	3
(%)	100.0	11.4	16.1	72.3	0.2
介護療養型医療施設	596	39	73	479	5
(%)	100.0	6.5	12.2	80.4	0.8
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	1505	177	184	1141	3
(%)	100.0	11.8	12.2	75.8	0.2
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	164	35	33	96	0
(%)	100.0	21.3	20.1	58.5	0.0
介護療養型老人保健施設	315	57	45	213	0
(%)	100.0	18.1	14.3	67.6	0.0
無回答	155	26	25	102	2
(%)	100.0	16.8	16.1	65.8	1.3

図表 159 身体機能・起居動作（座位保持）

	合計	できる	自分で支えが あればできる	支えても らえれば できる	できない	無回答
合計	3965	554	327	1076	1989	19
(%)	100.0	14.0	8.2	27.1	50.2	0.5
介護医療院	1230	164	130	386	544	6
(%)	100.0	13.3	10.6	31.4	44.2	0.5
介護療養型医療施設	596	54	36	213	291	2
(%)	100.0	9.1	6.0	35.7	48.8	0.3
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	1505	204	98	323	873	7
(%)	100.0	13.6	6.5	21.5	58.0	0.5
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	164	39	19	34	71	1
(%)	100.0	23.8	11.6	20.7	43.3	0.6
介護療養型老人保健施設	315	67	27	85	136	0
(%)	100.0	21.3	8.6	27.0	43.2	0.0
無回答	155	26	17	35	74	3
(%)	100.0	16.8	11.0	22.6	47.7	1.9

図表 160 身体機能・起居動作（両足での立位）

	合計	できる	支えがあればできる	できない	無回答
合計 (%)	3965 100.0	318 8.0	626 15.8	3010 75.9	11 0.3
介護医療院 (%)	1230 100.0	83 6.7	229 18.6	916 74.5	2 0.2
介護療養型医療施設 (%)	596 100.0	28 4.7	68 11.4	498 83.6	2 0.3
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床 (%)	1505 100.0	130 8.6	186 12.4	1183 78.6	6 0.4
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床 (%)	164 100.0	25 15.2	37 22.6	102 62.2	0 0.0
介護療養型老人保健施設 (%)	315 100.0	33 10.5	68 21.6	214 67.9	0 0.0
無回答 (%)	155 100.0	19 12.3	38 24.5	97 62.6	1 0.6

図表 161 身体機能・起居動作（歩行）

	合計	できる	つかまればできる	できない	無回答
合計 (%)	3965 100.0	201 5.1	446 11.2	3301 83.3	17 0.4
介護医療院 (%)	1230 100.0	47 3.8	139 11.3	1041 84.6	3 0.2
介護療養型医療施設 (%)	596 100.0	21 3.5	51 8.6	522 87.6	2 0.3
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床 (%)	1505 100.0	83 5.5	155 10.3	1259 83.7	8 0.5
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床 (%)	164 100.0	18 11.0	26 15.9	118 72.0	2 1.2
介護療養型老人保健施設 (%)	315 100.0	21 6.7	46 14.6	248 78.7	0 0.0
無回答 (%)	155 100.0	11 7.1	29 18.7	113 72.9	2 1.3

図表 162 生活機能（移動）

	合計	自立	一部介助	全介助	無回答
合計 (%)	3965 100.0	331 8.3	554 14.0	3066 77.3	14 0.4
介護医療院 (%)	1230 100.0	104 8.5	173 14.1	952 77.4	1 0.1
介護療養型医療施設 (%)	596 100.0	24 4.0	68 11.4	502 84.2	2 0.3
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床 (%)	1505 100.0	116 7.7	188 12.5	1196 79.5	5 0.3
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床 (%)	164 100.0	26 15.9	35 21.3	103 62.8	0 0.0
介護療養型老人保健施設 (%)	315 100.0	40 12.7	66 21.0	207 65.7	2 0.6
無回答 (%)	155 100.0	21 13.5	24 15.5	106 68.4	4 2.6



図表 163 生活機能（えん下）

	合計	自立	一部介助	全介助	無回答
合計	3965	1217	542	2086	120
(%)	100.0	30.7	13.7	52.6	3.0
介護医療院	1230	399	204	590	37
(%)	100.0	32.4	16.6	48.0	3.0
介護療養型医療施設	596	157	102	320	17
(%)	100.0	26.3	17.1	53.7	2.9
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	1505	400	154	902	49
(%)	100.0	26.6	10.2	59.9	3.3
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	164	76	19	67	2
(%)	100.0	46.3	11.6	40.9	1.2
介護療養型老人保健施設	315	132	43	132	8
(%)	100.0	41.9	13.7	41.9	2.5
無回答	155	53	20	75	7
(%)	100.0	34.2	12.9	48.4	4.5

図表 164 生活機能（排尿）

	合計	自立	一部介助	全介助	無回答
合計	3965	275	406	3274	10
(%)	100.0	6.9	10.2	82.6	0.3
介護医療院	1230	62	146	1020	2
(%)	100.0	5.0	11.9	82.9	0.2
介護療養型医療施設	596	20	41	534	1
(%)	100.0	3.4	6.9	89.6	0.2
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	1505	120	135	1246	4
(%)	100.0	8.0	9.0	82.8	0.3
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	164	25	18	120	1
(%)	100.0	15.2	11.0	73.2	0.6
介護療養型老人保健施設	315	27	47	240	1
(%)	100.0	8.6	14.9	76.2	0.3
無回答	155	21	19	114	1
(%)	100.0	13.5	12.3	73.5	0.6

図表 165 生活機能（排便）

	合計	自立	一部介助	全介助	無回答
合計	3965	273	398	3288	6
(%)	100.0	6.9	10.0	82.9	0.2
介護医療院	1230	63	145	1022	0
(%)	100.0	5.1	11.8	83.1	0.0
介護療養型医療施設	596	21	40	534	1
(%)	100.0	3.5	6.7	89.6	0.2
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	1505	115	135	1253	2
(%)	100.0	7.6	9.0	83.3	0.1
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	164	25	17	121	1
(%)	100.0	15.2	10.4	73.8	0.6
介護療養型老人保健施設	315	27	45	242	1
(%)	100.0	8.6	14.3	76.8	0.3
無回答	155	22	16	116	1
(%)	100.0	14.2	10.3	74.8	0.6

図表 166 生活機能（衣服の着脱）

	合計	自立	一部介助	全介助	無回答
合計	3965	201	718	3035	11
(%)	100.0	5.1	18.1	76.5	0.3
介護医療院	1230	48	258	922	2
(%)	100.0	3.9	21.0	75.0	0.2
介護療養型医療施設	596	13	81	500	2
(%)	100.0	2.2	13.6	83.9	0.3
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	1505	81	244	1177	3
(%)	100.0	5.4	16.2	78.2	0.2
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	164	20	32	111	1
(%)	100.0	12.2	19.5	67.7	0.6
介護療養型老人保健施設	315	26	69	218	2
(%)	100.0	8.3	21.9	69.2	0.6
無回答	136	11	29	95	1
(%)	100.0	8.1	21.3	69.9	0.7

図表 167 入浴の回数（一週間のうちの回数）

	施設数	合計	平均値
介護医療院	1224	2442	2.0
介護療養型医療施設	590	1162	2.0
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	1463	2409	1.6
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	162	291	1.8
介護療養型老人保健施設	315	643	2.0
無回答	146	266	1.8

図表 168 レクリエーションへの参加（一週間のうちの時間（分））

	施設数	合計	平均値
介護医療院	1128	55542	49.2
介護療養型医療施設	489	15282	31.3
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	1191	15756	13.2
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	134	4865	36.3
介護療養型老人保健施設	300	23940	79.8
無回答	126	3638	28.9

(7) リハビリテーションの詳細な状況

図表 169 患者・利用者一人あたりリハビリテーションの実施状況（平成 30 年 9 月の 1 ヶ月間）（施設票）

施設数	栄養マネジメント加算（人日）	低栄養リスク改善加算（人）	経口移行加算（人）	経口維持加算（人）	口腔衛生管理加算（人）	排せつ支援加算（人）	理学療法（Ⅰ）（回）	理学療法（Ⅱ）（回）	作業療法（回）	言語聴覚療法（回）	集団コミュニケーション療	摂食機能療法（人日）	短期集中リハビリテーション（人日）	認知症短期集中リハビリテーション	精神科作業療法（人日）	認知症老人入所精神療法（回（週））
I型介護医療院	21	17.8	0.0	0.4	0.2	0.6	0.0	5.9	0.9	3.7	2.0	0.0	0.1	0.6	0.1	0.0
II型介護医療院	17	19.5	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	4.0	1.2	2.9	0.6	0.0	0.3	1.8	0.2	0.0
I型・II型混合介護医療院	2	13.7	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	2.5	0.0	2.8	0.9	0.0	1.7	1.3	0.0	0.0
介護療養型老人保健施設	46	9.3	0.0	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.8	0.1	0.0

※それぞれの加算につき、リハビリテーションが必要だった人数が0または無回答でないものを有効回答と見なし、1人当たり数値を算定した

図表 170 リハビリテーションの具体的な内容（内容）

合計	関節可動域訓練	筋力増強訓練	姿勢調整（ストレッチ等）	歩行訓練	バランス訓練	起立/座位動作練習	移乗動作訓練	歩行訓練	体操	低食・糖	音韻聴覚訓練	高次脳機能訓練	トイレ訓練	入浴訓練	その他（風呂訓練、買物等）	用具の適応訓練（杖、歩行器、手すり、杖、被褥等）	在宅生活の概観的指導	認知機能に関する訓練	趣味活動（手工芸、園芸、編み物等）	介護方法の指導	その他	無回答	累計(n)				
合計	2445	1946	1029	1154	382	400	851	513	481	156	429	314	78	122	18	228	10	68	19	135	379	149	73	218	97	9228	
(%)	100.0	79.6	42.0	47.3	15.6	16.4	34.8	20.9	19.7	6.4	17.5	12.8	3.2	5.0	0.7	9.3	4.1	2.8	0.7	5.5	15.5	6.1	3.0	8.8	4.0	372.9	
介護医療院	984	743	376	405	169	179	311	223	167	76	154	146	18	62	5	101	5	29	2	72	203	76	22	120	65	3725	
(%)	100.0	75.7	36.2	41.8	16.9	18.2	37.6	22.7	17.0	7.7	15.7	14.8	1.8	6.3	0.5	10.3	0.5	2.6	0.2	7.3	20.6	7.7	2.2	12.2	6.6	376.6	
介護療養型医療施設	374	294	164	183	66	42	129	62	49	19	53	41	11	8	2	34	0	9	3	23	42	17	15	18	24	1288	
(%)	100.0	78.9	39.8	49.3	12.3	11.2	34.3	16.6	15.0	5.1	14.7	11.0	2.2	2.1	0.5	9.1	0.0	2.4	0.8	6.1	11.2	4.5	4.0	4.8	6.9	344.7	
療養病棟入院基本料1・2を算定している病棟	851	712	401	467	126	138	334	179	184	51	187	103	34	44	7	81	4	28	10	29	102	43	25	57	4	3350	
(%)	100.0	83.7	47.1	54.9	14.8	16.2	39.2	21.0	21.6	6.0	22.0	12.7	4.0	5.2	0.8	9.5	0.5	3.3	1.2	3.4	12.0	5.1	2.9	6.7	0.5	393.7	
療養病棟入院基本料総額措置を算定している病棟	89	69	46	41	11	12	35	20	31	3	11	4	0	0	0	9	1	4	1	3	6	3	4	2	0	349	
(%)	100.0	88.8	51.7	49.4	12.4	12.5	39.3	22.2	34.8	3.4	12.4	7.9	6.3	5.6	2.2	10.1	1.1	4.5	1.1	2.3	6.7	9.0	4.5	2.2	0.0	392.4	
介護療養型老人保健施設	143	109	53	53	29	42	28	39	7	22	17	9	4	4	0	0	0	0	0	9	26	5	7	19	4	519	
(%)	100.0	76.2	37.1	37.1	20.3	29.4	19.6	27.3	4.9	15.4	11.9	6.3	2.8	2.8	0.0	2.1	0.0	0.7	0.0	6.3	18.2	3.5	4.9	13.3	2.8	362.9	
無回答	4	3	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
(%)	100.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	175.0

図表 171 一週間当たりのリハビリテーションの回数別維持向上させようとした生活機能【介護医療院】

	合計	寝返り	起き上がり	座位保持	両足での立位	歩行	移動	えん下	排尿	排便	衣服の着脱	その他	無回答	累計(n)
0回	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
(%)	100.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	100.0
1回	53	5	6	11	4	2	2	1	0	0	2	34	4	71
(%)	100.0	9.4	11.3	20.8	7.5	3.8	3.8	1.9	0.0	0.0	3.8	64.2	7.5	134.0
2回	362	154	110	187	72	63	37	22	14	13	48	102	11	833
(%)	100.0	42.5	30.4	51.7	19.9	17.4	10.2	6.1	3.9	3.6	13.3	28.2	3.0	230.1
3回	194	52	42	90	49	35	26	14	4	5	9	64	10	400
(%)	100.0	26.8	21.6	46.4	25.3	18.0	13.4	7.2	2.1	2.6	4.6	33.0	5.2	206.2
4回	114	27	16	55	13	11	4	45	0	1	2	34	3	211
(%)	100.0	23.7	14.0	48.2	11.4	9.6	3.5	39.5	0.0	0.9	1.8	29.8	2.6	185.1
5回	94	33	31	47	34	22	19	14	6	7	5	25	1	244
(%)	100.0	35.1	33.0	50.0	36.2	23.4	20.2	14.9	6.4	7.4	5.3	26.6	1.1	259.6
6回	64	19	19	43	27	13	9	27	4	5	5	23	2	196
(%)	100.0	29.7	29.7	67.2	42.2	20.3	14.1	42.2	6.3	7.8	7.8	35.9	3.1	306.3
7回以上	32	8	8	18	12	12	7	9	3	3	6	13	2	101
(%)	100.0	25.0	25.0	56.3	37.5	37.5	21.9	28.1	9.4	9.4	18.8	40.6	6.3	315.6

図表 172 一週間当たりのリハビリテーションの回数別維持向上させようとした生活機能【介護療養型医療施設】

	合計	寝返り	起き上がり	座位保持	両足での立位	歩行	移動	えん下	排尿	排便	衣服の着脱	その他	無回答	累計(n)
0回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1回	30	2	0	9	2	3	2	7	1	1	3	11	3	44
(%)	100.0	6.7	0.0	30.0	6.7	10.0	6.7	23.3	3.3	3.3	10.0	30.7	10.0	146.7
2回	100	29	27	57	10	12	9	9	0	0	5	30	7	195
(%)	100.0	29.0	27.0	57.0	10.0	12.0	9.0	9.0	0.0	0.0	5.0	30.0	7.0	195.0
3回	78	23	26	41	16	8	8	6	0	0	6	21	8	163
(%)	100.0	29.5	33.3	52.6	20.5	10.3	10.3	7.7	0.0	0.0	7.7	26.9	10.3	209.0
4回	39	10	9	27	13	7	6	5	1	2	2	7	2	91
(%)	100.0	25.6	23.1	69.2	33.3	17.9	15.4	12.8	2.6	5.1	5.1	17.9	5.1	233.3
5回	46	15	14	23	12	10	6	5	2	2	7	11	1	108
(%)	100.0	32.6	30.4	50.0	26.1	21.7	13.0	10.9	4.3	4.3	15.2	23.9	2.2	234.8
6回	27	9	8	19	7	4	3	12	3	2	1	8	1	77
(%)	100.0	33.3	29.6	70.4	25.9	14.8	11.1	44.4	11.1	7.4	3.7	29.6	3.7	285.2
7回以上	28	8	8	18	5	6	5	9	1	1	2	7	1	71
(%)	100.0	28.6	28.6	64.3	17.9	21.4	17.9	32.1	3.6	3.6	7.1	25.0	3.6	253.6

図表 173 一週間当たりのリハビリテーションの回数別維持向上させようとした生活機能  
【療養病棟入院基本料1・2を算定している病床(20:1)】

	合計	寝返り	起き上がり	座位保持	両足での立位	歩行	移動	えん下	排尿	排便	衣服の着脱	その他	無回答	累計(n)(%)
0回 (%)	4 100.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	6 150.0
1回 (%)	69 100.0	20 29.0	18 26.1	28 40.6	6 8.7	10 14.5	9 13.0	8 11.6	0 0.0	1 1.4	6 8.7	18 26.1	2 2.9	126 182.6
2回 (%)	177 100.0	79 44.6	58 32.8	88 49.7	27 15.3	19 10.7	23 13.0	24 13.6	8 4.5	9 5.1	8 4.5	49 27.7	7 4.0	399 225.4
3回 (%)	240 100.0	90 37.5	68 28.3	114 47.5	39 16.3	40 16.7	20 8.3	30 12.5	2 0.8	3 1.3	11 4.6	63 26.3	8 3.3	488 203.3
4回 (%)	74 100.0	27 36.5	22 29.7	37 50.0	16 21.6	14 18.9	11 14.9	26 35.1	5 6.8	7 9.5	4 5.4	17 23.0	1 1.4	187 252.7
5回 (%)	101 100.0	32 31.7	32 31.7	50 49.5	31 30.7	43 42.6	21 20.8	19 18.8	10 9.9	9 8.9	4 4.0	17 16.8	1 1.0	269 266.3
6回 (%)	48 100.0	13 27.1	12 25.0	23 47.9	13 27.1	14 29.2	11 22.9	11 22.9	3 6.3	3 6.3	2 4.2	13 27.1	1 2.1	119 247.9
7回以上 (%)	112 100.0	49 43.8	38 33.9	60 53.6	33 29.5	38 33.9	30 26.8	22 40.2	9 8.0	11 9.8	11 9.8	31 27.7	6 5.4	361 322.3

図表 174 一週間当たりのリハビリテーションの回数別維持向上させようとした生活機能  
【療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床(25:1、30:1、医療区分2・3の患者割合が5割未満)】

	合計	寝返り	起き上がり	座位保持	両足での立位	歩行	移動	えん下	排尿	排便	衣服の着脱	その他	無回答	累計(n)(%)
0回 (%)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
1回 (%)	9 100.0	6 66.7	3 33.3	3 33.3	1 11.1	1 11.1	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 22.2	1 11.1	1 11.1	19 211.1
2回 (%)	14 100.0	5 35.7	4 28.6	6 42.9	3 21.4	4 28.6	6 42.9	1 7.1	0 0.0	0 0.0	2 14.3	1 7.1	1 7.1	33 235.7
3回 (%)	28 100.0	8 28.6	6 21.4	17 60.7	5 17.9	6 21.4	4 14.3	5 17.9	0 0.0	0 0.0	1 3.6	4 14.3	3 10.7	59 210.7
4回 (%)	6 100.0	5 83.3	3 50.0	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	14 233.3
5回 (%)	9 100.0	5 55.6	4 44.4	3 33.3	2 22.2	4 44.4	2 22.2	0 0.0	1 11.1	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	22 244.4
6回 (%)	13 100.0	3 23.1	4 30.8	4 30.8	5 38.5	9 69.2	7 53.8	1 7.7	0 0.0	1 7.7	2 15.4	2 15.4	0 0.0	38 292.3
7回以上 (%)	7 100.0	3 42.9	4 57.1	5 71.4	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0	1 14.3	0 0.0	19 271.4

図表 175 一週間当たりのリハビリテーションの回数別維持向上させようとした生活機能  
【介護療養型老人保健施設】

	合計	寝返り	起き上がり	座位保持	両足での立位	歩行	移動	えん下	排尿	排便	衣服の着脱	その他	無回答	累計(n)(%)
0回 (%)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
1回 (%)	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	2 25.0	0 0.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	8 100.0
2回 (%)	89 100.0	23 25.8	25 28.1	43 48.3	23 25.8	19 21.3	15 16.9	11 12.4	1 1.1	0 0.0	7 7.9	37 41.6	0 0.0	204 229.2
3回 (%)	19 100.0	9 47.4	6 31.6	10 52.6	4 21.1	1 5.3	4 21.1	6 31.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 21.1	0 0.0	44 231.6
4回 (%)	8 100.0	1 12.5	0 0.0	6 75.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 37.5	0 0.0	15 187.5
5回 (%)	10 100.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0	6 60.0	8 80.0	8 80.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	30 300.0
6回 (%)	6 100.0	2 33.3	3 50.0	3 50.0	2 33.3	3 50.0	3 50.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	19 316.7
7回以上 (%)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -

図表 176 一週間当たりのリハビリテーションの時間別維持向上させようとした生活機能  
【介護医療院】

	合計	寝返り	起き上がり	座位保持	両足での立位	歩行	移動	えん下	排尿	排便	衣服の着脱	その他	無回答	累計 (n) (%)
0分 (%)	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
30分未満 (%)	58	8	8	13	6	5	3	3	0	0	2	34	4	86
1時間未満 (%)	500	184	132	233	107	89	60	26	17	17	56	163	19	1103
2時間未満 (%)	251	87	68	151	60	35	27	58	5	5	7	63	7	573
3時間未満 (%)	48	3	6	20	10	10	6	24	2	2	3	18	1	105
4時間未満 (%)	20	6	7	12	8	4	2	2	1	1	2	5	1	51
5時間未満 (%)	11	1	3	6	5	5	1	6	2	2	1	3	1	36
5時間以上 (%)	25	9	8	16	15	10	5	13	4	7	6	9	0	102
	100.0	36.0	32.0	64.0	60.0	40.0	20.0	52.0	16.0	28.0	24.0	36.0	0.0	408.0

図表 177 一週間当たりのリハビリテーションの時間別維持向上させようとした生活機能  
【介護療養型医療施設】

	合計	寝返り	起き上がり	座位保持	両足での立位	歩行	移動	えん下	排尿	排便	衣服の着脱	その他	無回答	累計 (n) (%)
0分 (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30分未満 (%)	28	5	0	8	2	3	2	8	1	1	3	10	0	43
1時間未満 (%)	149	42	47	83	22	13	12	10	1	1	12	43	12	300
2時間未満 (%)	109	32	30	63	27	20	17	14	3	4	7	26	8	251
3時間未満 (%)	24	6	6	14	6	6	5	11	1	1	3	6	0	65
4時間未満 (%)	25	9	7	17	7	6	0	6	2	1	0	3	1	59
5時間未満 (%)	7	1	1	4	0	1	1	3	0	0	0	3	1	15
5時間以上 (%)	5	1	1	5	1	1	2	1	0	0	1	2	0	15
	100.0	20.0	20.0	100.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	300.0

図表 178 一週間当たりのリハビリテーションの時間別維持向上させようとした生活機能  
【療養病棟入院基本料1・2を算定している病床(20:1)】

	合計	寝返り	起き上がり	座位保持	両足での立位	歩行	移動	えん下	排尿	排便	衣服の着脱	その他	無回答	累計 (n) (%)
0分 (%)	4	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	2	0	6
30分未満 (%)	67	21	15	25	7	6	5	12	0	1	7	17	3	119
1時間未満 (%)	342	135	101	162	41	47	36	39	6	8	13	98	12	698
2時間未満 (%)	171	58	46	88	38	35	25	40	7	9	10	37	3	396
3時間未満 (%)	45	15	11	19	14	14	6	10	4	3	1	11	1	109
4時間未満 (%)	72	27	27	40	17	23	14	13	4	5	4	13	3	190
5時間未満 (%)	36	17	17	20	16	17	9	14	5	6	1	10	0	132
5時間以上 (%)	86	37	31	46	32	36	30	34	11	11	10	21	3	302
	100.0	43.0	36.0	53.5	37.2	41.9	34.9	39.5	12.8	12.8	11.6	24.4	3.5	351.2

図表 179 一週間当たりのリハビリテーションの時間別維持向上させようとした生活機能  
【療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床(25:1、30:1、医療区分2・3の患者割合が5割未満)】

	合計	寝返り	起き上がり	座位保持	両足での立位	歩行	移動	えん下	排尿	排便	衣服の着脱	その他	無回答	累計 (n) (%)
0分 (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30分未満 (%)	10	7	4	4	1	1	0	0	0	0	3	2	0	22
1時間未満 (%)	40	12	9	22	7	9	11	6	0	0	1	3	5	85
2時間未満 (%)	8	5	3	1	1	1	0	1	0	0	1	1	1	15
3時間未満 (%)	3	2	2	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	9
4時間未満 (%)	13	4	4	4	4	7	5	1	0	1	1	1	0	32
5時間未満 (%)	4	3	2	3	1	1	1	0	2	2	0	0	0	15
5時間以上 (%)	8	2	4	4	3	6	4	0	0	0	1	2	0	26
	100.0	25.0	50.0	50.0	37.5	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	0.0	325.0

図表 180 一週間当たりのリハビリテーションの時間別維持向上させようとした生活機能  
【介護療養型老人保健施設】

	合計	寝返り	起き上がり	座位保持	両足での 立位	歩行	移動	えん下	排尿	排便	衣服の着 脱	その他	無回答	累計 (n) (%)
0分 (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30分未満 (%)	10	0	0	0	1	2	0	3	0	0	0	3	1	10
1時間未満 (%)	100.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	30.0	10.0	100.0
2時間未満 (%)	100.0	28.0	27.0	48.0	27.0	20.0	19.0	14.0	1.0	0.0	7.0	39.0	0.0	230.0
3時間未満 (%)	100.0	26.9	26.9	50.0	30.8	42.3	38.5	23.1	3.8	3.8	0.0	15.4	3.8	265.4
4時間未満 (%)	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	400.0
5時間未満 (%)	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	300.0
5時間以上 (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

図表 181 リハビリテーションの具体的な内容別維持向上させようとした生活機能  
【介護医療院】

	合計	寝返り	起き上がり	座位保持	両足での 立位	歩行	移動	えん下	排尿	排便	衣服の着 脱	その他	無回答	累計 (n) (%)
関節可動域訓練 (%)	745	279	209	397	165	121	78	97	24	29	73	237	23	1732
筋力増強訓練 (%)	376	154	145	224	167	129	85	44	29	30	29	82	4	1122
筋緊張緩和 (ストレッチ等) (%)	405	170	119	210	80	62	31	51	7	9	47	118	19	923
持久力訓練 (%)	166	65	64	121	66	47	37	16	8	11	12	38	1	486
バランス練習 (%)	179	71	77	124	95	75	48	17	15	21	21	26	2	592
起居/立位動作練習 (%)	311	145	163	228	167	85	69	28	24	23	21	59	4	1016
移乗動作訓練 (%)	223	105	128	155	144	76	67	25	24	24	22	51	1	822
歩行訓練 (%)	167	58	74	71	101	138	54	11	14	16	16	24	3	580
体操 (%)	76	29	30	48	24	19	24	7	9	8	6	20	2	226
摂食・嚥下訓練 (%)	154	35	27	83	25	8	12	119	2	5	5	59	2	382
言語聴覚訓練 (%)	146	34	23	70	24	9	13	77	3	4	6	67	6	336
高次脳機能訓練 (%)	18	4	3	11	7	3	5	6	1	0	1	8	0	49
トイレ訓練 (%)	62	32	34	31	38	32	28	3	24	26	14	15	1	278
入浴訓練 (%)	5	4	3	2	0	4	2	0	1	2	0	0	0	18
その他ADL訓練 (%)	101	50	48	66	43	29	24	12	14	12	21	48	0	367
IADL練習 (家事・調理・買い物等) (%)	5	4	5	4	1	5	3	0	1	3	1	0	0	27
用具の適応訓練 (車いす、杖、補聴器等) (%)	26	4	6	16	8	3	8	3	1	2	3	7	3	64
在宅生活の模擬的訓練 (%)	2	0	0	1	2	2	1	0	0	0	0	0	0	6
記憶機能に関する訓練 (%)	72	22	25	50	34	19	19	12	10	9	9	18	2	229
認知機能に関する訓練 (%)	203	63	64	125	72	50	41	36	14	15	15	58	4	557
趣味活動 (手工芸、園芸、編み物等) (%)	76	25	26	49	30	19	23	8	3	3	5	18	4	213
介助方法の指導 (%)	22	14	12	15	7	1	4	0	3	0	12	15	0	83
その他 (%)	120	23	19	51	15	12	6	13	2	3	4	73	6	227
無回答 (%)	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65	65





図表 184 リハビリテーションの具体的な内容別維持向上させようとした生活機能  
 【療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床  
 (25:1、30:1、医療区分2・3の患者割合が5割未満)】

	合計	寝返り	起き上がり	座位保持	両足での 立位	歩行	移動	えん下	排尿	排便	衣服の着 脱	その他	無回答	累計 (n)(%)
関節可動域訓練 (%)	79 100.0	36 45.6	29 36.7	41 51.9	16 20.3	22 27.8	20 25.3	9 11.4	3 3.8	4 5.1	9 11.4	9 11.4	5 6.3	203 257.0
筋力増強訓練 (%)	46 100.0	16 34.8	19 41.3	20 43.5	16 34.8	25 54.3	18 39.1	3 6.5	3 6.5	4 8.7	5 10.9	6 13.0	3 6.5	138 300.0
筋緊張緩和(ストレッチ等) (%)	44 100.0	24 54.5	18 40.9	23 52.3	7 15.9	9 20.5	11 25.0	5 11.4	0 0.0	0 0.0	4 9.1	4 9.1	3 6.8	108 245.5
持久力訓練 (%)	11 100.0	3 27.3	4 36.4	6 54.5	2 18.2	5 45.5	6 54.5	2 18.2	0 0.0	0 0.0	1 9.1	1 9.1	1 9.1	31 281.8
バランス練習 (%)	12 100.0	6 50.0	7 58.3	8 66.7	4 33.3	6 50.0	6 50.0	2 16.7	2 16.7	2 16.7	3 25.0	3 8.3	1 8.3	48 400.0
起居/立位動作練習 (%)	35 100.0	14 40.0	17 48.6	21 60.0	11 31.4	16 45.7	11 31.4	4 11.4	2 5.7	3 8.6	4 11.4	5 14.3	1 2.9	109 311.4
移乗動作訓練 (%)	20 100.0	9 45.0	11 55.0	12 60.0	7 35.0	11 55.0	12 60.0	3 15.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0	3 15.0	0 0.0	70 350.0
歩行訓練 (%)	31 100.0	7 22.6	11 35.5	9 29.0	14 45.2	26 83.9	15 48.4	0 0.0	1 3.2	1 3.2	3 9.7	4 12.9	2 6.5	93 300.0
体操 (%)	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	2 66.7	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	10 333.3
摂食・嚥下訓練 (%)	11 100.0	8 72.7	4 36.4	8 72.7	0 0.0	0 0.0	2 18.2	6 54.5	1 9.1	1 9.1	1 9.1	0 0.0	0 0.0	31 281.8
言語聴覚訓練 (%)	7 100.0	5 71.4	2 28.6	5 71.4	1 14.3	0 0.0	2 28.6	4 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	19 271.4
高次脳機能訓練 (%)	6 100.0	3 50.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 233.3
トイレ訓練 (%)	5 100.0	4 80.0	4 80.0	4 80.0	3 60.0	3 60.0	3 60.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	27 540.0
入浴訓練 (%)	2 100.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	10 500.0
その他ADL訓練 (%)	9 100.0	4 44.4	4 44.4	4 44.4	1 11.1	3 33.3	4 44.4	1 11.1	1 11.1	2 22.2	3 33.3	3 33.3	1 11.1	31 344.4
IADL練習(家事・調理・買い物等) (%)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0
用具の適応訓練(車いす、杖、補聴器等) (%)	4 100.0	3 75.0	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	18 450.0
在宅生活の模範的訓練 (%)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0
記憶機能に関する訓練 (%)	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 200.0
認知機能に関する訓練 (%)	6 100.0	3 50.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0	3 50.0	5 83.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0	23 383.3
趣味活動(手工芸、園芸、編み物等) (%)	8 100.0	2 25.0	2 25.0	3 37.5	0 0.0	3 37.5	5 62.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 37.5	1 12.5	21 262.5
介助方法の指導 (%)	4 100.0	4 100.0	3 75.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	17 425.0
その他 (%)	2 100.0	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 150.0
無回答 (%)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -

図表 185 リハビリテーションの具体的な内容別維持向上させようとした生活機能  
 【介護療養型老人保健施設】

	合計	寝返り	起き上がり	座位保持	両足での 立位	歩行	移動	えん下	排尿	排便	衣服の着 脱	その他	無回答	累計 (n)(%)
関節可動域訓練 (%)	109 100.0	34 31.2	31 28.4	57 52.3	24 22.0	20 18.3	20 18.3	18 16.5	1 0.9	0 0.0	7 6.4	39 35.8	1 0.9	252 231.2
筋力増強訓練 (%)	53 100.0	19 35.8	21 39.6	25 47.2	27 50.9	19 35.8	18 34.0	3 5.7	2 3.8	1 1.9	3 3.8	10 18.9	2 3.8	149 281.1
筋緊張緩和(ストレッチ等) (%)	53 100.0	25 47.2	21 39.6	34 64.2	11 20.8	5 9.4	7 13.2	13 24.5	0 0.0	0 0.0	2 3.8	12 22.6	2 3.8	132 249.1
持久力訓練 (%)	33 100.0	12 36.4	14 42.4	28 84.8	10 30.3	6 18.2	4 12.1	10 30.3	1 3.0	0 0.0	0 0.0	10 30.3	0 0.0	95 287.9
バランス練習 (%)	29 100.0	14 48.3	15 51.7	18 62.1	16 55.2	10 34.5	7 24.1	6 20.7	0 0.0	0 0.0	2 6.9	2 6.9	1 3.4	91 313.8
起居/立位動作練習 (%)	42 100.0	17 40.5	18 42.9	25 59.5	27 64.3	14 33.3	16 38.1	2 4.8	2 4.8	1 2.4	2 4.8	7 16.7	1 2.4	132 314.3
移乗動作訓練 (%)	28 100.0	12 42.9	14 50.0	18 64.3	23 82.1	8 28.6	12 42.9	1 3.6	1 3.6	0 0.0	1 7.1	5 17.9	0 0.0	96 342.9
歩行訓練 (%)	39 100.0	3 7.7	5 12.8	7 17.9	19 48.7	31 79.5	24 61.5	0 0.0	2 5.1	1 2.6	2 2.6	8 20.5	2 2.6	102 261.5
体操 (%)	7 100.0	3 42.9	4 57.1	4 57.1	4 57.1	4 57.1	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	25 357.1
摂食・嚥下訓練 (%)	22 100.0	10 45.5	8 36.4	16 72.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	19 86.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 13.6	0 0.0	56 254.5
言語聴覚訓練 (%)	17 100.0	5 29.4	4 23.5	11 64.7	1 5.9	1 5.9	1 5.9	8 47.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 35.3	0 0.0	37 217.6
高次脳機能訓練 (%)	9 100.0	7 77.8	7 77.8	8 88.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	29 322.2
トイレ訓練 (%)	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 50.0	2 100.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 325.0
入浴訓練 (%)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
その他ADL訓練 (%)	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	10 333.3
IADL練習(家事・調理・買い物等) (%)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
用具の適応訓練(車いす、杖、補聴器等) (%)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
在宅生活の模範的訓練 (%)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
記憶機能に関する訓練 (%)	9 100.0	5 55.6	6 66.7	8 88.9	0 0.0	1 11.1	1 11.1	4 44.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	26 288.9
認知機能に関する訓練 (%)	26 100.0	8 30.8	9 34.6	20 76.9	5 19.2	4 15.4	4 15.4	10 38.5	1 3.8	0 0.0	0 0.0	12 46.2	0 0.0	73 280.8
趣味活動(手工芸、園芸、編み物等) (%)	5 100.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	11 220.0
介助方法の指導 (%)	7 100.0	0 0.0	0 0.0	3 42.9	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 85.7	0 0.0	12 171.4
その他 (%)	19 100.0	0 0.0	0 0.0	6 31.6	5 26.3	2 10.5	4 21.1	3 15.8	1 5.3	0 0.0	1 5.3	17 89.5	0 0.0	39 205.3
無回答 (%)	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	9 225.0



(8) アドバンス・ケア・プランニング (ACP)、ターミナルケア等の詳細な状況

図表 186 アドバンス・ケア・プランニング (ACP) に関する実施の有無 (患者・利用者票)

	合計	はい	いいえ	無回答
合計	3965	1449	2338	178
(%)	100.0	36.5	59.0	4.5
介護医療院	1230	422	775	33
(%)	100.0	34.3	63.0	2.7
介護療養型医療施設	596	226	342	28
(%)	100.0	37.9	57.4	4.7
療養病棟入院基本料1・2を算定している病床	1505	525	904	76
(%)	100.0	34.9	60.1	5.0
療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床	164	67	91	6
(%)	100.0	40.9	55.5	3.7
介護療養型老人保健施設	315	157	130	28
(%)	100.0	49.8	41.3	8.9
無回答	155	52	96	7
(%)	100.0	33.5	61.9	4.5

図表 187 アドバンス・ケア・プランニング (ACP) に関する施設内での職員研修の有無 (施設票)

	施設数	研修施設内 している	研修施設内 ない	無回答
I型介護医療院	21	3	12	6
(%)	100.0	14.3	57.1	28.6
II型介護医療院	17	2	15	0
(%)	100.0	11.8	88.2	0.0
I型・II型混合介護医療院	2	0	2	0
(%)	100.0	0.0	100.0	0.0
介護療養型医療施設 (病院)	271	30	220	21
(%)	100.0	11.1	81.2	7.7
うち療養機能強化型A	132	15	108	9
(%)	100.0	11.4	81.8	6.8
うち療養機能強化型B	23	4	18	1
(%)	100.0	17.4	78.3	4.3
うちその他	110	10	89	11
(%)	100.0	9.1	80.9	10.0
介護療養型医療施設 (診療所)	85	7	71	7
(%)	100.0	8.2	83.5	8.2
うち療養機能強化型A	5	0	5	0
(%)	100.0	0.0	100.0	0.0
うち療養機能強化型B	2	1	1	0
(%)	100.0	50.0	50.0	0.0
うちその他	77	6	65	6
(%)	100.0	7.8	84.4	7.8
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1	546	74	424	48
(%)	100.0	13.6	77.7	8.8
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2	134	14	108	12
(%)	100.0	10.4	80.6	9.0
医療療養病棟入院基本料 経過措置1	63	4	55	4
(%)	100.0	6.3	87.3	6.3
医療療養病棟入院基本料 経過措置2	4	0	3	1
(%)	100.0	0.0	75.0	25.0
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料	1	0	0	1
(%)	100.0	0.0	0.0	100.0
有床診療所療養病床入院基本料	148	12	114	22
(%)	100.0	8.1	77.0	14.9
介護療養型老人保健施設	46	3	37	6
(%)	100.0	6.5	80.4	13.0

図表 188 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関する施設内での職員研修をしている場合、職員研修の頻度（施設票）

	施設数	年一回	年に4回〜2回	1年に5回以上開催	その他	無回答
I型介護医療院 (%)	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0
II型介護医療院 (%)	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
I型・II型混合介護医療院 (%)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
介護療養型医療施設（病院） (%)	30 100.0	15 50.0	7 23.3	0 0.0	8 26.7	0 0.0
うち療養機能強化型A (%)	15 100.0	5 33.3	5 33.3	0 0.0	5 33.3	0 0.0
うち療養機能強化型B (%)	4 100.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
うちその他 (%)	10 100.0	7 70.0	1 10.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0
介護療養型医療施設（診療所） (%)	7 100.0	2 28.6	4 57.1	0 0.0	0 0.0	1 14.3
うち療養機能強化型A (%)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
うち療養機能強化型B (%)	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
うちその他 (%)	6 100.0	2 33.3	3 50.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1 (%)	74 100.0	45 60.8	15 20.3	1 1.4	13 17.6	0 0.0
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2 (%)	14 100.0	9 64.3	5 35.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
医療療養病棟入院基本料 経過措置1 (%)	4 100.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0
医療療養病棟入院基本料 経過措置2 (%)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料 (%)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
有床診療所療養病床入院基本料 (%)	12 100.0	2 16.7	6 50.0	1 8.3	3 25.0	0 0.0
介護療養型老人保健施設 (%)	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

図表 189 ACPに関する施設外の研修を受講した職員の有無（施設票）

	施設数	受講者がいる	受講者はいない	無回答
I型介護医療院 (%)	21 100.0	8 38.1	7 33.3	6 28.6
II型介護医療院 (%)	17 100.0	9 52.9	8 47.1	0 0.0
I型・II型混合介護医療院 (%)	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
介護療養型医療施設（病院） (%)	271 100.0	87 32.1	160 59.0	24 8.9
うち療養機能強化型A (%)	132 100.0	46 34.8	78 59.1	8 6.1
うち療養機能強化型B (%)	23 100.0	9 39.1	13 56.5	1 4.3
うちその他 (%)	110 100.0	31 28.2	66 60.0	13 11.8
介護療養型医療施設（診療所） (%)	85 100.0	13 15.3	63 74.1	9 10.6
うち療養機能強化型A (%)	5 100.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0
うち療養機能強化型B (%)	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
うちその他 (%)	77 100.0	11 14.3	58 75.3	8 10.4
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1 (%)	546 100.0	180 33.0	308 56.4	58 10.6
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2 (%)	134 100.0	28 20.9	92 68.7	14 10.4
医療療養病棟入院基本料 経過措置1 (%)	63 100.0	12 19.0	48 76.2	3 4.8
医療療養病棟入院基本料 経過措置2 (%)	4 100.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料 (%)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
有床診療所療養病床入院基本料 (%)	148 100.0	23 15.5	105 70.9	20 13.5
介護療養型老人保健施設 (%)	46 100.0	8 17.4	29 63.0	9 19.6

図表 190 ACPに関する施設外の研修を受講した職員の職種（施設票）

	施設数	医師	薬剤師	看護職員	介護職員	リハビリ専門職	管理栄養士・栄養士	その他の職種
I型介護医療院 (%)	8	3	0	7	2	0	0	1
II型介護医療院 (%)	9	5	0	8	3	0	0	1
I型・II型混合介護医療院 (%)	2	1	0	2	0	0	0	1
介護療養型医療施設（病院） (%)	87	20	4	73	10	5	1	19
うち療養機能強化型A (%)	46	13	2	38	7	4	0	12
うち療養機能強化型B (%)	9	2	0	8	1	1	0	2
うちその他 (%)	31	5	2	26	2	0	1	5
介護療養型医療施設（診療所） (%)	13	8	0	7	1	1	0	1
うち療養機能強化型A (%)	1	1	0	1	0	0	0	0
うち療養機能強化型B (%)	1	1	0	0	0	0	0	0
うちその他 (%)	11	6	0	6	1	1	0	1
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1 (%)	175	57	7	156	11	9	6	40
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2 (%)	27	11	0	25	1	1	0	7
医療療養病棟入院基本料 経過措置1 (%)	12	4	0	11	0	1	0	3
医療療養病棟入院基本料 経過措置2 (%)	0	0	0	0	0	0	0	0
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料 (%)	0	0	0	0	0	0	0	0
有床診療所療養病床入院基本料 (%)	21	18	1	9	4	1	3	0
介護療養型老人保健施設 (%)	8	6	0	5	2	0	0	2

※無回答は集計の対象外とした。

図表 191 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を実施した人数（平成30年9月30日24時時点）（施設票）

	施設数	平均人数	100床あたり人数
I型介護医療院	17	16.6	22.9
II型介護医療院	15	19.2	30.3
I型・II型混合介護医療院	2	0.0	0.0
介護療養型医療施設（病院）	242	9.9	17.9
うち療養機能強化型A	122	12.5	17.6
うち療養機能強化型B	22	15.1	24.5
うちその他	93	3.6	11.0
介護療養型医療施設（診療所）	76	0.6	6.3
うち療養機能強化型A	5	0.8	7.0
うち療養機能強化型B	2	0.5	5.3
うちその他	68	0.6	6.3
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1	474	11.4	16.4
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2	117	4.4	8.1
医療療養病棟入院基本料 経過措置1	55	13.5	21.4
医療療養病棟入院基本料 経過措置2	3	0.0	0.0
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料	1	0.0	0.0
有床診療所療養病床入院基本料	125	0.5	5.7
介護療養型老人保健施設	37	9.4	17.5

図表 192 ターミナルケアに関する取り組み  
 (ターミナルケアに関するマニュアル等の整備状況) (施設票)

	施設数	整備している	整備していない	無回答
I型介護医療院 (%)	21 100.0	20 95.2	1 4.8	0 0.0
II型介護医療院 (%)	17 100.0	14 82.4	3 17.6	0 0.0
I型・II型混合介護医療院 (%)	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0
介護療養型医療施設 (病院) (%)	271 100.0	193 71.2	74 27.3	4 1.5
うち療養機能強化型A (%)	132 100.0	109 82.6	23 17.4	0 0.0
うち療養機能強化型B (%)	23 100.0	20 87.0	3 13.0	0 0.0
うちその他 (%)	110 100.0	59 53.6	47 42.7	4 3.6
介護療養型医療施設 (診療所) (%)	85 100.0	23 27.1	58 68.2	4 4.7
うち療養機能強化型A (%)	5 100.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0
うち療養機能強化型B (%)	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
うちその他 (%)	77 100.0	18 23.4	55 71.4	4 5.2
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料 1 (%)	546 100.0	386 70.7	143 26.2	17 3.1
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料 2 (%)	134 100.0	86 64.2	43 32.1	5 3.7
医療療養病棟入院基本料 経過措置 1 (%)	63 100.0	32 50.8	31 49.2	0 0.0
医療療養病棟入院基本料 経過措置 2 (%)	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料 (%)	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
有床診療所療養病床入院基本料 (%)	148 100.0	26 17.6	109 73.6	13 8.8
介護療養型老人保健施設 (%)	46 100.0	28 60.9	15 32.6	3 6.5

図表 193 ターミナルケアに関する取り組み  
(看取りに関する院内での職員研修の有無) (施設票)

	施設数	施設内で 研修を している	研修を していない	無回答
I型介護医療院 (%)	21 100.0	13 61.9	8 38.1	0 0.0
II型介護医療院 (%)	17 100.0	13 76.5	4 23.5	0 0.0
I型・II型混合介護医療院 (%)	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0
介護療養型医療施設 (病院) (%)	271 100.0	141 52.0	122 45.0	8 3.0
うち療養機能強化型A (%)	132 100.0	78 59.1	51 38.6	3 2.3
うち療養機能強化型B (%)	23 100.0	16 69.6	7 30.4	0 0.0
うちその他 (%)	110 100.0	43 39.1	62 56.4	5 4.5
介護療養型医療施設 (診療所) (%)	85 100.0	26 30.6	56 65.9	3 3.5
うち療養機能強化型A (%)	5 100.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0
うち療養機能強化型B (%)	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
うちその他 (%)	77 100.0	20 26.0	54 70.1	3 3.9
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料 1 (%)	546 100.0	220 40.3	306 56.0	20 3.7
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料 2 (%)	134 100.0	50 37.3	78 58.2	6 4.5
医療療養病棟入院基本料 経過措置 1 (%)	63 100.0	19 30.2	42 66.7	2 3.2
医療療養病棟入院基本料 経過措置 2 (%)	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料 (%)	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
有床診療所療養病床入院基本料 (%)	148 100.0	34 23.0	99 66.9	15 10.1
介護療養型老人保健施設 (%)	46 100.0	24 52.2	19 41.3	3 6.5

図表 194 ターミナルケアに関する取り組み  
(看取りに関する院内での職員研修を行っている場合、研修の頻度)(施設票)

	施設数	年一回	年に4回 2回	年に5回 毎月開催	その他	無回答
I型介護医療院 (%)	13 100.0	6 46.2	6 46.2	0 0.0	1 7.7	0 0.0
II型介護医療院 (%)	13 100.0	7 53.8	3 23.1	0 0.0	3 23.1	0 0.0
I型・II型混合介護医療院 (%)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
介護療養型医療施設(病院) (%)	142 100.0	102 71.8	25 17.6	1 0.7	14 9.9	0 0.0
うち療養機能強化型A (%)	78 100.0	57 73.1	12 15.4	1 1.3	8 10.3	0 0.0
うち療養機能強化型B (%)	16 100.0	10 62.5	3 18.8	0 0.0	3 18.8	0 0.0
うちその他 (%)	44 100.0	32 72.7	9 20.5	0 0.0	3 6.8	0 0.0
介護療養型医療施設(診療所) (%)	26 100.0	19 73.1	6 23.1	0 0.0	1 3.8	0 0.0
うち療養機能強化型A (%)	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
うち療養機能強化型B (%)	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
うちその他 (%)	20 100.0	14 70.0	5 25.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1 (%)	220 100.0	136 61.8	45 20.5	6 2.7	28 12.7	5 2.3
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2 (%)	50 100.0	26 52.0	16 32.0	2 4.0	6 12.0	0 0.0
医療療養病棟入院基本料 経過措置1 (%)	19 100.0	11 57.9	4 21.1	1 5.3	2 10.5	1 5.3
医療療養病棟入院基本料 経過措置2 (%)	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料 (%)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
有床診療所療養病床入院基本料 (%)	34 100.0	21 61.8	6 17.6	2 5.9	5 14.7	0 0.0
介護療養型老人保健施設 (%)	25 100.0	17 68.0	6 24.0	0 0.0	1 4.0	1 4.0

図表 195 ターミナルケアに関する施設外の研修を受講した職員の有無（施設票）

	施設数	受講者がいる	受講者はいない	無回答
I型介護医療院 (%)	21 100.0	14 66.7	6 28.6	1 4.8
II型介護医療院 (%)	17 100.0	14 82.4	3 17.6	0 0.0
I型・II型混合介護医療院 (%)	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
介護療養型医療施設（病院） (%)	271 100.0	174 64.2	92 33.9	5 1.8
うち療養機能強化型A (%)	132 100.0	88 66.7	43 32.6	1 0.8
うち療養機能強化型B (%)	23 100.0	15 65.2	8 34.8	0 0.0
うちその他 (%)	110 100.0	67 60.9	39 35.5	4 3.6
介護療養型医療施設（診療所） (%)	85 100.0	41 48.2	41 48.2	3 3.5
うち療養機能強化型A (%)	5 100.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0
うち療養機能強化型B (%)	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
うちその他 (%)	77 100.0	34 44.2	40 51.9	3 3.9
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料 1 (%)	546 100.0	351 64.3	169 31.0	26 4.8
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料 2 (%)	134 100.0	67 50.0	59 44.0	8 6.0
医療療養病棟入院基本料 経過措置 1 (%)	63 100.0	24 38.1	36 57.1	3 4.8
医療療養病棟入院基本料 経過措置 2 (%)	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料 (%)	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
有床診療所療養病床入院基本料 (%)	148 100.0	63 42.6	69 46.6	16 10.8
介護療養型老人保健施設 (%)	46 100.0	34 73.9	9 19.6	3 6.5



図表 196 ターミナルケアに関する施設外の研修を受講した職員の職種（施設票）

	施設数	医師	薬剤師	看護職員	介護職員	リハビリ専門職	士管理栄養士	その他の職種	無回答
I型介護医療院 (%)	14 100.0	2 14.3	1 7.1	13 92.9	7 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
II型介護医療院 (%)	14 100.0	6 42.9	0 0.0	12 85.7	6 42.9	1 7.1	0 0.0	2 14.3	0 0.0
I型・II型混合介護医療院 (%)	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
介護療養型医療施設（病院） (%)	174 100.0	36 20.7	5 2.9	157 90.2	43 24.7	7 4.0	3 1.7	15 8.6	3 1.7
うち療養機能強化型A (%)	88 100.0	16 18.2	3 3.4	81 92.0	25 28.4	3 3.4	1 1.1	9 10.2	1 1.1
うち療養機能強化型B (%)	15 100.0	2 13.3	1 6.7	15 100.0	4 26.7	2 13.3	1 6.7	2 13.3	0 0.0
うちその他 (%)	67 100.0	18 26.9	1 1.5	57 85.1	14 20.9	2 3.0	1 1.5	4 6.0	2 3.0
介護療養型医療施設（診療所） (%)	41 100.0	26 63.4	0 0.0	23 56.1	1 2.4	2 4.9	1 2.4	3 7.3	0 0.0
うち療養機能強化型A (%)	4 100.0	3 75.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
うち療養機能強化型B (%)	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
うちその他 (%)	34 100.0	21 61.8	0 0.0	19 55.9	1 2.9	2 5.9	1 2.9	3 8.8	0 0.0
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1 (%)	351 100.0	90 25.6	16 4.6	328 93.4	46 13.1	16 4.6	5 1.4	30 8.5	1 0.3
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2 (%)	67 100.0	20 29.9	1 1.5	65 97.0	8 11.9	2 3.0	0 0.0	4 6.0	1 1.5
医療療養病棟入院基本料 経過措置1 (%)	24 100.0	8 33.3	1 4.2	24 100.0	3 12.5	1 4.2	1 4.2	3 12.5	0 0.0
医療療養病棟入院基本料 経過措置2 (%)	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料 (%)	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
有床診療所療養病棟入院基本料 (%)	63 100.0	38 60.3	0 0.0	41 65.1	8 12.7	1 1.6	2 3.2	1 1.6	0 0.0
介護療養型老人保健施設 (%)	34 100.0	7 20.6	1 2.9	26 76.5	16 47.1	0 0.0	1 2.9	6 17.6	0 0.0

図表 197 ターミナルケアを提供している人数（施設票）

	施設数	平均人数	100床あたり人数	3ヶ月の延べ入院日数
I型介護医療院	19	12.3	15.9	12843
II型介護医療院	17	2.2	3.6	1262
I型・II型混合介護医療院	2	18.5	4.5	1123
介護療養型医療施設（病院）	245	8.5	15.5	189725
うち療養機能強化型A	124	15.1	21.6	139600
うち療養機能強化型B	22	4.5	7.2	23440
うちその他	94	1.0	3.1	6739
介護療養型医療施設（診療所）	75	0.6	6.3	2238
うち療養機能強化型A	5	5.6	49.1	1563
うち療養機能強化型B	2	0.5	5.3	92
うちその他	67	0.2	2.4	583
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1	471	4.0	5.8	124964
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2	119	2.8	5.6	28014
医療療養病棟入院基本料 経過措置1	54	3.8	6.0	40574
医療療養病棟入院基本料 経過措置2	3	0.0	0.0	0
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料	1	0.0	0.0	0
有床診療所療養病棟入院基本料	125	0.1	1.7	975
介護療養型老人保健施設	41	1.7	3.2	4091

図表 198 ターミナルケアの実施の有無別アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関する実施の有無【全体】

		ACP の実施の有無			
		合計	はい	いいえ	無回答
ターミナルケアの実施の有無	合計	3965	1449	2338	178
	(%)	100.0	36.5	59.0	4.5
	はい	798	487	302	9
	(%)	100.0	61.0	37.8	1.1
いいえ	3004	931	2025	48	
(%)	100.0	31.0	67.4	1.6	
無回答	163	31	11	121	
(%)	100.0	19.0	6.7	74.2	

図表 199 ターミナルケアの実施の有無別アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関する実施の有無【介護医療院】

		ACP の実施の有無			
		合計	はい	いいえ	無回答
ターミナルケアの実施の有無	合計	1230	422	775	33
	(%)	100.0	34.3	63.0	2.7
	はい	236	131	103	2
	(%)	100.0	55.5	43.6	0.8
いいえ	955	283	669	3	
(%)	100.0	29.6	70.1	0.3	
無回答	39	8	3	28	
(%)	100.0	20.5	7.7	71.8	

図表 200 ターミナルケアの実施の有無別アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関する実施の有無【介護療養型医療施設】

		ACP の実施の有無			
		合計	はい	いいえ	無回答
ターミナルケアの実施の有無	合計	596	226	342	28
	(%)	100.0	37.9	57.4	4.7
	はい	138	78	56	4
	(%)	100.0	56.5	40.6	2.9
いいえ	437	143	283	11	
(%)	100.0	32.7	64.8	2.5	
無回答	21	5	3	13	
(%)	100.0	23.8	14.3	61.9	

図表 201 ターミナルケアの実施の有無別アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関する実施の有無【療養病棟入院基本料1・2を算定している病床（20:1）】

		ACP の実施の有無			
		合計	はい	いいえ	無回答
ターミナルケアの実施の有無	合計	1505	525	904	76
	(%)	100.0	34.9	60.1	5.0
	はい	340	226	111	3
	(%)	100.0	66.5	32.6	0.9
いいえ	1095	284	789	22	
(%)	100.0	25.9	72.1	2.0	
無回答	70	15	4	51	
(%)	100.0	21.4	5.7	72.9	

図表 202 ターミナルケアの実施の有無別アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関する実施の有無【療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床（25:1、30:1、医療区分2・3の患者割合が5割未満）】

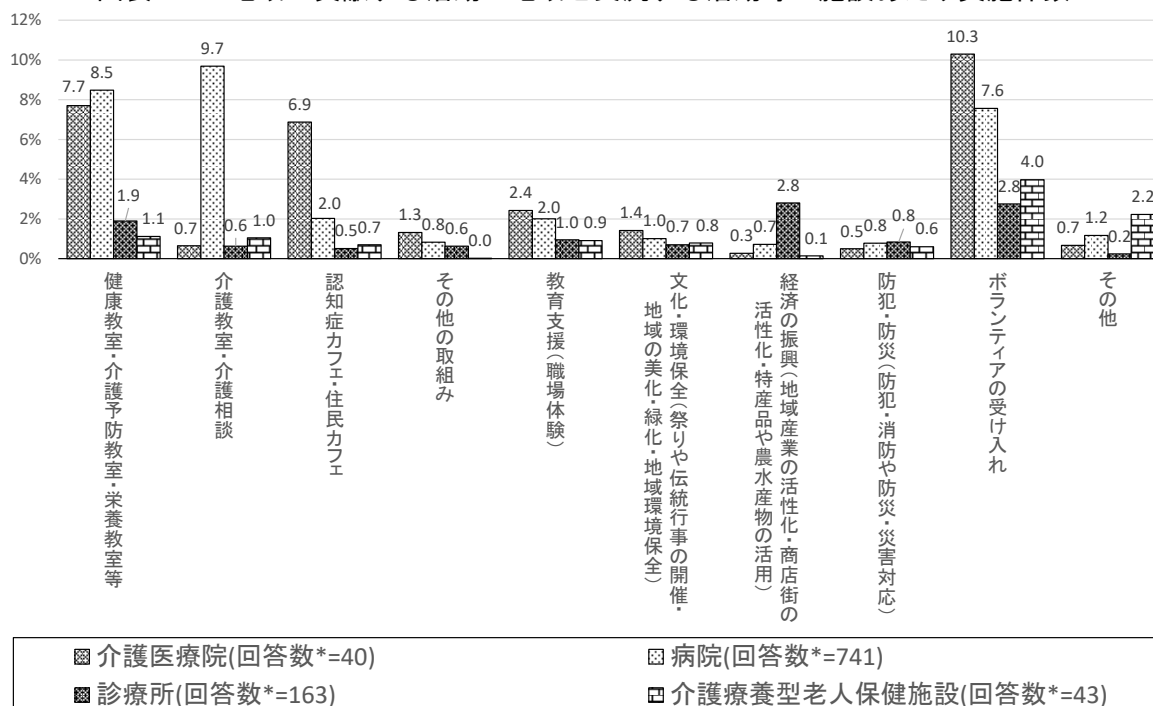
		ACP の実施の有無			
		合計	はい	いいえ	無回答
ターミナルケアの実施の有無	合計	164	67	91	6
	(%)	100.0	40.9	55.5	3.7
	はい	26	17	9	0
	(%)	100.0	65.4	34.6	0.0
いいえ	132	50	82	0	
(%)	100.0	37.9	62.1	0.0	
無回答	6	0	0	6	
(%)	100.0	0.0	0.0	100.0	

図表 203 ターミナルケアの実施の有無別アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関する実施の有無【介護療養型老人保健施設】

		ACP の実施の有無			
		合計	はい	いいえ	無回答
ターミナルケアの実施の有無	合計	315	157	130	28
	(%)	100.0	49.8	41.3	8.9
	はい	29	23	6	0
	(%)	100.0	79.3	20.7	0.0
いいえ	266	131	123	12	
(%)	100.0	49.2	46.2	4.5	
無回答	20	3	1	16	
(%)	100.0	15.0	5.0	80.0	

(9) 地域に貢献する活動・地域と交流する活動等の詳細な状況

図表 204 地域に貢献する活動・地域と交流する活動等の施設あたり実施件数



\*回答数は施設数

図表 205 地域に貢献する活動・地域と交流する活動等の施設あたり実施件数

	合計	健康教室・介護予防教室・栄養教室等	介護教室・介護相談	認知症カフェ・住民カフェ	その他の取組み	教育支援(職場体験)	文化・環境保全(祭りや伝統行事の開催・地域の美化・緑化・地域環境保全)	経済の振興(地域産業の活性化・商店街の活性化・特産品や農水産物の活用)	防犯・防災(防犯・消防や防災・災害対応)	ボランティアの受け入れ	その他
介護医療院	実施件数	40	7.7	0.7	6.9	1.3	2.4	1.4	0.3	0.5	0.7
病院	実施件数	741	8.5	9.7	2.0	0.8	2.0	1.0	0.7	0.8	1.2
診療所	実施件数	163	1.9	0.6	0.5	0.6	1.0	0.7	2.8	0.8	0.2
介護療養型老人保健施設	実施件数	43	1.1	1.0	0.7	0.0	0.9	0.8	0.1	0.6	2.2

(10) 開設主体国公立別介護医療院への移行予定

図表 206 介護医療院への移行予定【介護療養型医療施設・開設主体国公立】

				平成30年 9月30日時点		2018年度末			2019年度末			2020年度末			2023年度末					
				施設数	病床数	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合			
国公立	病院	医療保険	療養病床	療養病床入院基本料	療養病床入院料1・2			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	1	8	1.7	
			療養病床	療養病床入院基本料	経過措置			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
			療養病床	療養病床入院基本料	特別入院基本料			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
			療養病床	地域包括ケア病棟入院料				0	0	0.0	1	20	4.3	1	20	4.3	1	20	4.3	
			療養病床	回復期リハビリテーション病棟入院料				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
		一般病床	一般病棟入院基本料				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		一般病床	一般病棟入院基本料				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		一般病床	一般病棟その他				0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		介護保険	療養病床	療養機能強化型A			6	197	3	77	16.7	3	77	16.7	3	77	16.7	2	37	8.0
		療養病床	療養機能強化型B			2	84	2	84	18.3	1	20	4.3	1	20	4.3	1	20	4.3	
	療養病床	療養病床その他			11	179	9	148	32.2	6	108	23.5	6	106	23.0	3	57	12.4		
	精神病床	老人性認知症疾患療養病床			0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
	診療所	医療保険	療養病床	有床診療所療養病床入院基本料			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
			一般病床	有床診療所入院基本料			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
		介護保険	療養病床	療養機能強化型A			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
			療養病床	療養機能強化型B			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
			療養病床	療養病床その他			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
	介護保険施設・等	介護医療院	I型介護医療院			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
			II型介護医療院			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	1	19	4.1			
		介護老人保健施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
			有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護）			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
			有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護なし）			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
			養護老人ホーム			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
軽費老人ホーム					0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）					0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
小規模多機能型居宅介護					0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
看護小規模多機能型居宅介護					0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
その他			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0						
上記のいずれにも移行せず病床廃止			2	18	3.9	2	18	3.9	2	18	3.9	3	34	7.4						
未定			4	133	28.9	7	217	47.2	8	219	47.6	10	275	59.8						
合計			19	460	100.0	19	460	100.0	19	460	100.0	19	460	100.0						

※1 施設が複数の病床種別に移行を予定する場合があるため、各病床種別の施設数を積上げて合計した値は、「合計」欄の施設数と一致しないことがある。

※2018年9月30日時点の病床数と2023年度末の予定病床数が一致する施設のみ集計した。

図表 207 介護医療院への移行予定【医療療養病床・開設主体国公立】

				平成30年 9月30日時点		2018年度末			2019年度末			2020年度末			2023年度末					
				施設数	病床数	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合	施設数	病床数	割合			
国公立	病院	医療保険	療養病床	療養病床入院基本料	療養病床入院料1・2	40	1451	32	1168	70.9	30	1111	67.5	25	995	60.4	19	747	45.4	
			療養病床	療養病床入院基本料	経過措置	5	190	7	260	15.8	3	115	7.0	2	65	3.9	2	65	3.9	
			療養病床	療養病床入院基本料	特別入院基本料	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	
			療養病床	地域包括ケア病棟入院料		3	46	2.8	6	123	7.5	4	89	5.4	4	89	5.4			
			療養病床	回復期リハビリテーション病棟入院料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
		一般病床	一般病棟入院基本料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
		一般病床	一般病棟入院基本料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
		一般病床	その他		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0				
		診療所	医療保険	療養病床	有床診療所療養病床入院基本料		1	6	1	6	0.4	1	6	0.4	1	6	0.4	1	6	0.4
				一般病床	有床診療所入院基本料		0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
	介護保険		介護医療院	I型介護医療院			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
			介護医療院	II型介護医療院			0	0	0.0	1	18	1.1	1	18	1.1	2	37	2.2		
			介護老人保健施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
	介護保険施設・等	介護老人保健施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
			有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護）			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
			有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護なし）			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
			養護老人ホーム			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
			軽費老人ホーム			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
			認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
			小規模多機能型居宅介護			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
			看護小規模多機能型居宅介護			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0			
	その他			0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0					
	上記のいずれにも移行せず病床廃止			1	24	1.5	4	96	5.8	6	155	9.4	7	161	9.8					
未定			4	143	8.7	5	178	10.8	10	319	19.4	15	542	32.9						
合計			46	1647	100.0	46	1647	100.0	46	1647	100.0	46	1647	100.0						

※1 施設が複数の病床種別に移行を予定する場合があるため、各病床種別の施設数を積上げて合計した値は、「合計」欄の施設数と一致しないことがある。

※2018年9月30日時点の病床数と2023年度末の予定病床数が一致する施設のみ集計した。

(11) 介護医療院への移行予定有無別介護医療院へ移行すると仮定した場合、課題と考える項目

図表 208 介護医療院への移行予定有無別介護医療院へ移行すると仮定した場合、課題と考える項目（移行予定あり）（複数回答）

	施設数	利用者が必要とする十分なケアが提供できない	タイムナラケアを提供しにくい	院内の他の診療科との連携が希薄になる	職員のモチベーションが維持できない	移行した場合、十分な数の医師を雇用することができない	移行した場合、十分な数の看護職員を雇用することができない	移行した場合、十分な数の介護職員を雇用することができない	利用者や家族への説明が難しい
介護療養型医療施設（病院）	113	13	9	2	10	4	11	16	22
%	100.0	11.5	8.0	1.8	8.8	3.5	9.7	14.2	19.5
うち療養機能強化型A	69	6	4	1	5	2	6	8	15
%	100.0	8.7	5.8	1.4	7.2	2.9	8.7	11.6	21.7
うち療養機能強化型B	12	2	1	1	2	1	2	2	3
%	100.0	16.7	8.3	8.3	16.7	8.3	16.7	16.7	25.0
うちその他	31	5	4	0	3	0	3	6	4
%	100.0	16.1	12.9	0.0	9.7	0.0	9.7	19.4	12.9
介護療養型医療施設（診療所）	18	3	0	0	1	1	1	4	2
%	100.0	16.7	0.0	0.0	5.6	5.6	5.6	22.2	11.1
うち療養機能強化型A	2	1	0	0	0	0	0	0	0
%	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち療養機能強化型B	0	0	0	0	0	0	0	0	0
%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うちその他	16	2	0	0	1	1	1	4	2
%	100.0	12.5	0.0	0.0	6.3	6.3	6.3	25.0	12.5
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1	18	1	1	4	5	1	2	5	3
%	100.0	5.6	5.6	22.2	27.8	5.6	11.1	27.8	16.7
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2	18	6	2	0	4	0	2	3	3
%	100.0	33.3	11.1	0.0	22.2	0.0	11.1	16.7	16.7
医療療養病棟入院基本料 経過措置1	11	0	0	1	0	0	1	2	3
%	100.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	18.2	27.3
医療療養病棟入院基本料 経過措置2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
有床診療所療養病床入院基本料	6	1	0	0	0	1	1	2	1
%	100.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	16.7
介護療養型老人保健施設	12	1	0	0	0	0	2	2	1
%	100.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	8.3

	利用者となるような生活が難しい	施設（経営）の見通しが悪化する恐れがある	稼働率を維持することができない	周囲の他の介護施設等との差別化ができない	地域で医療機関としての機能が残すこととニーズがある	自治体における相談・手続がスムーズに進められない	その他	課題と考えることはない	無回答
介護療養型医療施設（病院）	40	30	4	12	15	8	10	10	13
%	35.4	26.5	3.5	10.6	13.3	7.1	8.8	8.8	11.5
うち療養機能強化型A	26	12	2	6	5	3	7	6	11
%	37.7	17.4	2.9	8.7	7.2	4.3	10.1	8.7	15.9
うち療養機能強化型B	5	3	1	2	4	0	0	0	0
%	41.7	25.0	8.3	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
うちその他	9	14	1	4	6	4	3	4	2
%	29.0	45.2	3.2	12.9	19.4	12.9	9.7	12.9	6.5
介護療養型医療施設（診療所）	6	6	2	2	7	2	1	4	0
%	33.3	33.3	11.1	11.1	38.9	11.1	5.6	22.2	0.0
うち療養機能強化型A	0	1	0	0	1	0	0	1	0
%	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
うち療養機能強化型B	0	0	0	0	0	0	0	0	0
%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うちその他	6	5	2	2	6	2	1	3	0
%	37.5	31.3	12.5	12.5	37.5	12.5	6.3	18.8	0.0
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1	6	10	1	1	6	3	2	0	2
%	33.3	55.6	5.6	5.6	33.3	16.7	11.1	0.0	11.1
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2	5	7	2	1	6	3	2	1	1
%	27.8	38.9	11.1	5.6	33.3	16.7	11.1	5.6	5.6
医療療養病棟入院基本料 経過措置1	2	5	0	0	3	2	2	1	3
%	18.2	45.5	0.0	0.0	27.3	18.2	18.2	9.1	27.3
医療療養病棟入院基本料 経過措置2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
有床診療所療養病床入院基本料	2	1	1	2	3	0	0	1	0
%	33.3	16.7	16.7	33.3	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0
介護療養型老人保健施設	8	1	1	1	0	4	2	1	1
%	66.7	8.3	8.3	8.3	0.0	33.3	16.7	8.3	8.3

図表 209 介護医療院への移行予定有無別介護医療院へ移行すると仮定した場合、課題と考える項目（移行予定なし）（複数回答）

	施設数	利用者が必要とする十分なケアが提供できない	ターミナルケアを提供しにくい	院内の他の診療科との連携が希薄になる	職員のモチベーションが維持できない	移行した場合は、十分な数の医師を雇用することができない	移行した場合は、十分な数の看護職員を雇用することができない	移行した場合は、十分な数の介護職員を雇用することができない	利用者や家族への説明が難しい
介護療養型医療施設（病院）	158	27	8	7	20	12	13	24	18
%	100.0	17.1	5.1	4.4	12.7	7.6	8.2	15.2	11.4
うち療養機能強化型A	63	8	1	3	9	5	2	8	6
%	100.0	12.7	1.6	4.8	14.3	7.9	3.2	12.7	9.5
うち療養機能強化型B	11	2	0	1	2	1	2	1	2
%	100.0	18.2	0.0	9.1	18.2	9.1	18.2	9.1	18.2
うちその他	79	17	7	3	9	6	8	14	10
%	100.0	21.5	8.9	3.8	11.4	7.6	10.1	17.7	12.7
介護療養型医療施設（診療所）	67	9	5	3	5	5	19	22	6
%	100.0	13.4	7.5	4.5	7.5	7.5	28.4	32.8	9.0
うち療養機能強化型A	3	1	1	0	0	0	1	0	1
%	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3
うち療養機能強化型B	2	0	0	0	0	0	1	1	0
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
うちその他	61	7	4	3	5	4	17	21	5
%	100.0	11.5	6.6	4.9	8.2	6.6	27.9	34.4	8.2
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1	528	163	34	23	92	33	41	85	42
%	100.0	30.9	6.4	4.4	17.4	6.3	7.8	16.1	8.0
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2	116	33	8	3	18	7	7	24	12
%	100.0	28.4	6.9	2.6	15.5	6.0	6.0	20.7	10.3
医療療養病棟入院基本料 経過措置1	52	10	7	1	10	6	8	12	5
%	100.0	19.2	13.5	1.9	19.2	11.5	15.4	23.1	9.6
医療療養病棟入院基本料 経過措置2	4	1	0	1	0	0	2	1	0
%	100.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料	1	0	0	0	0	0	0	0	0
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
有床診療所療養病床入院基本料	142	25	15	6	12	16	30	36	10
%	100.0	17.6	10.6	4.2	8.5	11.3	21.1	25.4	7.0
介護療養型老人保健施設	34	3	1	1	2	7	15	13	3
%	100.0	8.8	2.9	2.9	5.9	20.6	44.1	38.2	8.8

	場利用者となるように配慮が難しい	施設（経営）の見通し悪化が恐れる	稼働率を維持することができない	周囲の他の介護施設等との差別化ができない	地域で医療機関としての機能を残すことが難しい	自治体における相談・手続がスムーズに進められない	その他	課題と考えることは何も	無回答
介護療養型医療施設（病院）	34	62	17	12	33	4	15	3	24
%	21.5	39.2	10.8	7.6	20.9	2.5	9.5	1.9	15.2
うち療養機能強化型A	12	22	5	3	11	2	9	1	13
%	19.0	34.9	7.9	4.8	17.5	3.2	14.3	1.6	20.6
うち療養機能強化型B	2	7	0	0	2	0	3	1	0
%	18.2	63.6	0.0	0.0	18.2	0.0	27.3	9.1	0.0
うちその他	19	32	11	8	20	2	2	1	9
%	24.1	40.5	13.9	10.1	25.3	2.5	2.5	1.3	11.4
介護療養型医療施設（診療所）	13	24	10	4	21	4	5	3	4
%	19.4	35.8	14.9	6.0	31.3	6.0	7.5	4.5	6.0
うち療養機能強化型A	1	1	0	0	2	0	0	0	0
%	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
うち療養機能強化型B	1	1	0	0	0	1	0	0	0
%	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
うちその他	11	22	10	4	18	3	5	3	4
%	18.0	36.1	16.4	6.6	29.5	4.9	8.2	4.9	6.6
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1	74	249	27	53	209	12	23	17	81
%	14.0	47.2	5.1	10.0	39.6	2.3	4.4	3.2	15.3
医療療養病棟入院基本料 療養病棟入院料2	26	55	7	19	42	3	5	2	16
%	22.4	47.4	6.0	16.4	36.2	2.6	4.3	1.7	13.8
医療療養病棟入院基本料 経過措置1	12	28	12	7	17	0	1	0	5
%	23.1	53.8	23.1	13.5	32.7	0.0	1.9	0.0	9.6
医療療養病棟入院基本料 経過措置2	2	1	0	0	1	0	0	0	1
%	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
医療療養病棟入院基本料 特別入院基本料	0	0	0	0	0	0	0	0	1
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
有床診療所療養病床入院基本料	21	58	26	15	55	4	8	7	26
%	14.8	40.8	18.3	10.6	38.7	2.8	5.6	4.9	18.3
介護療養型老人保健施設	2	16	2	4	4	0	4	1	1
%	5.9	47.1	5.9	11.8	11.8	0.0	11.8	2.9	2.9



2. アンケート調査票

平成30年11月

平成30年度 厚生労働省 介護報酬改定検証調査  
 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査  
 <介護医療院票>

1. 本調査票は「介護医療院」について、問1～問14は施設長様もしくは事務長様が、問15～21は看護師長様にご回答ください。
2. ご回答にあたっては、同封の「調査説明資料」をご参照ください。
3. 本調査結果は報告書として公表されますが、各回答結果は統計的処理を行ったうえで公表いたしますので、個別の回答が特定されることはございません。
4. ご回答内容は本調査の目的以外に用いられることはありません。
5. お忙しいところ恐縮ではございますが、**平成30年11月27日(火)**までに調査票にご記入いただき、同封の返送用封筒を用いて調査事務局までご返送ください。

【お問合せ先】

「介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査」調査事務局  
 TEL : 0120-252-441 (平日 9:30～17:00) FAX : 0120-252-442 (24時間)  
 E-mail : h30kaigo@mizuho-ir.co.jp

法人名		施設名	
ご担当者名		部署・役職名	
ご連絡先 (tel)		所在地の郵便番号	

※ 施設名、および記入者のお名前・ご連絡先は必ずご記入いただきますようお願い申し上げます。調査票をご返送いただいた後、事務局より記入内容について問い合わせをさせていただく場合がございます。

問1 平成30年9月30日時点の貴施設の概要をご回答ください。

1) 開設年月日	2018年( )月( )日	
2) 開設者	01 医療法人(医療法人社団・医療法人財団・社会医療法人) 02 社団・財団法人(01以外) 03 国公立 04 個人 05 その他( )	
3) 定員	( )人	
4) 類型 (当てはまるものすべてに○)	01 I型介護医療院サービス費(I)    09 ユニット型I型介護医療院サービス費(I) 02 I型介護医療院サービス費(II)    10 ユニット型I型介護医療院サービス費(II) 03 I型介護医療院サービス費(III)    11 ユニット型I型介護医療院サービス費(III) 04 II型介護医療院サービス費(I)    12 ユニット型II型介護医療院サービス費(I) 05 II型介護医療院サービス費(II)    13 ユニット型II型介護医療院サービス費(II) 06 II型介護医療院サービス費(III)    14 ユニット型II型介護医療院サービス費(III) 07 I型特別介護医療院サービス費    15 ユニット型I型特別介護医療院サービス費 08 II型特別介護医療院サービス費    16 ユニット型II型特別介護医療院サービス費	

5) 併設する医療機関	01 病院を併設    02 診療所を併設    03 併設医療機関なし
6) 併設医療機関がある場合、その医療機関の有する病床 (複数回答可)	01 一般病床(一般病棟入院基本料) 02 一般病床(地域包括ケア病棟入院料(病床を含む)) 03 一般病床(障害者施設等入院基本料) 04 一般病床(有床診療所入院基本料) 05 一般病床(その他) 06 療養病床(療養病棟入院基本料 療養病床入院料1・2(20:1)) 07 療養病床(療養病棟入院基本料 経過措置1(25:1、医療区分2・3の患者割合50%未満)) 08 療養病床(療養病棟入院基本料 経過措置2(30:1)) 09 療養病床(療養病棟入院基本料 特別入院基本料) 10 療養病床(地域包括ケア病棟入院料(病床を含む)) 11 療養病床(回復期リハビリテーション病棟入院料) 12 療養病床(介護療養病床(病院)) 13 療養病床(有床診療所療養病床入院基本料) 14 療養病床(介護療養病床(診療所)) 15 その他の病床 16 病床なし(無床診療所)
7) 介護医療院もしくは併設医療機関、併設事業所が実施している居宅介護サービス等 (複数回答可)	01 通所リハビリテーション 02 訪問リハビリテーション 03 外来リハビリテーション 04 訪問看護 05 短期入所療養介護 06 上記のいずれも実施していない。
8) 同一法人・関連法人が運営している他の介護保険サービス等 (複数回答可)	01 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 02 介護老人保健施設 03 介護療養型医療施設 04 有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅(特定施設入居者生活介護) 05 有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅(特定施設入居者生活介護なし) 06 養護老人ホーム 07 軽費老人ホーム 08 認知症対応型共同生活介護(認知症グループホーム) 09 小規模多機能型居宅介護 10 看護小規模多機能型居宅介護 11 その他の介護保険サービス 12 他の介護保険サービスは運営していない
9) 臨床検査(分析)を委託していますか ※医療機関内のブランチラボは医療機関に含まれることとする。	01 臨床検査を委託していない 02 検査内容によって臨床検査を一部委託 →委託先 (11 関係医療機関のみ 12 衛生検査所のみ 13 11、12の両方) 03 臨床検査を全部委託 →委託先 (11 関係医療機関のみ 12 衛生検査所のみ 13 11、12の両方)



問2 平成30年9月30日時点の貴施設の職員配置（いずれも常勤換算※）をご記入ください。  
 ※平成30年9月30日には出勤していない者を含め、平成30年9月30日に在籍している全ての職員についてご回答ください。

	専従	他の施設等と兼務	夜勤の配置数
	常勤換算の配置数	常勤換算の配置数	1日あたり人数
医師	人	人	
薬剤師	人	人	
看護師	人	人	人
准看護師	人	人	
介護福祉士	人	人	人
介護福祉士以外の介護職員	人	人	
理学療法士	人	人	
作業療法士	人	人	
言語聴覚士	人	人	
管理栄養士	人	人	
栄養士	人	人	
介護支援専門員	人	人	
診療放射線技師	人	人	

※常勤換算の計算方法

職員数の算出については、「常勤職員の実人数」＋「非常勤職員の常勤換算人数」より求めてください。  
 非常勤職員の常勤換算にあたっては、「直近1週間に当該病棟で従事した勤務時間」を「施設の通常の勤務時間」で除した数値を算出してください。（小数点第二位を切り捨てして下さい）

問3 貴施設の構造設備についてご回答ください。

1) 療養室の部屋数と延べ床面積 ※1

	4人部屋	3人部屋	2人部屋	個室	ユニット個室
部屋数	室	室	室	室	室
延べ床面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>

2) 廊下幅 ※2

廊下の最低幅	m	うち中廊下の最低幅	m / 中廊下はない
--------	---	-----------	------------

※1：「延べ床面積」は、合計値を回答してください（20 m<sup>2</sup>の部屋と18 m<sup>2</sup>の部屋がある場合には計38 m<sup>2</sup>）。

※2：「廊下幅」は、壁から壁で測定した場合に、最も狭い幅を回答してください。

「中廊下」とは、廊下の両側に療養室等又はエレベーター室のある廊下を指します。  
 該当する廊下がない場合には「中廊下はない」に○をつけてください。

問4 介護医療院の開設を決めた理由として、あてはまる項目すべてに○をつけてください。

- 01 介護医療院創設の理念に共感した
- 02 自院（施設）には介護医療院にふさわしい利用者が多いと考えられた
- 03 基本施設サービス費の報酬単価に魅力を感じた
- 04 移行定着支援加算に魅力を感じた
- 05 病院からの退院先となる場合には自宅等として取り扱われることに魅力を感じた
- 06 夜勤看護配置に係る72時間の要件が適用されていないことに魅力を感じた
- 07 その他（ )

問5 介護医療院の開設にあたっての情報をご回答ください。

1) 開設前の施設 (複数回答可)	01 医療療養病床 (20:1) 02 医療療養病床 (25:1) 03 医療療養病床 (診療所) 04 介護療養型医療施設 (病院) 05 介護療養型医療施設 (診療所) 06 介護療養型医療施設 (認知症疾患型) 07 介護療養型老人保健施設 (転換老健) 08 その他の病床等 09 新設
2) 既存建物の活用	01 既存建物をそのまま活用 02 改修工事 (本体の躯体工事には及ばない屋内改修) 03 改築工事 04 新築
3) 開設に向けた準備 (複数回答可)	01 家具・パーティション等を購入 02 廊下へ手すりを設置 03 内装 (壁紙・床材等) を変更 04 減床 (4人部屋を3人部屋にする等) 05 職員の配置転換 06 職員の新規雇用 07 他施設の視察等 08 その他 ( ) 09 特に準備はしていない
4) 活用した助成制度等 (複数回答可)	01 地域医療介護総合確保基金 (介護施設等の施設開設準備経費等支援事業) 02 地域医療介護総合確保基金 (定期借地権設定のための一時金の支援事業) 03 地域医療介護総合確保基金 (ユニット化改修等支援事業) 04 地域医療介護総合確保基金 (介護療養型医療施設等転換整備支援事業) 05 病床転換助成事業 06 福祉医療機構 (WAM) の療養病床転換支援策 (融資条件の優遇等) 07 その他 ( ) 08 助成制度等は利用していない
5) 活用した経過措置 (複数回答可)	01 療養室の床面積の経過措置 (内法による測定で入所者1人当たり6.4 m <sup>2</sup> 以上) 02 建物の耐火構造の経過措置 (建築基準法の基準による) 03 屋内の直通階段及びエレベーターの経過措置 (転換前の医療法による基準と同等) 04 療養室に隣接する廊下幅の経過措置 (内法による測定で、1.2 m以上 (ただし、両側に療養室等又はエレベーター室がある廊下の幅は、内法による測定で、1.6 m以上)) 05 (介護療養型老人保健施設からの転換の場合) 調剤を行う施設についての経過措置 (近隣の場所にある薬局と連携することにより置かないことができる) 06 (介護療養型老人保健施設からの転換の場合) 臨床検査施設又はエックス線装置の設置についての経過措置 (近隣の医療機関等との連携により置かないことができる) 07 経過措置は該当しない

問6 介護医療院の理念の共有について、あてはまる項目すべてに○をつけてください。	
1) 介護医療院が長期療養が必要な方の生活施設であることを受けて、貴施設の理念を創設しましたか	01 理念の創設を行った 02 理念の創設は行っていない →理由 (11 もととの理念と変わらないため 12 検討中であるため 13 その他 ( ))
2) 職員で理念や意識を共有する際に、誰が中心となって行いましたか (複数回答可)	01 経営陣 02 開設の軸となる職員 (事務長等) 03 現場の職員 (医師、看護師等) 04 特に理念や意識の共有は行っていない 05 その他 ( )
3) 職員との意識の共有方法 (複数回答可)	01 移行の中心となる職員が介護医療院の理念や役割について職員に話をした 02 職員に対して資料の配布を行った 03 特に職員に対して説明は行っていない 04 その他 ( )
4) 職員への説明開始時期	01 介護医療院開設のおよそ6か月以上前 02 介護医療院開設のおよそ3か月以上前 03 介護医療院開設のおよそ2か月前 04 介護医療院開設のおよそ1か月前 05 特に職員に対する説明は行っていない 06 その他 ( )

問7 移行定着支援加算についてお伺いします。	
1) 移行定着支援加算を算定していますか。	01 算定している 02 算定していない
2) 移行定着支援加算を算定するための、利用者・家族への説明は、いつ頃から、どのように、行いましたか。	①説明を行った時期 開設の ( ) か月前から行った
	②説明方法 (複数回答可) 01 対面で説明した 02 説明資料を配布した 03 説明資料を掲示した 04 その他 ( )
3) 移行定着支援加算を算定するための、地域住民への説明は、いつ頃から、どのように、行いましたか。	①説明を行った時期 開設の ( ) か月前から行った
	②説明を行った回数 延べ ( ) 回
	③説明方法 (複数回答可) 01 対面で説明した 02 説明資料を配布した 03 説明資料を掲示した 04 その他 ( )
4) 説明を行った地域住民は次のうちどれですか (複数回答可)	01 自治会・町内会の役員 02 自治会・町内会の加入者 03 民生委員 04 病院・診療所の受診者 05 募集に対して参加された方 06 その他

※ 2)～4)は「移行定着支援加算」を算定している場合にご回答ください。

問8 貴施設で実施されている地域に貢献する活動・地域と交流する活動等についてお伺いします。	
1) 活動の実施件数 (2018年度実施済み・実施予定延べ回数)	
① 保健・医療・福祉	—
①-1 健康教室・介護予防教室・栄養教室等 (施設内での開催、職員の派遣を含む)	回
①-2 介護教室・介護相談 (家族介護者に対する支援)	回
①-3 認知症カフェ・住民カフェ	回
①-4 その他の取組み	回
② 教育支援 (職場体験)	回
③ 文化・環境保全 (祭りや伝統行事の開催・地域の美化・緑化・地域環境保全)	回
④ 経済の振興 (地域産業の活性化・商店街の活性化・特産品や農水産物の活用)	回
⑤ 防犯・防災 (防犯・消防や防災・災害対応)	回
⑥ ボランティアの受け入れ	回
⑦ その他 ( )	回
2) 活動を実施するにあたって、連携している組織 (複数回答可)	01 都道府県 02 市区町村 03 自治会・町内会 04 ボランティア団体 05 保育園・幼稚園 06 小・中学校 07 地域包括支援センター 08 その他 ( )
3) 2017年度と比較して、活動の実施件数 (2018年度実施済み・実施予定延べ回数) に変化はありましたか	01 増加した 02 減少した 03 変化はなかった

<p><b>問9</b> 貴施設で実施されている<b>生活施設としての環境を整える取組・工夫等</b>についてお伺いします。 以下の取組について、当てはまるものに○をつけ、7)に特に工夫している点、力を入れている点についてご記入ください。</p>	
<p><b>1) プライベートスペースの確保</b> (複数回答可)</p>	<p>01 利用者のプライベートスペースにはなじみの家具などの持ち込みを許可している</p> <p>02 利用者の状態や希望にあわせてベッドの高さを調整している</p> <p>03 利用者のプライベートスペースに入る際には、声かけを行うようにしている</p> <p>04 家族や見舞客と過ごすためのプライバシーを確保した部屋がある</p> <p>05 その他(具体的な取組みを7)にご記入ください)</p> <p>06 上記01~05にはいずれも当てはまらない</p>
<p><b>2) 共有スペースの状況</b> (複数回答可)</p>	<p>01 体格にあったテーブルやイスを利用できるよう、複数のサイズのテーブル・イスを用意している。</p> <p>02 食事を行うためのテーブルと、くつろぐためのテーブルやイスは異なっている</p> <p>03 食事スペースや共有スペースに座った状態で、十分な採光が得られる</p> <p>04 共有スペースのすぐ近くに共用のトイレがある</p> <p>05 共有スペースから少し離れたところに、息を抜ける居場所がある</p> <p>06 共有スペースの延長としての戸外空間がある</p> <p>07 新聞や雑誌などを置いて、暮らしの場としての家庭的な雰囲気を感じられるようにしている</p> <p>08 飾り付けを工夫するなどして入居者が日中に滞在しやすいような、明るい雰囲気の快適な空間にしている</p> <p>09 共有スペースを、地域住民や児童等との交流の場として利用することがある</p> <p>10 その他(具体的な取組みを7)にご記入ください)</p> <p>11 上記01~10にはいずれも当てはまらない</p>
<p><b>3) 食事支援</b> (複数回答可)</p>	<p>01 利用者ごとの食事の好みを把握している</p> <p>02 利用者ごとの好みに合わせた食事を提供している</p> <p>03 行事食や利用者ごとのライフイベントに配慮した特別食を提供している</p> <p>04 おやつを提供している</p> <p>05 調理方法や見た目にこだわった配膳を工夫している</p> <p>06 本人が希望すれば食事の時間を変更することができる</p> <p>07 経管栄養の利用者であっても、本人の希望に応じて口から食べる楽しみを支援している</p> <p>08 その他(具体的な取組みを7)にご記入ください)</p> <p>09 上記01~08にはいずれも当てはまらない</p>
<p><b>4) 排せつ支援</b> (複数回答可)</p>	<p>01 利用者のトイレタイムを把握し、個別にトイレ誘導している</p> <p>02 残存能力をできる限り活用できるような手すりの配置などを工夫している</p> <p>03 多床室にポータブルトイレを置かないなどの排せつのプライバシーに配慮している</p> <p>04 排せつ動作等について専門職のアセスメントにもとづき、スタッフが共通の理解をもって支援している</p> <p>05 その他(具体的な取組みを7)にご記入ください)</p> <p>06 上記01~05にはいずれも当てはまらない</p>

<p><b>5) 入浴支援</b> (複数回答可)</p>	<p>01 本人が希望すれば週3回以上の入浴を実現している</p> <p>02 本人が希望すれば夜間入浴(夕食後から就寝前の時間帯の入浴)を実現している</p> <p>03 マンツーマン体制での入浴(浴室までの誘導~浴室内の介助を1人の職員が行う入浴)を実現している</p> <p>04 その他(具体的な取組みを7)にご記入ください)</p> <p>05 上記01~04にはいずれも当てはまらない</p>
<p><b>6) レクリエーションの取組み方針</b> (複数回答可)</p>	<p>01 利用者の希望に合わせてレクリエーションを組み合わせている</p> <p>02 外出行事を実施している</p> <p>03 個別の外出に対応している</p> <p>04 近隣の行事(運動会、お祭り)等に参加している</p> <p>05 その他(具体的な取組みを7)にご記入ください)</p> <p>06 上記01~05にはいずれも当てはまらない</p>
<p><b>7) その他の取組</b> ※生活施設としての環境を整える取組・工夫等をご回答ください。 (自由記載)</p>	

**問10** 介護医療院の開設にあたって、移行前後で**転院(転棟)する必要のあった利用者**はいましたか。  
(状態像の変化による転院(転棟)者は含めず、介護医療院を開設したことによる影響についてご回答ください。)  
※新設の介護医療院の場合にはご回答は不要です。

<p><b>1) 移行にあたって併設医療機関や他の医療機関へ転院(転棟)した利用者はいましたか。</b></p>	<p>01 転院した利用者がいた</p> <p>02 転院した利用者はいなかった</p>												
<p><b>2) 【1)で転院(転棟)した利用者が出たと回答した場合】</b> あてはまる理由をご回答ください。(複数回答可)</p>	<table border="1"> <tr> <td>①利用者の年齢が40歳未満だった</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②要介護認定されなかった</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>③医療の必要性が高かった</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>④介護保険施設では自己負担額が大きく変わった</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>⑤本人・家族の希望</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>⑥その他</td> <td>人</td> </tr> </table>	①利用者の年齢が40歳未満だった	人	②要介護認定されなかった	人	③医療の必要性が高かった	人	④介護保険施設では自己負担額が大きく変わった	人	⑤本人・家族の希望	人	⑥その他	人
①利用者の年齢が40歳未満だった	人												
②要介護認定されなかった	人												
③医療の必要性が高かった	人												
④介護保険施設では自己負担額が大きく変わった	人												
⑤本人・家族の希望	人												
⑥その他	人												



問11 介護医療院の開設にあたって、課題と考えることがあれば、あてはまる項目すべてに○をつけてください。(複数回答可)

- 01 利用者が必要とする十分な医療ケアを提供することができない
- 02 ターミナルケアを提供しにくい
- 03 院内の他の診療科との連携が希薄になる
- 04 職員のモチベーションが維持できない
- 05 十分な数の医師を雇用することができない
- 06 十分な数の看護職員を雇用することができない
- 07 十分な数の介護職員を雇用することができない
- 08 利用者や家族への説明が難しい
- 09 利用者にとっての生活の場となるような配慮が難しい
- 10 施設経営の見通しが立たない(経営状況が悪化する恐れがある)
- 11 稼働率を維持するのに十分な利用者を集めることができない
- 12 周囲の他の介護施設等との差別化ができない
- 13 地域で医療機関としての機能を残すことにニーズがある
- 14 自治体における相談・手続がスムーズに進められない
- 15 その他 ( )
- 16 課題と考えることは何もない

問12 介護医療院の開設にあたって、必要だと感じた支援策があれば、あてはまる項目すべてに○をつけてください。(複数回答可)

- 01 建物を改修・改築するための助成金
- 02 家具・パーティション等を調達するための助成金
- 03 介護医療院の基準・制度に関する情報提供
- 04 介護医療院の基準・制度に関する相談窓口
- 05 実際に介護医療院を開設した事例の紹介
- 06 その他 ( )
- 07 特に必要な支援策はなかった

問13 貴施設の入所者数、延べ入所者数をご記入ください。

① 入所者数(平成30年9月30日24時時点)	人
②うち、住民税非課税所得世帯(第一段階)の入所者	人
③うち、住民税非課税所得世帯(第二段階)の入所者	人
④うち、住民税非課税所得世帯(第三段階)の入所者	人
⑤延べ入所者数(平成30年7月1日～9月30日の3ヶ月間) ※1,2	人

※1: 7月2日～9月30日の間に移行した介護医療院の場合、介護医療院に移行してからの状況のみをご回答ください。  
 ※2: 「延べ入所者数」は、平成30年7月1日～9月30日の3ヶ月間の入所者数を足しあげたものです。7月1日の入所者が50人、7月2日が49人、7月3日が51人、・・・であれば、50+49+51+・・・として算出してください。

問14 平成30年7月1日～9月30日の3ヶ月間の貴施設の新規入所者数・退所者数をご記入ください。うち数は、入所前の居所/退所先別にご記入ください。(※1)

	新規入所者	退所者
①合計数	人	人
②うち、併設医療機関(※2)	人	人
③うち、他の医療機関(病院・診療所)	人	人
④うち、他の介護医療院	人	人
⑤うち、介護老人保健施設(老健)	人	人
⑥うち、介護老人福祉施設(特養)	人	人
⑦うち、他の介護療養型医療施設	人	人
⑧うち、本人の自宅	人	人
⑨上記以外の自宅等(※3)	人	人
⑩死亡		人
⑪その他	人	人
⑫不明	人	人

※1: 7月2日～9月30日の間に移行した介護医療院の場合、介護医療院に移行してからの状況のみをご回答ください。  
 ※2: 介護医療院に移行した場合で、移行前の病棟等から継続して入所されている方は新規入所者には含めずにご回答ください。  
 ※3: 「自宅等」には、認知症対応型共同生活介護(認知症グループホーム)、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム、養護老人ホームなどが含まれます。

問15 平成30年9月30日24時時点の貴施設における利用者の状態像（医療区分・ADL区分・要介護度・障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）・認知症高齢者の日常生活支援度）についてご記入ください。  
各回答欄の合計人数が、問13①の入所者数と同じになるようにご記入ください。

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	不明、未実施
医療区分	人	人	人	人

※「不明、未実施」であっても医療区分の適用が可能な場合には、各医療区分別の該当人数をご記入ください。

	ADL区分1	ADL区分2	ADL区分3	不明、未実施
ADL区分	人	人	人	人

※「不明、未実施」であってもADL区分の適用が可能な場合には、各ADL区分別の該当人数をご記入ください。

	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中*
要介護度		人	人	人	人	人	人

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

	ランクJ	ランクA1	ランクA2	ランクB1	ランクB2	ランクC1	ランクC2	不明
障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）	人	人	人	人	人	人	人	人

※障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）については、調査説明資料をご確認ください。

	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明未実施
認知症高齢者の日常生活自立度	人	人	人	人	人	人	人	人	人

※認知症高齢者の日常生活自立度については、調査説明資料をご確認ください。

問16 平成30年9月30日24時時点の貴施設における入所者のうち、重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者（厚生労働省が示す基準による）について、各状態にあてはまる入所者数をご記入ください。※1  
（同一の利用者が複数の状態にあてはまる場合、あてはまる状態全てにカウントしてください。）※2  
併せて、最下欄に下記の状態にあてはまる入所者の実人数をご記入ください。

重篤な身体疾患を有する者	
①NYHA分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	人
②Hugh-Jones分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する1週間以上人工呼吸器を必要としている状態	人
③各週2日以上的人工腎臓の実施が必要である者（※3）のうち	
常時低血圧（収縮時血圧が90mmHg以下）	人
透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	人
出血性消化器病変を有するもの	人
骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	人
④Child-Pugh分類C以上の肝機能障害の状態	人
⑤連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態	人
⑥単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	人
⑦現に経口により食事を摂取している者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	人
身体合併症を有する認知症高齢者	
①認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	人
②認知症であって、別に掲げるいずれかの疾病（※4）と診断された者	人
③認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又はMに該当する者	人
上記の状態にあてはまる入所者の実人数（1つ以上の項目にあてはまった人数）	人

※1：本調査では「平成30年9月30日24時時点」の人数としてご回答ください。

※2：「介護医療院Ⅰ型」算定要件上は、同一の者について「重篤な身体疾患を有する者」の基準及び「身体合併症を有する認知症高齢者」の基準のいずれにも当てはまる場合は、いずれか一方にのみ含めるものとなっていますが、本調査では入所者の状態像を把握するため、当てはまる状態全てにカウントしてください。

※3：「人工腎臓の実施」は他科受診によるものであっても構いません。

※4：「別に掲げる疾病」とは、厚生労働省の示す基準に則り、以下の疾病を指します。  
パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病）、多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群）、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、広範脊柱管狭窄症、後縦靭帯骨化症、黄色靭帯骨化症、悪性関節リウマチ

問17 平成30年9月の1か月間における貴施設への入所者に対して行った医療処置についてご回答ください。(実人数)			
1 胃ろう・腸ろうによる栄養管理	人	14 インスリン注射	人
2 経鼻経管栄養	人	15 疼痛管理(麻薬なし)	人
3 中心静脈栄養	人	16 疼痛管理(麻薬使用)	人
4 カテーテル(尿道留置カテーテル・コンドームカテーテル)の管理	人	17 創傷処置	人
5 ストマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	人	18 褥瘡処置	人
6 喀痰吸引	人	19 浣腸	人
7 ネブライザー	人	20 摘便	人
8 酸素療法(酸素吸入)	人	21 導尿	人
9 気管切開のケア	人	22 膀胱洗浄	人
10 人工呼吸器の管理	人	23 持続モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	人
11 静脈内注射(点滴含む)	人	24 リハビリテーション	人
12 皮内、皮下及び筋肉内注射(インスリン注射を除く)	人	25 ターミナルケア	人
13 簡易血糖測定	人	26 歯科治療(訪問を含む)	人

※平成30年9月の1か月間に1回以上実施した場合、「1人」と数えてください。

問18 問17で「リハビリテーション」を選択した場合平成30年9月の1か月間における貴施設への入所者に対する、リハビリテーションの実施状況をご記入ください。 加算や特定診療費のうち、以下のリハビリテーションに関する算定はありましたか。 算定があった場合には算定延べ回数を、算定がなかった場合には0(ゼロ)とご記入ください。			
①栄養マネジメント加算	人日	⑨作業療法	回
②低栄養リスク改善加算	人	⑩言語聴覚療法	回
③経口移行加算	人日	⑪集団コミュニケーション療法	回
④経口維持加算	人	⑫摂食機能療法	人日
⑤口腔衛生管理加算	人	⑬短期集中リハビリテーション	人日
⑥排せつ支援加算	人	⑭認知症短期集中リハビリテーション	人日
⑦理学療法(I)	回	⑮精神科作業療法	人日
⑧理学療法(II)	回	⑯認知症入所精神療法	回(週)

問19 貴施設におけるアドバンス・ケア・プランニング(ACP)※に関する取組についてご回答ください。	
1) 貴施設ではACPに取り組んでいますか	01 取り組んでいる 02 取り組んでいない
2) ACPに取り組む上で何が困難ですか(複数回答可)	01 本人意思決定の評価 02 本人が意思表示できない 03 代理決定者が定まらない 04 ACPとして関わり始める時期の見極め 05 ACPとして実施する内容 06 施設としての方針・指針がない 07 ACPをするための体制が不十分 08 ACPを実施するためのチームの連携がうまくとれない 09 ACPを実施するための時間がとれない 10 ACPを実施するにあたり本人・家族が拒否的 11 その他( ) 12 困難なことは特にない
3) 【1】で01取り組んでいると回答した場合】 ACPで話し合う内容のうち特に重視すること。(〇はひとつ)	01 入所者の気がかりや意向 02 入所者の価値観や目標 03 病状や予後の理解 04 治療や療養に関する意向 05 代理決定者が適任者であるかの見極め、決定 06 その他( )
4) ACPに関する施設内での職員研修の有無	01 施設内で研修をしている 02 研修をしていない
5) 【4】で「01」と回答した場合】 ACPに関する職員研修の頻度	01 年1回 02 年に2~4回 03 年に5回~毎月開催 04 その他
6) 職員の中にACPに関する施設外の研修を受講した方はいますか。(職種については複数回答可)	01 受講者がいる →11 医師 12 薬剤師 13 看護職員 14 介護職員 15 リハビリ専門職 16 管理栄養士・栄養士 17 その他の職種 02 受講者はいない

※「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」とは、今後の治療・療養について利用者・家族と医療従事者等があらかじめ話し合う自発的なプロセスを指します。



平成30年度 厚生労働省 介護報酬改定検証調査  
 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査  
 <病院・診療所 共通票>

1. 本調査票は「病院・診療所」について、施設長様もしくは事務長様にご回答ください。
2. ご回答にあたっては、同封の「調査説明資料」をご参照ください。
3. 本調査結果は報告書として公表されますが、各回答結果は統計的処理を行ったうえで公表いたしますので、個別の回答が特定されることはありません。
4. ご回答内容は本調査の目的以外に用いられることはありません。
5. お忙しいところ恐縮ではございますが、**平成30年11月21日(水)**までに調査票にご記入いただき、同封の返送用封筒を用いて調査事務局までご返送ください。

【お問合せ先】

「介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査」調査事務局  
 TEL：0120-252-441（平日9:30～17:00） FAX：0120-252-442（24時間）  
 E-mail：h30kaigo@mizuho-ir.co.jp

法人名		施設名	
ご担当者名		部署・役職名	
ご連絡先 (tel)		所在地の郵便番号	

※ 施設名、および記入者のお名前・ご連絡先は必ずご記入いただきますようお願い申し上げます。調査票をご返送いただいた後、事務局より記入内容について問い合わせをさせていただく場合がございます。

【本調査の構成】

○療養病床を有する医療機関様には、共通票（本票）、介護療養型医療施設票、医療療養病床票（病院・診療所）、患者・利用者票の4種類の調査票をお送りしております。  
 貴院の構成にあわせて、必要な調査票についてご回答ください。

病院・診療所の属性	ご回答いただく調査票
介護療養型医療施設と医療療養病床を有する場合	共通票（本票） + 介護療養型医療施設票（水色） + 医療療養病床票（病院・診療所）（さくら色） + 患者・利用者票（乳白色）
介護療養型医療施設を有する場合 ※「介護保険適用の療養病床」「老人性認知症疾患療養病棟」の両方を有している場合には、「介護療養型医療施設票」の調査票をコピーし、別々にご回答ください。	共通票（本票） + 介護療養型医療施設票（水色） + 患者・利用者票（乳白色）
医療療養病床を有する場合 ※「療養病棟入院基本料1・2」「療養病棟入院基本料経過措置」の両方を算定している場合には、「医療療養病床票」の調査票をコピーし、別々にご回答ください。	共通票（本票） + 医療療養病床票（病院・診療所）（さくら色） + 患者・利用者票（乳白色）

問20 貴施設におけるターミナルケアに関する取組についてご回答ください。

1) 貴施設では看取り期に入った入所者に対して、ターミナルケアに取り組んでいますか。	01 取り組んでいる 02 取り組んでいない
2) 貴施設ではターミナルケアに取り組むにあたって、施設内でのマニュアル等を整備していますか。	01 整備している 02 整備していない
3) 看取りに関する施設内での職員研修の有無	01 施設内で研修をしている 02 研修をしていない
4) 【3）で「01」と回答した場合】看取りに関する職員研修の頻度	01 年1回 02 年に2～4回 03 年に5回～毎月開催 04 その他
5) 職員の中にターミナルケアに関する施設外の研修を受講した方はいますか。  (職種については複数回答可)	01 受講者がいる →11 医師 12 薬剤師 13 看護職員 14 介護職員 15 リハビリ専門職 16 管理栄養士・栄養士 17 その他の職種  02 受講者はいない

問21

- 1) 平成30年9月30日24時時点の入所者のうち、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を実施した入所者の人数をご記入ください。
- 2) 以下の①～③の条件全てに適合する入所者（ターミナル期のケアを提供している入所者）の人数と平成30年7月1日～9月30日の3ヶ月間の延べ入所日数をご記入下さい。
  - ① 医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断した者である。
  - ② 入所者等又はその家族等の同意を得て、入所者等のターミナルケアに係る計画が作成されている。
  - ③ 医師、看護師、介護職員等が共同して、入所者等の状態又は家族の求め等に応じ随時、本人又はその家族への説明を行い、同意を得てターミナルケアが行われている。

1) アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を実施した入所者	人数（9月30日時点）	
	人	
2) ターミナルケアを提供している入所者（①～③の条件全てに適合する入所者）	人数（9月30日時点）	3ヶ月間の延べ入所日数（※）
	人	日

※平成30年9月30日24時時点にターミナルケアを提供している入所者がいる場合、ターミナルケアを開始した時期に関わらず、その方の過去3ヶ月間の延べ入所日数をご記入ください。  
 例) 平成30年1月1日に入所し、9月15日からターミナルケアを開始（9月30日24時時点でターミナルケアを提供）している場合、3ヶ月間の延べ入所日数は、7～9月の延べ91日となります。  
 ※7月2日～9月30日の間に移行した介護医療院の場合、介護医療院に移行してからの状況のみをご回答ください。

以上で調査は終了です。ご協力誠にありがとうございました。  
 ご回答済みの調査票は、平成30年11月27日（火）までに同封の返送用封筒にてご返送ください。

**問1 貴院の開設者**について、該当するもの1つに○をつけてください。

01 医療法人（医療法人社団・医療法人財団・社会医療法人）  
 02 社団・財団法人（01以外）  
 03 国公立  
 04 個人  
 05 その他（ ）

**問2 平成30年9月30日時点の貴院の届出病床数**をお答えください。  
 ※地域包括ケア入院医療管理料を算定している病室を有している場合は、当該病室の病床数を一般病棟及び療養病棟の病床数から除外してください。

		基準病床	入院料等の種別	現在の届出病床数
病院	医療保険	療養病床	療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1・2 (20:1)	床
			療養病棟入院基本料 経過措置 (25:1、30:1)	床
			療養病棟入院基本料 特別入院基本料	床
			その他	床
		一般病床	床	
			その他の病床（精神病床、感染症病床、結核病床）	床
	介護保険	療養病床	療養機能強化型A	床
			療養機能強化型B	床
			その他	床
	診療所	医療	一般病床	有床診療所入院基本料
療養病床			有床診療所療養病床入院基本料	床
介護		療養病床	療養機能強化型A	床
			療養機能強化型B	床
			その他	床

**問3 貴院の病棟構造**について、該当するもの1つに○をつけてください。

01 医療療養病床と介護療養型医療施設の混合病棟が1病棟ある  
 02 医療療養病床と介護療養型医療施設の混合病棟が2病棟ある  
 03 医療療養病床と介護療養型医療施設の混合病棟はない

**問4 貴法人・関連法人は介護保険サービスを運営していますか。**該当するものすべてに○をつけてください。  
 (複数回答可)

01 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）  
 02 介護老人保健施設  
 03 介護療養型医療施設  
 04 有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護）  
 05 有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入居者生活介護なし）  
 06 養護老人ホーム  
 07 軽費老人ホーム  
 08 認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）  
 09 小規模多機能型居宅介護  
 10 看護小規模多機能型居宅介護  
 11 その他の介護保険サービス  
 12 他の介護保険サービスは運営していない

**問5 貴院で実施されている地域に貢献する活動・地域と交流する活動等**についてお伺いします。

**1) 活動の実施件数**（2018年度実施済み・実施予定延べ回数）

① 保健・医療・福祉	—
①-1 健康教室・介護予防教室・栄養教室等（施設内での開催、職員の派遣を含む）	回
①-2 介護教室・介護相談（家族介護者に対する支援）	回
①-3 認知症カフェ・住民カフェ	回
①-4 その他の取組み	回
② 教育支援（職場体験）	回
③ 文化・環境保全（祭りや伝統行事の開催・地域の美化・緑化・地域環境保全）	回
④ 経済の振興（地域産業の活性化・商店街の活性化・特産品や農水産物の活用）	回
⑤ 防犯・防災（防犯・消防や防災・災害対応）	回
⑥ ボランティアの受け入れ	回
⑦ その他（ ）	回

**2) 活動を実施するにあたって、連携している組織**（複数回答可）

01 都道府県
02 市区町村
03 自治会・町内会
04 ボランティア団体
05 保育園・幼稚園
06 小・中学校
07 地域包括支援センター
08 その他（ ）

**問6 介護医療院**に関する事項についてお伺いします。

**1) 平成30年4月から創設された「介護医療院」にはどの程度関心がありますか。**

01 非常に関心がある
02 関心がある
03 関心がない

**2) 【1）で「01」又は「02」と回答した場合】**介護医療院に関する情報収集を行っていますか。

01 行っている	02 行っていない
----------	-----------

**3) 「介護医療院」の具体的な開設手順を知っていますか。**

01 知っている	02 知らない
----------	---------

**4) 療養病床等を有する医療機関が「介護医療院」に転換する場合、右に挙げる経過措置が適用されることを知っていますか。**（知っている項目すべてに○）

01 療養室の床面積は、新築、増築又は全面的な改築の工事が終了するまでの間は、内法による測定で入所者1人当たり6.4平方メートル以上でよい。
02 建物の耐火構造は、建築基準法の基準によるものでよい。
03 屋内の直通階段及びエレベーターについては、転換前の医療法による基準と同等のものでよい。
04 療養室に隣接する廊下の幅は、内法による測定で、1.2メートル以上（ただし、両側に療養室等又はエレベーター室がある廊下の幅は、内法による測定で、1.6メートル以上）であればよい。



問7 貴院の療養病床を介護医療院に移行すると仮定した場合、必要と考える支援策すべてに○をつけてください。(複数回答可)

- 01 建物を改修・改築するための助成金
- 02 家具・パーティション等を調達するための助成金
- 03 介護医療院の基準・制度に関する情報提供
- 04 介護医療院の基準・制度に関する相談窓口
- 05 実際に介護医療院に移行した事例の紹介
- 06 その他 ( )
- 07 支援策は特に必要ない

病院施設票は以上で終了です。引き続き、貴院の病棟種別に応じた病棟調査票にご回答ください。  
ご回答済みの調査票は、平成30年11月21日(水)までに同封の返送用封筒にてご返送ください。

平成30年10月

平成30年度 厚生労働省 介護報酬改定検証調査  
介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査  
＜介護療養型医療施設票＞

1. 本調査票は「介護療養型医療施設」について、問1～問4、問11～14は施設長様もしくは事務長様が、問5～10は看護師長様にご回答ください。
2. ご回答にあたっては、同封の「調査説明資料」をご参照ください。
3. 対象となる病棟が複数ある場合には、該当するすべての病棟を合算した数としてご回答ください。
4. 本調査結果は報告書として公表されますが、各回答結果は統計的処理を行った上で公表いたしますので、個別の回答が特定されることはありません。
5. ご回答内容は本調査の目的以外に用いられることはありません。
6. お忙しいところ恐縮ではございますが、**平成30年11月21日(水)**までに調査票にご記入いただき、同封の返送用封筒を用いて調査事務局までご返送ください。

【お問合せ先】

「介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査」調査事務局  
TEL：0120-252-441 (平日 9:30～17:00) FAX：0120-252-442 (24時間)  
E-mail：h30kaigo@mizuho-ir.co.jp

法人名		施設名	
ご担当者名		部署・役職名	
ご連絡先 (tel)			

※ 施設名、および記入者のお名前・ご連絡先は必ずご記入いただきますようお願い申し上げます。調査票をご返送いただいた後、事務局より記入内容について問い合わせをさせていただく場合がございます。

○本調査票は介護療養型医療施設に関する調査票です。

介護療養型医療施設を有する場合のみ、本調査票にご回答ください。

問1 平成30年9月30日時点の介護療養型医療施設の区分をご回答ください。		
問1-1 施設サービス費の算定区分をご回答ください。		
01 療養型介護療養施設サービス費	05 診療所型介護療養施設サービス費	
02 療養型経過型介護療養施設サービス費	06 ユニット型診療所型介護療養施設サービス費	
03 ユニット型療養型介護療養施設サービス費	07 認知症患者型介護療養施設サービス費	
04 ユニット型療養型経過型介護療養施設サービス費	08 認知症患者型経過型介護療養施設サービス費	
	09 ユニット型認知症患者型介護療養施設サービス費	
問1-2 療養機能強化型の届出についてご回答ください。		
01 療養機能強化型A	02 療養機能強化型B	03 届出はしていない

問2 貴院の介護療養型医療施設の定員と構造設備についてご回答ください。

1) 介護療養型医療施設の定員						人
2) 病室の部屋数と延べ床面積 ※1						
	4人部屋	3人部屋	2人部屋	個室	ユニット個室	
部屋数	室	室	室	室	室	室
延べ床面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
3) 廊下幅 ※2						
廊下の最低幅	m	うち中廊下の最低幅				m / 中廊下はない

※1:「延べ床面積」は、合計値を回答してください(20㎡の部屋と18㎡の部屋がある場合には計38㎡)。

※2:「廊下幅」は、壁から壁で測定した場合に、最も狭い幅を回答してください。

「中廊下」とは、廊下の両側に療養室等又はエレベーター室のある廊下を指します。

該当する廊下がない場合には「中廊下はない」に○をつけてください。

問3 平成30年9月30日時点の貴院の介護療養型医療施設の職員配置(いずれも常勤換算※)をご記入ください。  
※平成30年9月30日には出勤していない者を含め、平成30年9月30日に在籍している全ての職員についてご回答ください。

	専従	他の病棟等と兼務	夜勤の配置数
	常勤換算の配置数	常勤換算の配置数	1病棟あたり人数
看護師	人	人	人
准看護師	人	人	人
介護福祉士	人	人	人
介護福祉士以外の 看護補助者・介護職員	人	人	人

※常勤換算の計算方法

職員数の算出については、「常勤職員の実人数」+「非常勤職員の常勤換算人数」より求めてください。

非常勤職員の常勤換算にあたっては、「直近1週間に当該病棟で従事した勤務時間」を「施設の通常の勤務時間」で除した数値を算出してください。(小数点第二位を切り捨てして下さい)

問4 貴院の介護療養型医療施設の入院患者数、延べ入院日数をご記入ください。

①入院患者数(平成30年9月30日24時時点)	人
②うち、住民税非課税所得世帯(第一段階)の入院患者	人
③うち、住民税非課税所得世帯(第二段階)の入院患者	人
④うち、住民税非課税所得世帯(第三段階)の入院患者	人
⑤延べ入院患者数(平成30年7月1日～9月30日の3ヶ月間)※1	人

※1:「延べ入院患者数」は、平成30年7月1日～9月30日の3ヶ月間の入院患者数を足しあげたものです。7月1日の入院患者が50人、7月2日が49人、7月3日が51人、・・・であれば、50+49+51+・・・として算出してください。

問5 平成30年9月30日24時時点の介護療養型医療施設における患者の状態像(医療区分・ADL区分・要介護度・障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)・認知症高齢者の日常生活支援度)についてご記入ください。  
各回答欄の合計人数が、問4①の入院患者数と同じになるようにご記入ください。

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	不明、未実施
医療区分	人	人	人	人

※「不明、未実施」であっても医療区分の適用が可能な場合には、各医療区分別の該当人数をご記入ください。

	ADL区分1	ADL区分2	ADL区分3	不明、未実施
ADL区分	人	人	人	人

※「不明、未実施」であってもADL区分の適用が可能な場合には、各ADL区分別の該当人数をご記入ください。

	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中※
要介護度		人	人	人	人	人	人

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入院時点で区分未決定の場合を含みます。

	ランクJ	ランクA1	ランクA2	ランクB1	ランクB2	ランクC1	ランクC2	不明
障害高齢者の 日常生活自立度 (寝たきり度)	人	人	人	人	人	人	人	人

※障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)については、調査説明資料をご確認ください。

	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明 未実施
認知症高齢者の 日常生活自立度	人	人	人	人	人	人	人	人	人

※認知症高齢者の日常生活自立度については、調査説明資料をご確認ください。

問6 平成30年9月の1か月間における介護療養型医療施設への入院患者に対する、リハビリテーションの実施状況をご記入ください。

1) 1か月間にリハビリテーションが必要だった入院患者数	人		
2) 加算や特定診療費のうち、以下のリハビリテーションに関する算定はありましたか。 算定があった場合には算定延べ回数を、算定がなかった場合には0(ゼロ)とご記入ください。			
①栄養マネジメント加算	人日	⑨作業療法	回
②低栄養リスク改善加算	人	⑩言語聴覚療法	回
③経口移行加算	人日	⑪集団コミュニケーション療法	回
④経口維持加算	人	⑫摂食機能療法	人日
⑤口腔衛生管理加算	人	⑬短期集中リハビリテーション	人日
⑥排せつ支援加算	人	⑭認知症短期集中リハビリテーション	人日
⑦理学療法(I)	回	⑮精神科作業療法	人日
⑧理学療法(II)	回	⑯認知症老人入院精神療法	回(週)

<b>問7 平成30年9月30日24時時点の介護療養型医療施設における入院患者のうち、重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者</b> （厚生労働省が示す基準による）について、各状態にあてはまる入院患者数をご記入ください。※1 (同一の患者が複数の状態にあてはまる場合、あてはまる状態全てにカウントしてください。) ※2 併せて、最下欄に下記の状態にあてはまる入院患者の実人数をご記入ください。	
重篤な身体疾患を有する者	
①NYHA 分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	人
②Hugh-Jones 分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する1週間以上人工呼吸器を必要としている状態	人
③各週2日以上的人工腎臓の実施が必要である者(※3)のうち	
常時低血圧(収縮時血圧が90mmHg以下)	人
透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	人
出血性消化器病変を有するもの	人
骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	人
④Child-Pugh 分類C以上の肝機能障害の状態	人
⑤連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態	人
⑥単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	人
⑦現に経口により食事を摂取している者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	人
身体合併症を有する認知症高齢者	
①認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	人
②認知症であって、別に掲げるいずれかの疾病(※4)と診断された者	人
③認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又はMに該当する者	人
上記の状態にあてはまる入院患者の実人数(1つ以上の項目にあてはまった人数)	人
<p>※1：本調査では「平成30年9月30日24時時点」の人数としてご回答ください。</p> <p>※2：療養機能強化型介護療養型医療施設の算定要件上は、同一の者について「重篤な身体疾患を有する者」の基準及び「身体合併症を有する認知症高齢者」の基準のいずれにも当てはまる場合は、いずれか一方にのみ含めるものとなっておりますが、本調査では入院患者の状態像を把握するため、当てはまる状態全てにカウントしてください。</p> <p>※3：「人工腎臓の実施」は他科受診によるものであっても構いません。</p> <p>※4：「別に掲げる疾病」とは、厚生労働省の示す基準に則り、以下の疾病を指します。          パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病)、多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群)、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、広範脊柱管狭窄症、後縦靭帯骨化症、黄色靭帯骨化症、悪性関節リウマチ</p>	

<b>問8 貴院の介護療養型医療施設におけるアドバンス・ケア・プランニング(ACP)※に関する取組について</b> ご回答ください。	
<b>1) 介護療養型医療施設ではACPに取り組んでいますか</b>	<b>01</b> 取り組んでいる <b>02</b> 取り組んでいない
<b>2) ACPに取り組む上で何が困難ですか</b> (複数回答可)	<b>01</b> 本人意思決定の評価 <b>02</b> 本人が意思表示できない <b>03</b> 代理決定者が定まらない <b>04</b> ACPとして関わり始める時期の見極め <b>05</b> ACPとして実施する内容 <b>06</b> 病院としての方針・指針がない <b>07</b> ACPをするための体制が不十分 <b>08</b> ACPを実施するためのチームの連携がうまくとれない <b>09</b> ACPを実施するための時間がとれない <b>10</b> ACPを実施するにあたり本人・家族が拒否的 <b>11</b> その他( ) <b>12</b> 困難なことは特にない
<b>3) 【1) で01に取り組んでいると回答した場合】</b> ACPで話し合う内容のうち特に重視すること。(○はひとつ)	<b>01</b> 入院患者の気がかりや意向 <b>02</b> 入院患者の価値観や目標 <b>03</b> 病状や予後の理解 <b>04</b> 治療や療養に関する意向 <b>05</b> 代理決定者が適任者であるかの見極め、決定 <b>06</b> その他( )
<b>4) ACPに関する院内での職員研修の有無</b>	<b>01</b> 院内で研修をしている <b>02</b> 研修をしていない
<b>5) 【4) で「01」と回答した場合】 ACPに関する職員研修の頻度</b>	<b>01</b> 年1回 <b>02</b> 年に2～4回 <b>03</b> 年に5回～毎月開催 <b>04</b> その他
<b>6) 職員の中にACPに関する院外の研修を受講した方はいますか。</b> (職種については複数回答可)	<b>01</b> 受講者がいる → <b>11</b> 医師 <b>12</b> 薬剤師 <b>13</b> 看護職員 <b>14</b> 介護職員 <b>15</b> リハビリ専門職 <b>16</b> 管理栄養士・栄養士 <b>17</b> その他の職種 <b>02</b> 受講者はいない
※「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」とは、今後の治療・療養について患者・家族と医療従事者があらかじめ話し合う自発的なプロセスを指します。	



問9 貴院におけるターミナルケアに関する取組についてご回答ください。	
1) 貴院では看取り期に入った入院患者に対して、ターミナルケアに取り組んでいますか。	01 取り組んでいる 02 取り組んでいない
2) 貴院ではターミナルケアに取り組むにあたって、院内でのマニュアル等を整備していますか。	01 整備している 02 整備していない
3) 看取りに関する院内での職員研修の有無	01 院内で研修をしている 02 研修をしていない
4) 【3)で「01」と回答した場合】看取りに関する職員研修の頻度	01 年1回 02 年に2～4回 03 年に5回～毎月開催 04 その他
5) 職員の中にターミナルケアに関する院外の研修を受講した方はいますか。 (職種については複数回答可)	01 受講者がいる →11 医師 12 薬剤師 13 看護職員 14 介護職員 15 リハビリ専門職 16 管理栄養士・栄養士 17 その他の職種 02 受講者はいない

問10	
1) 平成30年9月30日24時時点の介護療養型医療施設の入院患者のうち、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)を実施した入院患者の人数をご記入ください。	
2) 以下の①～③の条件全てに適合する入院患者(ターミナル期のケアを提供している入院患者)の人数と平成30年7月1日～9月30日の3ヶ月間の延べ入院日数をご記入下さい。	
① 医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断した者である。	
② 入院患者等又はその家族等の同意を得て、入院患者等のターミナルケアに係る計画が作成されている。	
③ 医師、看護師、介護職員等が共同して、入院患者等の状態又は家族の求め等に応じ随時、本人又はその家族への説明を行い、同意を得てターミナルケアが行われている。	
1) アドバンス・ケア・プランニング(ACP)を実施した入院患者	人数(9月30日時点) 人
2) ターミナルケアを提供している入院患者(①～③の条件全てに適合する入院患者)	人数(9月30日時点) 3ヶ月間の延べ入院日数(※) 人 日
※平成30年9月30日24時時点でターミナルケアを提供している入院患者がいる場合、ターミナルケアを開始した時期に関わらず、その方の過去3ヶ月間の延べ入院日数をご記入ください。 例)平成30年1月1日に入院し、9月15日からターミナルケアを開始(9月30日24時時点でターミナルケアを提供)している場合、3ヶ月間の延べ入院日数は、7～9月の延べ91日となります。	

問11 平成30年9月30日時点の貴院の介護療養型医療施設に係る届出病床数と、2018年度末、2019年度末、2020年度末、2023年度末時点に想定される予定病床数についてお答えください。 (該当しない箇所は空欄としていただいて構いません。) (予定が未定である場合には、最下行の「未定」行に床数をご記入ください。)								
		基準病床	入院料・基準等の種別	現在の療養病床に係る届出病床数	2018年度末の予定病床数	2019年度末の予定病床数	2020年度末の予定病床数	2023年度末の予定病床数
病院	医療保険	療養病床	療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1・2(20:1)		床	床	床	床
			療養病棟入院基本料 経過措置(25:1、30:1)		床	床	床	床
			地域包括ケア病棟入院料 ※病室を含む		床	床	床	床
			回復期リハビリテーション病棟入院料		床	床	床	床
	介護保険	一般病床	一般病棟入院基本料		床	床	床	床
			その他		床	床	床	床
		療養病床	療養機能強化型A		床	床	床	床
			療養機能強化型B		床	床	床	床
精神病床	老人性認知症疾患療養病床		床	床	床	床		
診療所	医療保険	療養病床	有床診療所療養病床入院基本料		床	床	床	床
		一般病床	有床診療所入院基本料		床	床	床	床
	介護保険	療養病床	療養機能強化型A		床	床	床	床
			療養機能強化型B		床	床	床	床
その他		床	床	床	床			
(病床転換を行う場合) 介護保険施設・居宅サービス等	介護保険施設	介護医療院	I型介護医療院		床	床	床	床
			II型介護医療院		床	床	床	床
		介護老人保健施設		床	床	床	床	
	居宅サービス・地域密着型サービス	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅(特定施設入居者生活介護)※1			床	床	床	床
		有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅(特定施設入居者生活介護なし)			床	床	床	床
		養護老人ホーム			床	床	床	床
		軽費老人ホーム			床	床	床	床
		認知症対応型共同生活介護(認知症グループホーム)			床	床	床	床
		小規模多機能型居宅介護			床	床	床	床
		看護小規模多機能型居宅介護			床	床	床	床
その他			床	床	床	床		
上記のいずれにも移行せず病床廃止					床	床	床	床
未定					床	床	床	床
合計					床	床	床	床

合計数はいずれも同じ

※1: この調査票では、平成30年9月30日時点の介護療養型医療施設分のみの予定をご記入ください。  
(新規の開設や一般病床等他の病床を再編しての移行を考慮する必要はありません。)

平成30年度 厚生労働省 介護報酬改定検証調査  
介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査  
＜医療療養病床票(病院・診療所)＞

1. 本調査票は「医療療養病床」について、問1～問4、問11～14は施設長様もしくは事務長様が、問5～10は看護師長様にご回答ください。
2. ご回答にあたっては、同封の「調査説明資料」をご参照ください。
3. 対象となる病棟が複数ある場合には、該当するすべての病棟を合算した数としてご回答ください。
4. 本調査結果は報告書として公表されますが、各回答結果は統計的処理を行った上で公表いたしますので、個別の回答が特定されることはございません。
5. ご回答内容は本調査の目的以外に用いられることはありません。
6. お忙しいところ恐縮ではございますが、**平成30年11月21日(水)**までに調査票にご記入いただき、同封の返送用封筒を用いて調査事務局までご返送ください。

【お問合せ先】

「介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査」調査事務局  
TEL：0120-252-441（平日9:30～17:00） FAX：0120-252-442（24時間）  
E-mail：h30kaigo@mizuho-ir.co.jp

法人名		施設名	
ご担当者名		部署・役職名	
ご連絡先 (tel)			

※ 施設名、および記入者のお名前・ご連絡先は必ずご記入いただきますようお願い申し上げます。調査票をご返送いただいた後、事務局より記入内容について問い合わせをさせていただく場合がございます。

○本調査票は医療療養病床に関する調査票です。

「療養病棟入院基本料」「有床診療所療養病床入院基本料」の医療療養病床を有する場合のみ、本調査票にご回答ください。

問1	平成30年9月30日時点の医療療養病床の区分をご回答ください。		
01	療養病棟入院基本料	療養病棟入院料1	
02	療養病棟入院基本料	療養病棟入院料2	
03	療養病棟入院基本料	経過措置1	(看護職員配置25:1、又は医療区分2・3の患者割合50%未満)
04	療養病棟入院基本料	経過措置2	(看護職員配置30:1)
05	療養病棟入院基本料	特別入院基本料	
06	有床診療所療養病床入院基本料		

問12 【問11 2023年度末の予定病床数で「介護療養型医療施設」に回答された方がお答えください】  
2023年度末までに貴院の介護療養型医療施設を移行しない理由として、現時点の考えにあてはまる  
選択肢すべてに○をつけてください。  
(複数回答可)

- 01 2024年度以降に移行する予定である
- 02 介護療養型医療施設を継続することが自院の経営に最も適していると考えている
- 03 介護医療院等に移行すると医療法上の病院・診療所でなくなってしまうことに抵抗がある
- 04 2021年介護報酬改定の結果を見て判断するつもりである
- 05 その他 ( )

問13 【問11 2023年度末の予定病床数で「未定」に回答された方がお答えください】  
予定病床数が未定の場合、現在の検討状況について該当する選択肢すべてに○をつけてください。  
(複数回答可)

- 01 2023年度までに移行を行うことは検討しているが、移行先が未定である
- 02 なんらかの移行を行うことは検討しているが、移行時期が未定である
- 03 移行に関して院内で検討しているが、移行先も移行時期も未定である
- 04 移行に関して院内で検討しておらず、まったくの未定である
- 05 その他 ( )

問14 貴院の介護療養型医療施設を介護医療院に移行すると仮定した場合、課題と考える項目を最大3つまで  
選び○をつけてください。  
(複数回答可)

- 01 利用者が必要とする十分な医療ケアを提供することができない
- 02 ターミナルケアを提供しにくい
- 03 院内の他の診療科との連携が希薄になる
- 04 職員のモチベーションが維持できない
- 05 移行した場合、十分な数の医師を雇用することができない
- 06 移行した場合、十分な数の看護職員を雇用することができない
- 07 移行した場合、十分な数の介護職員を雇用することができない
- 08 利用者や家族への説明が難しい
- 09 利用者にとっての生活の場となるような配慮が難しい
- 10 施設経営の見通しが立たない(経営状況が悪化する恐れがある)
- 11 稼働率を維持するのに十分な利用者を集めることができない
- 12 周囲の他の介護施設等との差別化ができない
- 13 地域で医療機関としての機能を残すことにニーズがある
- 14 自治体における相談・手続がスムーズに進められない
- 15 その他 ( )
- 16 課題と考えることは何もない

以上で調査は終了です。ご協力誠にありがとうございました。  
ご回答済みの調査票は、平成30年11月21日(水)までに同封の返送用封筒にてご返送ください。

問2 貴院の医療療養病床の届出病床数と構造設備についてご回答ください。

1) 医療療養病床の届出病床数						人
2) 病室の部屋数と延べ床面積 ※1						
	4人部屋	3人部屋	2人部屋	個室	ユニット個室	
部屋数	室	室	室	室	室	室
延べ床面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
3) 廊下幅 ※2						
廊下の最低幅	m	うち中廊下の最低幅				m / 中廊下はない

※1:「延べ床面積」は、合計値を回答してください(20㎡の部屋と18㎡の部屋がある場合には計38㎡)。  
 ※2:「廊下幅」は、壁から壁で測定した場合に、最も狭い幅を回答してください。  
 「中廊下」とは、廊下の両側に療養室等又はエレベーター室のある廊下を指します。  
 該当する廊下がない場合には「中廊下はない」に○をつけてください。

問3 平成30年9月30日時点の貴院の医療療養病床の職員配置(いずれも常勤換算※)をご記入ください。  
 ※平成30年9月30日には出勤していない者を含め、平成30年9月30日に在籍している全ての職員についてご回答ください。

	専従	他の病棟等と兼務	夜勤の配置数
	常勤換算の配置数	常勤換算の配置数	1病棟あたり人数
看護師	人	人	人
准看護師	人	人	人
介護福祉士	人	人	人
介護福祉士以外の 看護補助者・介護職員	人	人	人

※常勤換算の計算方法

職員数の算出については、「常勤職員の実人数」+「非常勤職員の常勤換算人数」より求めてください。  
 非常勤職員の常勤換算にあたっては、「直近1週間に当該病棟で従事した勤務時間」を「施設の通常の勤務時間」で除した数値を算出してください。(小数点第二位を切り捨てして下さい)

問4 貴院の医療療養病床の入院患者数、延べ入院日数をご記入ください。

①入院患者数(平成30年9月30日24時時点)	人
②うち、40歳未満の入院患者	人
③うち、40~64歳の入院患者	人
④うち要介護(要支援)認定者(2号被保険者)、または特定疾病(※1)を有する入院患者	人
⑤延べ入院患者数(平成30年7月1日~9月30日の3ヶ月間)(※2)	人

※1:特定疾病は、次に挙げる16種類とします。

- 1.末期がん、 2.筋萎縮性側索硬化症、 3.後縦靭帯骨化症、 4.骨折を伴う骨粗しょう症、 5.多系統萎縮症
- 6.初老期における認知症、 7.脊髄小脳変性症、 8.脊柱管狭窄症、 9.早老症
- 10.糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症および糖尿病性網膜症、 11.脳血管疾患
- 12.進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症およびパーキンソン病
- 13.閉塞性動脈硬化症、 14.関節リウマチ、 15.慢性閉塞性肺疾患
- 16.両側の膝関節または股関節に著しい変形を伴う変形性関節症

※2:「延べ入院患者数」は、平成30年7月1日~9月30日の3ヶ月間の入院患者数を足しあげたものです。7月1日の入院患者が50人、7月2日が49人、7月3日が51人、・・・であれば、50+49+51+・・・として算出してください。

問5 平成30年9月30日24時時点の医療療養病床における患者の状態像(医療区分・ADL区分・要介護度・障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)・認知症高齢者の日常生活支援度)についてご記入ください。  
 各回答欄の合計人数が、問4①の入院患者数と同じになるようにご記入ください。

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	不明、未実施
医療区分	人	人	人	人

※「不明、未実施」であっても医療区分の適用が可能な場合には、各医療区分別の該当人数をご記入ください。

	ADL区分1	ADL区分2	ADL区分3	不明、未実施
ADL区分	人	人	人	人

※「不明、未実施」であってもADL区分の適用が可能な場合には、各ADL区分別の該当人数をご記入ください。

	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中※	不明/未申請
要介護度	人	人	人	人	人	人	人	人

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入院時点で区分未決定の場合を含みます。

	ランクJ	ランクA1	ランクA2	ランクB1	ランクB2	ランクC1	ランクC2	不明
障害高齢者の 日常生活自立度 (寝たきり度)	人	人	人	人	人	人	人	人

※障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)については、調査説明資料をご確認ください。

	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明 未実施
認知症高齢者の 日常生活自立度	人	人	人	人	人	人	人	人	人

※認知症高齢者の日常生活自立度については、調査説明資料をご確認ください。

問6 平成30年9月の1か月間における医療療養病床への入院患者に対する、リハビリテーションの実施状況をご記入ください。

1) 1か月にリハビリテーションが必要だった入院患者数	人
2) 以下のリハビリテーション料の算定はありましたか。 算定があった場合には算定延べ単位数を、算定がなかった場合には0(ゼロ)とご記入ください。	

①心大血管疾患リハビリテーション料	単位	⑧難病患者リハビリテーション料	単位
②脳血管疾患等リハビリテーション料	単位	⑨障害児(者)リハビリテーション料	単位
③廃用症候群リハビリテーション料	単位	⑩がん患者リハビリテーション料	単位
④運動器リハビリテーション料	単位	⑪認知症患者リハビリテーション料	単位
⑤呼吸器リハビリテーション料	単位	⑫リンパ浮腫複合的治療料	単位
⑥摂食機能療法	単位	⑬集団コミュニケーション療法料	単位
⑦視能訓練	単位		



<b>問7 平成30年9月30日24時時点の医療療養病床における入院患者のうち、重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者</b> （厚生労働省が示す基準による）について、各状態にあてはまる入院患者数をご記入ください。※1 （同一の患者が複数の状態にあてはまる場合、 <u>あてはまる状態全てにカウントしてください。</u> ）※2 併せて、最下欄に下記の状態にあてはまる入院患者の実人数をご記入ください。	
重篤な身体疾患を有する者	
①NYHA 分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	人
②Hugh-Jones 分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する1週間以上人工呼吸器を必要としている状態	人
③各週2日以上的人工腎臓の実施が必要である者（※3）のうち	
常時低血圧（収縮時血圧が90mmHg以下）	人
透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	人
出血性消化器病変を有するもの	人
骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	人
④Child-Pugh 分類C以上の肝機能障害の状態	人
⑤連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態	人
⑥単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	人
⑦現に経口により食事を摂取している者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	人
身体合併症を有する認知症高齢者	
①認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	人
②認知症であって、別に掲げるいずれかの疾病（※4）と診断された者	人
③認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又はMに該当する者	人
上記の状態にあてはまる入院患者の実人数（1つ以上の項目にあてはまった人数）	人
※1：本調査では「平成30年9月30日24時時点」の人数としてご回答ください。 ※2：療養機能強化型介護療養型医療施設の算定要件上は、同一の者について「重篤な身体疾患を有する者」の基準及び「身体合併症を有する認知症高齢者」の基準のいずれにも当てはまる場合は、いずれか一方にのみ含めるものとなっていますが、本調査では入院患者の状態像を把握するため、当てはまる状態全てにカウントしてください。 ※3：「人工腎臓の実施」は他科受診によるものであっても構いません。 ※4：「別に掲げる疾病」とは、厚生労働省の示す基準に則り、以下の疾病を指します。 パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病）、多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群）、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、広範脊柱管狭窄症、後縦靭帯骨化症、黄色靭帯骨化症、悪性関節リウマチ	

<b>問8 貴院の医療療養病床におけるアドバンス・ケア・プランニング（ACP）※に関する取組についてご回答ください。</b>	
1) 医療療養病床ではACPに取り組んでいますか	01 取り組んでいる 02 取り組んでいない
2) ACPに取り組む上で何が困難ですか（複数回答可）	01 本人意思決定の評価 02 本人が意思表示できない 03 代理決定者が定まらない 04 ACPとして関わり始める時期の見極め 05 ACPとして実施する内容 06 病院としての方針・指針がない 07 ACPをするための体制が不十分 08 ACPを実施するためのチームの連携がうまくとれない 09 ACPを実施するための時間がとれない 10 ACPを実施するにあたり本人・家族が拒否的 11 その他（ 12 困難なことは特にない
3) 【1）で01取り組んでいると回答した場合】 ACPで話し合う内容のうち特に重視すること。（○はひとつ）	01 入院患者の気がかりや意向 02 入院患者の価値観や目標 03 病状や予後の理解 04 治療や療養に関する意向 05 代理決定者が適任者であるかの見極め、決定 06 その他（
4) ACPに関する院内での職員研修の有無	01 院内で研修をしている 02 研修をしていない
5) 【4）で「01」と回答した場合】 ACPに関する職員研修の頻度	01 年1回 02 年に2～4回 03 年に5回～毎月開催 04 その他
6) 職員の中にACPに関する院外の研修を受講した方はいますか。（職種については複数回答可）	01 受講者がいる →11 医師 12 薬剤師 13 看護職員 14 介護職員 15 リハビリ専門職 16 管理栄養士・栄養士 17 その他の職種 02 受講者はいない
※「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」とは、今後の治療・療養について患者・家族と医療従事者があらかじめ話し合う自発的なプロセスを指します。	

問9 貴院におけるターミナルケアに関する取組についてご回答ください。	
1) 貴院では看取り期に入った入院患者に対して、ターミナルケアに取り組んでいますか。	01 取り組んでいる 02 取り組んでいない
2) 貴院ではターミナルケアに取り組むにあたって、院内でのマニュアル等を整備していますか。	01 整備している 02 整備していない
3) 看取りに関する院内での職員研修の有無	01 院内で研修をしている 02 研修をしていない
4) 【3)で「01」と回答した場合】看取りに関する職員研修の頻度	01 年1回 02 年に2～4回 03 年に5回～毎月開催 04 その他
5) 職員の中にターミナルケアに関する院外の研修を受講した方はいますか。 (職種については複数回答可)	01 受講者がいる →11 医師 12 薬剤師 13 看護職員 14 介護職員 15 リハビリ専門職 16 管理栄養士・栄養士 17 その他の職種 02 受講者はいない

問10  
1) 平成30年9月30日24時時点の医療療養病床の入院患者のうち、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)を実施した入院患者の人数をご記入ください。  
2) 以下の①～③の条件全てに適合する入院患者(ターミナル期のケアを提供している入院患者)の人数と平成30年7月1日～9月30日の3ヶ月間の延べ入院日数をご記入下さい。  
① 医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断した者である。  
② 入院患者等又はその家族等の同意を得て、入院患者等のターミナルケアに係る計画が作成されている。  
③ 医師、看護師、介護職員等が共同して、入院患者等の状態又は家族の求め等に応じ随時、本人又はその家族への説明を行い、同意を得てターミナルケアが行われている。

1) アドバンス・ケア・プランニング(ACP)を実施した入院患者	人数(9月30日時点)	
		人
2) ターミナルケアを提供している入院患者(①～③の条件全てに適合する入院患者)	人数(9月30日時点)	3ヶ月間の延べ入院日数(※)
		人

※平成30年9月30日24時時点でターミナルケアを提供している入院患者がいる場合、ターミナルケアを開始した時期に関わらず、その方の過去3ヶ月間の延べ入院日数をご記入ください。  
例) 平成30年1月1日に入院し、9月15日からターミナルケアを開始(9月30日24時時点でターミナルケアを提供)している場合、3ヶ月間の延べ入院日数は、7～9月の延べ91日となります。

問11 平成30年9月30日時点の貴院の医療療養病床に係る届出病床数と、2018年度末、2019年度末、2020年度末、2023年度末時点に想定される予定病床数についてお答えください。  
(該当しない箇所は空欄としていただいて構いません。)  
(予定が未定である場合には、最下行の「未定」行に床数をご記入ください。)

		基準病床	入院料・基準等の種別	現在の療養病床に係る届出病床数	2018年度末の予定病床数	2019年度末の予定病床数	2020年度末の予定病床数	2023年度末の予定病床数
病院	医療保険	療養病床	療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1・2(20:1)	床	床	床	床	床
			療養病棟入院基本料 経過措置(25:1、30:1)	床	床	床	床	床
			療養病棟入院基本料 特別入院基本料	床	床	床	床	床
			地域包括ケア病棟入院料 ※病室を含む		床	床	床	床
		回復期リハビリテーション病棟入院料		床	床	床	床	
		一般病床	一般病棟入院基本料		床	床	床	床
		その他		床	床	床	床	
診療所	医療保険	療養病床	有床診療所療養病床入院基本料	床	床	床	床	床
		一般病床	有床診療所入院基本料		床	床	床	床
(病床転換を行う場合) 介護保険施設・居宅サービス等	介護保険施設	介護医療院	I型介護医療院		床	床	床	床
			II型介護医療院		床	床	床	床
		介護老人保健施設		床	床	床	床	
		介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)		床	床	床	床	
	居宅サービス・地域密着型サービス	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅(特定施設入居者生活介護)※1		床	床	床	床	
		有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅(特定施設入居者生活介護なし)		床	床	床	床	
		養護老人ホーム		床	床	床	床	
		軽費老人ホーム		床	床	床	床	
		認知症対応型共同生活介護(認知症グループホーム)		床	床	床	床	
		小規模多機能型居宅介護		床	床	床	床	
看護小規模多機能型居宅介護		床	床	床	床			
その他		床	床	床	床			
		上記のいずれにも移行せず病床廃止		床	床	床	床	
		未定		床	床	床	床	
合計				床	床	床	床	

合計数はいずれも同じ

※1: この調査票では、平成30年9月30日時点で「療養病棟入院基本料」「有床診療所療養病床入院基本料」を届け出ている医療療養病床分のみ予定をご記入ください。  
(新規の開設や一般病床等他の病床を再編しての移行を考慮する必要はありません。)



平成30年度 厚生労働省 介護報酬改定検証調査  
介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査  
＜介護療養型老人保健施設票＞

1. 本調査票は療養病床等から転換し開設した経緯のある「介護老人保健施設」について、問1～4、問11～問17は施設長様もしくは事務長様が、問5～10は看護師長様にご回答ください。
2. ご回答にあたっては、同封の「調査説明資料」をご参照ください。
3. 本調査結果は報告書として公表されますが、各回答結果は統計的処理を行ったうえで公表いたしますので、個別の回答が特定されることはございません。
4. ご回答内容は本調査の目的以外に用いられることはありません。
5. お忙しいところ恐縮ではございますが、**平成30年11月27日（火）**までに調査票にご記入いただき、同封の返送用封筒を用いて調査事務局までご返送ください。

【お問合せ先】

「介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査」調査事務局  
 TEL：0120-252-441（平日9:30～17:00） FAX：0120-252-442（24時間）  
 E-mail：h30kaigo@mizuho-ir.co.jp

法人名		施設名	
ご担当者名		部署・役職名	
ご連絡先（tel）		所在地の郵便番号	

※ 施設名、および記入者のお名前・ご連絡先は必ずご記入いただきますようお願い申し上げます。調査票をご返送いただいた後、事務局より記入内容について問い合わせをさせていただく場合がございます。

問1 平成30年9月30日時点の貴施設の概要をご回答ください。

1) 開設者	01 医療法人（医療法人社団・医療法人財団・社会医療法人） 02 社団・財団法人（01以外） 03 国公立 04 個人 05 その他（ ）
2) 定員	（ ）人
3) 施設サービス費	01 介護保健施設サービス費（Ⅰ） 02 介護保健施設サービス費（Ⅱ）（療養型老健、看護職員を配置） 03 介護保健施設サービス費（Ⅲ）（療養型老健、看護オンコール体制） 04 介護保健施設サービス費（Ⅳ） 05 ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅰ） 06 ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅱ）（療養型老健、看護職員を配置） 07 ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅲ）（療養型老健、看護オンコール体制） 08 ユニット型介護保健施設サービス費（Ⅳ）

問12 【問11 2023年度末の予定病床数で「医療療養病床」に回答された方がお答えください】  
2023年度末までに貴院の医療療養病床を移行しない理由として、現時点の考えにあてはまる選択肢すべてに○をつけてください。  
(複数回答可)

- 01 2024年度以降に移行する予定である
- 02 医療療養病床を継続することが自院の経営に最も適していると考えている
- 03 介護医療院等に移行すると医療法上の病院・診療所でなくなってしまうことに抵抗がある
- 04 2021年介護報酬改定の結果を見て判断するつもりである
- 05 その他（ ）

問13 【問11 2023年度末の予定病床数で「未定」に回答された方がお答えください】  
予定病床数が未定の場合、現在の検討状況について該当する選択肢すべてに○をつけてください。  
(複数回答可)

- 01 2023年度までに移行を行うことは検討しているが、移行先が未定である
- 02 なんらかの移行を行うことは検討しているが、移行時期が未定である
- 03 移行に関して院内で検討しているが、移行先も移行時期も未定である
- 04 移行に関して院内で検討しておらず、まったくの未定である
- 05 その他（ ）

問14 貴院の医療療養病床を介護医療院に移行すると仮定した場合、課題と考える項目を最大3つまで選び○をつけてください。  
(複数回答可)

- 01 利用者が必要とする十分な医療ケアを提供することができない
- 02 ターミナルケアを提供しにくい
- 03 院内の他の診療科との連携が希薄になる
- 04 職員のモチベーションが維持できない
- 05 移行した場合、十分な数の医師を雇用することができない
- 06 移行した場合、十分な数の看護職員を雇用することができない
- 07 移行した場合、十分な数の介護職員を雇用することができない
- 08 利用者や家族への説明が難しい
- 09 利用者にとっての生活の場となるような配慮が難しい
- 10 施設経営の見通しが立たない（経営状況が悪化する恐れがある）
- 11 稼働率を維持するのに十分な利用者を集めることができない
- 12 周囲の他の介護施設等との差別化ができない
- 13 地域で医療機関としての機能を残すことにニーズがある
- 14 自治体における相談・手続がスムーズに進められない
- 15 その他（ ）
- 16 課題と考えることは何もない

以上で調査は終了です。ご協力誠にありがとうございました。  
ご回答済みの調査票は、平成30年11月21日（水）までに同封の返送用封筒にてご返送ください。

4) 併設する医療機関	01 病院を併設	02 診療所を併設	03 併設医療機関なし
5) 併設医療機関がある場合、その医療機関の有する病床	01 一般病床 (一般病棟入院基本料)		
	02 一般病床 (地域包括ケア病棟入院料 (病床を含む))		
	03 一般病床 (障害者施設等入院基本料)		
	04 一般病床 (有床診療所入院基本料)		
	05 一般病床 (その他)		
	06 療養病床 (療養病棟入院基本料 療養病棟入院料 1・2 (20:1))		
	07 療養病床 (療養病棟入院基本料 経過措置 1 (25:1、医療区分 2・3 の患者割合 50%未満))		
	08 療養病床 (療養病棟入院基本料 経過措置 2 (30:1))		
	09 療養病床 (療養病棟入院基本料 特別入院基本料)		
	10 療養病床 (地域包括ケア病棟入院料 (病床を含む))		
	11 療養病床 (回復期リハビリテーション病棟入院料)		
	12 療養病床 (介護療養病床 (病院))		
	13 療養病床 (有床診療所療養病床入院基本料)		
	14 療養病床 (介護療養病床 (診療所))		
	15 その他の病床		
	16 病床なし (無床診療所)		

問2 平成30年9月30日時点の貴施設の職員配置 (いずれも常勤換算※) をご記入ください。

※平成30年9月30日には出勤していない者を含め、平成30年9月30日に在籍している全ての職員についてご回答ください。

	専従	他の施設等と兼務	夜勤の配置数
	常勤換算の配置数	常勤換算の配置数	1日あたり人数
医師	人	人	
薬剤師	人	人	
看護師	人	人	人
准看護師	人	人	人
介護福祉士	人	人	人
介護福祉士以外の介護職員	人	人	人
理学療法士	人	人	
作業療法士	人	人	
言語聴覚士	人	人	
管理栄養士	人	人	
栄養士	人	人	
介護支援専門員	人	人	
支援相談員	人	人	
診療放射線技師	人	人	

※常勤換算の計算方法

職員数の算出については、「常勤職員の実人数」+「非常勤職員の常勤換算人数」より求めてください。  
非常勤職員の常勤換算にあたっては、「直近1週間に当該施設で従事した勤務時間」を「施設の通常の勤務時間」で除した数値を算出してください。(小数点第二位を切り捨てして下さい)

問3 貴施設の構造設備についてご回答ください。

1) 療養室の部屋数と延べ床面積 ※1

	4人部屋	3人部屋	2人部屋	個室	ユニット個室
部屋数	室	室	室	室	室
延べ床面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>

2) 廊下幅 ※2

廊下の最低幅	m	うち中廊下の最低幅	m / 中廊下はない

※1:「延べ床面積」は、合計値を回答してください (20 m<sup>2</sup>の部屋と 18 m<sup>2</sup>の部屋がある場合には計 38 m<sup>2</sup>)。

※2:「廊下幅」は、壁から壁で測定した場合に、最も狭い幅を回答してください。

「中廊下」とは、廊下の両側に療養室等又はエレベーター室のある廊下を指します。

該当する廊下がない場合には「中廊下はない」に○をつけてください。

問4 貴施設の入所者数、延べ入所日数をご記入ください。

①入所者数 (平成30年9月30日24時時点)	人
②うち、住民税非課税所得世帯 (第一段階) の入所者	人
③うち、住民税非課税所得世帯 (第二段階) の入所者	人
④うち、住民税非課税所得世帯 (第三段階) の入所者	人
⑤延べ入所者数 (平成30年7月1日～9月30日の3ヶ月間) ※1	人

※1:「延べ入所者数」は、平成30年7月1日～9月30日の3ヶ月間の入所者数を足しあげたものです。7月1日の入所者が50人、7月2日が49人、7月3日が51人、・・・であれば、50+49+51+・・・として算出してください。

問5 平成30年9月30日24時時点の貴施設における入所者の状態像 (医療区分・ADL区分・要介護度・障害高齢者の日常生活自立度 (寝たきり度)・認知症高齢者の日常生活支援度) についてご記入ください。各回答欄の合計人数が、問4①の入所者数と同じになるようにご記入ください。

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	不明、未実施
医療区分	人	人	人	人

※「不明、未実施」であっても医療区分の適用が可能な場合には、各医療区分別の該当人数をご記入ください。

	ADL区分1	ADL区分2	ADL区分3	不明、未実施
ADL区分	人	人	人	人

※「不明、未実施」であってもADL区分の適用が可能な場合には、各ADL区分別の該当人数をご記入ください。

	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中※
要介護度		人	人	人	人	人	人

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

	ランクJ	ランクA1	ランクA2	ランクB1	ランクB2	ランクC1	ランクC2	不明
障害高齢者の日常生活自立度 (寝たきり度)	人	人	人	人	人	人	人	人

※障害高齢者の日常生活自立度 (寝たきり度) については、調査説明資料をご確認ください。

	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明未実施
認知症高齢者の日常生活自立度	人	人	人	人	人	人	人	人	人

※認知症高齢者の日常生活自立度については、調査説明資料をご確認ください。

問6 平成30年9月の1か月間における貴施設への入所者に対する、リハビリテーションの実施状況をご記入ください。			
1) 1か月間にリハビリテーションが必要だった入所者数			人
2) 加算のうち、以下のリハビリテーションに関する算定はありましたか。算定があった場合には算定延べ回数を、算定がなかった場合には0(ゼロ)とご記入ください。			
①栄養マネジメント加算	人日	⑨作業療法	回
②低栄養リスク改善加算	人	⑩言語聴覚療法	回
③経口移行加算	人日	⑪集団コミュニケーション療法	回
④経口維持加算	人	⑫摂食機能療法	人日
⑤口腔衛生管理加算	人	⑬短期集中リハビリテーション	人日
⑥排せつ支援加算	人	⑭認知症短期集中リハビリテーション	人日
⑦理学療法(Ⅰ)	回	⑮精神科作業療法	人日
⑧理学療法(Ⅱ)	回	⑯認知症老人入所精神療法	回(週)

問7 平成30年9月30日24時時点の貴施設における入所者のうち、重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者(厚生労働省が示す基準による)について、各状態にあてはまる入所者数をご記入ください。※1 (同一の入所者が複数の状態にあてはまる場合、あてはまる状態全てにカウントしてください。)※2 併せて、最下欄に下記の状態にあてはまる入所者の実人数をご記入ください。	
重篤な身体疾患を有する者	
①NYHA分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	人
②Hugh-Jones分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する1週間以上人工呼吸器を必要としている状態	人
③各週2日以上的人工腎臓の実施が必要である者(※3)のうち	
常時低血圧(収縮時血圧が90mmHg以下)	人
透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	人
出血性消化器病変を有するもの	人
骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	人
④Child-Pugh分類C以上の肝機能障害の状態	人
⑤連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態	人
⑥単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	人
⑦現に経口により食事を摂取している者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	人
身体合併症を有する認知症高齢者	
①認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	人
②認知症であって、別に掲げるいずれかの疾病(※4)と診断された者	人
③認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又はMに該当する者	人
上記の状態にあてはまる入所者の実人数(1つ以上の項目にあてはまった人数)	
人	

※1:本調査では「平成30年9月30日24時時点」の人数としてご回答ください。  
 ※2:「介護医療院Ⅰ型」算定要件上は、同一の者について「重篤な身体疾患を有する者」の基準及び「身体合併症を有する認知症高齢者」の基準のいずれにも当てはまる場合は、いずれか一方にのみ含めるものとなっておりますが、本調査では入所者の状態像を把握するため、当てはまる状態全てにカウントしてください。  
 ※3:「人工腎臓の実施」は他科受診によるものであっても構いません。  
 ※4:「別に掲げる疾病」とは、厚生労働省の示す基準に則り、以下の疾病を指します。  
 パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病)、多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群)、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、広範脊柱管狭窄症、後縦靭帯骨化症、黄色靭帯骨化症、悪性関節リウマチ



問8 貴施設におけるアドバンス・ケア・プランニング（ACP）※に関する取組についてご回答ください。	
1) 貴施設では ACP に取り組んでいますか	01 取り組んでいる 02 取り組んでいない
2) ACP に取り組む上で何が困難ですか (複数回答可)	01 本人意思決定の評価 02 本人が意思表示できない 03 代理決定者が定まらない 04 ACP として関わり始める時期の見極め 05 ACP として実施する内容 06 施設としての方針・指針がない 07 ACP をするための体制が不十分 08 ACP を実施するためのチームの連携がうまくとれない 09 ACP を実施するための時間がとれない 10 ACP を実施するにあたり本人・家族が拒否的 11 その他 ( ) 12 困難なことは特にない
3) 【1) で 01 取り組んでいると回答した場合】 ACP で話し合う内容のうち特に重視すること。(○はひとつ)	01 入所者の気がかりや意向 02 入所者の価値観や目標 03 病状や予後の理解 04 治療や療養に関する意向 05 代理決定者が適任者であるかの見極め、決定 06 その他 ( )
4) ACP に関する施設内での職員研修の有無	01 施設内で研修をしている 02 研修をしていない
5) 【4) で「01」と回答した場合】 ACP に関する職員研修の頻度	01 年1回 02 年に2～4回 03 年に5回～毎月開催 04 その他
6) 職員の中に ACP に関する施設外の研修を受講した方はいますか。 (職種については複数回答可)	01 受講者がいる →11 医師 12 薬剤師 13 看護職員 14 介護職員 15 リハビリ専門職 16 管理栄養士・栄養士 17 その他の職種 02 受講者はいない
※「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」とは、今後の治療・療養について利用者・家族と医療従事者等があらかじめ話し合う自発的なプロセスを指します。	

問9 貴施設におけるターミナルケアに関する取組についてご回答ください。		
1) 貴施設では看取り期に入った入所者に対して、ターミナルケアに取り組んでいますか。	01 取り組んでいる 02 取り組んでいない	
2) 貴施設ではターミナルケアに取り組むにあたって、施設内でのマニュアル等を整備していますか。	01 整備している 02 整備していない	
3) 看取りに関する施設内での職員研修の有無	01 施設内で研修をしている 02 研修をしていない	
4) 【3) で「01」と回答した場合】 看取りに関する職員研修の頻度	01 年1回 02 年に2～4回 03 年に5回～毎月開催 04 その他	
5) 職員の中にターミナルケアに関する施設外の研修を受講した方はいますか。 (職種については複数回答可)	01 受講者がいる →11 医師 12 薬剤師 13 看護職員 14 介護職員 15 リハビリ専門職 16 管理栄養士・栄養士 17 その他の職種 02 受講者はいない	
問10		
1) 平成30年9月30日24時時点の入所者のうち、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を実施した入所者の人数をご記入ください。		
2) 以下の①～③の条件全てに適合する入所者（ターミナル期のケアを提供している入所者）の人数と平成30年7月1日～9月30日の3ヶ月間の延べ入所日数をご記入下さい。		
① 医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断した者である。		
② 入所者等又はその家族等の同意を得て、入所者等のターミナルケアに係る計画が作成されている。		
③ 医師、看護師、介護職員等が共同して、入所者等の状態又は家族の求め等に応じ随時、本人又はその家族への説明を行い、同意を得てターミナルケアが行われている。		
1) アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を実施した入所者	人数（9月30日時点）	人
2) ターミナルケアを提供している入所者（①～③の条件全てに適合する入所者）	人数（9月30日時点）	3ヶ月間の延べ入所日数（※）
	人	日
※平成30年9月30日24時時点でターミナルケアを提供している入所者がいる場合、ターミナルケアを開始した時期に関わらず、その方の過去3ヶ月間の延べ入所日数をご記入ください。		
例) 平成30年1月1日に入所し、9月15日からターミナルケアを開始（9月30日24時時点でターミナルケアを提供）している場合、3ヶ月間の延べ入所日数は、7～9月の延べ91日となります。		

問 1 1 貴施設で実施されている地域に貢献する活動・地域と交流する活動についてお伺いします。

1) 活動の実施件数 (2018 年度実施済み・実施予定延べ回数)	
① 保健・医療・福祉	—
①-1 健康教室・介護予防教室・栄養教室等 (施設内での開催、職員の派遣を含む)	回
①-2 介護教室・介護相談 (家族介護者に対する支援)	回
①-3 認知症カフェ・住民カフェ	回
①-4 その他の取組み	回
② 教育支援 (職場体験)	回
③ 文化・環境保全 (祭りや伝統行事の開催・地域の美化・緑化・地域環境保全)	回
④ 経済の振興 (地域産業の活性化・商店街の活性化・特産品や農水産物の活用)	回
⑤ 防犯・防災 (防犯・消防や防災・災害対応)	回
⑥ ボランティアの受け入れ	回
⑦ その他 ( )	回
2) 活動を実施するにあたって、連携している組織 (複数回答可)	01 都道府県 02 市区町村 03 町内会 04 ボランティア団体 05 保育園・幼稚園 06 小・中学校 07 地域包括支援センター 08 その他 ( )

問 1 2 介護医療院に関する事項についてお伺いします。

1) 平成 30 年 4 月から創設された「介護医療院」にはどの程度関心がありますか。	01 非常に関心がある 02 関心がある 03 関心がない
2) 【1) で「01」又は「02」と回答した場合】介護医療院に関する情報収集を行っていますか。	01 行っている      02 行っていない
3) 「介護医療院」の具体的な開設手順を知っていますか。	01 知っている      02 知らない
4) 療養病床から転換した経緯のある介護老人保健施設が「介護医療院」に転換する場合、右に挙げる経過措置が適用されることを知っていますか。(知っている項目すべてに○)	01 療養室の床面積は、新築、増築又は全面的な改築の工事が終了するまでの間は、内法による測定で入所者 1 人当たり 6.4 平方メートル以上でよい。 02 建物の耐火構造は、建築基準法の基準によるものでよい。 03 屋内の直通階段及びエレベーターについては、転換前の医療法による基準と同等のものでよい。 04 療養室に隣接する廊下の幅は、内法による測定で、1.2 メートル以上 (ただし、両側に療養室等又はエレベーター室がある廊下の幅は、内法による測定で、1.6 メートル以上) であればよい。 05 (介護療養型老人保健施設からの転換の場合) 調剤を行う施設についての経過措置 (近隣の場所にある薬局と連携することにより置かないことができる) 06 (介護療養型老人保健施設からの転換の場合) 臨床検査施設又はエックス線装置の設置についての経過措置 (近隣の医療機関等との連携により置かないことができる)

問 1 3 貴施設を介護医療院に移行すると仮定した場合、必要と考える支援策すべてに○をつけてください。(複数回答可)

01 建物を改修・改築するための助成金 02 家具・パーティション等を調達するための助成金 03 介護医療院の基準・制度に関する情報提供 04 介護医療院の基準・制度に関する相談窓口 05 実際に介護医療院に移行した事例の紹介 06 その他 ( ) 07 支援策は特に必要ない
--

問14 平成30年9月30日時点の貴施設の定員数と、2018年度末、2019年度末、2020年度末、2023年度末時点で想定される予定定員数についてお答えください。

(該当しない箇所は空欄としていただいて構いません。)

(予定が未定である場合には、最下行の「未定」行に床数をご記入ください。)

		種別	現在の定員数	2018年度末の予定定員数	2019年度末の予定定員数	2020年度末の予定定員数	2023年度末の予定定員数	
介護保険施設・居宅サービス等	介護保険施設	介護医療院	I型介護医療院	/	床	床	床	床
			II型介護医療院	/	床	床	床	床
		介護老人保健施設		床	床	床	床	床
		介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)		/	床	床	床	床
	居宅サービス・地域密着型サービス	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅(特定施設入居者生活介護)※1		/	床	床	床	床
		有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅(特定施設入居者生活介護なし)		/	床	床	床	床
		養護老人ホーム		/	床	床	床	床
		軽費老人ホーム		/	床	床	床	床
		認知症対応型共同生活介護(認知症グループホーム)		/	床	床	床	床
		小規模多機能型居宅介護		/	床	床	床	床
		看護小規模多機能型居宅介護		/	床	床	床	床
		その他		/	床	床	床	床
	上記のいずれにも移行せずベッドを廃止		/	床	床	床	床	
	未定		/	床	床	床	床	
合計			床	床	床	床		

合計数はいずれも同じ

※1: この調査票では、平成30年9月30日時点の介護療養型老人保健施設分のみの予定をご記入ください。(新規の開設や一般病床等他の病床を再編しての移行を考慮する必要はありません。)

問15 【問14 2023年度末の予定定員数で「介護老人保健施設」に回答された方がお答えください】  
2023年度末までに貴施設を移行しない理由として、現時点の考えにあてはまる選択肢すべてに○をつけてください。(複数回答可)

01 2024年度以降に移行する予定である  
02 介護療養型老人保健施設を継続することが自施設の経営に最も適していると考えている  
03 2021年介護報酬改定の結果を見て判断するつもりである  
04 その他 ( )

問16 【問14 2023年度末の予定定員数で「未定」に回答された方がお答えください】  
予定定員数が未定の場合、現在の検討状況について該当する選択肢すべてに○をつけてください。(複数回答可)

01 2023年度までに移行を行うことは検討しているが、移行先が未定である  
02 なんらかの移行を行うことは検討しているが、移行時期が未定である  
03 移行に関して施設内で検討しているが、移行先も移行時期も未定である  
04 移行に関して施設内で検討しておらず、まったくの未定である  
05 その他 ( )

問17 貴施設を介護医療院に移行すると仮定した場合、課題と考える項目を最大3つまで選び○をつけてください。(複数回答可)

- 01 利用者が必要とする十分な医療ケアを提供することができない
- 02 ターミナルケアを提供しにくい
- 03 院内の他の診療科との連携が希薄になる
- 04 職員のモチベーションが維持できない
- 05 移行した場合、十分な数の医師を雇用することができない
- 06 移行した場合、十分な数の看護職員を雇用することができない
- 07 移行した場合、十分な数の介護職員を雇用することができない
- 08 利用者や家族への説明が難しい
- 09 利用者にとっての生活の場となるような配慮が難しい
- 10 施設経営の見通しが立たない(経営状況が悪化する恐れがある)
- 11 稼働率を維持するのに十分な利用者を集めることができない
- 12 周囲の他の介護施設等との差別化ができない
- 13 地域で医療機関としての機能を残すことにニーズがある
- 14 自治体における相談・手続がスムーズに進められない
- 15 その他 ( )
- 16 課題と考えることは何もない

以上で調査は終了です。ご協力誠にありがとうございました。  
ご回答済みの調査票は、平成30年11月27日(火)までに同封の返送用封筒にてご返送ください。

平成30年度 介護報酬改定検証・研究調査（厚生労働省委託調査）  
介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査

患者・利用者票

※本調査票は、平成30年10月3日の入院患者・利用者のうち、毎月（1月～12月）の誕生日が以下に該当する人「全員」を抽出して調査するものです。

- ・介護医療院の場合：誕生日の日付が「偶数日」の人（おおよそ1/2抽出）
- ・医療機関（介護療養型医療施設・医療療養病床）の場合：誕生日の日付が「15日」の人（おおよそ1/30抽出）
- ・介護療養型老人保健施設の場合：誕生日の日付が「10日」～「15日」の人（おおよそ1/5抽出）

※本調査票は、当該患者・利用者の状況について詳しい方がご記入ください。特に6）～20）は看護職員の方が、21）～25）はリハビリに携わる方がご記入下さい。

※ご本人・ご家族にご確認いただく必要はありません。貴施設で分かる範囲でご記入下さい。

※回答の際は、あてはまる番号を○で囲んで下さい。○を付ける数は原則1つです。○を複数に付けていただく場合は、質問文に記載しています。具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入下さい。分からない場合は「-」と記入して下さい。

※介護医療院の場合は、転換前の療養病床/介護療養型老健への入院・入所を、利用者の入院/入所時点としてください。

1) 本調査における患者・利用者ID	( ) ※貴施設で本調査用に任意のIDを付け、記載してください。お問い合わせが生じた際に利用させていただきます。			
2) 入院・入所している場所	1 介護医療院 2 介護療養型医療施設 3 療養病棟入院基本料1・2を算定している病床(20:1) 4 療養病棟入院基本料経過措置を算定している病床(25:1、30:1、医療区分2・3の患者割合が5割未満) 5 介護療養型老人保健施設			
3) 年齢	( ) 歳			
4) 性別	1 男 2 女			
5) 現在入院・入所中の場所へ入院・入所(または転棟)した日 ※介護医療院の場合は、転換前の類型への入院・入所・転棟日	平成( )年( )月( )日			
6) 要介護度(直近)	1 要支援1・2 2 要介護1 3 要介護2 4 要介護3 5 要介護4 6 要介護5 7 申請中 8 未申請 9 非該当			
7) 医療区分	1 医療区分1 2 医療区分2 3 医療区分3 4 不明			
8) 障害高齢者の日常生活自立度	1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2 6 B1 7 B2 8 C1 9 C2 10 不明			
9) 認知症高齢者の日常生活自立度	1 自立 2 I 3 IIa 4 IIb 5 IIIa 6 IIIb 7 IV 8 M 9 不明			
10) 傷病(該当するものすべてに○、主なもの1つに◎)	1 高血圧 9 筋骨格系の病気 15 パーキンソン病 2 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) (骨粗しょう症、関節症等) 16 目の病気 3 心臓病 10 外傷(転倒・骨折等) 17 耳の病気 4 糖尿病 11 がん(新生物) 18 歯科疾患 5 高脂血症(脂質異常症) 12 血液・免疫の病気 19 その他の難病 6 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 13 うつ病・精神疾患 20 その他 7 胃腸・肝臓・胆のうの病気 14 認知症 21 ない 8 腎臓・前立腺の病気 (アルツハイマー病等)			
11) 身体機能・起居動作	①寝返り	1 できる 2 つかまればできる 3 できない		
	②起き上がり	1 できる 2 つかまればできる 3 できない		
	③座位保持	1 できる 2 自分で支えればできる 3 支えてもらえばできる 4 できない		
	④両足での立位	1 できる 2 支えがあればできる 3 できない		
	⑤歩行	1 できる 2 つかまればできる 3 できない		
12) 生活機能	①移動	1 自立 2 一部介助 3 全介助		
	②えん下	1 自立 2 一部介助 3 全介助		
	③排尿	1 自立 2 一部介助 3 全介助		
	④排便	1 自立 2 一部介助 3 全介助		
	⑤衣服の着脱	1 自立 2 一部介助 3 全介助		
13) 主な日中の生活場所の状況	1 自室以外(食堂・レクリエーションルーム等) 2 自室・ベッド上・座位 3 自室・ベッド上・臥位			

14) 食事の場所	1 食堂等自室以外 2 自室 3 食事はとっていない(経管栄養等)		
15) 食事の時間	1 決められた時間に提供されている 2 本人の希望する時間に提供されている 3 日によって提供時間が異なる		
16) 入浴の回数	1 週間あたり( )回		
17) レクリエーションへの参加	1 週間あたり( )分		
18) アドバンス・ケア・プランニング(ACP)に関する取組の有無 ※今後の治療・療養について患者・家族と医療従事者があらかじめ話し合う自発的なプロセスのこと	1 はい 2 いいえ		
19) ターミナルケアの実施の有無 ※医学的に回復の見込みがないと診断された者に対し、本人・家族の同意を得て、計画的にケアを行うこと	1 はい 2 いいえ		
20) ターミナルケアの具体的な内容(複数回答可)(19)で「1はい」に○がついた場合にご回答ください。			
1 食事量の調整	4 創傷・褥瘡ケア	7 一時帰宅を含む帰宅支援	
2 水分量の調整	5 喀痰吸引	8 不安等心理的変化への対応・ケア	
3 麻薬による疼痛管理	6 環境整備(個室への移動等)	9 家族に対する相談対応・ケア	

※以降の設問はリハビリに携わる方(リハビリ専門職・看護職員)がご記入ください。

21) (介護保険適用の場合のみご記入下さい) 算定した加算(平成30年9月分)(複数回答可)			
1 経口維持加算	2 経口移行加算	3 口腔衛生管理加算	4 排せつ支援加算
22) (介護保険適用の場合のみご記入下さい) 算定した特定(特別)診療費(平成30年9月分)(複数回答可)			
1 理学療法(I・II)	2 作業療法	3 言語聴覚療法	4 集団コミュニケーション療法
5 摂食機能療法	6 短期集中リハビリテーション	7 認知症短期集中リハビリテーション実施加算	
8 精神科作業療法	9 認知症老人入院(入所)精神療法		
23) (医療保険適用の場合のみご記入下さい) 算定した加算(平成30年9月分)(複数回答可)			
1 心大血管疾患リハビリテーション料	8 難病患者リハビリテーション料		
2 脳血管疾患等リハビリテーション料	9 障害児(者)リハビリテーション料		
3 廃用症候群リハビリテーション料	10 がん患者リハビリテーション料		
4 運動器リハビリテーション料	11 認知症患者リハビリテーション料		
5 呼吸器リハビリテーション料	12 リンパ浮腫複合的治療料		
6 摂食機能療法	13 集団コミュニケーション療法料		
7 視能訓練			
24) リハビリテーションの具体的な内容 ※21) 22) もしくは23) で1つ以上○がついた場合にご回答ください。			
①内容(複数回答可)	1 関節可動域訓練	13 トイレ訓練	
	2 筋力増強訓練	14 入浴訓練	
	3 筋緊張緩和(ストレッチ等)	15 その他ADL訓練	
	4 持久力訓練	16 IADL練習(家事・調理・買い物等)	
	5 バランス練習	17 用具の適応訓練(車いす、杖、補聴器等)	
	6 起居/立位動作練習	18 在宅生活の模擬的訓練	
	7 移乗動作訓練	19 記憶機能に関する訓練	
	8 歩行訓練	20 認知機能に関する訓練	
	9 体操	21 趣味活動(手工芸、園芸、編み物等)	
	10 摂食・嚥下訓練	22 介助方法の指導	
	11 言語聴覚訓練	23 その他	
	12 高次脳機能訓練		
②維持向上させようとした生活機能(複数回答可)	1 寝返り	5 歩行	9 排便
	2 起き上がり	6 移動	10 衣服の着脱
	3 座位保持	7 えん下	11 その他
	4 両足での立位	8 排尿	
③1週間あたりの回数・合計時間	( )回	合計( )分	
25) リハビリテーションを実施しなかった理由(21) 22) もしくは23) で1つも○がつかなかった場合にご回答ください。(○はひとつ)			
1 生活機能を維持・向上させるリハビリテーション・機能訓練を実施する必要がないほど自立している。			
2 リハビリテーション・機能訓練は行ったが、関連する加算等は算定していない。			
3 体調不良など医学的な理由によりリハビリテーション・機能訓練を実施すべきでないと判断された。			
4 ターミナル期・寝たきりで意識がない等、リハビリテーション・機能訓練を実施できなかった。			
5 その他			

質問は以上で終わりです。ご協力いただきまして、まことにありがとうございました。



## 調査の結果概要

# (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業 (結果概要)

## (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

### 1. 調査の目的

○平成30年度介護報酬改定の審議報告における今後の課題において、新たに創設された介護医療院については、サービス提供の実態や介護療養型医療施設、医療療養病床からの転換状況を把握した上で、円滑な転換の促進と介護保険財政に与える影響の両面から、どのような対応を図ることが適当なのかを検討するべきとされており、検討のための基礎資料を作成することを目的とし、調査検証を行った。

### 2. 調査方法

○介護医療院、介護療養型医療施設、医療療養病床、介護療養型老人保健施設を対象とする施設調査(施設票、主に施設管理者等が回答)と、当該施設に在院又は在所している患者・利用者に対する個票調査(患者・利用者票、主に担当看護職員等が回答)を平成30年11月に郵送配布・郵送回収にて実施した。

○調査対象施設は厚生労働省より提供を受けた9月末時点の全国の事業所・施設名簿をもとに抽出した。

施設票の回収状況(平成31年1月31日時点)

調査対象	母集団	発出数	回収数	回収率	有効回収率
介護医療院(悉皆)	63	63	40	63.5%	63.5%
病院・診療所(共通票)(被災地を除き悉皆)	4,065	3,412	1045	30.6%	30.0%
介護療養型医療施設(被災地を除き悉皆)	1,051	898	377	42.0%	41.8%
医療療養病床(被災地を除き悉皆)	3,818	3,197	961	30.1%	30.1%
介護療養型老人保健施設(被災地を除き悉皆)	176	137	46	34.3%	34.3%

患者・利用者票の回収状況(平成31年1月31日時点)

調査対象	病床数又は定員数 (当該施設票より算定)	有効回収数 (利用者票)	有効抽出率 ※括弧内は想定抽出率
介護医療院(患者の1/2無作為抽出)	2,841	1,230	43.2%(50.0%)
介護療養型医療施設(患者の1/30無作為抽出)	16,357	596	3.6%(3.3%)
医療療養病床(患者の1/30無作為抽出)	54,445	1,669	3.1%(3.3%)
介護療養型老人保健施設(利用者の1/5無作為抽出)	2,374	315	13.2%(20.0%)

1



## (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

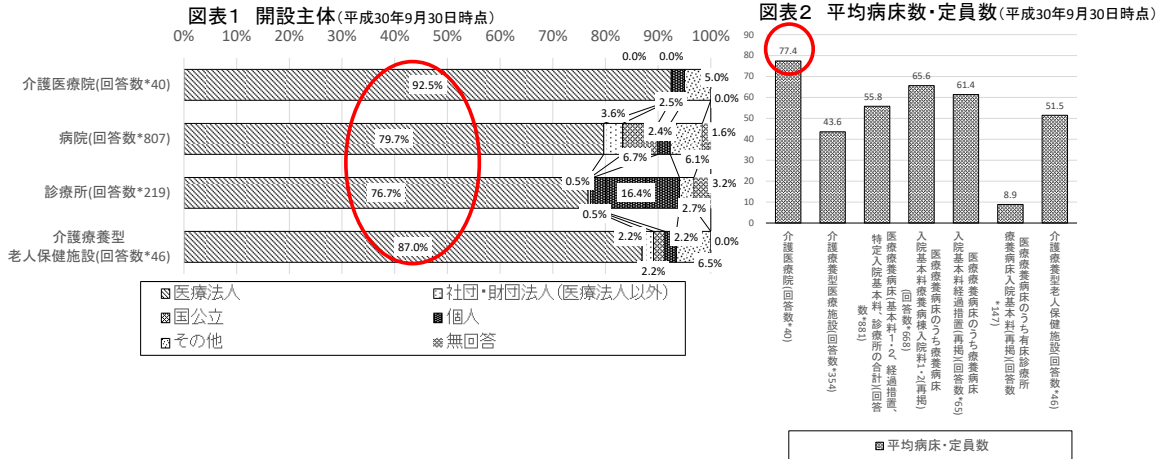
### 3. 調査結果概要

#### 1 対象施設の基本情報

○介護医療院、病院、診療所、介護療養型老人保健施設における開設主体では、医療法人の構成比が最も高く、いずれの施設も医療法人が76.7%～92.5%を占めた。特に、介護医療院は、最も高い92.5%の構成比を占めた。  
○各施設類型の平均病床数・定員数では、介護医療院が77.4床と最も多かった。

図表1: 介護医療院票問1-2)、病院・診療所 共通票問1、介護療養型老人保健施設票問1-1)をもとにした施設類型別のクロス集計

図表2: 介護医療院票問1-3)、介護療養型医療施設票問2-1)、医療療養病床票問2-1)、介護療養型老人保健施設票問1-2)をもとにした施設類型別のクロス集計



\* 回答数は施設数

2

## (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

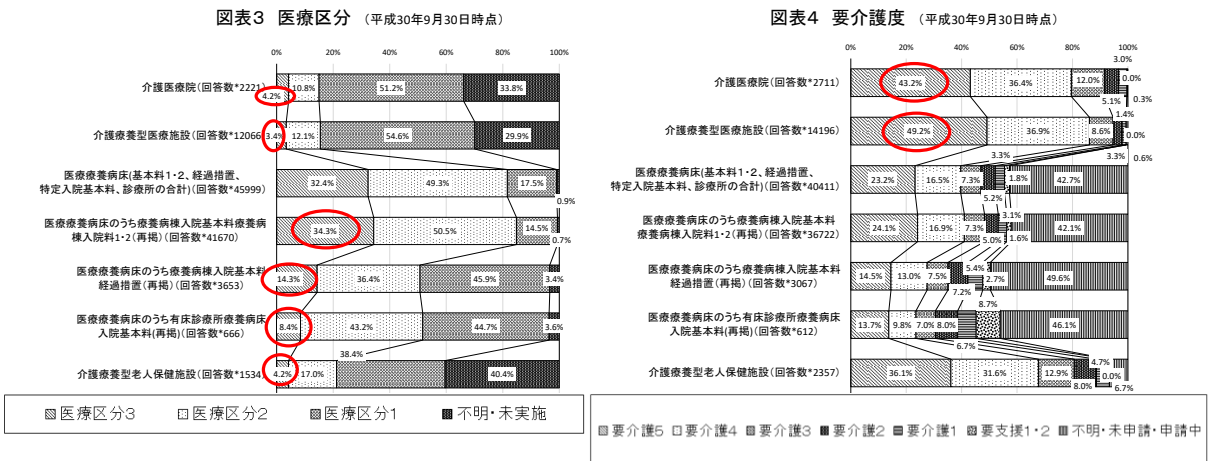
#### 2-1 利用者の状態像: 医療区分及び要介護度

○各施設類型における医療区分のうち、医療区分3の患者数構成比が最も高いのは療養病棟入院基本料1・2(再掲)の34.3%であった。次いで、療養病棟入院基本料経過措置(再掲)が14.3%、有床診療所療養病床入院基本料(再掲)が8.4%、介護医療院が4.2%、介護療養型老人保健施設が4.2%、介護療養型医療施設は3.4%であった。介護医療院と介護療養型医療施設の医療区分の患者数構成は比較的同じ傾向であった。

○各施設類型における要介護度のうち、要介護5の患者数構成比が最も高かったのは介護療養型医療施設の49.2%であった。次いで、介護医療院が43.2%であった。

図表3: 介護医療院票問15、介護療養型医療施設票問5、医療療養病床票問5、介護療養型老人保健施設票問5をもとにした施設類型別のクロス集計

図表4: 介護医療院票問15、介護療養型医療施設票問5、医療療養病床票問5、介護療養型老人保健施設票問5をもとにした施設類型別のクロス集計



\* 回答数は施設票における患者・利用者数の合計

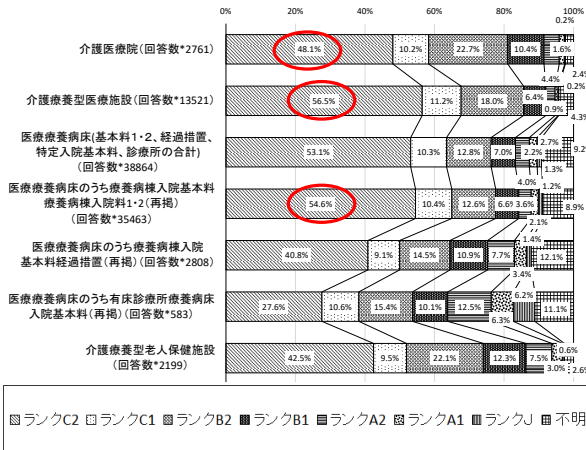
3

## (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

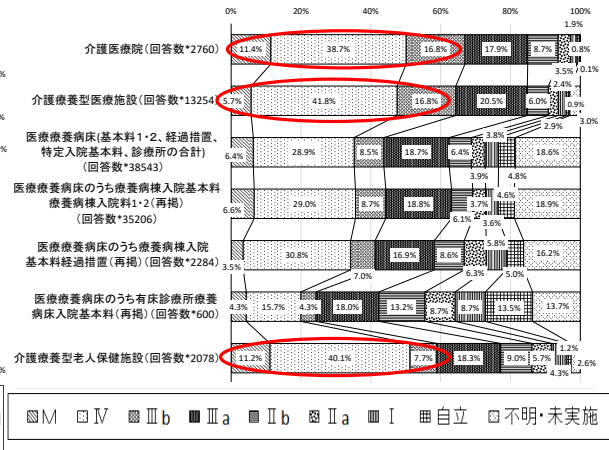
2-2 利用者の状態像：障害高齢者及び認知症高齢者の日常生活自立度  
 ○各施設類型における障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)のうち、ランクC2の患者数構成比が最も高かったのは、介護療養型医療施設の56.5%であった。次いで、療養病棟入院料1・2(再掲)が54.6%、介護医療院が48.1%であった。  
 ○各施設類型における認知症高齢者の日常生活自立度ランクⅢb、Ⅳ、Mをあわせた患者数構成比は、介護医療院が66.9%で最も高く、次いで、介護療養型医療施設が64.3%、介護療養型老人保健施設が59.0%であった。

図表5・6：介護医療院票問15、介護療養型医療施設票問5、医療療養病床票問5、介護療養型老人保健施設票問5をもとにした施設類型別のクロス集計

図表5 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)  
(平成30年9月30日時点)



図表6 認知症高齢者の日常生活自立度  
(平成30年9月30日時点)



\* 回答数は施設票における患者・利用者数の合計

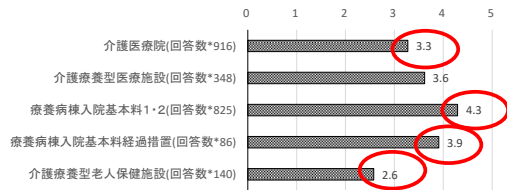
4

## (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

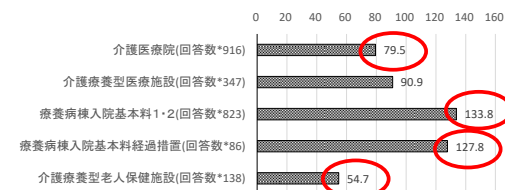
3 リハビリテーションの実施状況  
 ○利用者1人あたりリハビリテーション回数及び合計時間は、療養病棟入院基本料1・2が4.3回、133.8分で最も多く、次いで療養病棟入院基本料経過措置の3.9回、127.8分であった。介護医療院は3.3回、79.5分であった。介護療養型老人保健施設は、2.6回、54.7分で最も少なかった。  
 ○リハビリテーションの維持向上させようとした生活機能では、各施設類型とも「座位保持」が最も大きかった。次いで「寝返り」や「起き上がり」、「両足での立位」等であった。

図表7・8：患者・利用者票24)③をもとにした施設類型別のクロス集計  
 図表9：患者・利用者票24)②をもとにした施設類型別のクロス集計

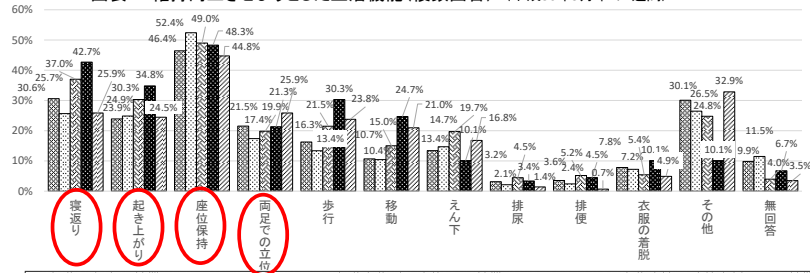
図表7 利用者1人あたりリハビリテーション回数(回/人・週)  
(平成30年9月中の1週間)



図表8 利用者1人あたりリハビリテーション合計時間(分/人・週)  
(平成30年9月中の1週間)



図表9 維持向上させようとした生活機能(複数回答)(平成30年9月中の1週間)



\* 回答数は患者・利用者票における患者・利用者数の合計

5

## (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

### 4 アドバンス・ケア・プランニング(ACP)及びターミナルケアの実施状況

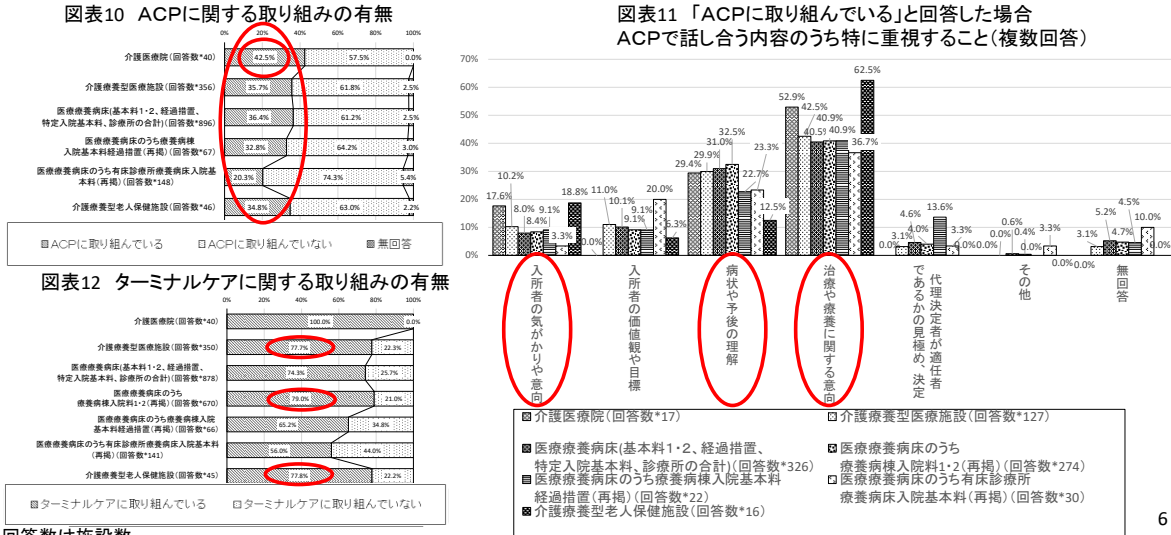
○ACPに関する取り組みでは、取り組んでいる施設数構成比が42.5%の介護医療院が最も高く、各施設ともおおそ20%~40%の間となっていた。

○ACPに関する取り組みを行っている施設のうち、ACPで特に重視する内容は、各施設類型とも「治療や療養に関する意向」の割合が最も大きかった。次いで「病状や予後の理解」や「入所者の気がりや意向」等であった。

○一方で、ターミナルケアに関する取り組みでは、施設要件となっている介護医療院が取り組み100%となっている。他は、療養病棟入院料1・2(再掲)が79.0%、介護療養型老人保健施設が77.8%、介護療養型医療施設が77.7%で高かった。

図表10-11: 介護医療院票問19、介護療養型医療施設票問8、医療療養病床票問8、介護療養型老人保健施設票問8をもとにした施設類型別のクロス集計

図表12: 介護医療院票問20、介護療養型医療施設票問9、医療療養病床票問9、介護療養型老人保健施設票問9をもとにした施設類型別のクロス集計



\* 回答数は施設数

6

## (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

### 5 介護医療院の開設を決めた理由、介護医療院開設にあたっての取組状況

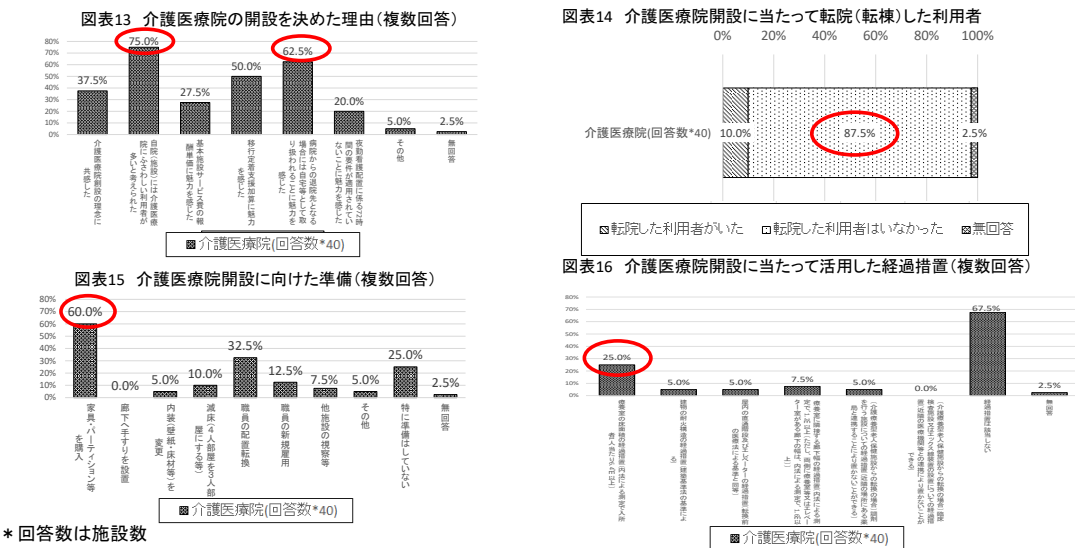
○介護医療院の開設を決めた理由のうち最も大きかった施設割合は「自院(施設)には介護医療院にふさわしい利用者が多いと考えられた」の75.0%であった。次いで「病院からの退院先となる場合には自宅等として取り扱われることに魅力を感じた」が62.5%であった。

○介護医療院開設に当たって87.5%の利用者は移行前施設から転院せず移行していた。

○介護医療院開設に向けた準備としては「家具・パーティション等を購入」した施設は60.0%であった。

○介護医療院開設に当たって活用した経過措置のうち、「経過措置は該当しない」を除くと最も多かったのは「療養室の床面積の経過措置」の25.0%であった。

図表13: 介護医療院票問4 図表14: 介護医療院票問10 図表15: 介護医療院票問5-4 図表16: 介護医療院票問5-5)



\* 回答数は施設数

7

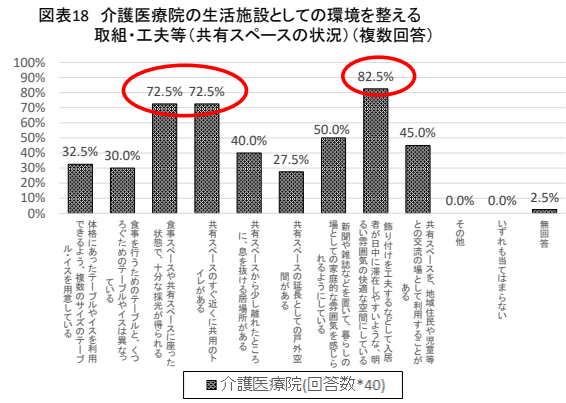
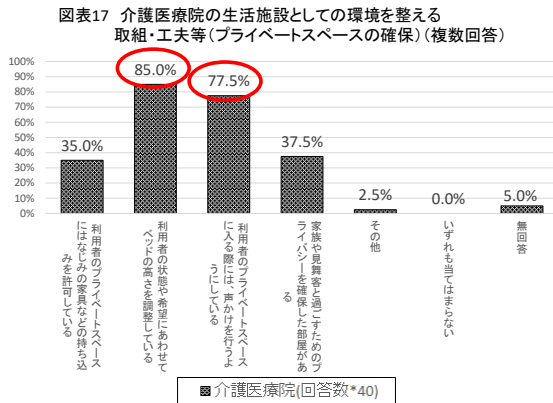
## (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

### 6 介護医療院の生活施設としての取り組み状況

○介護医療院の生活施設としての環境整備として、プライベートスペース確保の取り組みの施設数割合では「利用者の状態や希望にあわせてベッドの高さを調整している」が85.0%と最も大きく、次いで「利用者のプライベートスペースに入る際には、声かけを行うようにしている」の77.5%であった。

○共有スペースの状況の施設数割合では、「飾り付けを工夫するなどして入居者が日中に滞在しやすいような、明るい雰囲気のある空間にしている」が82.5%と最も大きく、次いで「共有スペースのすぐ近くに共用のトイレがある」と「食事スペースや共有スペースに座った状態で十分な採光が得られる」がそれぞれ72.5%であった。

図表17: 介護医療院票問9-1)  
図表18: 介護医療院票問9-2)



\* 回答数は施設数

8

## (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

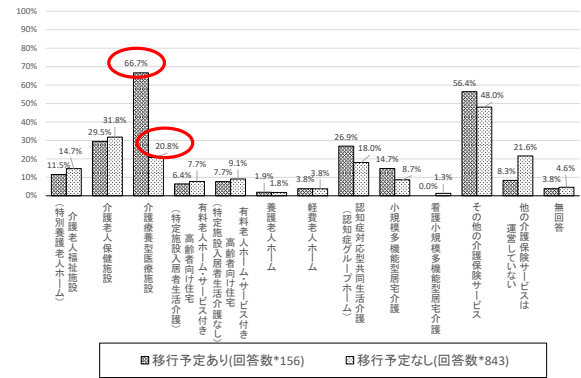
### 7 移行予定別の状況: 医療療養病床における移行有無別と同法人・関連法人での介護保険サービス実績の状況

○医療療養病床において、2023年度末までの介護医療院への移行予定有無と、同法人・関連法人での介護保険サービス実績有無をみたら、移行予定のある場合の同法人・関連法人における介護保険サービス(介護療養型医療施設)実績の施設数割合は66.7%であった。一方で移行予定のない場合は、20.8%で、介護保険サービスの実績有無と移行予定の有無との差異が大きかった。

○医療療養病床のうち療養病棟入院基本料経過措置(再掲)においては移行予定のある場合の同法人・関連法人における介護保険サービス(介護療養型医療施設)実績の施設数割合は41.7%であった。一方で移行予定のない場合は、20.0%で、医療療養病床全体と同様に介護保険サービスの実績有無と移行予定の有無との差異が大きかった。

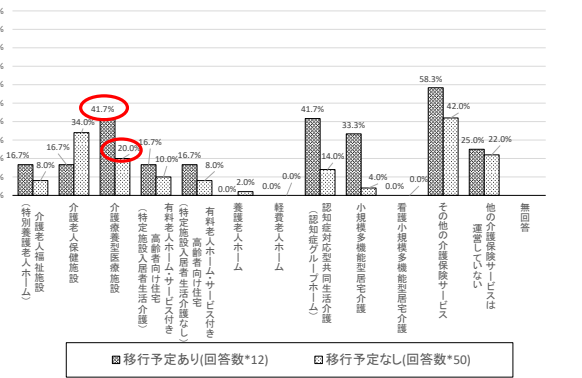
図表19・20: 共通票問4(医療療養病床)、医療療養病床票問11で「介護医療院」に移行を予定する病床がある施設の有無別クロス集計

図表19 医療療養病床(基本料1・2、経過措置、特定入院基本料、診療所の合計)における移行予定有無と同法人・関連法人での介護保険サービスの実績状況(複数回答/移行予定有無と同法人・関連法人での介護保険サービスの実績状況(複数回答)



\* 回答数は施設数

図表20 医療療養病床療養病棟入院基本料経過措置(再掲)における移行予定有無と同法人・関連法人での介護保険サービスの実績状況(複数回答/移行予定有無と同法人・関連法人での介護保険サービスの実績状況(複数回答)



9



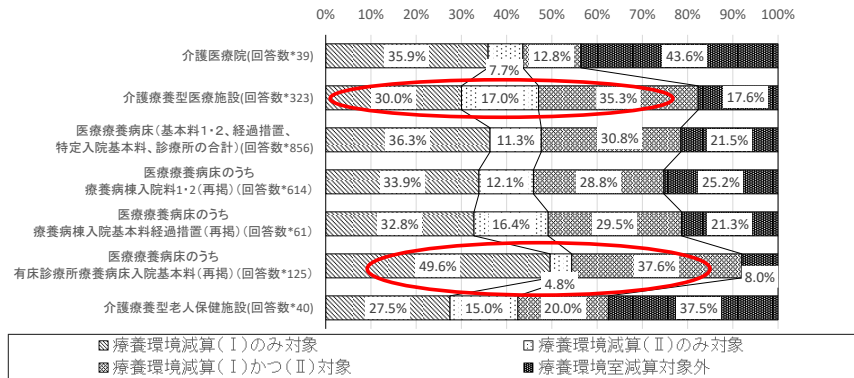
## (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

### 8 療養環境減算の状況

○各施設類型のうち、療養環境減算（Ⅰ）（廊下幅1.8m未満または中廊下幅2.7m未満）、療養環境減算（Ⅱ）（利用者一人当たり床面積8.0㎡未満）いずれかまたは両方の対象となる施設数構成比は、有床診療所療養病床入院基本料（再掲）が92.0%と他の類型と比較して最も高かった。次いで介護療養型医療施設が82.3%であった。

図表21：介護医療院票問3-1）、介護療養型医療施設票問2-2）、医療療養病床票問2-2）、介護療養型老人保健施設問3-1）  
介護医療院票問3-2）、介護療養型医療施設票問2-3）、医療療養病床票問2-3）、介護療養型老人保健施設問3-2）をもとにした施設類型別クロス集計

図表21 療養環境減算の対象となる施設の状況



※施設から回答いただいた延べ床面積を尋ねた設問及び廊下幅を尋ねた設問から、療養環境減算に該当する条件をもとに集計した。

\* 回答数は施設数

10

## (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

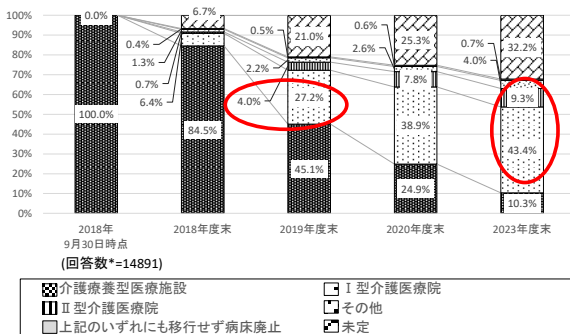
### 9-1 2023年度末までの介護医療院への移行予定：介護療養型医療施設及び介護療養型老人保健施設

○介護療養型医療施設のうち、2019年度末までに介護医療院へ移行を予定している病床はⅠ型介護医療院・Ⅱ型介護医療院を合計すると31.2%の病床数構成比であった。2023年度末時点では52.7%であった。

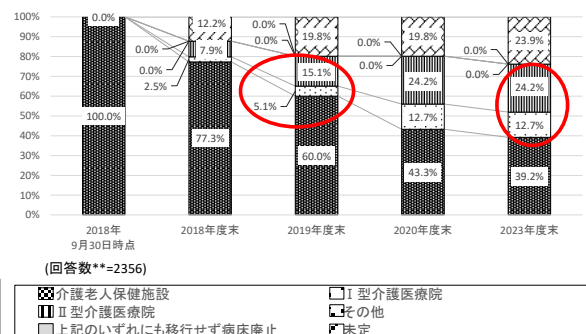
○介護療養型老人保健施設のうち、2019年度末までに介護医療院へ移行を予定している病床はⅠ型介護医療院・Ⅱ型介護医療院を合計すると20.2%の定員数構成比であった。2023年度末時点では36.9%であった。

図表22：介護療養型医療施設票問11、図表23：介護療養型老人保健施設票問11

図表22 介護療養型医療施設(病院・診療所合計)の移行予定



図表23 介護療養型老人保健施設の移行予定



※介護老人保健施設には介護療養型老人保健施設のほか介護老人保健施設が含まれる場合がある。

\* 回答数は施設票における病床数

\*\* 回答数は施設票における定員数

11

## (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

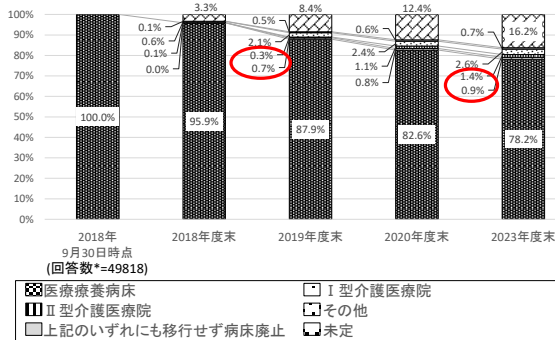
### 9-2 2023年度末までの介護医療院への移行予定：医療療養病床①

○医療療養病床（療養病棟入院料1・2、経過措置、特定入院基本料、診療所の合計）において2019年度末までに介護医療院へ移行を予定している病床はI型介護医療院・II型介護医療院を合計すると1.0%の病床数構成比であった。2023年度末時点では2.3%であった。

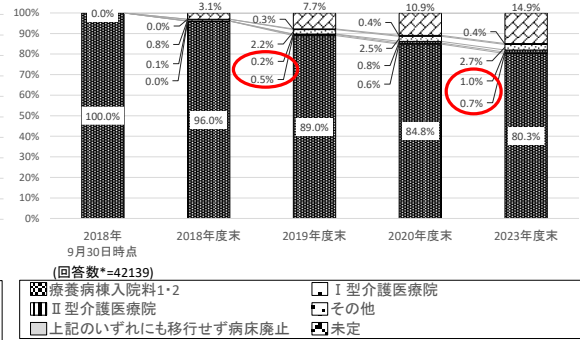
○医療療養病床のうち、療養病棟入院料1・2（再掲）において2019年度末までに介護医療院へ移行を予定している病床は、I型介護医療院・II型介護医療院を合計すると0.7%の病床数構成比であった。2023年度末時点では1.7%であった。

図表24、25：医療療養病床票問11をもとにした類型別集計

図表24 医療療養病床（療養病棟入院料1・2、経過措置、特定入院基本料、診療所の合計）の移行予定



図表25 医療療養病床 療養病棟入院料1・2（再掲）の移行予定



\* 回答数は施設票における病床数

12

## (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

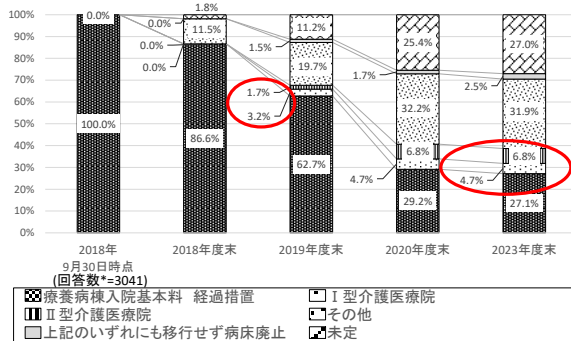
### 9-3 2023年度末までの介護医療院への移行予定：医療療養病床②

○医療療養病床のうち、療養病棟入院基本料経過措置（再掲）において2019年度末までに介護医療院へ移行を予定している病床は、I型介護医療院・II型介護医療院を合計すると4.9%の病床数構成比であった。2023年度末時点では11.5%であった。

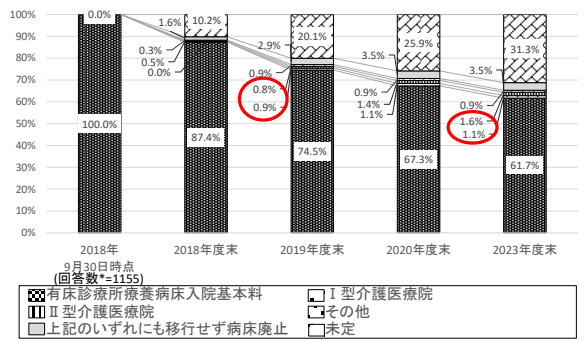
○医療療養病床のうち、有床診療所療養病床入院基本料（再掲）において2019年度末までに介護医療院へ移行を予定している病床はI型介護医療院・II型介護医療院を合計すると1.7%の病床数構成比であった。2023年度末時点では2.7%であった。

図表26、27：医療療養病床票問11をもとにした類型別集計

図表26 医療療養病床 療養病棟入院料経過措置（再掲）の移行予定



図表27 医療療養病床 有床診療所療養病床入院基本料（再掲）の移行予定



\* 回答数は施設票における病床数

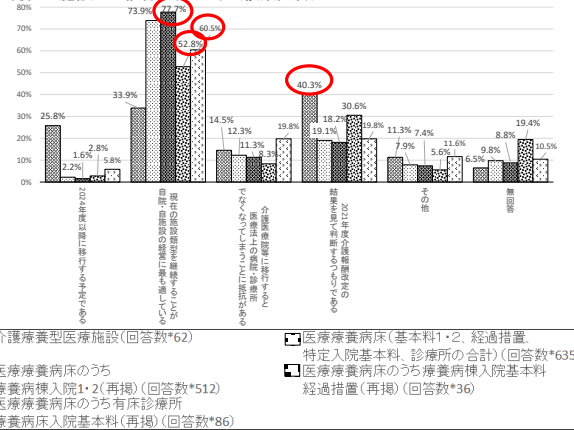
13

## (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

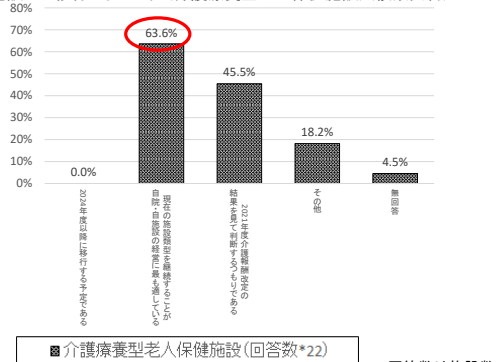
10-1 2023年度末までの介護医療院への移行予定：2023年度末まで移行予定がない施設の検討状況  
 ○2023年度末の予定病床数が2018年9月30日時点の病床から変更がない施設のうち療養病棟入院料1・2(再掲)、療養病棟入院基本料経過措置(再掲)、有床診療所療養病床入院基本料(再掲)では「現在の施設類型を継続することが自院・自施設の経営に最も適している。」と回答した施設が77.7%、52.8%、60.5%、とそれぞれの類型で最も大きい施設数割合であった。一方で、介護療養型医療施設では「2021年度介護報酬改定の結果を見て判断するつもりである」と回答した割合が40.3%と最も大きかった。  
 ○2023年度末の予定病床数が2018年9月30日時点の病床から変更がない施設のうち介護療養型老人保健施設では「現在の施設類型を継続することが自院・自施設の経営に最も適している。」と回答した割合が63.6%と最も大きかった。

図表28：介護療養型医療施設問12、医療療養病床票問12、をもとにした類型別集計  
 図表29：介護療養型老人保健施設票問15をもとにした類型別集計

図表28 2023年度末で2018年9月30日時点の病床から変更がない施設について現在の施設から移行しない理由(複数回答)



図表29 2023年度末で2018年9月30日時点の病床から変更がない施設について現在の施設から移行しない理由(介護療養型老人保健施設)(複数回答)



\* 回答数は施設数

※介護療養型老人保健施設票の選択肢には「介護医療院に移行すると医療法上の病院・診療所であってしまふことに抵抗がある」という選択肢は尋ねていないため別表としている。

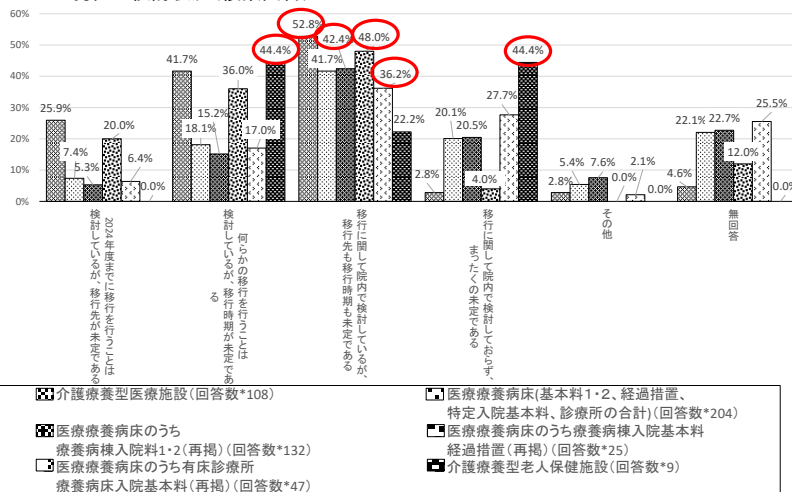
14

## (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

10-2 2023年度末までの介護医療院への移行予定：2023年度末までの移行予定が未定の施設の検討状況  
 ○2023年度末の予定病床数で未定と回答した施設の検討状況のうち、介護療養型医療施設、療養病棟入院料1・2(再掲)、療養病棟入院基本料経過措置(再掲)、有床診療所療養病床入院基本料(再掲)では「移行に関して院内で検討しているが移行先も移行時期も未定である」と回答した施設数割合がそれぞれ52.8%、42.4%、48.0%、36.2%と最も大きかった。一方で、介護療養型老人保健施設は、「何らかの移行を行うことは検討しているが、移行時期が未定である」と「移行に関して院内で検討しておらずまったくの未定である」と回答した割合がそれぞれ44.4%と最も大きかった。

図表30：介護療養型医療施設問13、医療療養病床票問13、介護療養型老人保健施設票問16をもとにした類型別集計

図表30 2023年度末の予定病床数で「未定」の回答がある施設について、現在の検討状況(複数回答)



\* 回答数は施設数

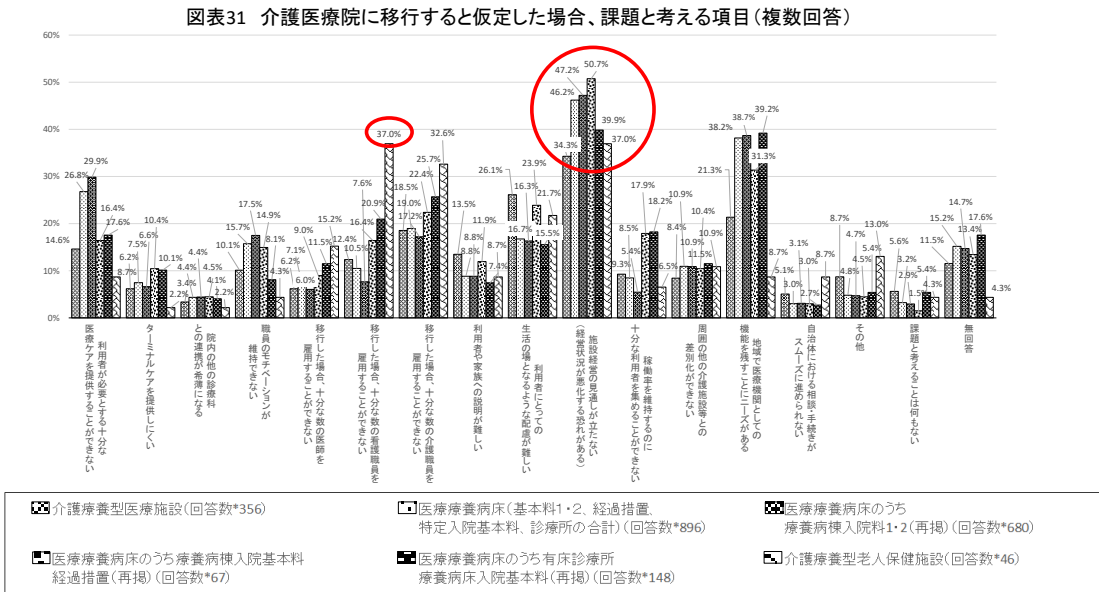
15

## (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

### 11-1 介護医療院開設にあたって課題と考えること①

○介護医療院に移行すると仮定した場合、課題と考える項目として、いずれの施設類型においても「施設経営の見通しが立たない(経営状況が悪化する恐れがある)」が34.3%~50.7%と最も大きい施設数割合であった。介護療養型老人保健施設は、「移行した場合、十分な数の看護職員を雇用することができない」も37.0%で同数であった。

図表31: 介護療養型医療施設票間14、医療療養病床票間14、介護療養型老人保健施設票間17をもとにした施設類型別クロス集計



\* 回答数は施設数

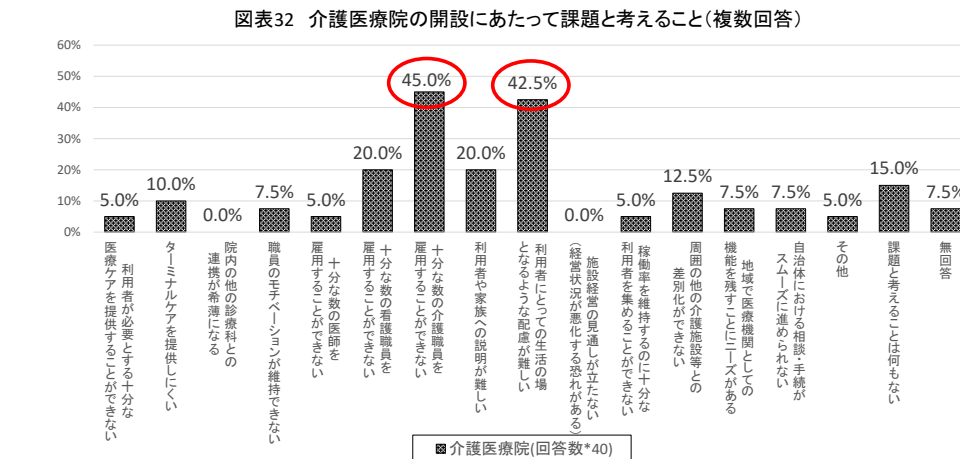
16

## (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

### 11-2 介護医療院開設にあたって課題と考えること②

○すでに移行した介護医療院が、開設にあたって課題と考えることのうち最も大きい割合を占めたのは「十分な数の介護職員を雇用することができない」の45.0%であった。次いで、「利用者にとっての生活の場となるような配慮が難しい」が42.5%であった。

図表32: 介護療養型医療施設票間14、医療療養病床票間14、介護療養型老人保健施設票間17をもとにした施設類型別クロス集計



\* 回答数は施設数

17

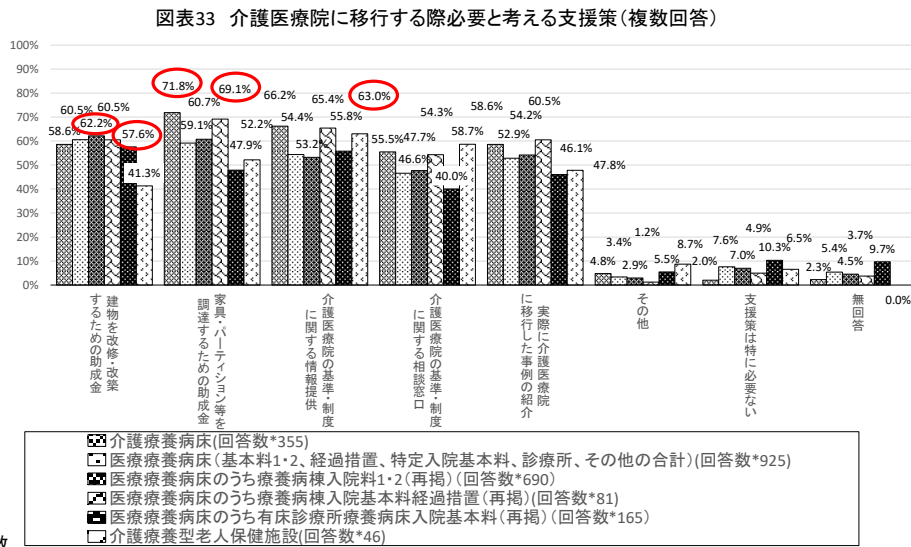


## (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

### 12-1 介護医療院に移行する際必要と考える支援策①

○介護医療院に移行する際必要と考えられる支援策において、介護療養病床、療養病棟入院基本料経過措置(再掲)では、「家具・パーティション等を調達するための助成金」の項目の施設数割合がそれぞれ71.8%、69.1%で最も大きかった。療養病棟入院料1・2(再掲)、有床診療所療養病床入院基本料(再掲)では、「建物を改修・改築するための助成金」の項目がそれぞれ62.2%、57.6%で最も大きかった。介護療養型老人保健施設では、「介護医療院の基準・制度に関する情報提供」が63.0%で最も大きかった。

図表33: 病院・診療所 共通票問7、介護療養型老人保健施設票問7をもとにした施設類型別クロス集計



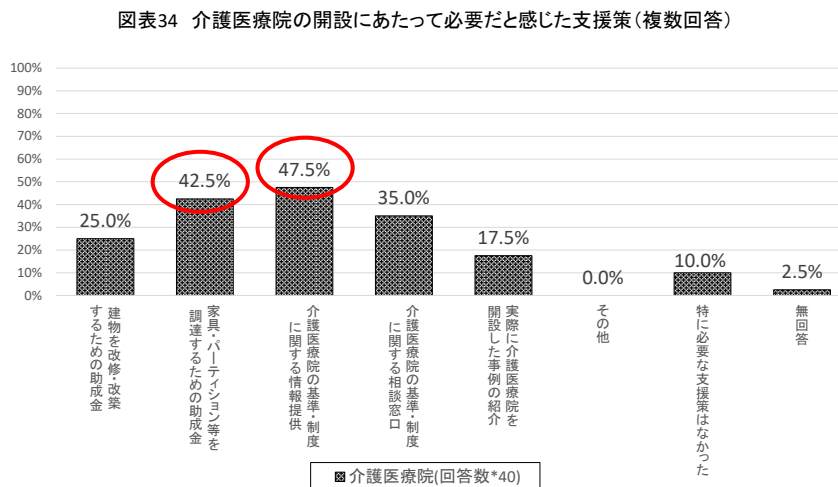
18

## (5) 介護医療院におけるサービス提供実態等に関する調査研究事業

### 12-2 介護医療院に移行する際必要と考える支援策②

○既に移行した介護医療院が開設に必要なと感じた支援策は「介護医療院の基準・制度に関する情報提供」の47.5%が最も大きく、次いで「家具・パーティション等を調達するための助成金」が42.5%であった。

図表34: 介護医療院票問15



19